

# **松阪市 市民意識調査**

## **【結果報告書】**

**令和7年 12 月**

**松阪市**



## 目 次

I 調査の概要	1
1. 調査目的	2
2. 調査概要	2
3. 報告書における図表の見方	3
4. 標本誤差	3
II 調査結果	5
ご自身のこと及び松阪市のまちづくりについて	
ご自身のことについて	6
市政全般等について	25
松阪市の個々の課題	
スポーツのチカラを活用した健康まちづくりについて	61
観光施策について	66
伝統産業に対する支援について	78
シビックプライドについて	79
食品ロス削減の取組について	84
フードドライブの推進について	86
ゼロカーボンシティの実現に向けて	88
COPD(慢性閉塞性肺疾患)の認知度について	97
広報全般について	99
各種手続きのオンライン化について	115
カスタマーハラスメントに対する市の取組について	123
能力不足を理由にした職員の免職処分について	129
松阪駅西地区に整備する施設について	133
市施設における使用料について	134
公民館の使用料と利用、公民館講座の受講料について	136
人権尊重・男女の地位の平等について	138
障がい福祉に関するアンケート調査	
障がいのある人などに対する理解について	140
障がいのある人などの地域生活について	152
障がいのある人などにやさしいまちづくりについて	156
災害対策について	163
ボランティア活動などについて	166
市の取組について	170

Ⅲ 自由記述	-----173
--------	----------

Ⅳ 調査票	-----197
-------	----------

\*本報告書はUD(ユニバーサル・デザイン)フォントを使用しています。

# I 調査の概要

## 1. 調査目的

松阪市の市政運営の基礎資料とするため、アンケート調査を行い、市民の市政に対する意識や要望を調査、把握するために実施しました。

## 2. 調査概要

### (1) 調査の名称

松阪市市民意識調査

### (2) 調査対象

市内にお住まいの 15 歳以上の方

### (3) 調査時期

令和7年8月5日～令和7年8月 22 日

### (4) 調査方法

無作為に抽出した 3,000 人の市民に対し郵送にて調査票を送付

郵送による調査票の返送およびWEB回答により調査を実施

### (5) 回収結果

調査年度	標本数	回収数	回収率(%)	有効回収数	有効回収率(%)
令和7年度(今回)	3,000	1,420	47.3	1,416	47.2
郵送回答		1,037		1,033	
WEB回答		383		383	
令和6年度(前回)	3,000	1,379	46.0	1,379	46.0
郵送回答		995		995	
WEB回答		384		384	
令和5年度	3,000	1,328	44.3	1,327	44.2
郵送回答		1,059		1,058	
WEB回答		269		269	
令和4年度	3,000	1,440	48.0	1,437	47.9
郵送回答		1,054		1,052	
WEB回答		386		385	
令和3年度	3,000	1,558	51.9	1,554	51.8
令和元年度	3,000	1,558	51.9	1,554	51.8
平成 29 年度	3,000	1,330	44.3	1,330	44.3
平成 27 年度	5,000	2,376	47.5	2,371	47.4

※有効回収数:回収した調査票より全て記入のない白票等を無効票とし除いた数

### 3. 報告書における図表の見方

- ①図表内の「n」は、設問に対する回答の合計数である。
- ②単数回答の設問は帯グラフ、複数回答の設問は棒グラフとする。
- ③集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- ④複数回答を求めた設問では、設問に対する回答者数を基数として算出しているため、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ⑤クロス集計表では性別や年齢について無回答の人を除いているため、回答者総数と数が合わないことがある。
- ⑥本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

### 4. 標本誤差

標本誤差は、以下の式で得られ、比率算出の基数(n、回答者数)、回答の比率(p)によって誤差範囲が異なる。回答比率は、ある設問の1つの選択肢に対して得られた回答者の割合である。定数 1.96 は、信頼率 95%と設定した場合の定数である。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

N:母集団数(調査の対象となる集団の総数)

n:サンプル数(有効回答数)

P:回答比率(ある選択肢の回答割合)

この計算式に従って算出される各調査の標本誤差は以下のとおりとなる。

(1)松阪市市民意識調査(N=154,945)令和7年8月1日現在の住民基本台帳人口

回答比率 n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,416(全数)	±1.56%	±2.07%	±2.38%	±2.54%	±2.59%
647(男性)	±2.30%	±3.07%	±3.52%	±3.76%	±3.84%
684(女性)	±2.24%	±2.98%	±3.42%	±3.66%	±3.73%

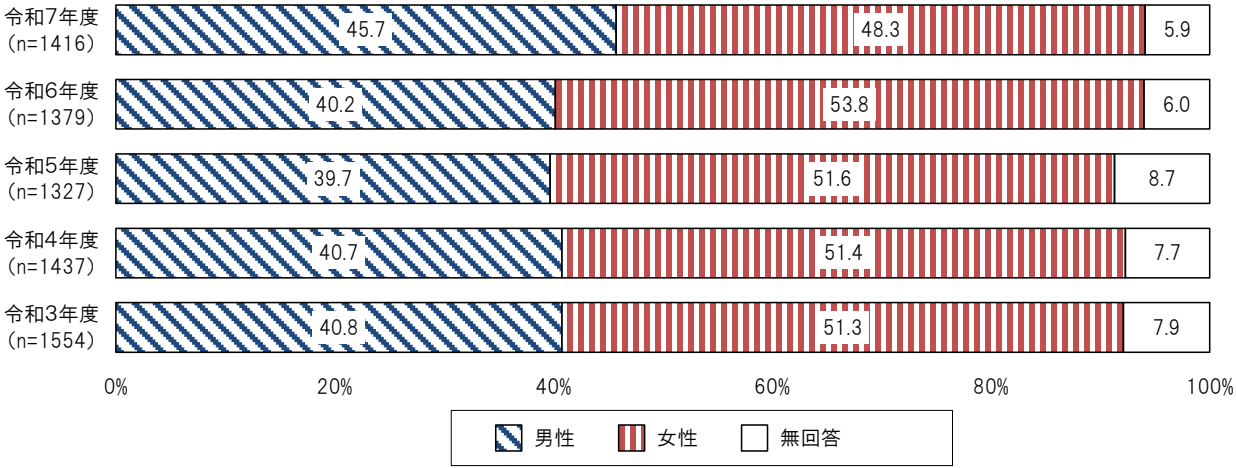




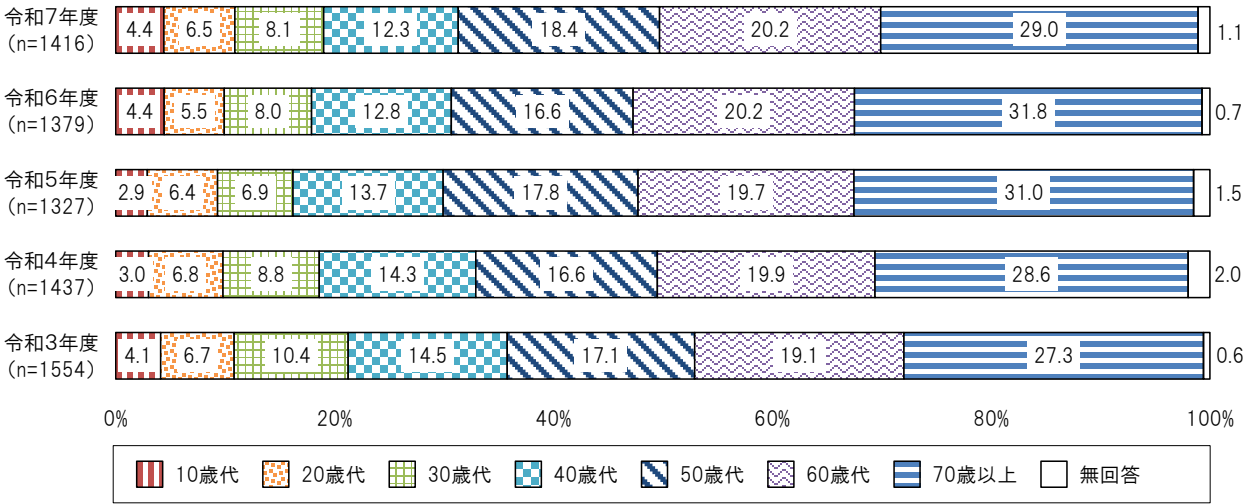
## Ⅱ 調査結果

問1 あなたご自身についておうかがいします。

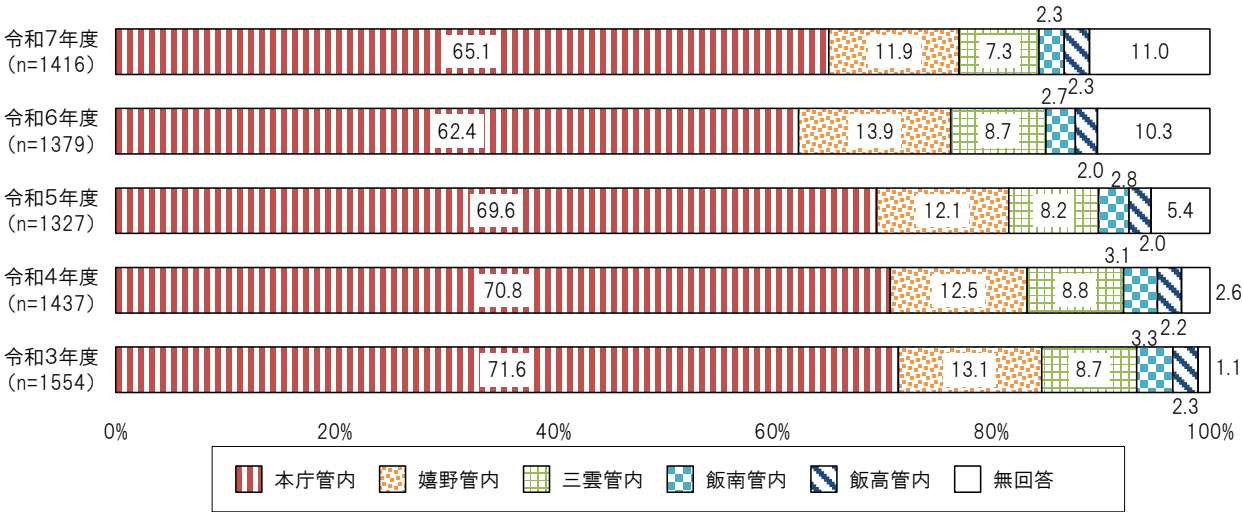
(1)性別



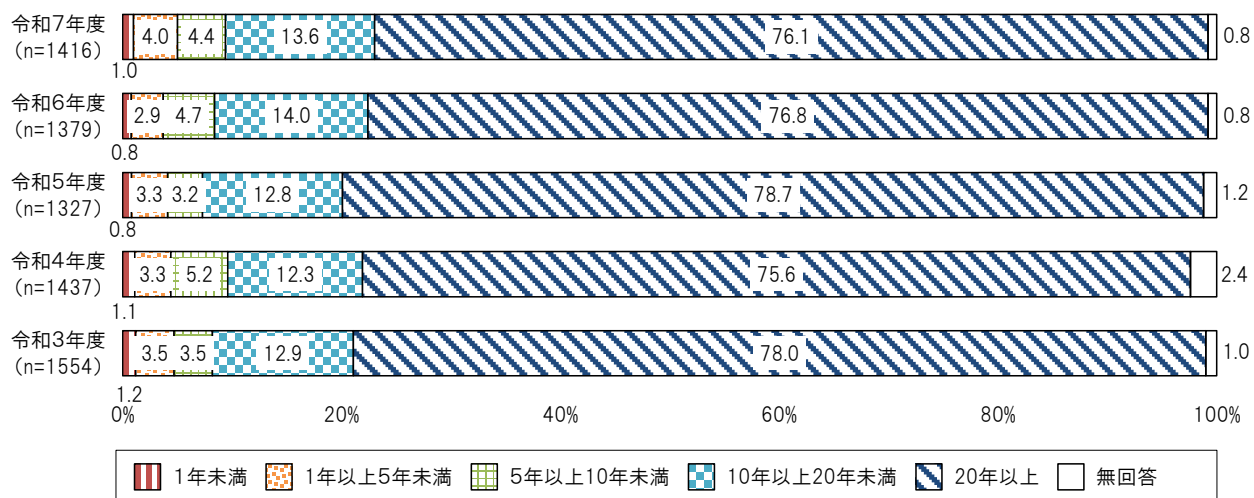
(2)年齢



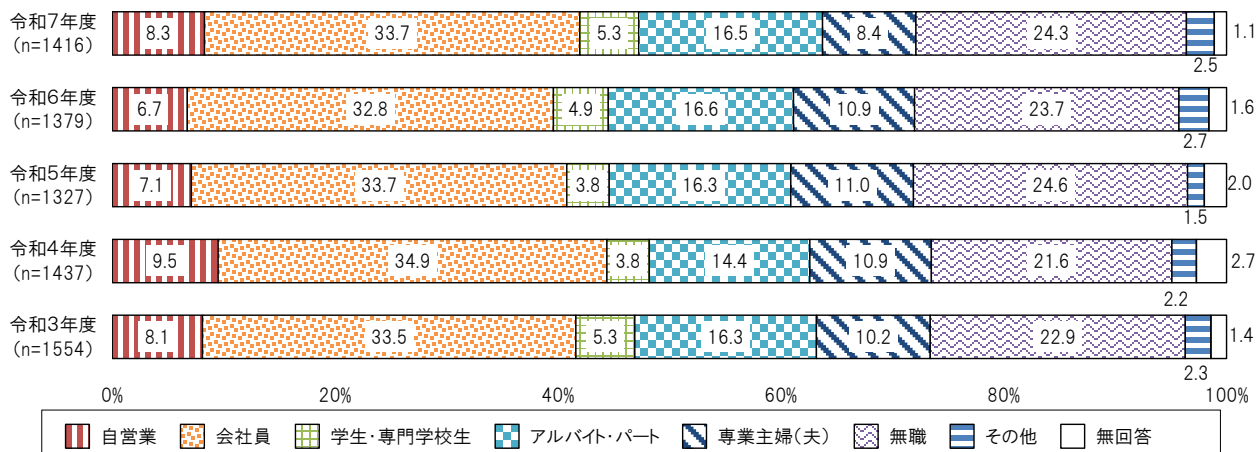
(3)居住地



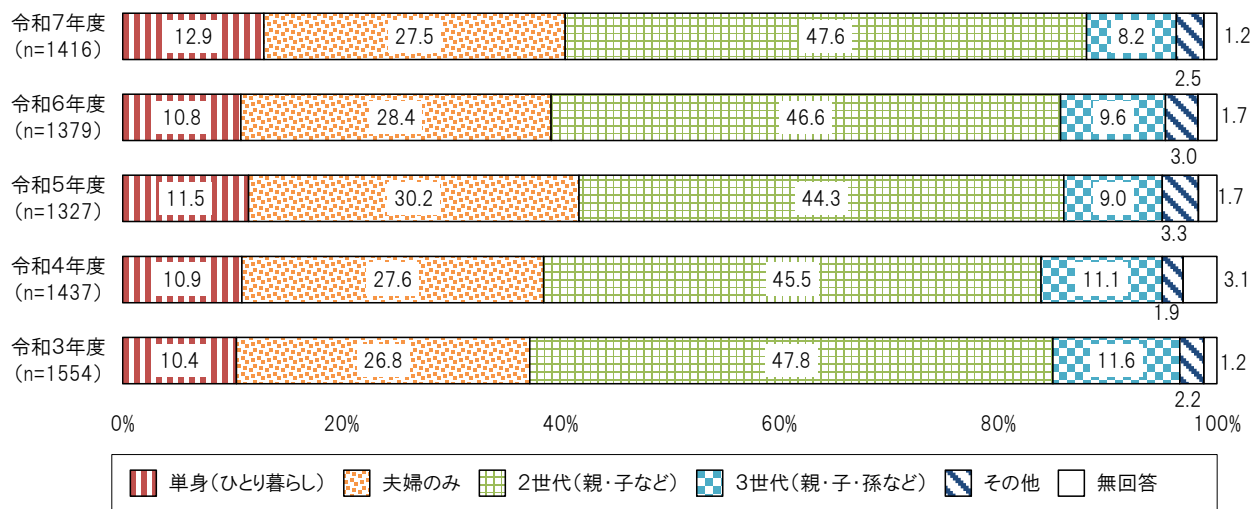
#### (4)居住年数



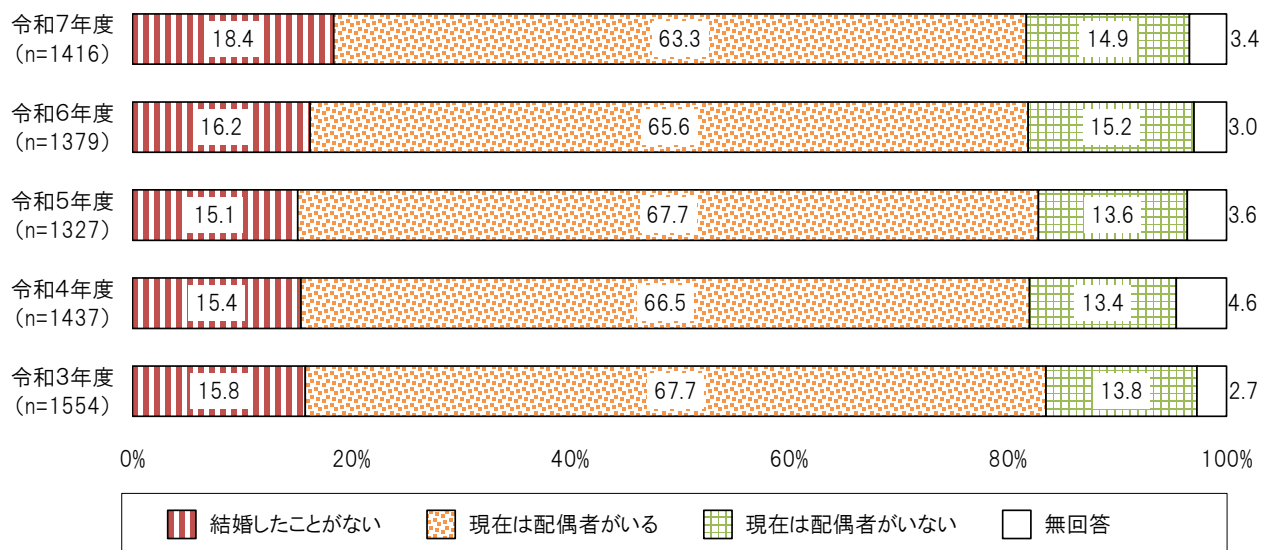
#### (5)職業



## (6) 家族構成



## (7) 婚姻状況



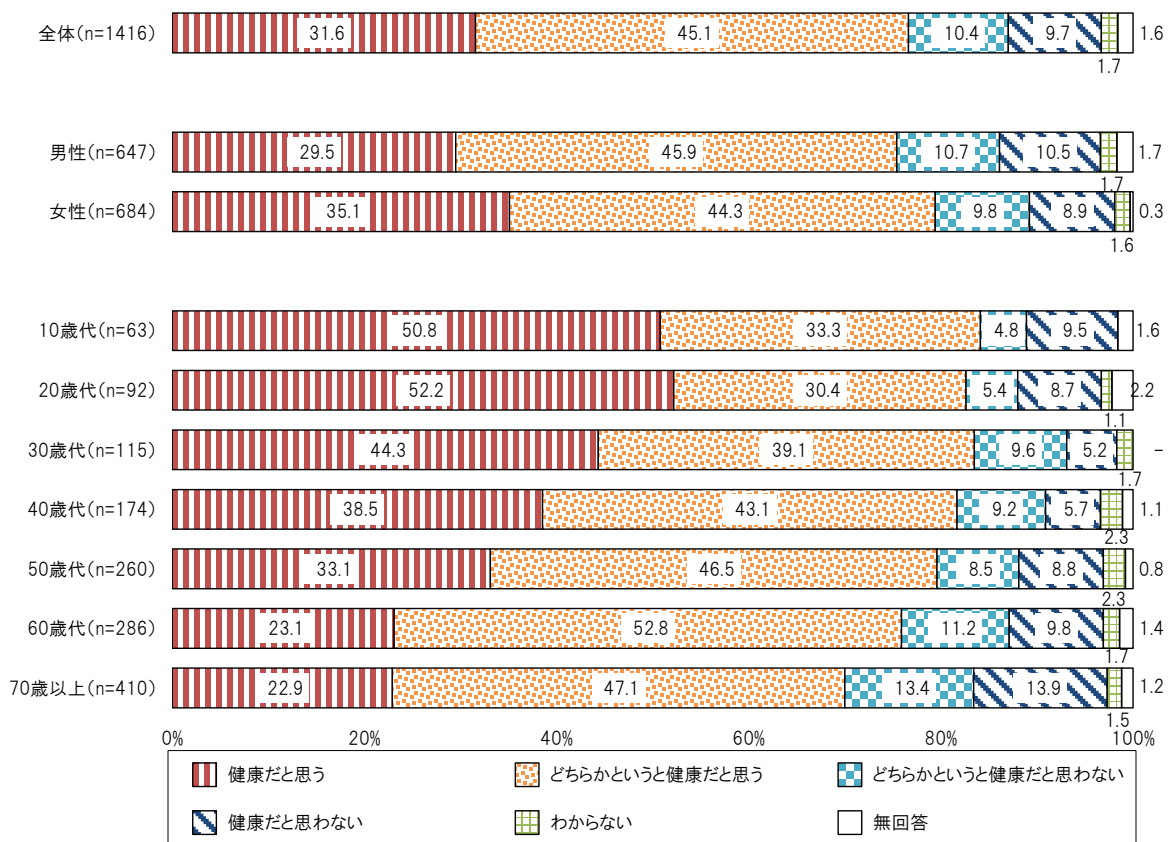
## 問2 あなたの現在の状況についておうかがいします。

### (1)健康だと思いますか。(○は1つだけ)

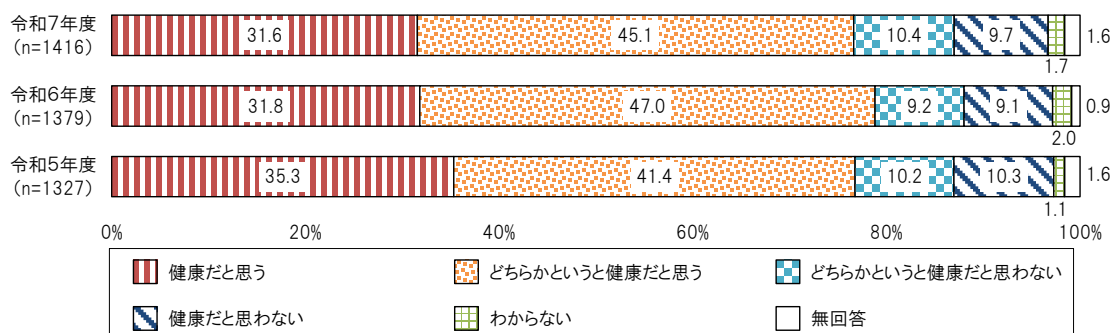
「どちらかという健康だと思う」が45.1%と最も高く、ついで「健康だと思う」が31.6%、「どちらかという健康だと思わない」が10.4%となっている。

性別にみると、男女ともに「どちらかという健康だと思う」が最も高くなっている。

年代別にみると、「健康だと思う」が年代が上がるにつれて減少する傾向にある。「どちらかという健康だと思わない」「健康だと思わない」を合計した割合は、50歳代までは15%ほどであるが60歳代では21.0%、70歳以上では27.3%と高くなっている。



前回と比較すると、「健康だと思う」「どちらかという健康だと思う」を合計した割合は、前回は78.8%であったが今回は76.7%と若干低下している。また、「健康だと思う」の割合は年々低下している。

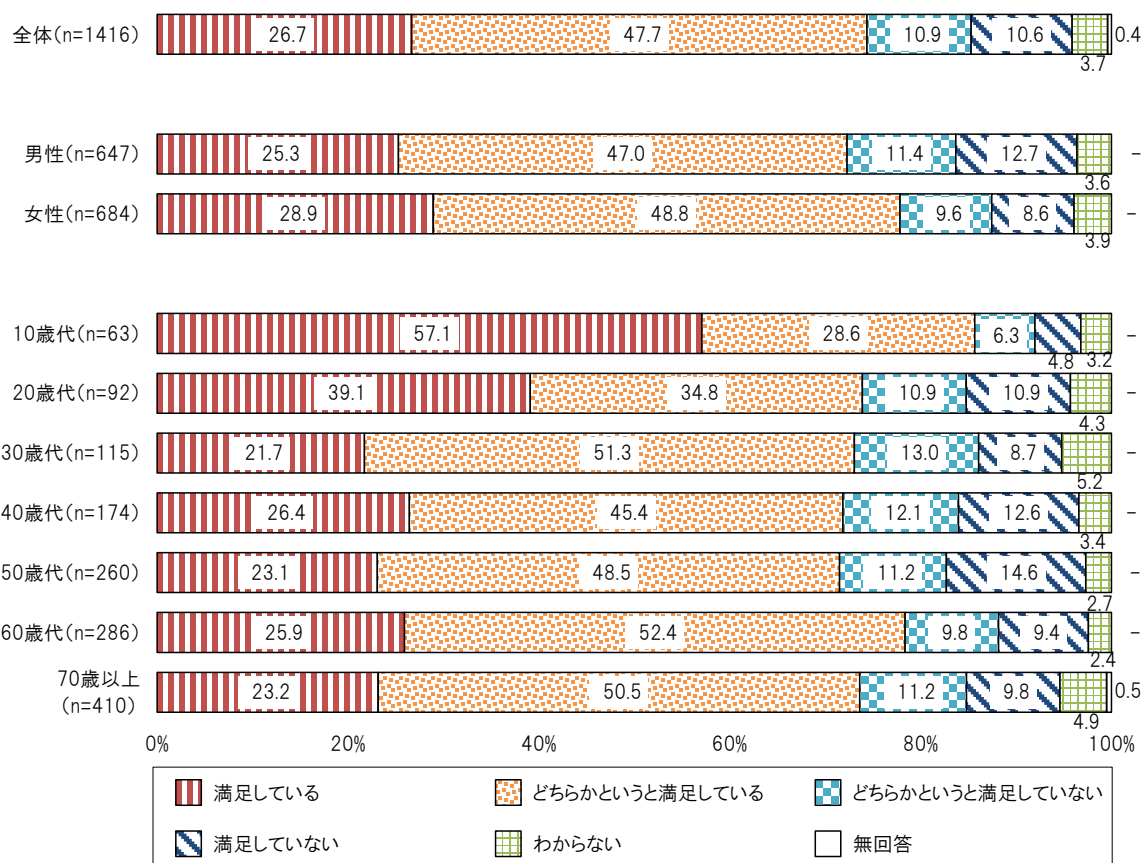


(2)現在の生活に満足していますか。(○は1つだけ)

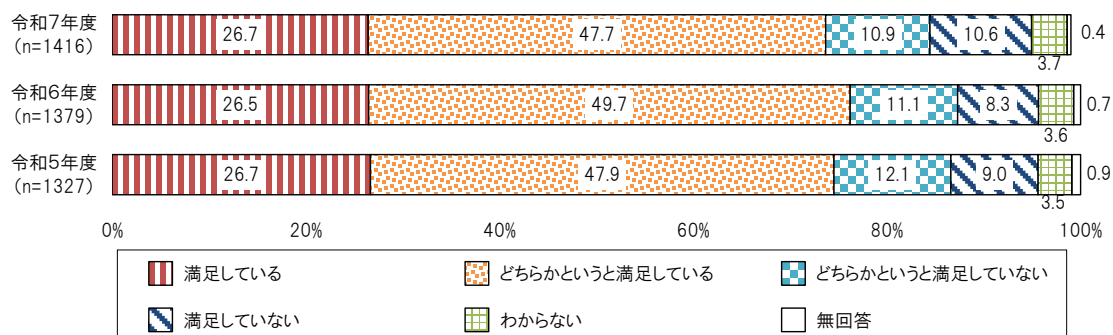
「どちらかという満足している」が 47.7%と最も高く、ついで「満足している」が 26.7%、「どちらかという満足していない」が 10.9%となっている。

性別にみると、「満足している」「どちらかという満足している」の合計の割合は男性が 72.3%、女性が 77.7%で女性の方が男性よりも高くなっている。

年代別にみると、10 歳代は「満足している」の割合が高く、他の年代よりも 20～30 ポイントほど高くなっている。「満足している」「どちらかという満足している」を合計した割合は 10 歳代を除いて大きな差はないが若干 60 歳代が高くなっている。



前回と比較すると、「満足している」と「どちらかという満足している」を合計した割合は前回が 76.2%であったのに対し今回は 74.4%であり、前回より 1.8 ポイント低下している。

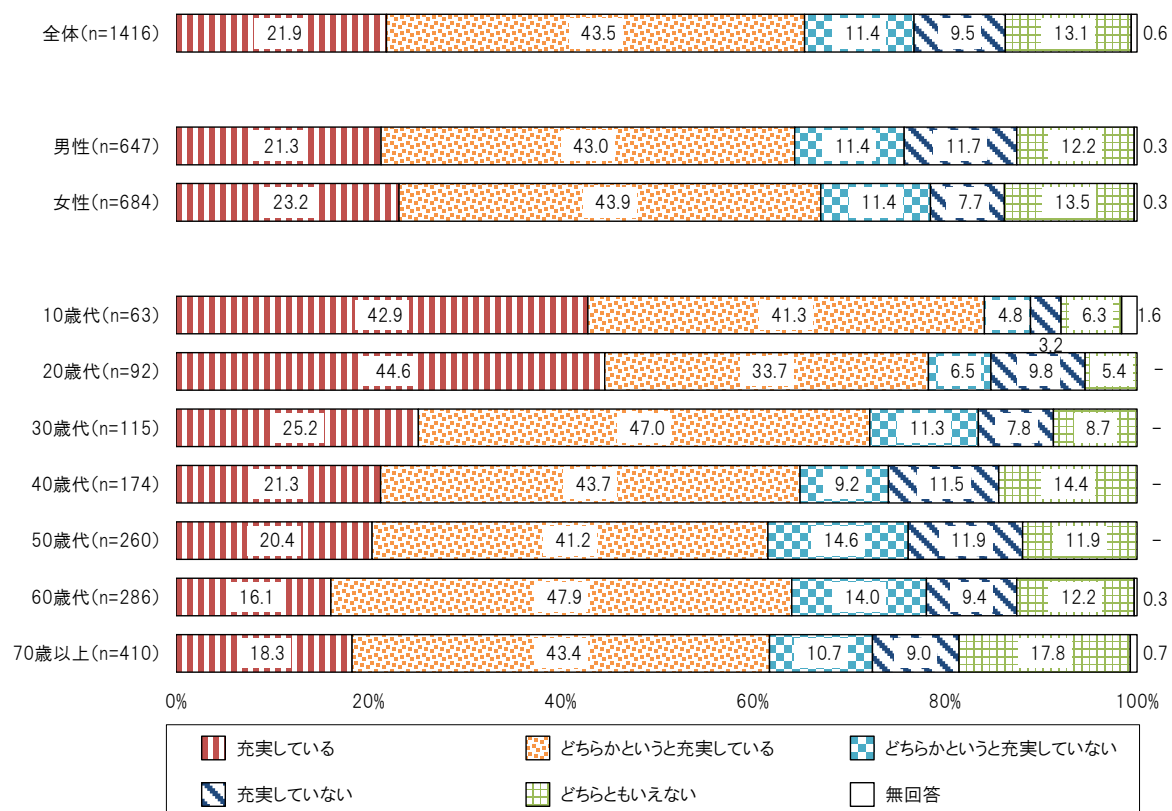


### (3)余暇は充実していますか。(○は1つだけ)

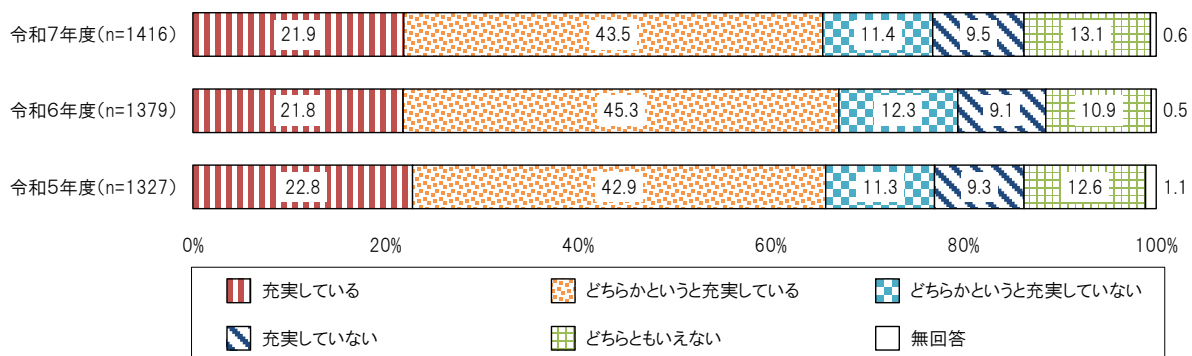
「どちらかという充実している」が43.5%と最も高く、ついで「充実している」が21.9%となっている。

性別でみると、「充実している」「どちらかという充実している」の合計の割合は、男性が64.3%、女性が67.1%で女性の方が男性よりも若干高くなっている。

年代別にみると、「充実している」「どちらかという充実している」の合計の割合は10歳代、20歳代で高くなっている。その後年代が上がるにつれてその割合は減少する傾向となっている。



前回と比較すると、「充実している」「どちらかという充実している」の合計の割合は前回が67.1%であったのに対し今回は65.4%と1.7ポイント低下している。

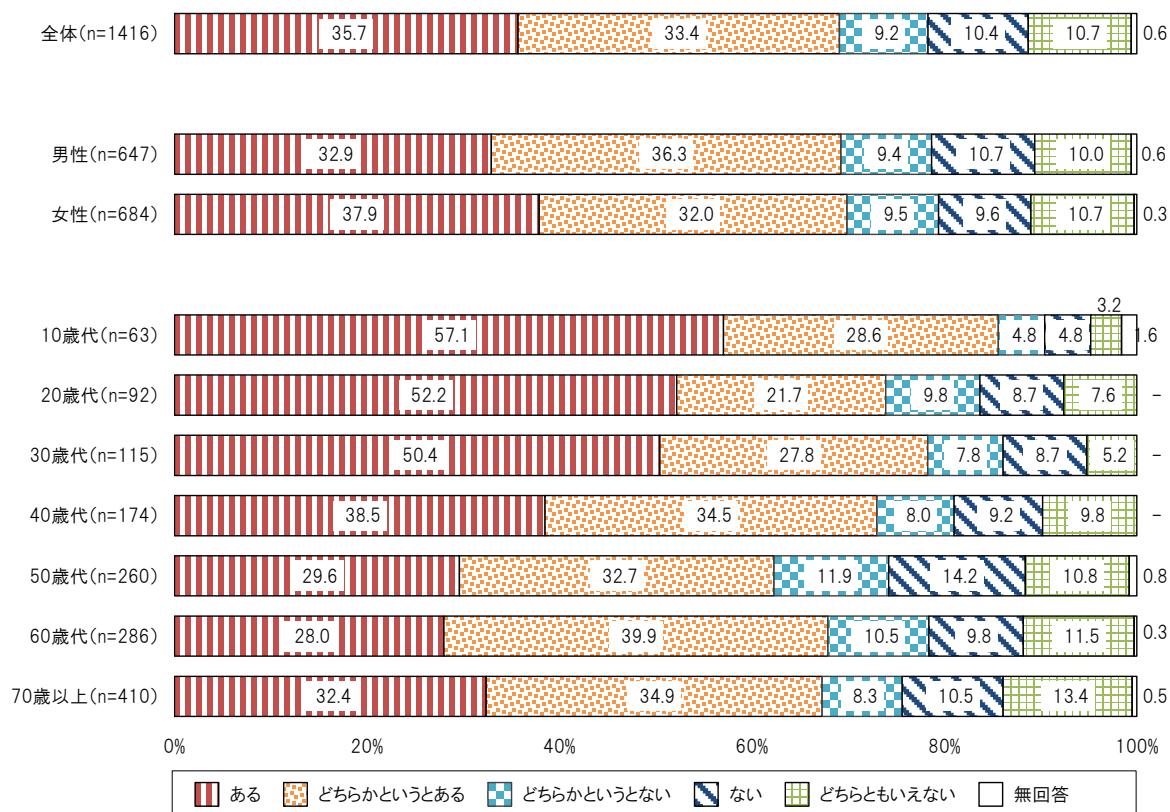


(4)生きがいにしているものはありますか。(○は1つだけ)

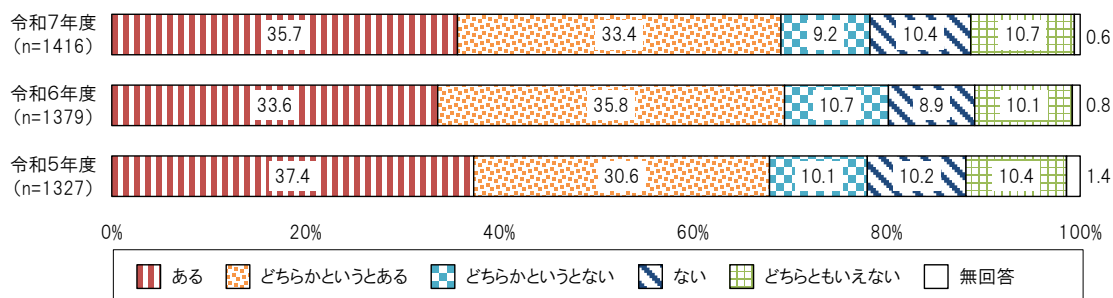
「ある」が 35.7%で最も高く、ついで「どちらかというところ」が 33.4%となっている。

性別にみると、「ある」「どちらかというところ」の合計の割合をみると、男性が 69.2%、女性が 69.9%で女性の方が男性よりも若干高くなっている。

年代別にみると、10 歳代で「ある」の割合が最も高く 57.1%となっている。「ある」「どちらかというところ」の合計の割合をみると、10 歳代が 85.7%で最も高く、それ以降は年代が上がるほど割合が低くなる傾向となっている。



前回と比較すると、「ある」「どちらかというところ」を合計した割合は、前回は 69.4%であったのに対し今回は 69.1%と若干低下している。



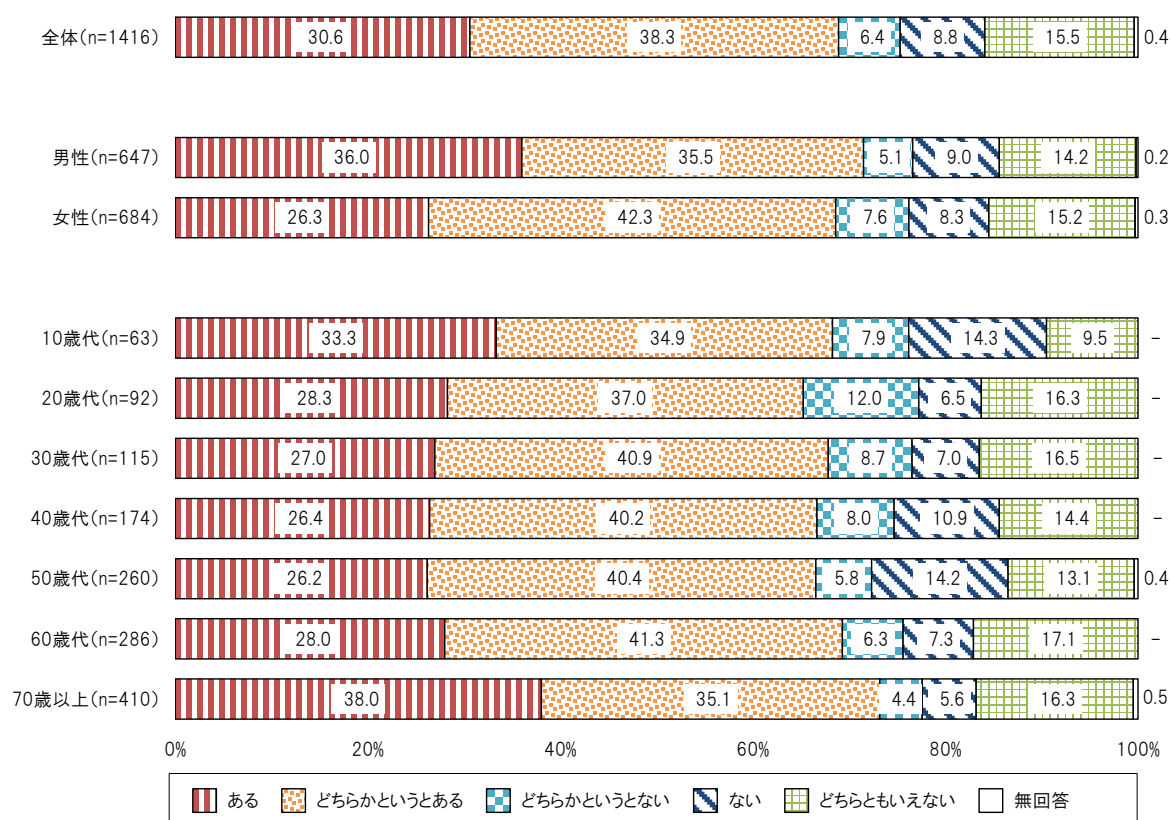


(5)地域への愛着はありますか。(〇は1つだけ)

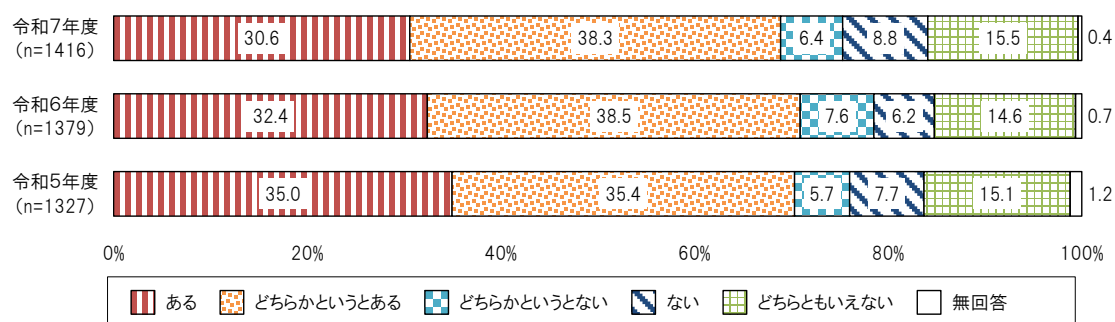
「どちらかというところ」が 38.3%と最も高く、ついで「ある」が 30.6%、「どちらともいえない」が 15.5%となっている。

性別にみると、「ある」「どちらかというところ」の合計の割合は、男性が 71.5%、女性が 68.6%で男性の方が女性よりも 2.9 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「ある」「どちらかというところ」の合計の割合は 70 歳以上が最も高く 73.1%であり、ついで 60 歳代で 69.3%となっている。「ある」の割合は 10 歳代以降徐々に低くなり 50 歳代が最も低く、それ以降の年代では年代が上がると高くなっている。



前回と比較すると、「ある」「どちらかというところ」を合計した割合は、前回は 70.9%であり今回は 68.9%と若干低くなっている。

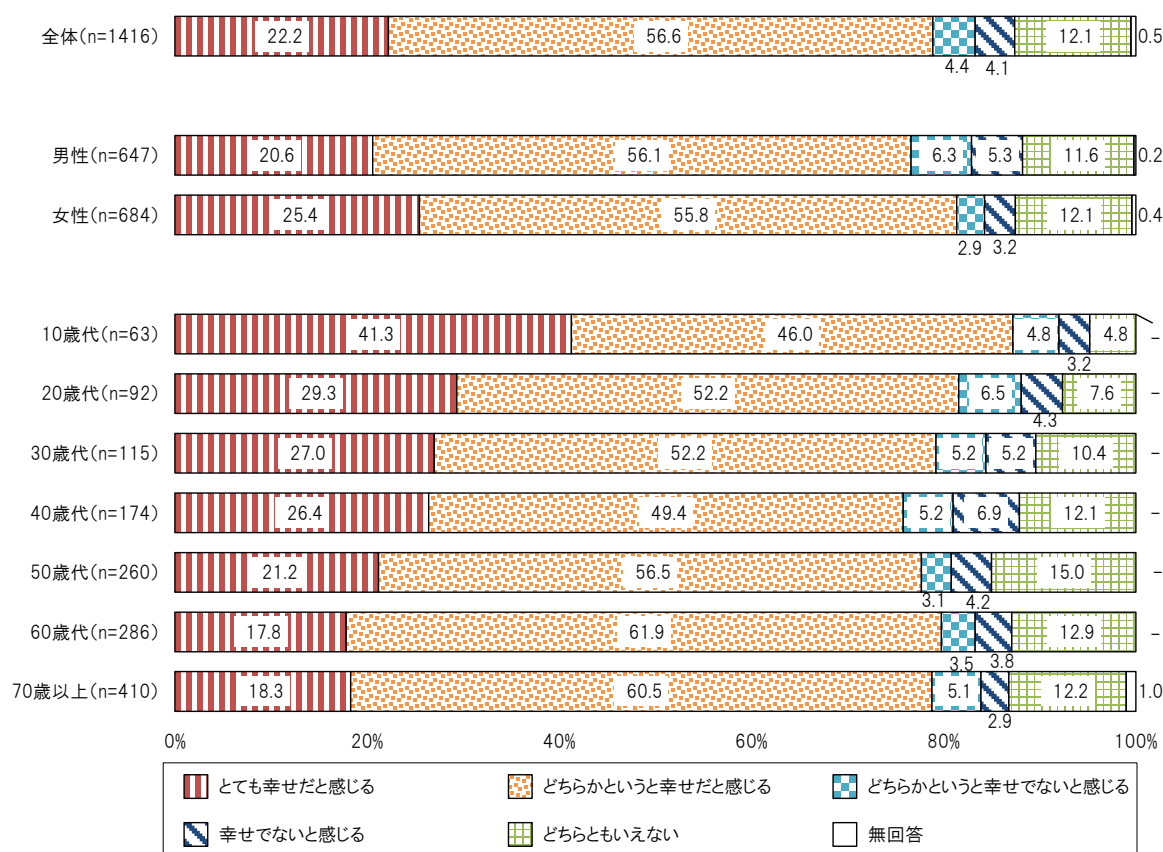


(6)あなたは今、幸せだと感じますか。(○は1つだけ)

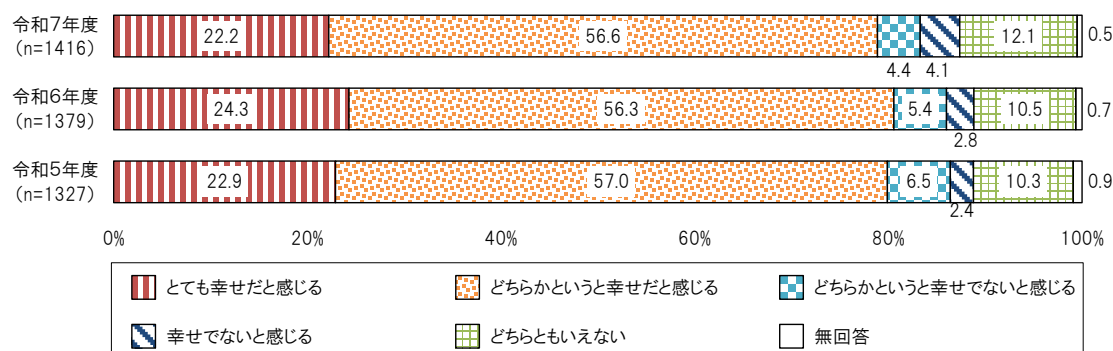
「どちらかという幸せだと感じる」が 56.6%と最も高く、ついで「とても幸せだと感じる」が 22.2%、「どちらともいえない」が 12.1%となっている。

性別にみると、「とても幸せだと感じる」「どちらかという幸せだと感じる」の合計の割合は、男性が 76.7%、女性が 81.2%で女性の方が男性よりも 4.5 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「とても幸せだと感じる」「どちらかという幸せだと感じる」の合計の割合は 10 歳代で最も高く、40 歳代で最も低くなっている。



前回と比較すると、「とても幸せだと感じる」「どちらかという幸せだと感じる」の合計の割合をみると、前回は 80.6%であったのに対し今回は 78.8%と 1.8 ポイント低下している。



(7) 幸福な生活のために必要なことはどんなことだと思いますか。(〇は3つまで)

「健康であること」が 84.7%で最も高く、ついで「生活に経済的な余裕があること」が 45.1%、「家族との関係が良好なこと」が 38.4%となっている。

前回と比べると、上位3項目については項目、順番いずれも同じであった。「生きがいがあること」「仕事にやりがいを感じる」「社会に貢献していると感じること」などで前回から増加しており、一方で「頼れる人がいること」「健康であること」「住まいがあること」などで前回から減少している。

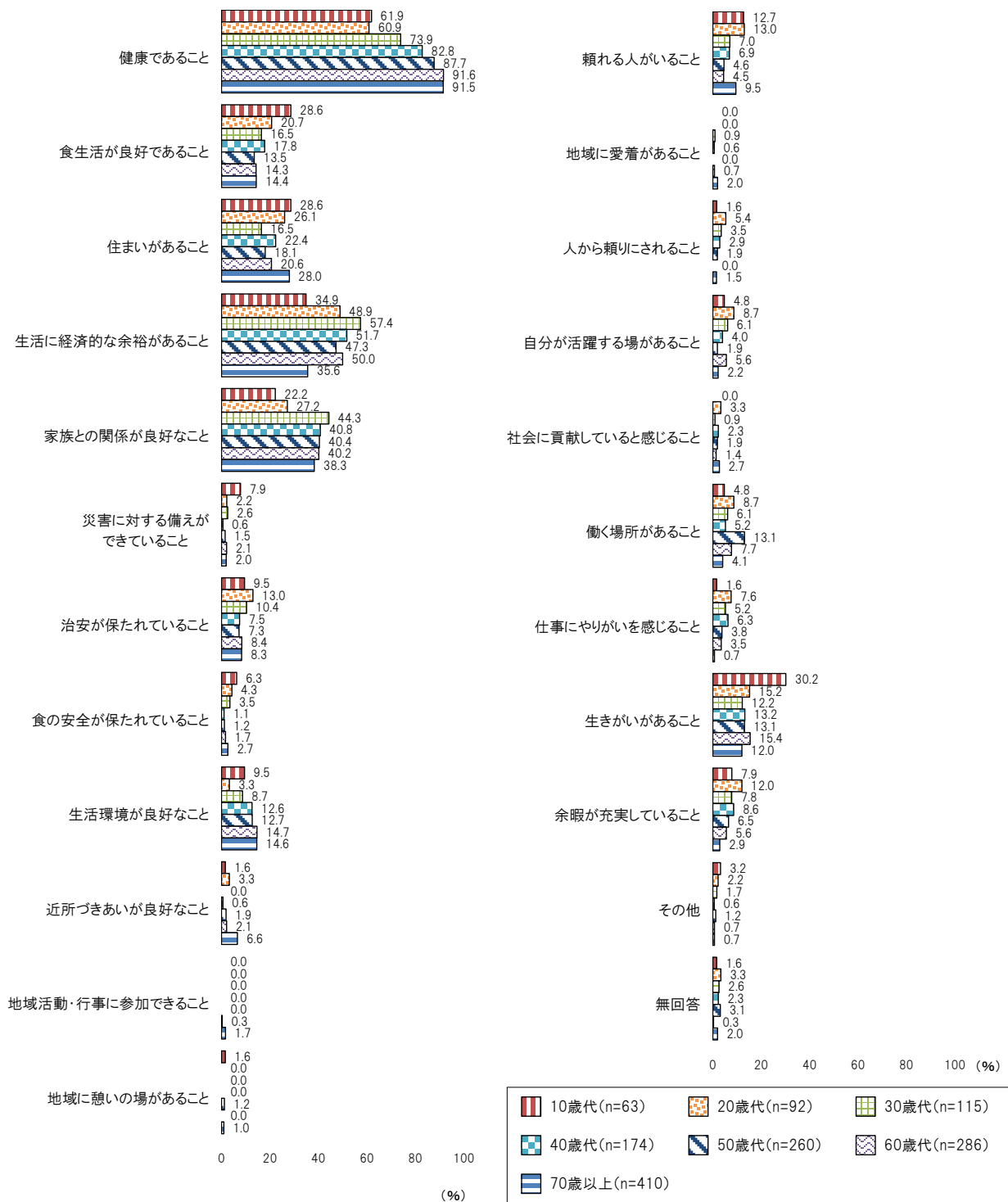
性別にみると、上位3項目については項目、順番いずれも同じであった。

年代別にみると、いずれの年代でも「健康であること」が最も高い。2番目は 70 歳以上を除く年代で「生活に経済的な余裕があること」となっており、70 歳以上では「家族との関係が良好なこと」となっている。10 歳代では3番目に「生きがいがあること」が入ってきている。

#### <上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		健康であること	84.7%	生活に経済的な余裕があること	45.1%	家族との関係が良好なこと	38.4%
性別	男性	健康であること	85.6%	生活に経済的な余裕があること	47.6%	家族との関係が良好なこと	35.2%
	女性	健康であること	84.2%	生活に経済的な余裕があること	43.4%	家族との関係が良好なこと	41.8%
年代別	10 歳代	健康であること	61.9%	生活に経済的な余裕があること	34.9%	生きがいがあること	30.2%
	20 歳代	健康であること	60.9%	生活に経済的な余裕があること	48.9%	家族との関係が良好なこと	27.2%
	30 歳代	健康であること	73.9%	生活に経済的な余裕があること	57.4%	家族との関係が良好なこと	44.3%
	40 歳代	健康であること	82.8%	生活に経済的な余裕があること	51.7%	家族との関係が良好なこと	40.8%
	50 歳代	健康であること	87.7%	生活に経済的な余裕があること	47.3%	家族との関係が良好なこと	40.4%
	60 歳代	健康であること	91.6%	生活に経済的な余裕があること	50.0%	家族との関係が良好なこと	40.2%
	70 歳以上	健康であること	91.5%	家族との関係が良好なこと	38.3%	生活に経済的な余裕があること	35.6%





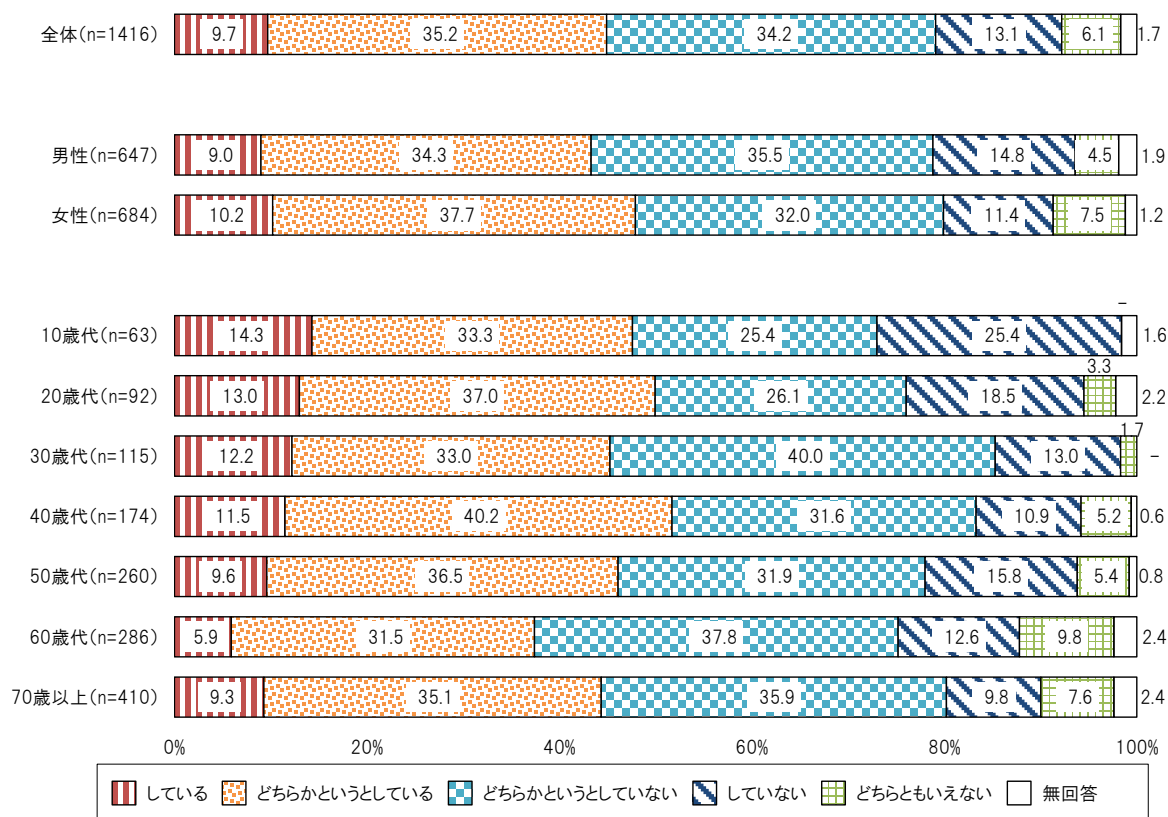
問3 あなたのふだんの暮らしで心がけていることについておうかがいします。

(1) 日ごろから災害に対する備えをしていますか。(○は1つだけ)

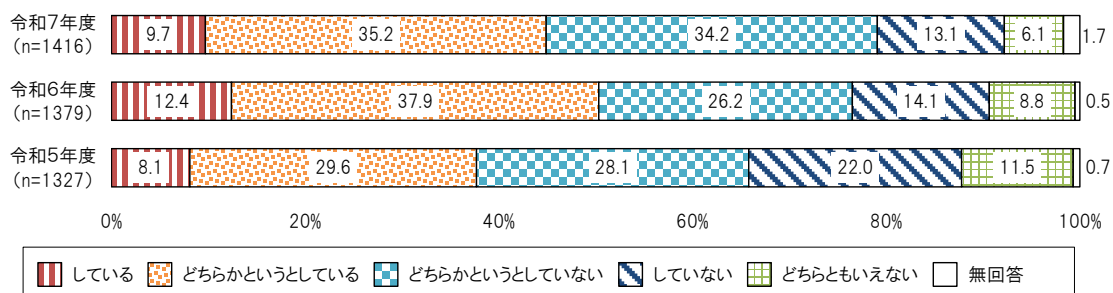
「どちらかというとしている」が 35.2%で最も高く、ついで「どちらかというとしていない」が 34.2%、「していない」が 13.1%となっている。

性別にみると、「している」「どちらかというとしている」の合計の割合は、男性が 43.3%、女性が 47.9%で男性の方が女性よりも 4.6 ポイント低くなっている。

年代別にみると、「している」「どちらかというとしている」の合計の割合は 40 歳代で最も高く 51.7%であり、ついで 20 歳代で 50.0%となっている。一方、60 歳代が 37.4%で最も低くなり、最も高い 40 歳代と最も低い 60 歳代では 14.3 ポイントの差が生じている。



前回と比較すると、「している」「どちらかというとしている」の合計の割合は、前회가 50.3%であったのに対し今回は 44.9%と 5.4 ポイント低下している。

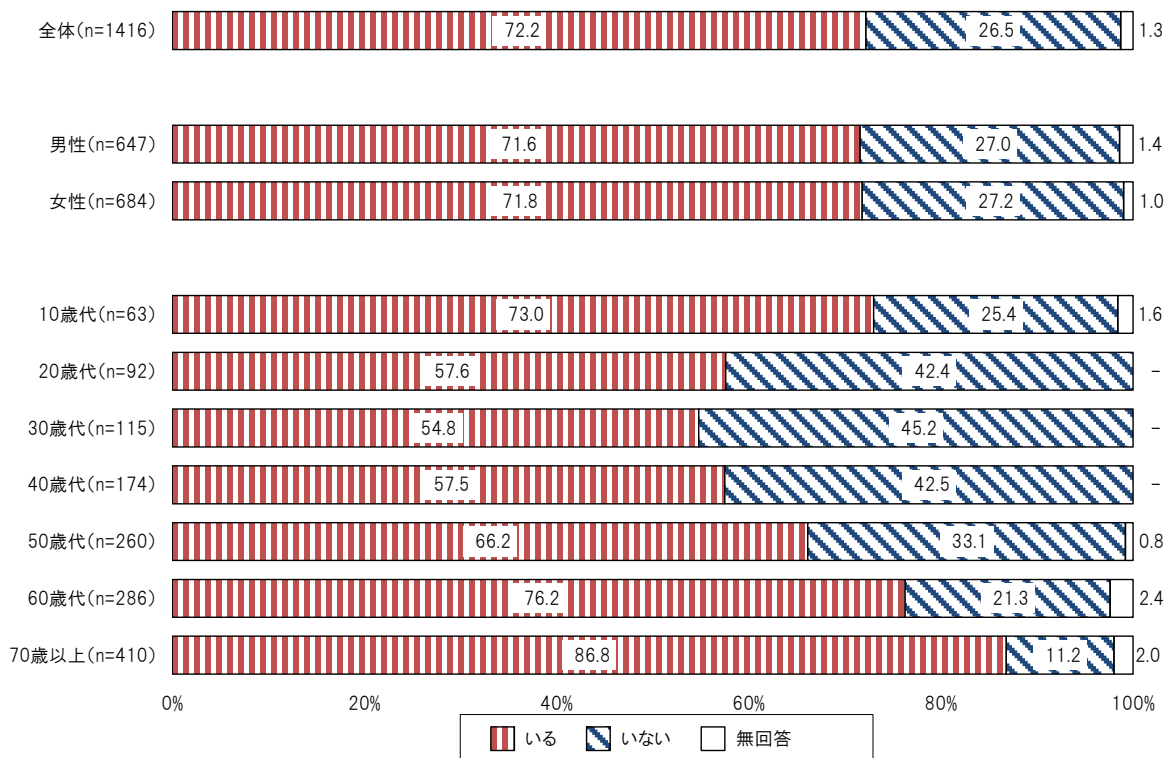


(2) かかりつけ医がいますか。(○は1つだけ)

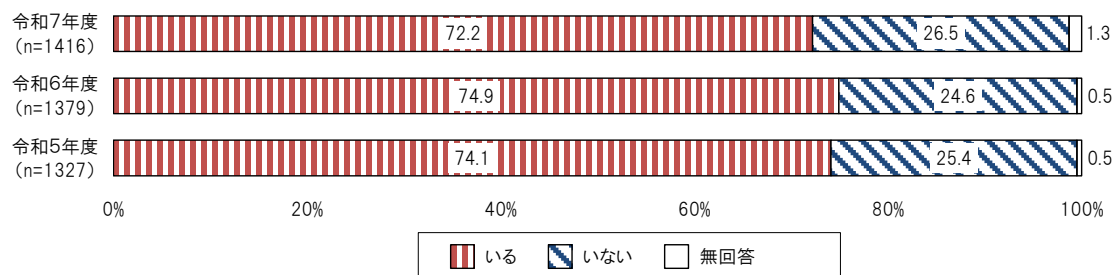
「いる」が 72.2%となっており、「いない」が 26.5%となっている。

性別にみると、「いる」の割合は男性が 71.6%、女性が 71.8%でほぼ同じとなっている。

年代別にみると、「いる」の割合は 10 歳代は 73.0%となっており、20 歳代から 40 歳代では 50%台となっている。それ以降は年代が上がるほど割合が高くなっている。



前回と比較すると、「いる」の割合は前回が 74.9%であったのに対し今回は 72.2%と 2.7 ポイント低下している。



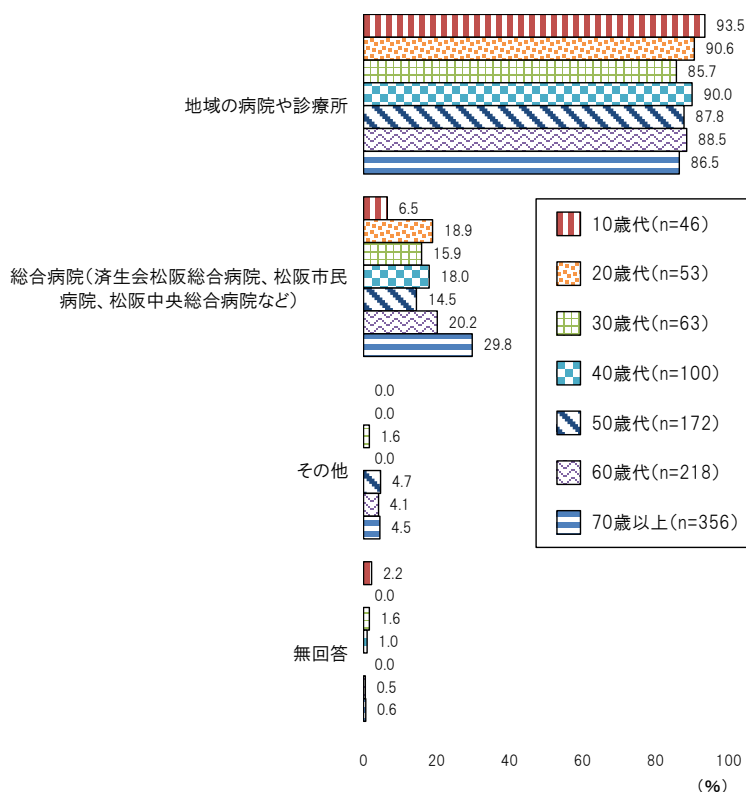
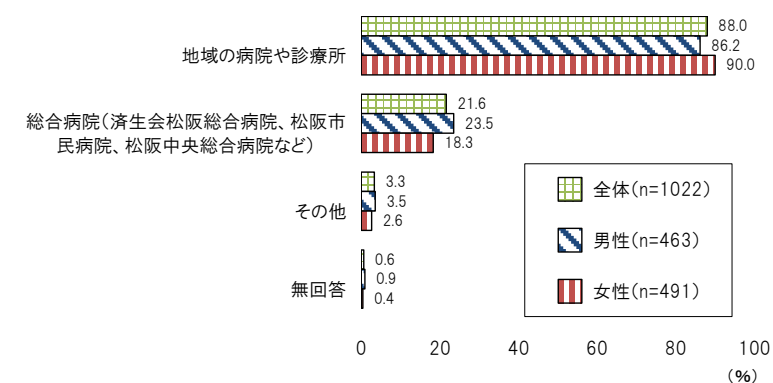
(3) (2)で「1. いる」と答えた方におうかがいします。

かかりつけの医療機関を教えてください。(○はあてはまるものすべて)

「地域の病院や診療所」が 88.0%で最も高く、ついで「総合病院(済生会松阪総合病院、松阪市民病院、松阪中央総合病院など)」が 21.6%となっている。

性別にみると、「地域の病院や診療所」の割合は、男性が 86.2%、女性が 90.0%で女性の方が高く、「総合病院(済生会松阪総合病院、松阪市民病院、松阪中央総合病院など)」は男性が 23.5%、女性が 18.3%で男性の方が高くなっている。

年代別にみると、「地域の病院や診療所」の割合は年代ごとの差は比較的小さい。「総合病院(済生会松阪総合病院、松阪市民病院、松阪中央総合病院など)」の割合が 60 歳代、70 歳以上で高くなる。



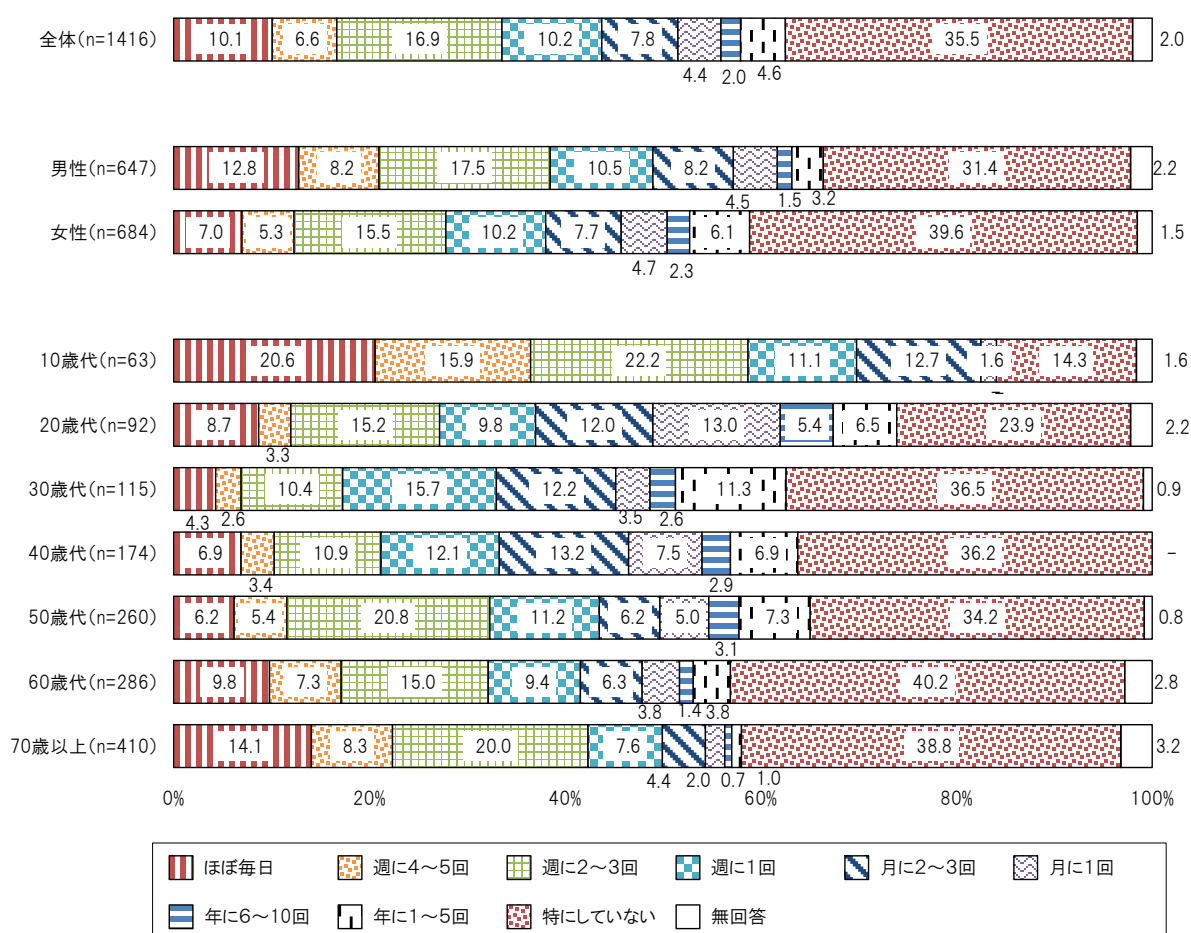


(4)あなたはこの1年間で運動・スポーツをどの程度行っていますか。(〇は1つだけ)

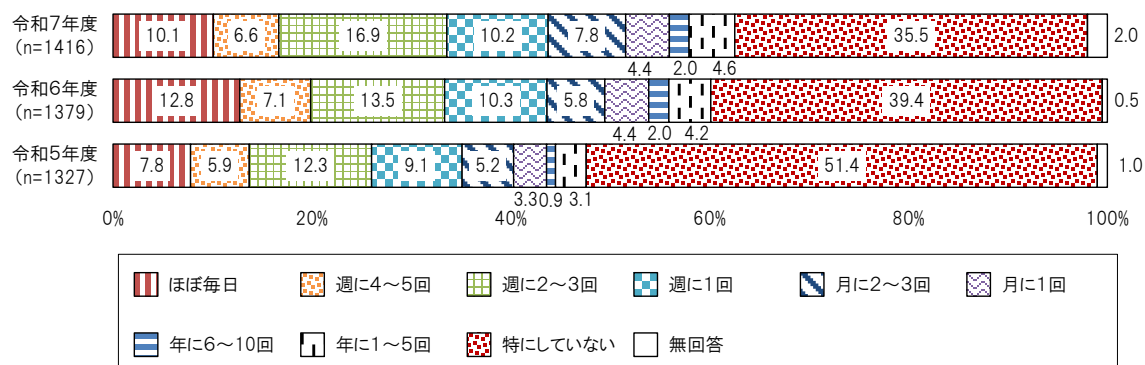
「特にしていない」が35.5%と最も高く、ついで「週に2～3回」が16.9%、「週に1回」が10.2%となっている。

性別にみると、女性では「特にしていない」が39.6%と4割ほどとなっており、男性に比べて8.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、30歳以上の年代では「特にしていない」の割合が3割を超えている。また、10歳代では「ほぼ毎日」が20.6%と他の世代と比べ高くなっている。一方、「ほぼ毎日」「週に4～5回」「週に2～3回」「週に1回」の合計の割合をみると、30歳代が最も低く33.0%であるが、それ以降の年代では60歳代を除き年代が上がるにつれ割合が高くなり70歳以上では50.0%となっている。



前回と比較すると、「特にしていない」は前回は39.4%であったのに対し今回は35.5%と3.9ポイント減少している。

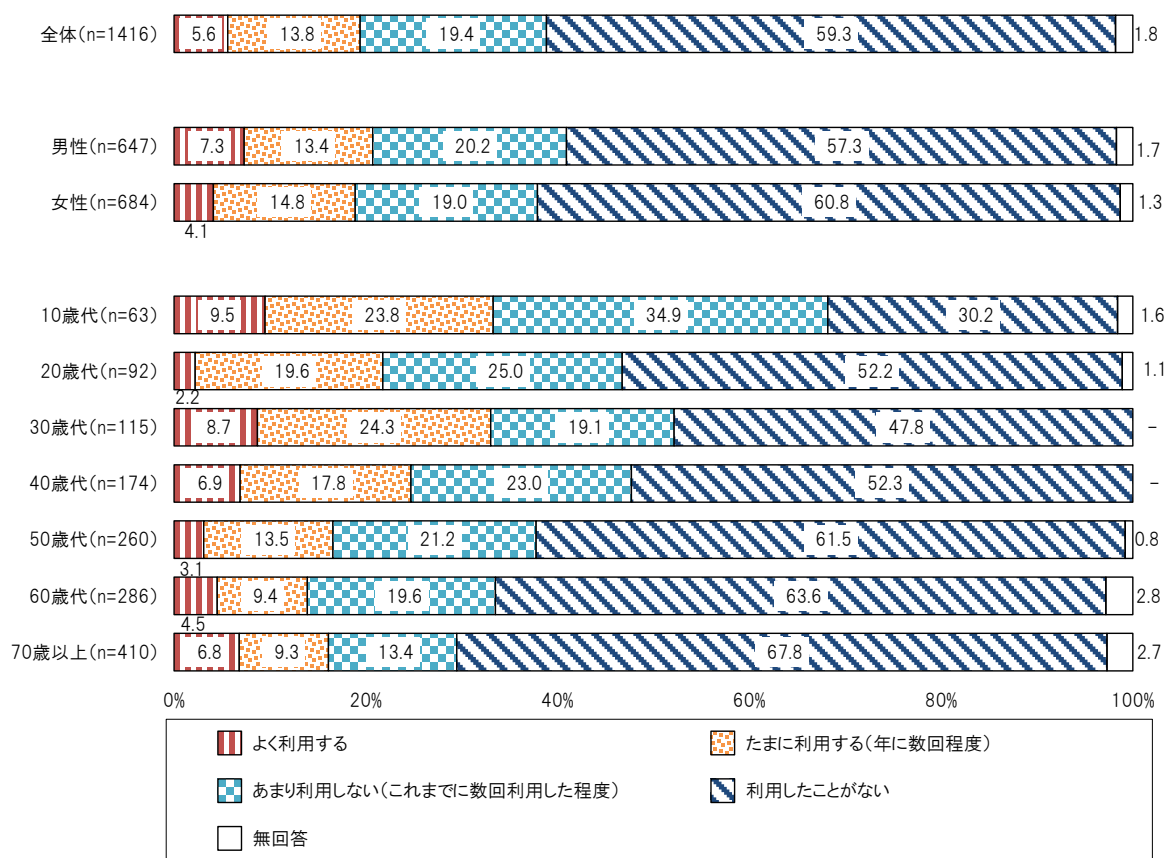


(5)最近(この2～3年間で)、松阪市の公共スポーツ施設を利用していますか。(○は1つだけ)

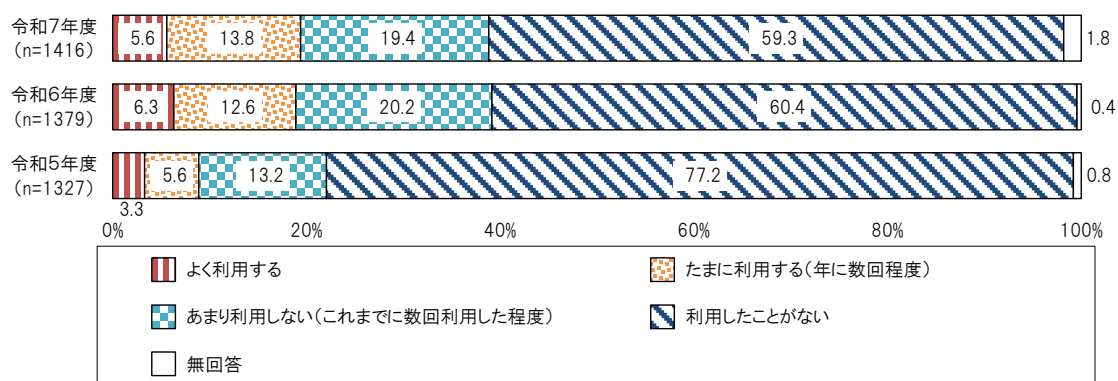
「利用したことがない」が59.3%と最も高く、ついで「あまり利用しない(これまでに数回利用した程度)」が19.4%、「たまに利用する(年に数回程度)」が13.8%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「利用したことがない」が高くなっており、いずれも6割程度となっている。

年代別にみると、10歳代で「よく利用する」の割合が9.5%と高くなっている。50歳代以上では「利用したことがない」が6割を超えている。



前回と比較すると、「よく利用する」「たまに利用する」の合計の割合は、前回は18.9%であったのに対し今回は19.4%と0.5ポイント増加している。



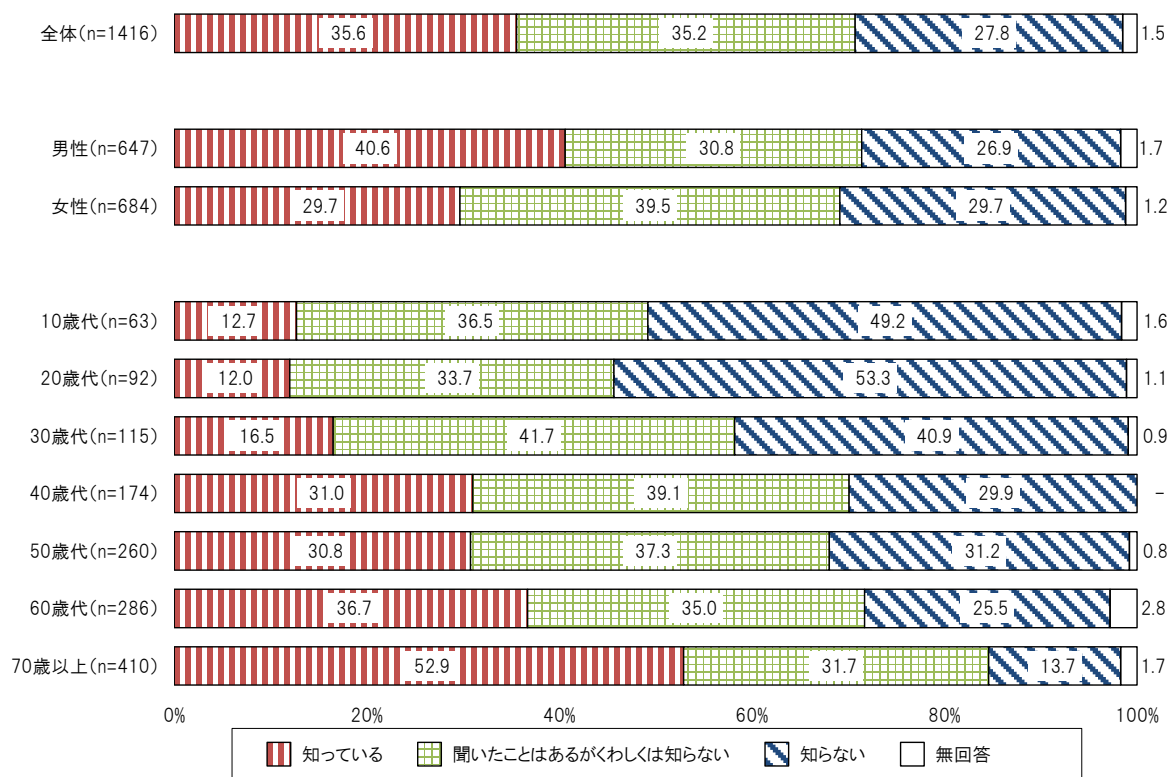
#### 問4 あなたのお住まいの地域づくりについておうかがいします。

(1)あなたのお住まいの地域の住民自治協議会(まちづくり協議会)を知っていますか。(○は1つだけ)

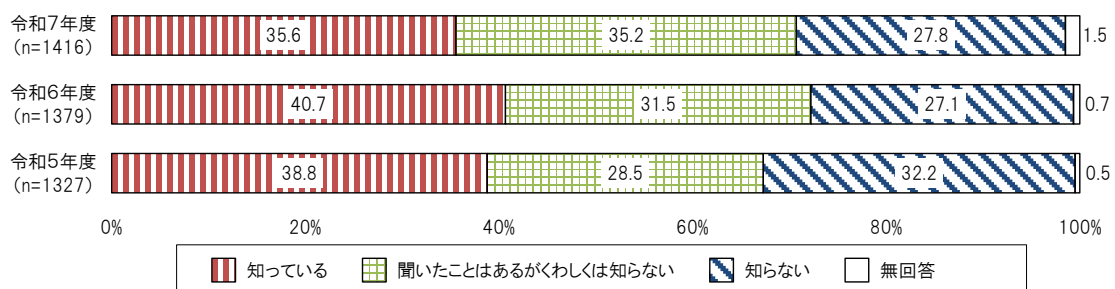
「知っている」が35.6%で最も高く、ついで「聞いたことはあるがくわしくは知らない」が35.2%、「知らない」が27.8%となっている。

性別にみると、「知っている」の割合は男性で40.6%、女性で29.7%と男性の方が女性よりも10.9ポイント高くなっている。

年代別にみると、「知っている」の割合は30歳代までは10%台と低くなっており、40歳代以降では年代が上がるにつれ割合が高くなっている。



前回と比較すると、「知っている」は5.1ポイント低下し、「知らない」は0.7ポイント上昇している。

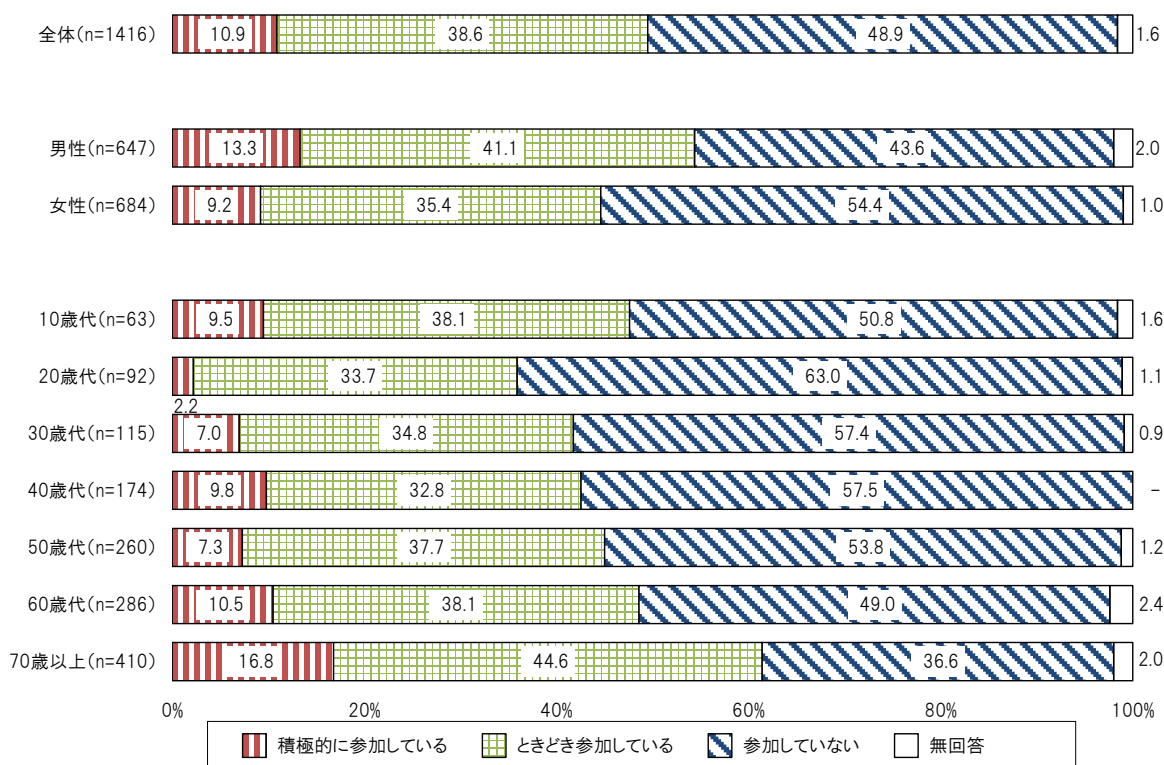


(2) あなたはお住まいの地域の住民自治協議会(まちづくり協議会)のまちづくり活動に参加していますか。(〇は1つだけ)

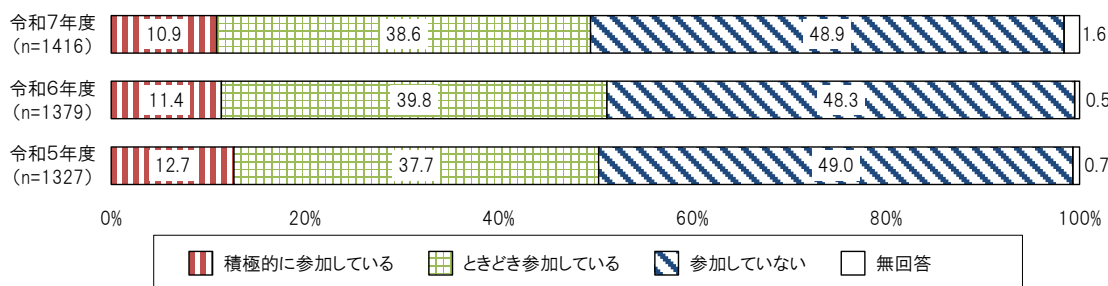
「参加していない」が 48.9%と最も高く、ついで「ときどき参加している」が 38.6%、「積極的に参加している」が 10.9%となっている。

性別にみると、「積極的に参加している」「ときどき参加している」の合計の割合は、男性が 54.4%、女性が 44.6%と男性の方が女性より 9.8 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「積極的に参加している」「ときどき参加している」の合計の割合は 20 歳代で 35.9%と最も低くなり、年代が上がるにつれ参加している割合が高くなっている。



前回と比較すると、「積極的に参加している」「ときどき参加している」の合計の割合は、前回は 51.2%であるのに対し今回は 49.5%と 1.7 ポイント低下している。



問5 市全般に関することについておうかがいします。

(1)あなたが思う松阪市の良いところはどんなことですか。(〇は3つまで)

「買い物が便利」が33.4%と最も高く、ついで「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」が32.3%、「食べ物がおいしい」が26.1%となっている。

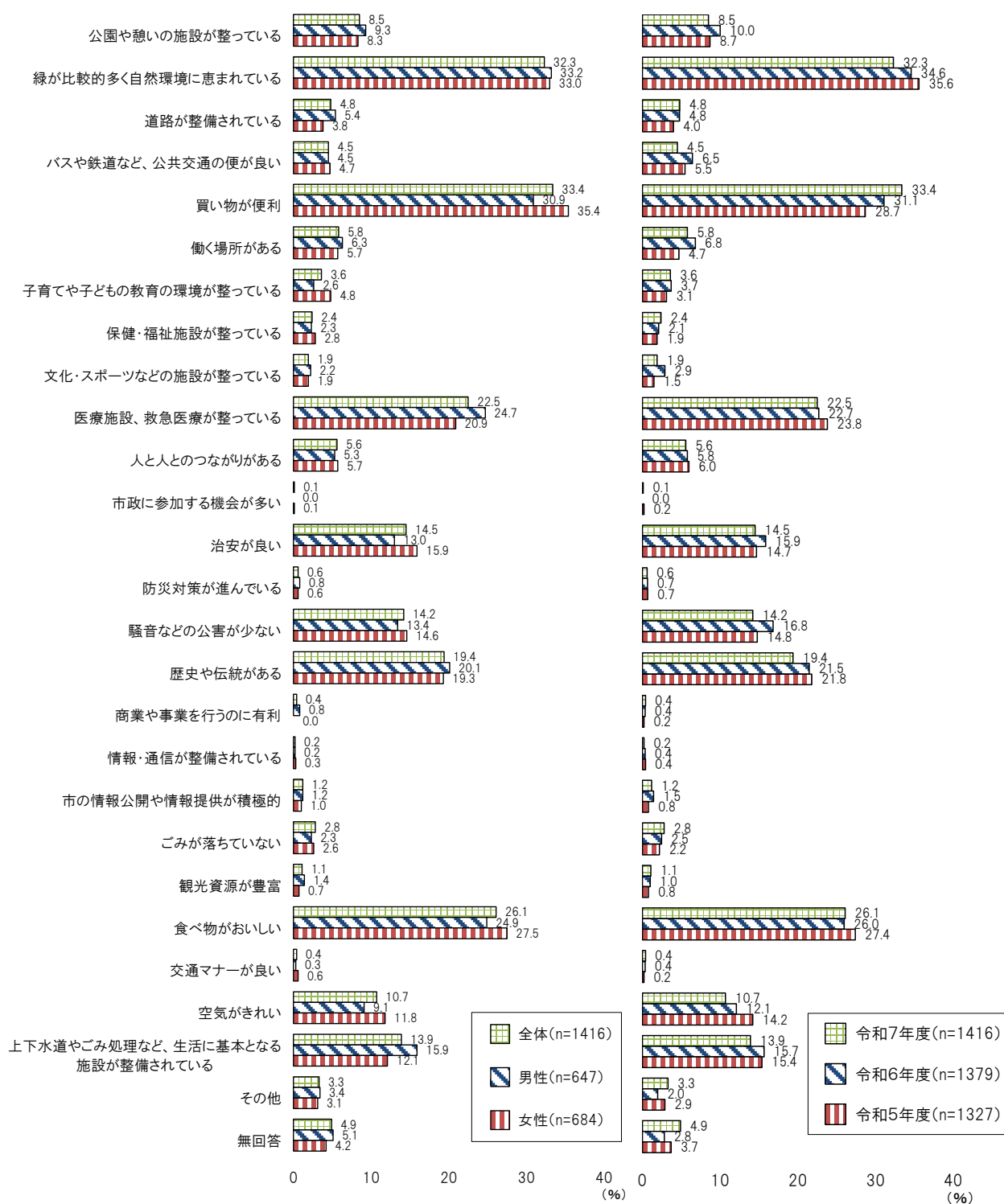
前回と比べると、上位3項目について項目は同じであり、順番は「買い物が便利」と「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」が入れ替わっている。前回に比べ「買い物が便利」などで増加しており、一方で「騒音などの公害が少ない」「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」「歴史や伝統がある」などで減少している。

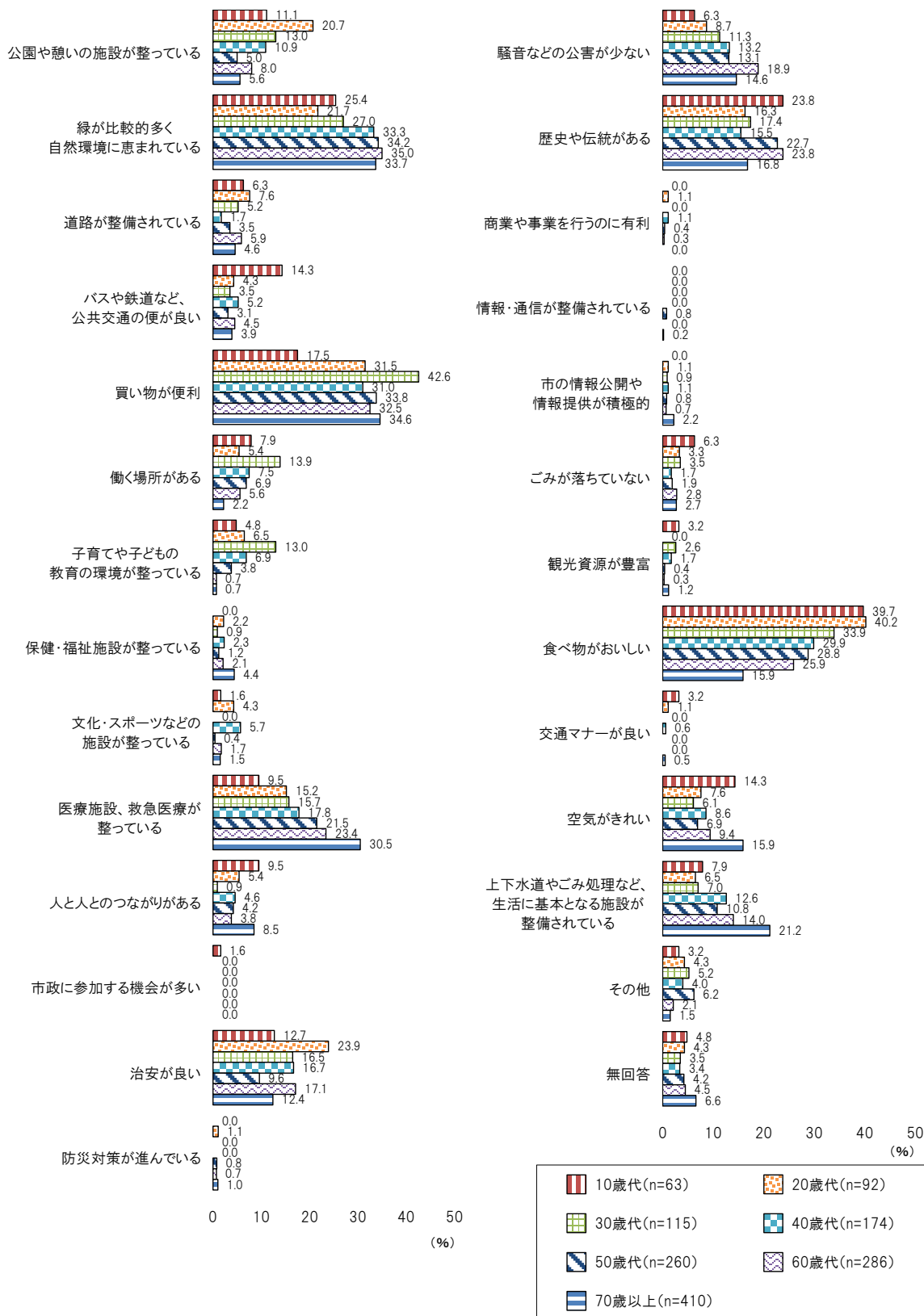
性別にみると、上位3項目について項目は同じであり、順番は1番目が男性では「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」、女性では「買い物が便利」となっている。

年代別にみると、1番目に高い項目は、10歳代、20歳代では「食べ物がおいしい」、30歳代、70歳以上では「買い物が便利」、40歳代、50歳代、60歳代では「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」となっている。

<上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		買い物が便利	33.4%	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	32.3%	食べ物がおいしい	26.1%
性別	男性	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	33.2%	買い物が便利	30.9%	食べ物がおいしい	24.9%
	女性	買い物が便利	35.4%	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	33.0%	食べ物がおいしい	27.5%
年代別	10歳代	食べ物がおいしい	39.7%	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	25.4%	歴史や伝統がある	23.8%
	20歳代	食べ物がおいしい	40.2%	買い物が便利	31.5%	治安が良い	23.9%
	30歳代	買い物が便利	42.6%	食べ物がおいしい	33.9%	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	27.0%
	40歳代	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	33.3%	買い物が便利	31.0%	食べ物がおいしい	29.9%
	50歳代	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	34.2%	買い物が便利	33.8%	食べ物がおいしい	28.8%
	60歳代	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	35.0%	買い物が便利	32.5%	食べ物がおいしい	25.9%
	70歳以上	買い物が便利	34.6%	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	33.7%	医療施設、救急医療が整っている	30.5%





(2)あなたが思う松阪市の良くないところはどんなことですか。(〇は3つまで)

「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」が 35.7%で最も高く、ついで「交通マナーが悪い」が 31.2%、「観光資源が少ない」が 12.8%となっている。

前回と比較すると、「治安が悪い」「公園や憩いの施設が整っていない」などが増加しており、一方で「観光資源が少ない」「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」「人と人とのつながりが薄い」などは減少している。

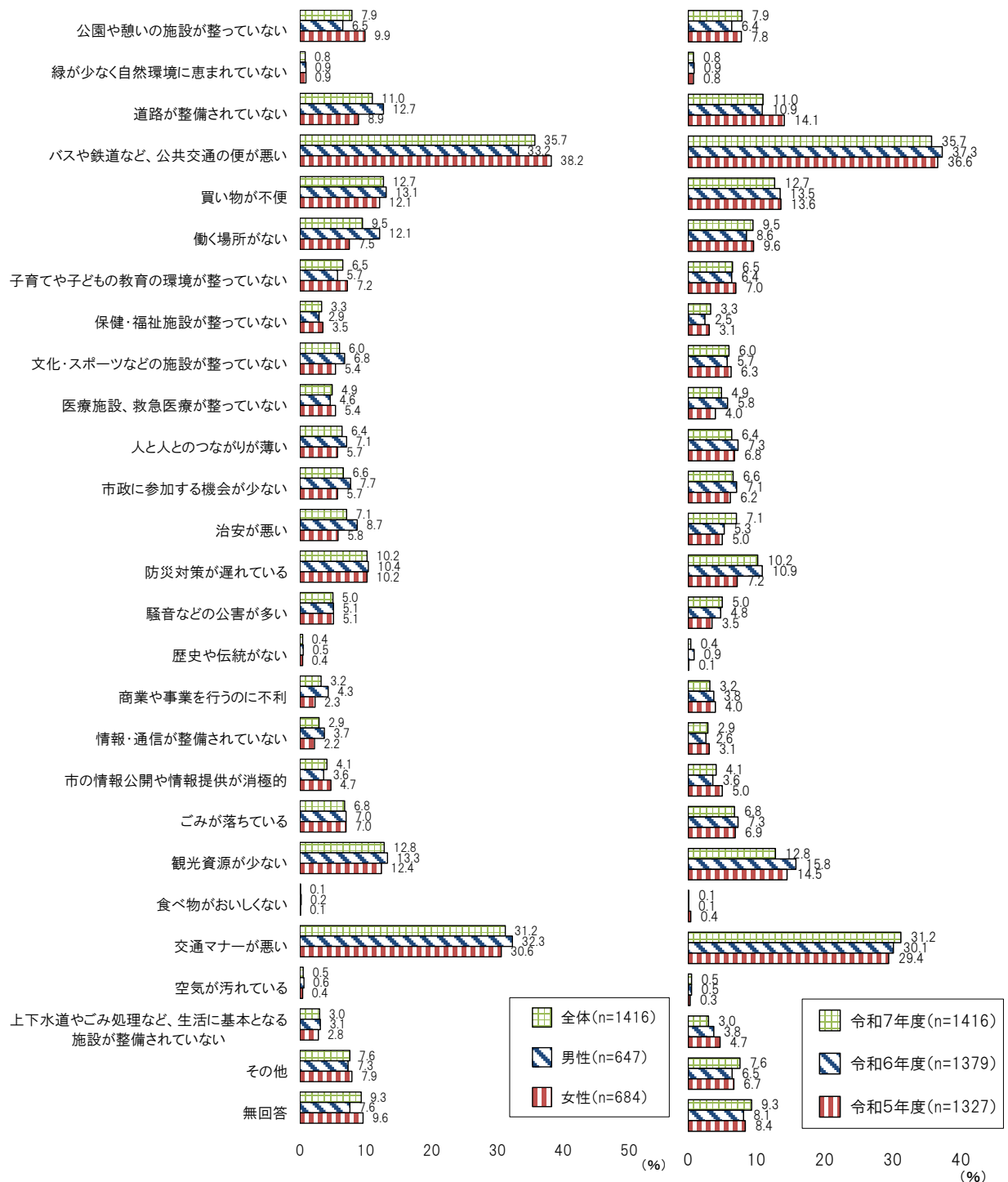
性別にみると、男女ともに上位3項目について項目、順番のいずれも同じであった。

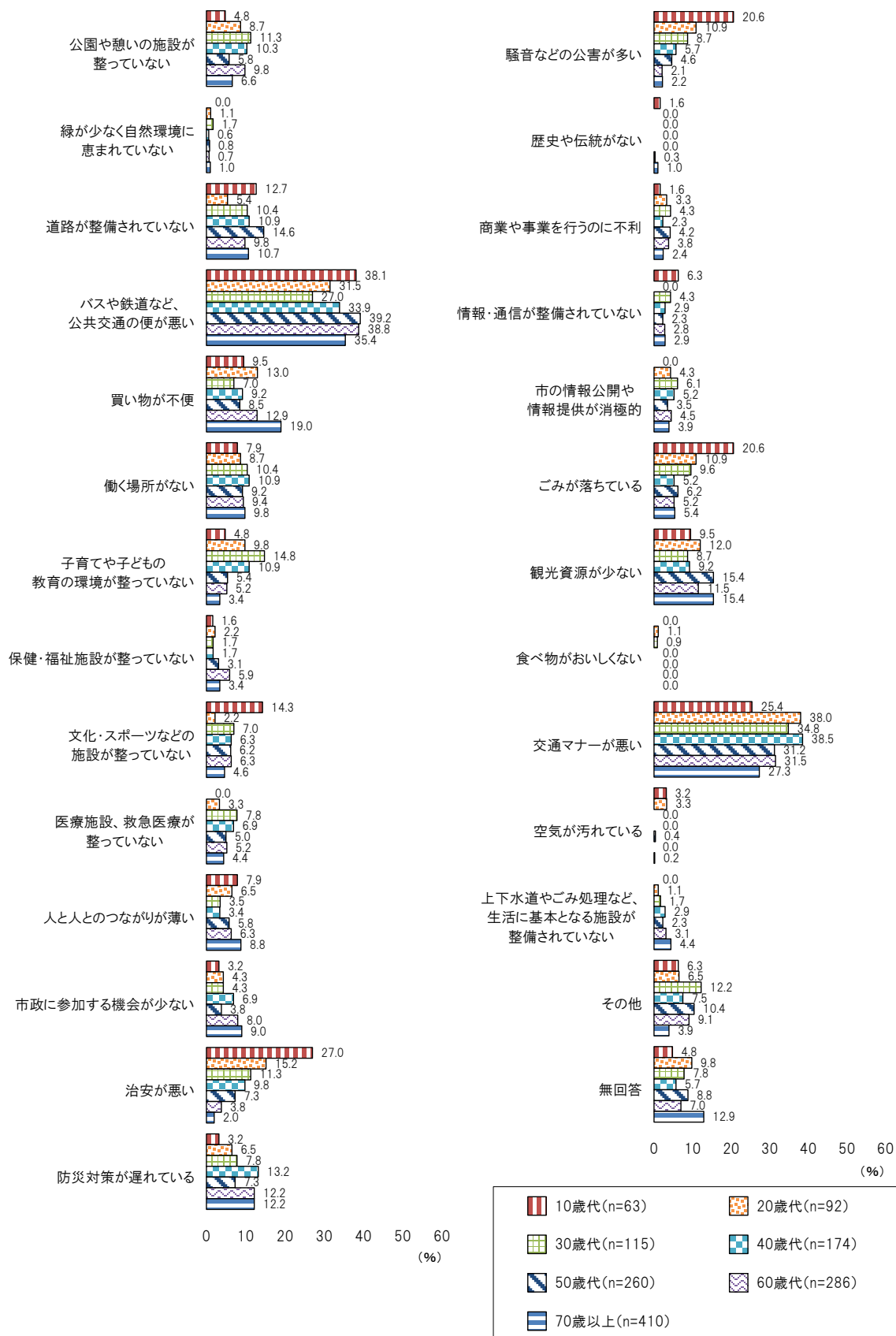
年代別にみると、1番目の項目については、10 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上では「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」であり、20 歳代、30 歳代、40 歳代では「交通マナーが悪い」であった。その他の項目では、10 歳代、20 歳代では「治安が悪い」、30 歳代では「子育てやこどもの教育の環境が整っていない」、40 歳代では「防災対策が遅れている」、60 歳代、70 歳以上では「買い物不便」などの割合が高くなっている。

<上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	35.7%	交通マナーが悪い	31.2%	観光資源が少ない	12.8%
性別	男性	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	33.2%	交通マナーが悪い	32.3%	観光資源が少ない	13.3%
	女性	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	38.2%	交通マナーが悪い	30.6%	観光資源が少ない	12.4%
年代別	10 歳代	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	38.1%	治安が悪い	27.0%	交通マナーが悪い	25.4%
	20 歳代	交通マナーが悪い	38.0%	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	31.5%	治安が悪い	15.2%
	30 歳代	交通マナーが悪い	34.8%	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	27.0%	子育てやこどもの教育の環境が整っていない	14.8%
	40 歳代	交通マナーが悪い	38.5%	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	33.9%	防災対策が遅れている	13.2%
	50 歳代	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	39.2%	交通マナーが悪い	31.2%	観光資源が少ない	15.4%
	60 歳代	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	38.8%	交通マナーが悪い	31.5%	買い物が不便	12.9%
	70 歳以上	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	35.4%	交通マナーが悪い	27.3%	買い物が不便	19.0%





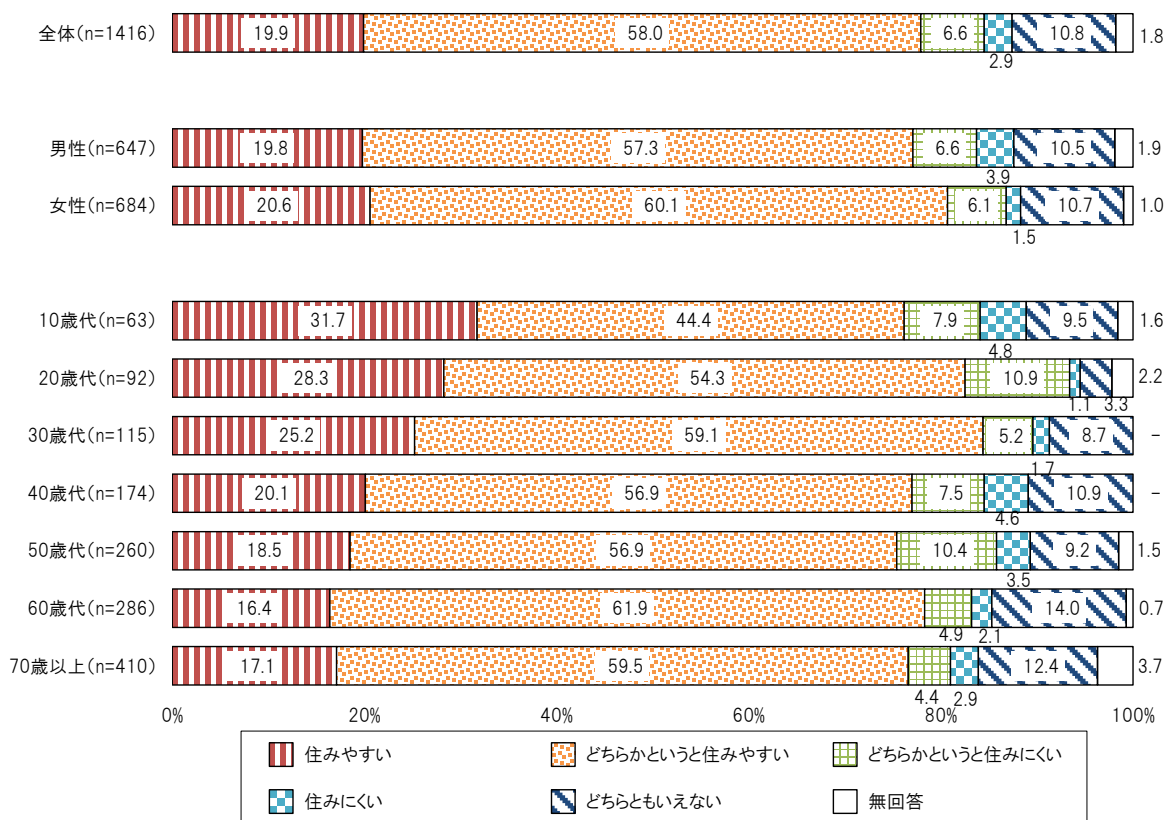


(3)あなたは総合的にみて松阪市は住みやすいところだと感じますか。(○は1つだけ)

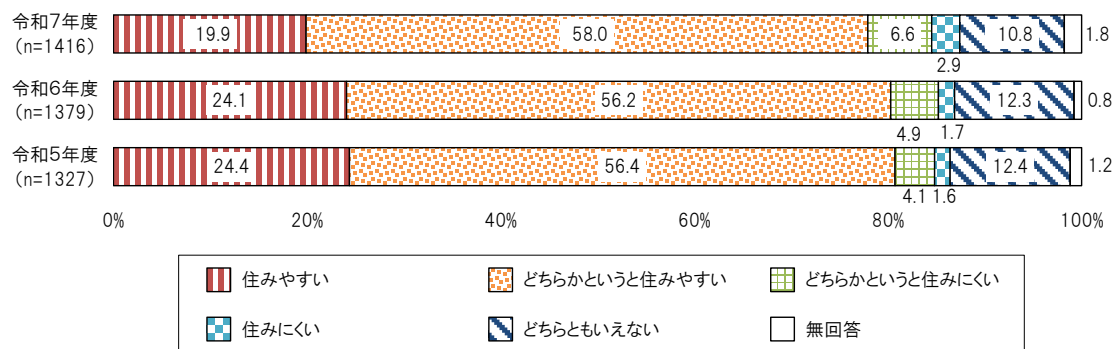
「どちらかというに住みやすい」が 58.0%と最も高く、ついで「住みやすい」が 19.9%、「どちらともいえない」が 10.8%となっている。

性別にみると、「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合は、男性で 77.1%、女性で 80.7%と女性の方が男性より 3.6 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合は、20 歳代、30 歳代で 8 割台、その他の年代で7割台となっており、30 歳代が 84.3%で最も高くなっている。



前回と比較すると、「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合は、前回は 80.3%であったのに対し今回は 77.9%と 2.4 ポイント低下している。

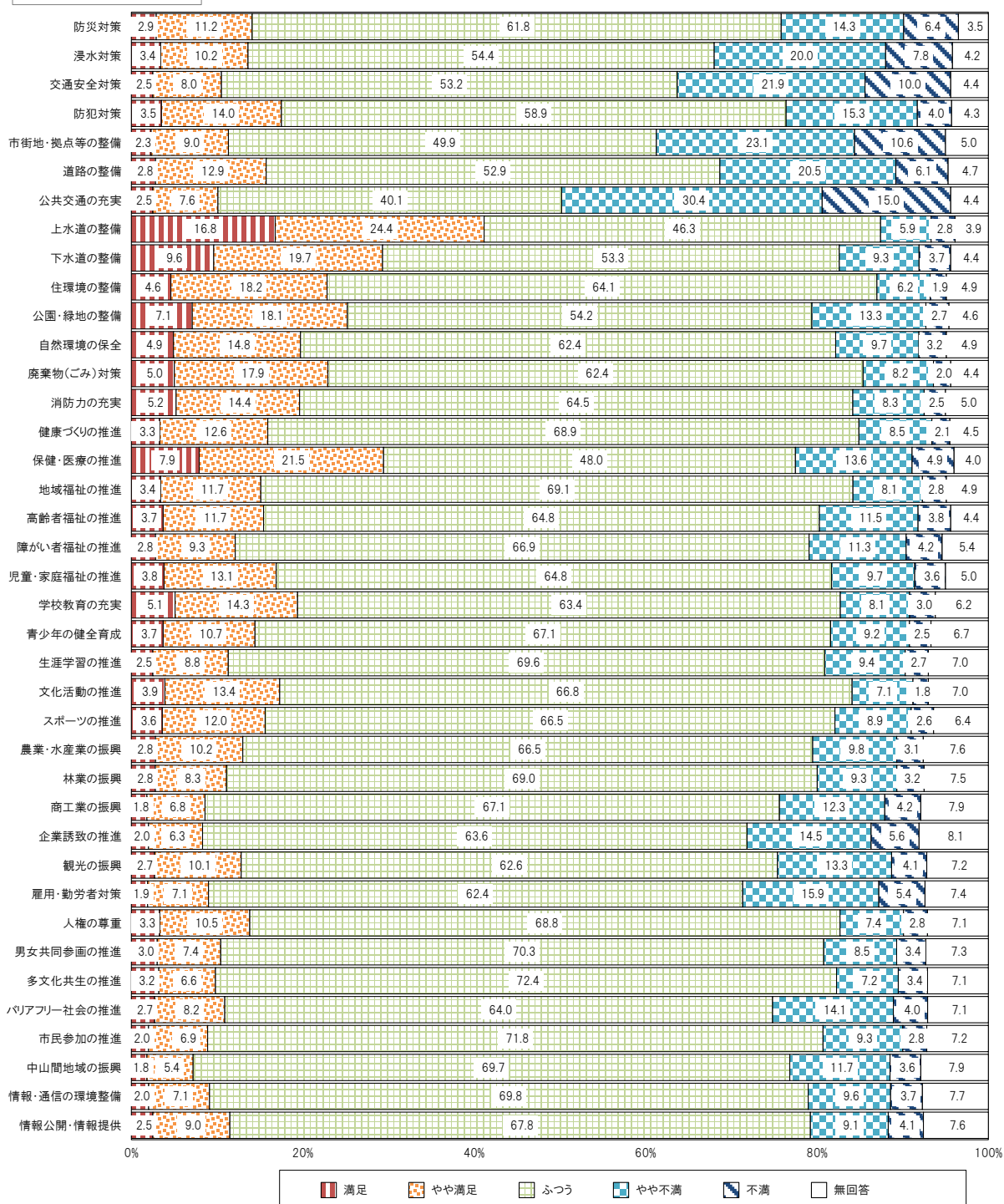


問6 松阪市の政策に対し、あなたの気持ちに最も近いものを(1)～(38)の項目について、満足度、重要度でそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

## (1)満足度

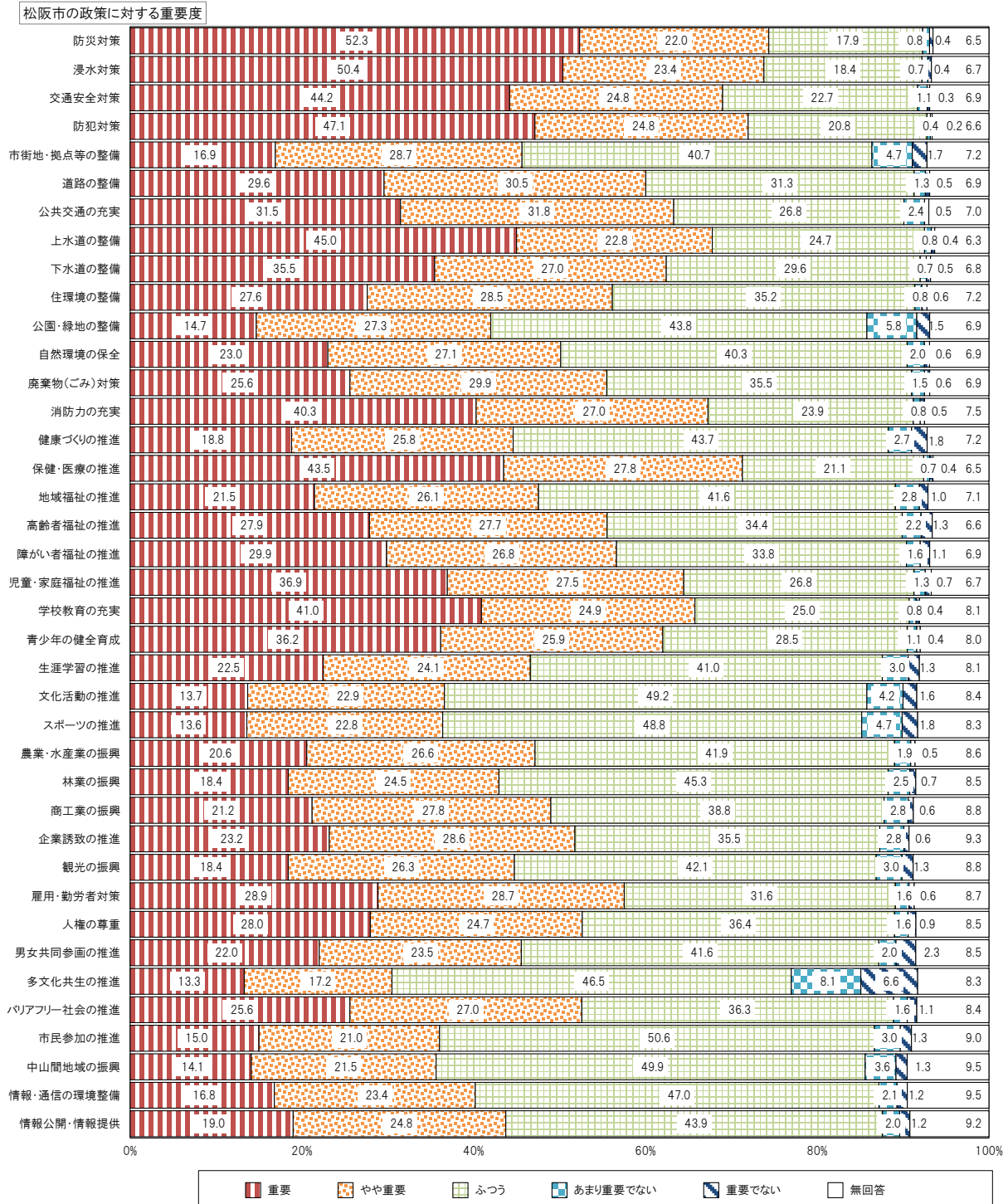
満足度(「満足」「やや満足」の合計)が高いものとして、「上水道の整備」が最も高く41.2%となっており、ついで「保健・医療の推進」が29.4%、「下水道の整備」が29.3%となっている。一方で不満度(「やや不満」「不満」)が高いものは、「公共交通の充実」が45.4%で最も高く、ついで「市街地・拠点等の整備」が33.7%、「交通安全対策」が31.9%となっている。

松阪市の政策に対する満足度



## (2)重要度

重要度(「重要」「やや重要」の合計)が高いものとして、「防災対策」が74.3%で最も高く、ついで「浸水対策」が73.8%、「防犯対策」が71.9%となっている。



施策項目ごとに、満足度と重要度のそれぞれに評価得点をつけて評価する。評価得点は、満足度及び重要度の選択肢に対して、次に示す点数をつけて算出する。算出にあたっては、以下の式を用いる。

《満足度と重要度の各選択肢に対する得点(ウエイト得点)》

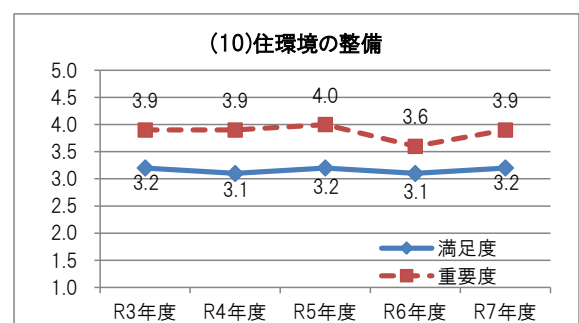
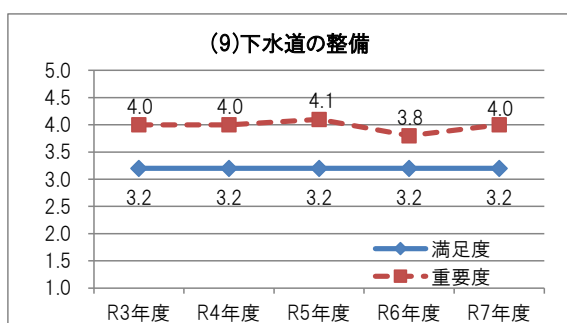
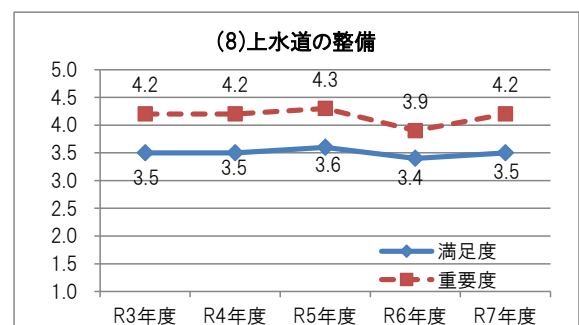
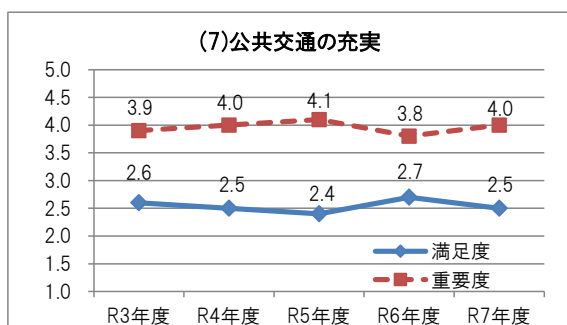
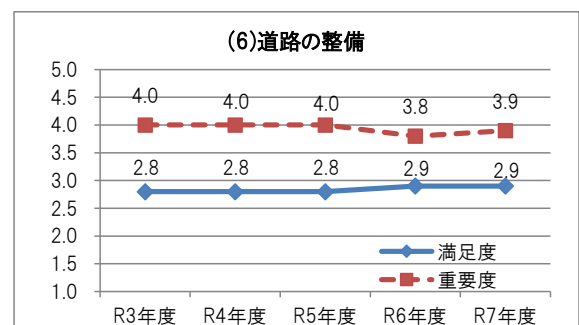
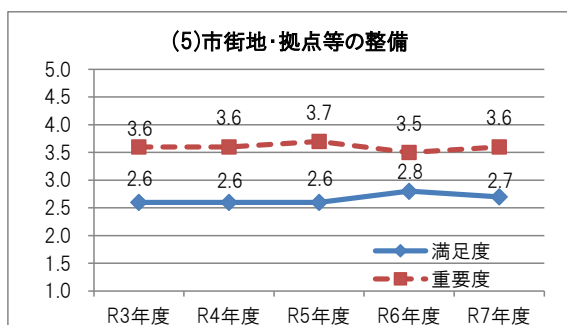
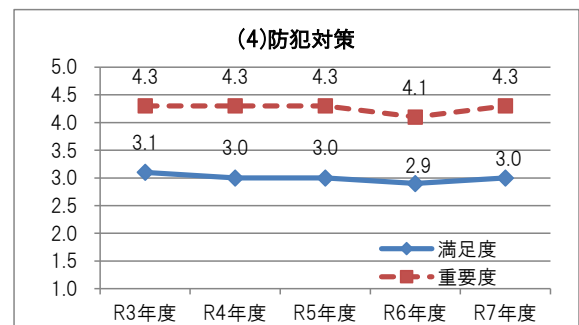
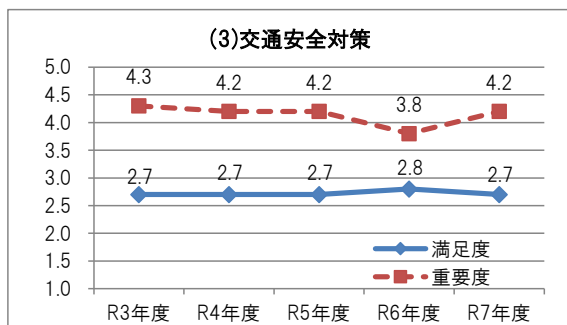
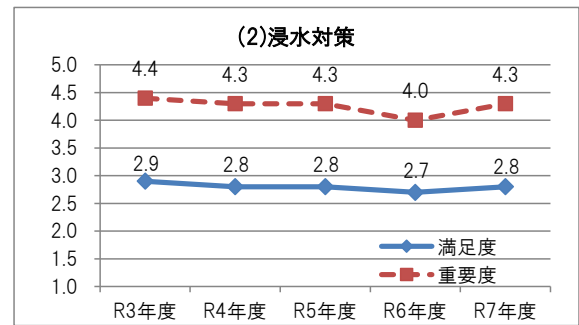
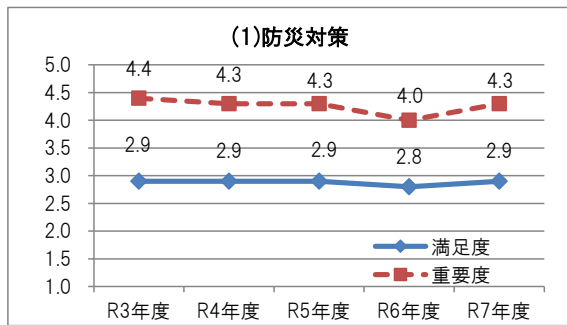
選択肢	満足度	重要度	得点
1	満足	重要	5
2	やや満足	やや重要	4
3	ふつう	ふつう	3
4	やや不満	あまり重要でない	2
5	不満	重要でない	1

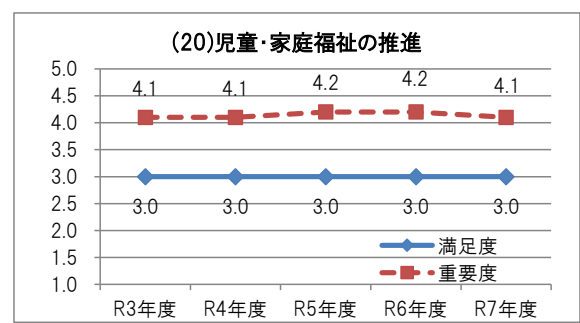
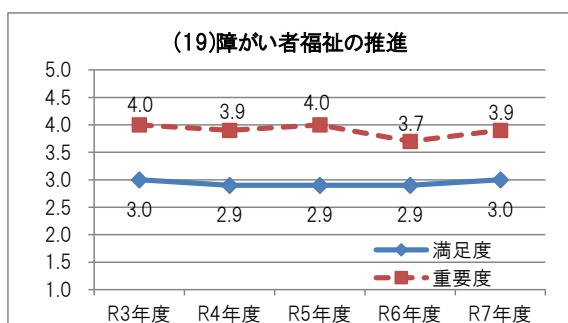
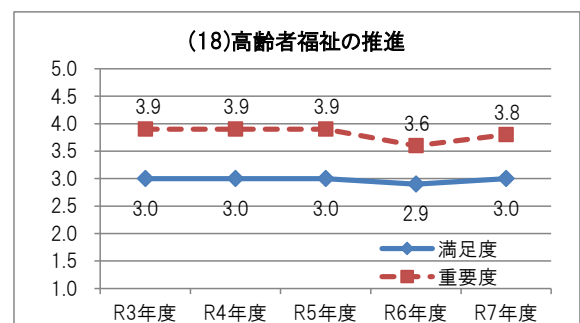
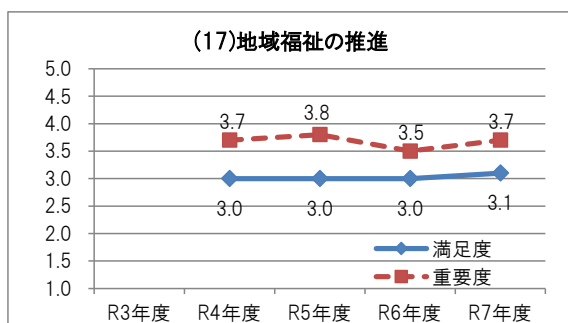
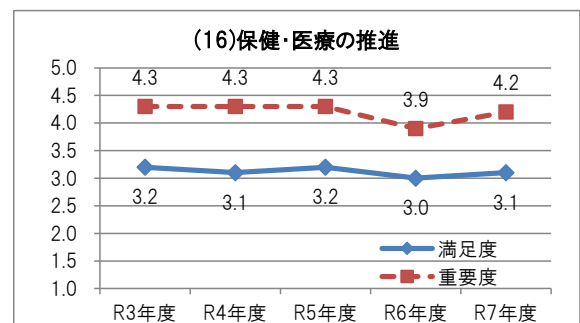
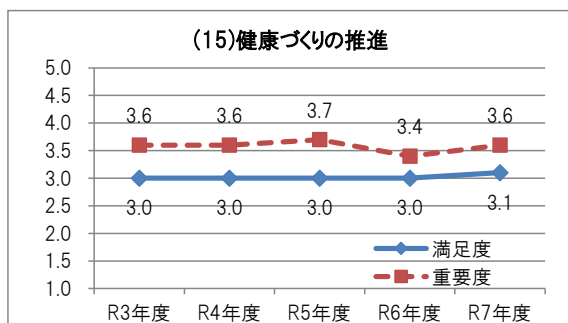
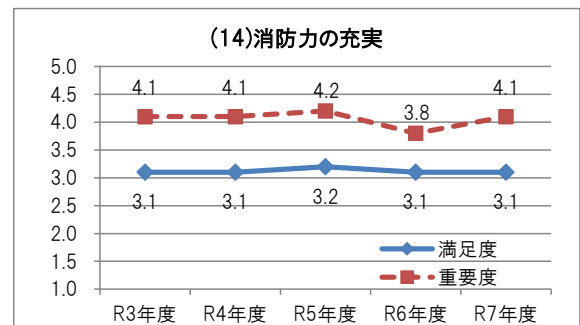
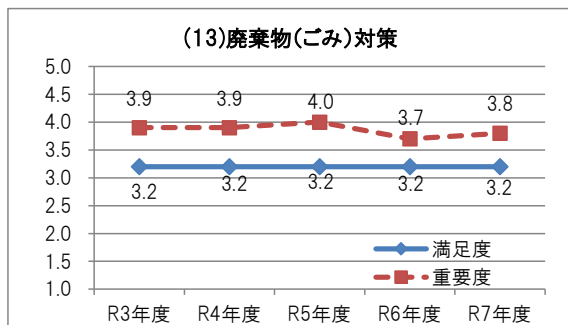
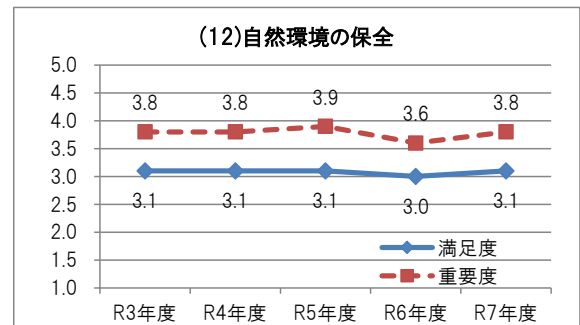
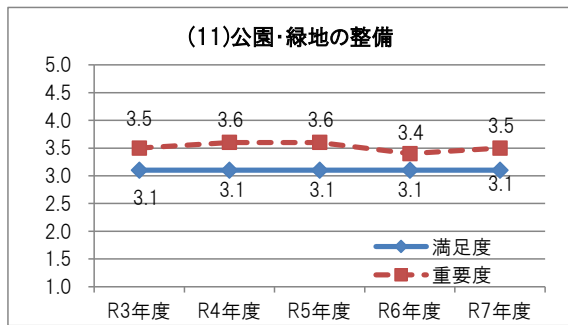
《評価得点の算出式》

満足度＝	$\frac{[\text{満足}] \times 5 \text{点} + [\text{やや満足}] \times 4 \text{点} + [\text{ふつう}] \times 3 \text{点} + [\text{やや不満}] \times 2 \text{点} + [\text{不満}] \times 1 \text{点}}{\text{全回答数}(n) - \text{無回答数}}$
重要度＝	$\frac{[\text{重要}] \times 5 \text{点} + [\text{やや重要}] \times 4 \text{点} + [\text{ふつう}] \times 3 \text{点} + [\text{あまり重要でない}] \times 2 \text{点} + [\text{重要でない}] \times 1 \text{点}}{\text{全回答数}(n) - \text{無回答数}}$

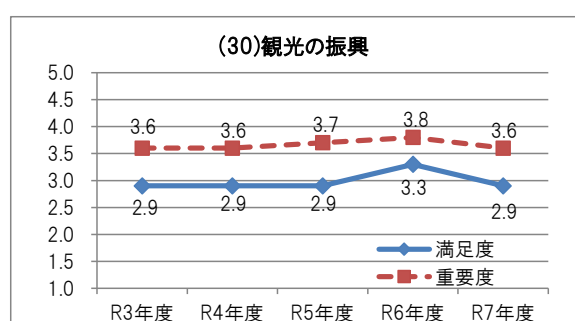
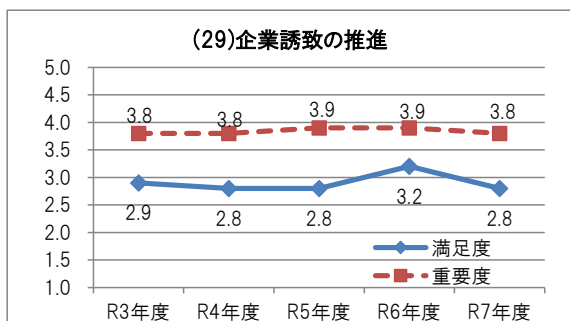
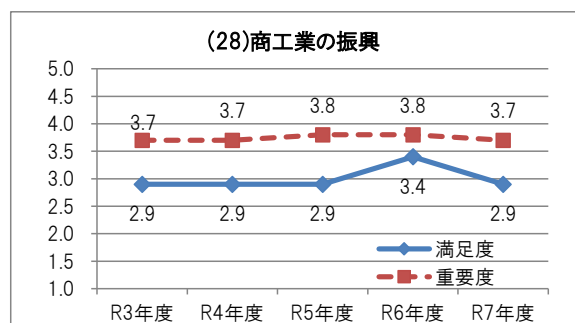
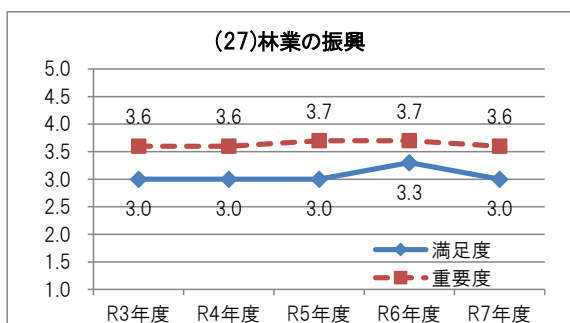
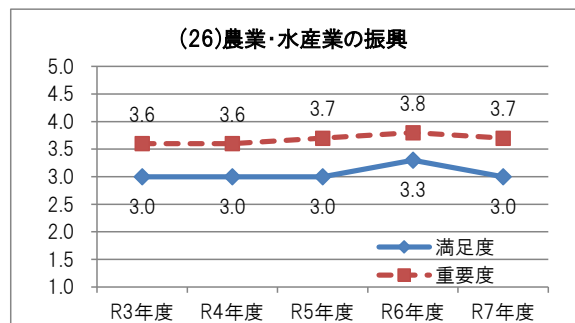
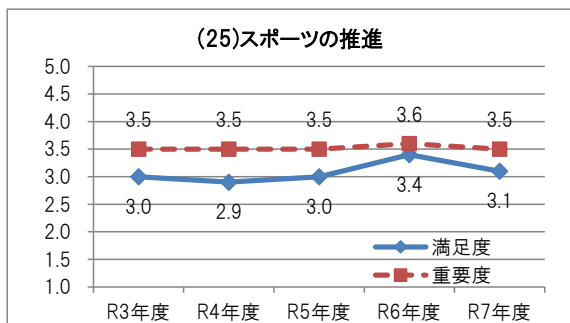
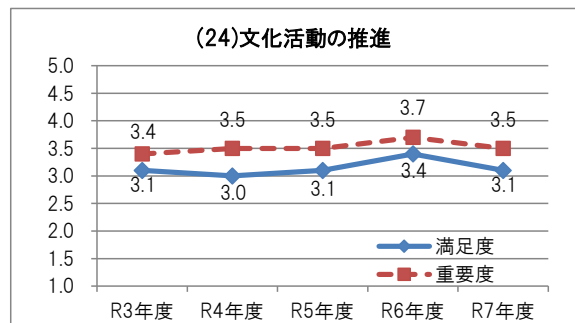
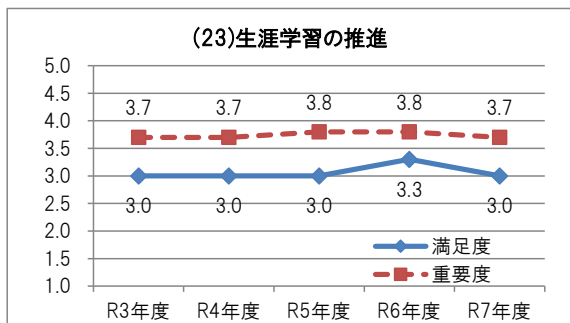
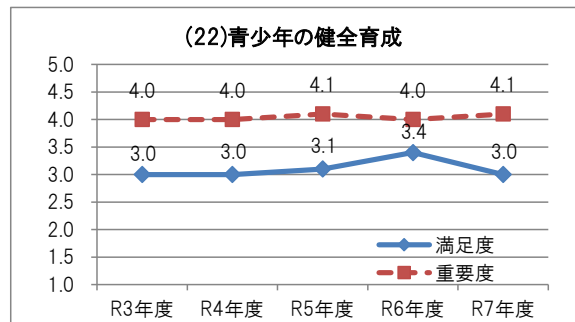
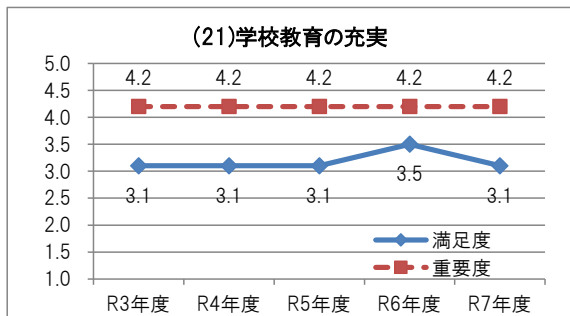
前回と比較すると、満足度では 39 項目中 16 項目が上昇、23 項目が下降となり、平均では 0.13 の下降となっている。重要度をみると、39 項目中 20 項目が上昇、1 項目が横ばい、18 項目が下降となり、平均では 0.06 の上昇となっている。

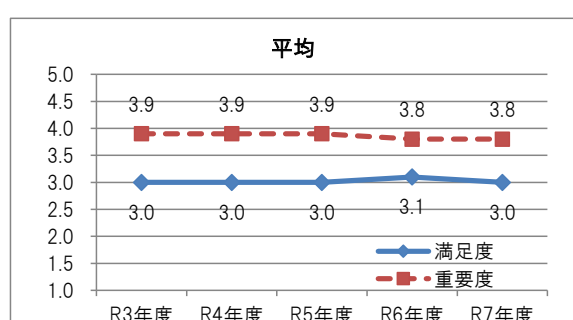
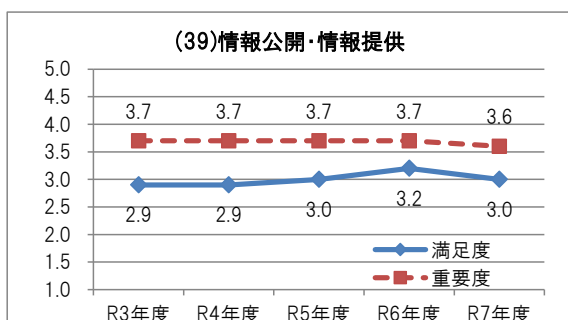
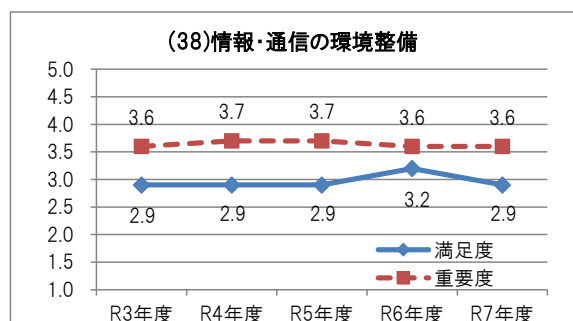
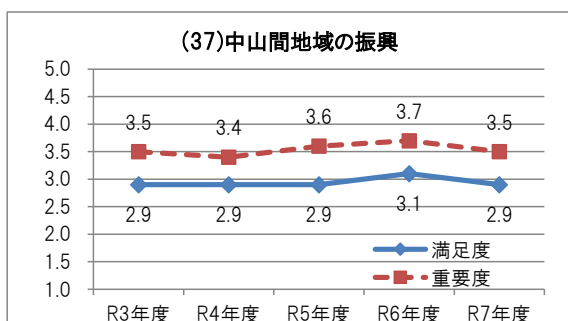
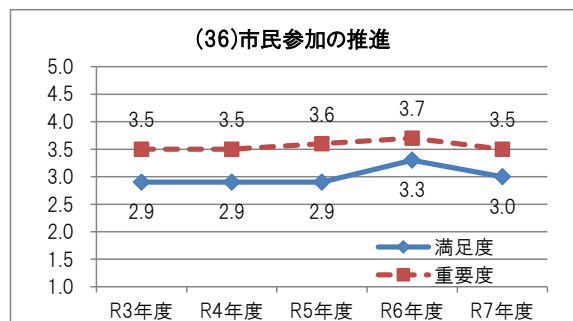
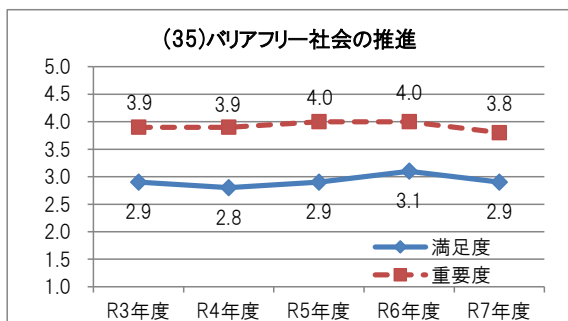
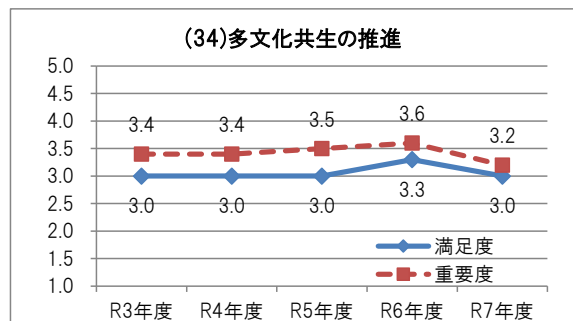
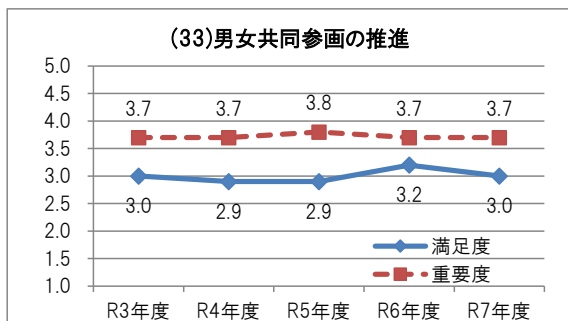
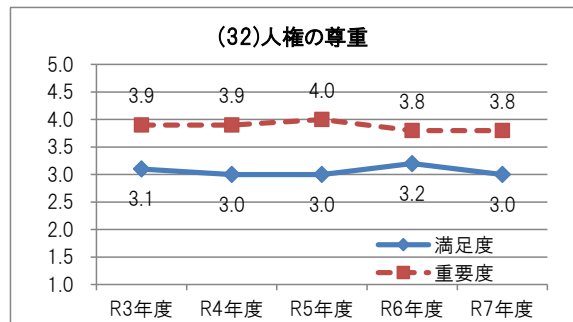
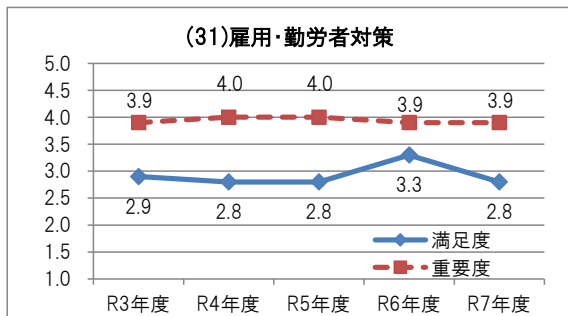
項目番号	施策	満足度					重要度				
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	防災対策	2.87	↗	2.88	↘	2.90	2.82	↗	2.90	4.37	4.34
2	浸水対策	2.85	↘	2.82	↗	2.83	2.66	↗	2.81	4.36	4.32
3	交通安全対策	2.67	↗	2.71	↘	2.73	2.75	↘	2.70	4.29	4.23
4	防犯対策	3.05	↘	2.97	↗	3.04	2.89	↗	2.98	4.29	4.28
5	市街地・拠点等の整備	2.62	↘	2.56	↗	2.61	2.81	↘	2.68	3.58	3.61
6	道路の整備	2.81	↘	2.77	↗	2.76	2.92	↘	2.85	3.98	3.97
7	公共交通の充実	2.56	↘	2.47	↗	2.41	2.67	↘	2.50	3.92	3.95
8	上水道の整備	3.53	↘	3.52	↗	3.61	3.40	↗	3.49	4.18	4.20
9	下水道の整備	3.19	↘	3.15	↗	3.24	3.17	↗	3.23	4.04	4.02
10	住環境の整備	3.17	↘	3.13	↗	3.21	3.09	↗	3.18	3.87	→
11	公園・緑地の整備	3.12	↘	3.05	↗	3.10	3.08	↗	3.14	3.54	→
12	自然環境の保全	3.06	→	3.06	↗	3.08	3.00	↗	3.09	3.78	→
13	廃棄物(ごみ)対策	3.18	↘	3.16	↗	3.19	3.15	↗	3.16	3.88	→
14	消防力の充実	3.12	↗	3.13	↘	3.16	3.09	↗	3.12	4.11	→
15	健康づくりの推進	3.04	↘	2.99	↗	3.03	2.96	↗	3.07	3.60	→
16	保健・医療の推進	3.16	↘	3.14	↗	3.18	3.04	↗	3.14	4.28	→
17	地域福祉の推進	0.00	↗	3.01	↘	3.02	3.01	↗	3.05	→	→
18	高齢者福祉の推進	3.03	↘	2.97	↗	2.98	2.92	↗	3.00	3.92	→
19	障がい者福祉の推進	2.97	↘	2.90	↗	2.91	2.92	↗	2.95	3.98	→
20	児童・家庭福祉の推進	3.03	↘	2.96	↗	2.99	3.02	↗	3.04	4.12	→
21	学校教育の充実	3.08	→	3.08	↗	3.12	3.49	↘	3.11	4.19	→
22	青少年の健全育成	3.04	↘	3.00	↗	3.05	3.44	↘	3.04	4.01	→
23	生涯学習の推進	2.98	↘	2.95	↗	2.99	3.32	↘	2.99	3.66	→
24	文化活動の推進	3.10	↘	3.04	↗	3.10	3.43	↘	3.11	3.40	→
25	スポーツの推進	2.98	↘	2.94	↗	3.00	3.36	↘	3.05	3.47	→
26	農業・水産業の振興	3.02	↘	2.97	↗	3.01	3.27	↘	3.00	3.59	→
27	林業の振興	2.96	↘	2.95	↗	2.96	3.33	↘	2.98	3.57	→
28	商工業の振興	2.93	↘	2.88	→	2.88	3.35	↘	2.89	3.68	→
29	企業誘致の推進	2.85	↘	2.81	↗	2.79	3.17	↘	2.83	3.78	→
30	観光の振興	2.94	↘	2.90	↗	2.92	3.30	↘	2.94	3.56	→
31	雇用・勤労者対策	2.85	↘	2.80	↗	2.79	3.26	↘	2.83	3.94	→
32	人権の尊重	3.06	↘	3.01	↗	3.04	3.22	↘	3.04	3.89	→
33	男女共同参画の推進	3.00	↘	2.93	→	2.93	3.24	↘	2.98	3.71	→
34	多文化共生の推進	3.00	↘	2.97	↗	3.00	3.25	↘	2.99	3.42	→
35	バリアフリー社会の推進	2.89	↘	2.84	↗	2.85	3.13	↘	2.91	3.92	→
36	市民参加の推進	2.94	↘	2.90	↗	2.93	3.32	↘	2.96	3.52	→
37	中山間地域の振興	2.92	↘	2.89	↗	2.90	3.09	↘	2.89	3.45	→
38	情報・通信の環境整備	2.92	↘	2.87	↗	2.90	3.17	↘	2.94	3.62	→
39	情報公開・情報提供	2.93	↘	2.92	↗	2.95	3.24	↘	2.96	3.69	→
平均		2.98	↘	2.95	↗	2.98	3.12	↘	2.99	3.85	→









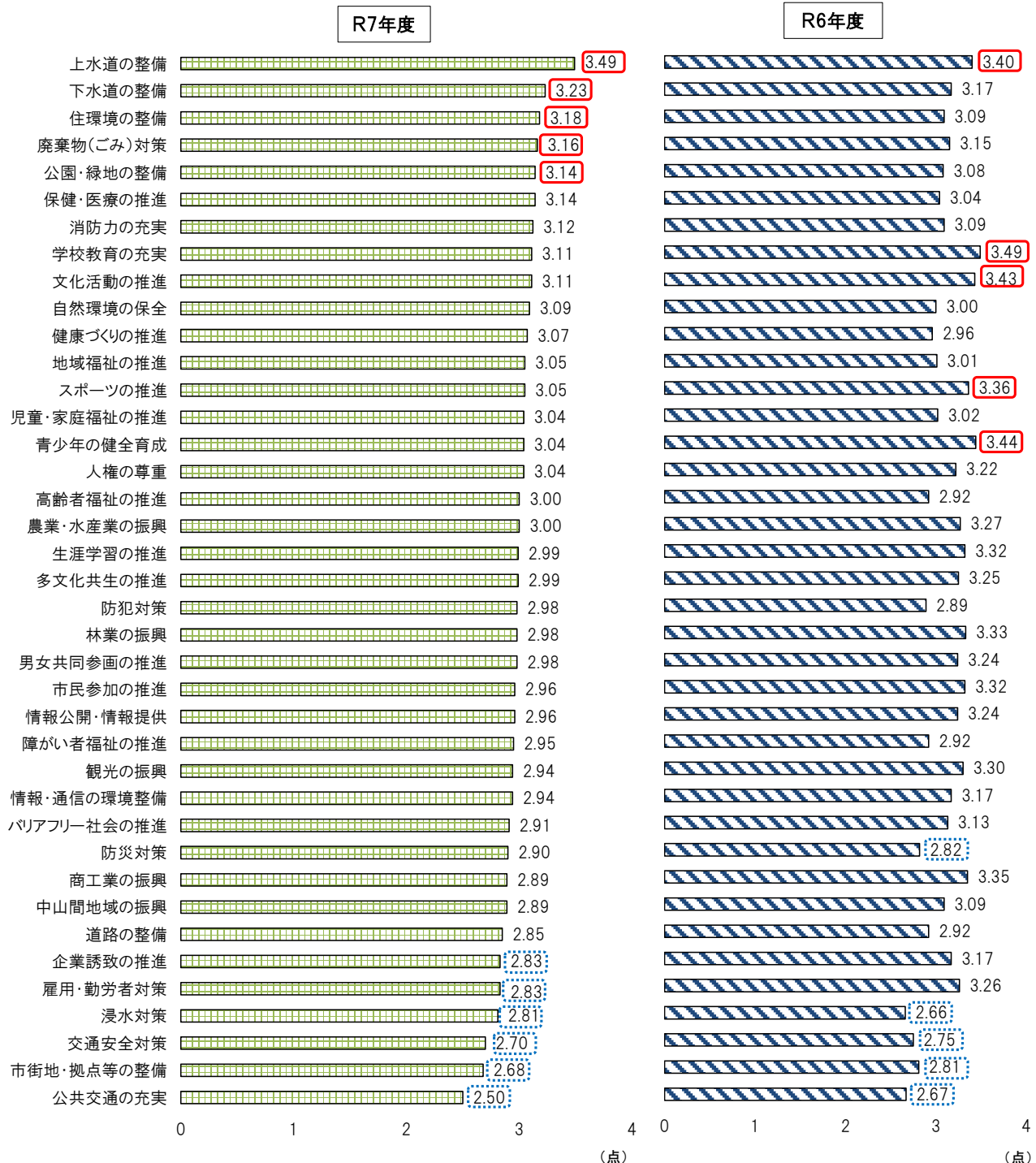


満足度の評価得点が高い上位5項目は赤枠線内  、評価得点が低い下位5項目は青枠線内   となっている。

今回の上位5項目については「上水道の整備」以外は入れ替わっている。上位5項目のいずれも前回から満足度は上昇している。

下位5項目については「公共交通の充実」、「市街地・拠点等の整備」、「交通安全対策」、「浸水対策」の4項目は前回と同じであった。新たに「雇用・勤労者対策」、「企業誘致の推進」が同率で下位5項目に入っている。

松阪市の政策に対する満足度

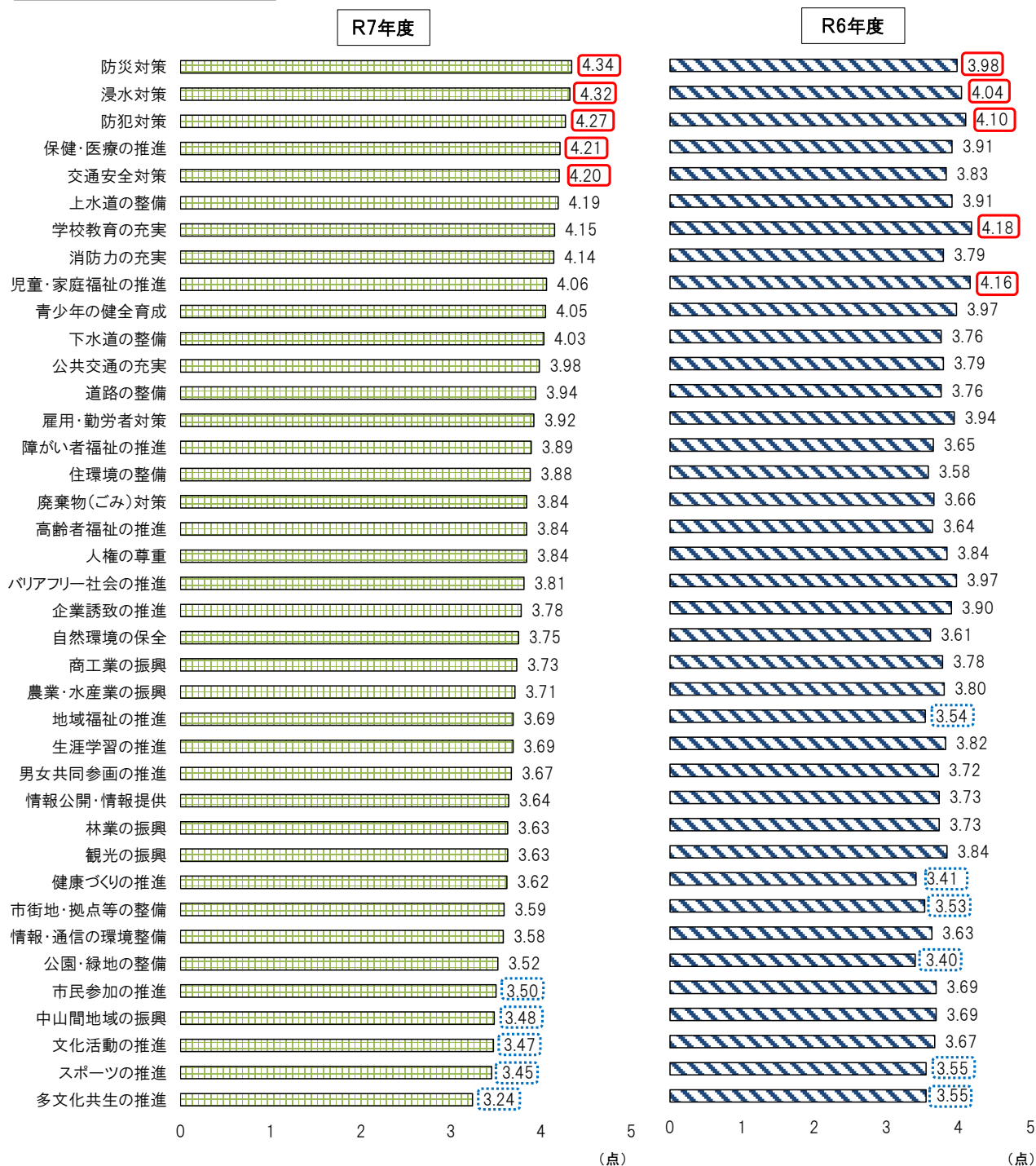


重要度の評価得点が高い上位5項目は赤枠線内 、評価得点が低い下位5項目は青枠線内  となっている。

今回の上位5項目については「防災対策」、「浸水対策」、「防犯対策」の3項目は前回と同じであった。新たに「保健・医療の推進」、「交通安全対策」が上位5項目に入っている。

一方で下位5項目について「多文化共生の推進」、「スポーツの推進」の2項目は前回と同じであった。新たに「文化活動の推進」、「中山間地域の振興」、「市民参加の推進」が下位5項目に入っている。

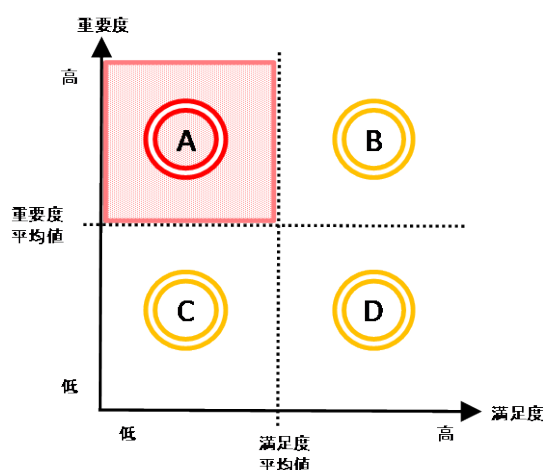
松阪市の政策に対する重要度



39 項目の満足度と重要度から「市民が優先して求めている施策」を検討する。

### 《分析方法》

算出した満足度と重要度の評価得点をもとに、満足度と重要度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、満足度と重要度の平均値を軸として、4つの領域に分割して分析する。



#### 《最重点項目の設定》

重要度が高く、満足度が低い項目は、市民が最も望んでいる最重点項目と考えることができる。

最重点項目の判定基準

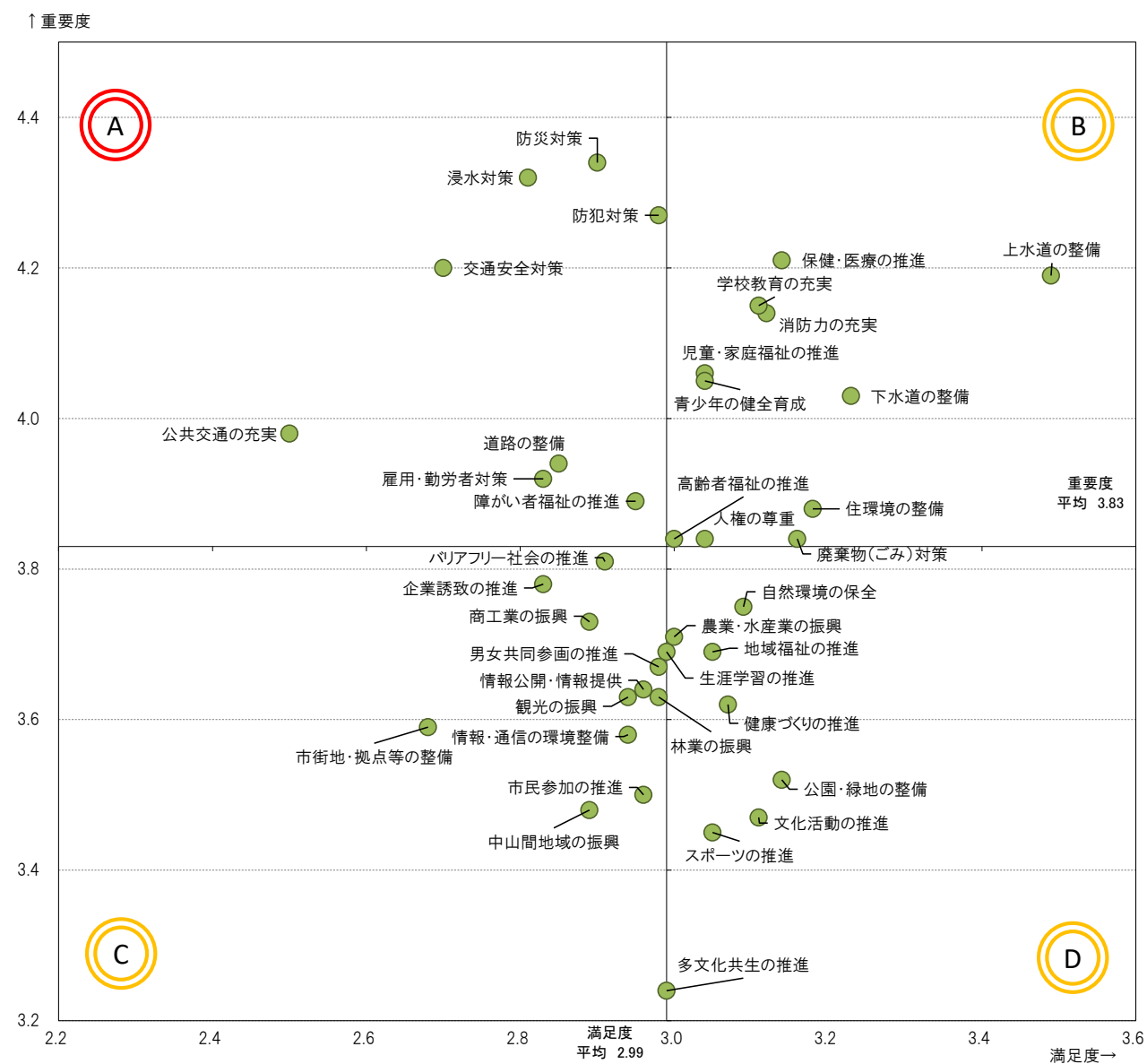
- ・ 満足度⇒平均値を下回る
- ・ 重要度⇒平均値を上回る

### 《施策項目に対する考え方》

#### 分類

- |     |                 |                             |
|-----|-----------------|-----------------------------|
| ① A | 満足度が低く、重要度が高い ⇒ | 最重点項目（優先すべき施策）              |
| ② B | 満足度が高く、重要度が高い ⇒ | これまで通り継続して実施すべき施策           |
| ③ C | 満足度が低く、重要度が低い ⇒ | 施策内容等を見直し、検討を要する施策          |
| ④ D | 満足度が高く、重要度が低い ⇒ | これまで通り継続し、将来に向けての検討が考えられる施策 |

## 満足度と重要度の関係



※この表は 34 ページの表の数値を用いています。

前ページの方法により、満足度と重要度をまとめると、各項目の分類は下記のとおりとなる。

<b>A</b>	<b>最重点項目(市民が優先して求めている施策)</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)</li> <li>○ 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)</li> <li>○ 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)</li> <li>○ 犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)</li> <li>○ 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)</li> <li>○ 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)</li> <li>○ 障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)</li> <li>○ 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)</li> </ul>
<b>B</b>	<b>これまで通り継続して実施すべき施策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全で安心しておいしく飲むことができる水の提供(上水道の整備)</li> <li>○ 生活排水の適切な処理による水質保全(下水道の整備)</li> <li>○ 安全で快適に生活できる住環境づくり(住環境の整備)</li> <li>○ ごみを減らしたり、ごみを再利用する取組(廃棄物(ごみ)対策)</li> <li>○ さまざまな災害にすばやく対応できる地域の消防力(消防力の充実)</li> <li>○ どこでも、いつでも安心して病院や診療所にかかる取組(保健・医療の推進)</li> <li>○ お年寄りの方が地域で安心して暮らせるまちづくり(高齢者福祉の推進)</li> <li>○ こどもたちがのびのび育つ環境づくり(児童・家庭福祉の推進)</li> <li>○ こどもたちが安心して教育を受けられる環境づくり(学校教育の充実)</li> <li>○ こどもや若者がすこやかに成長できるまちづくり(青少年の健全育成)</li> <li>○ 人権が尊重され、安心して幸せに暮らせるまちづくり(人権の尊重)</li> </ul>
<b>C</b>	<b>施策内容等を見直し、検討を要する施策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中心市街地の賑わいをつくるまちづくり(市街地・拠点等の整備)</li> <li>○ 森林保全や森林資源の活用促進などの取組(林業の振興)</li> <li>○ 魅力的な中小企業の支援など地域の産業を育てる取組(商工業の振興)</li> <li>○ 企業誘致を促進し雇用の確保に努める取組(企業誘致の推進)</li> <li>○ 地域資源を生かした観光政策(観光の振興)</li> <li>○ 男性と女性が対等の立場で個性と能力を発揮できる社会づくり(男女共同参画の推進)</li> <li>○ すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現(バリアフリー社会の推進)</li> <li>○ 市民と行政との協働を推進するまちづくり(市民参加の推進)</li> <li>○ 中山間地域の地域資源を活用したまちづくり(中山間地域の振興)</li> <li>○ 市民生活の利便性を高める情報通信社会の取組(情報・通信の環境整備)</li> <li>○ 市の情報公開や情報提供を積極的に行う行政体制(情報公開・情報提供)</li> </ul>
<b>D</b>	<b>これまで通り継続し、将来に向けての検討が考えられる施策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 気軽に利用できる憩いの場としての公園や緑地の整備(公園・緑地の整備)</li> <li>○ 森林や河川・海など豊かな自然を守っていく取組(自然環境の保全)</li> <li>○ 元気に楽しく暮らせるよう年齢層に応じた健康づくり(健康づくりの推進)</li> <li>○ さまざまな福祉課題を地域で支え合うまちづくり(地域福祉の推進)</li> <li>○ 生涯にわたる学習環境とその成果を生かせる環境づくり(生涯学習の推進)</li> <li>○ 地域の歴史や芸術文化を生かしたまちづくり(文化活動の推進)</li> <li>○ 気軽にスポーツを行うことができる環境づくり(スポーツの推進)</li> <li>○ 地域の特色を生かした農業・水産業の取組(農業・水産業の振興)</li> <li>○ 外国人住民にも暮らしやすいまちづくり(多文化共生の推進)</li> </ul>

最重点項目について前回と比較した結果は以下の通りとなる。

8つの重点項目をみると、5つのパターンに分かれる。

①『満足度が減少(-0.06 以下)』かつ『重要度が増加(0.06 以上)』

- 「道路の整備」、「公共交通の充実」があげられる

②『満足度が減少(-0.06 以下)』かつ『重要度が微減および横ばい(0~-0.05 以上)』

- 「雇用・勤労者対策」があげられる

③『満足度が微減および横ばい(0~-0.05 以上)』かつ『重要度が増加(0.06 以上)』

- 「交通安全対策」があげられる

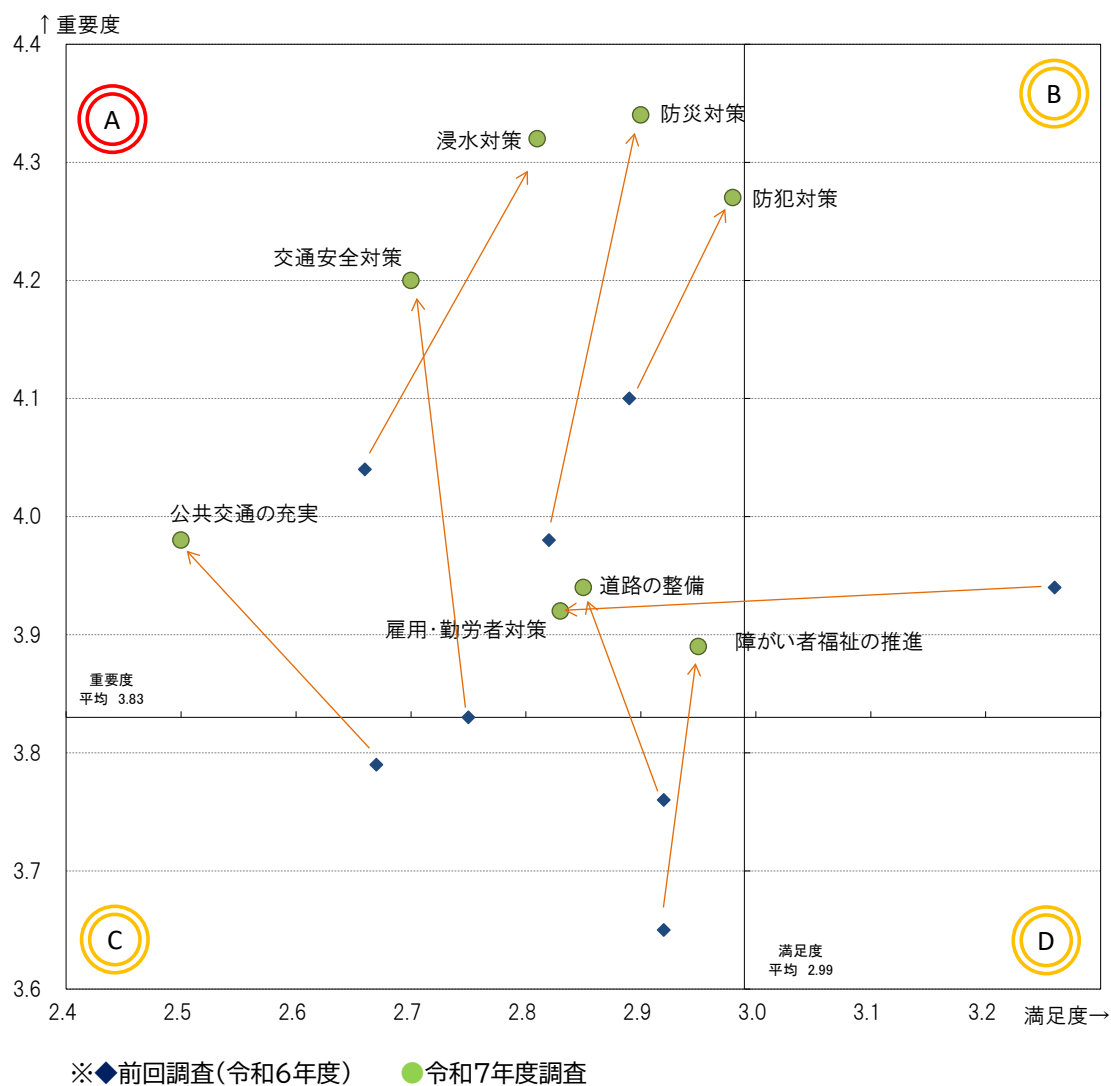
④『満足度が増加(0.06 以上)』かつ『重要度が増加(0.06 以上)』

- 「防災対策」、「浸水対策」、「防犯対策」があげられる

⑤『満足度が微増および横ばい(0~0.05 以下)』かつ『重要度が増加(0.06 以上)』

- 「障がい者福祉の推進」があげられる

### 満足度と重要度の関係





ここで、最重点項目について、ニーズを算出して整理する。

### 《ニーズ得点》

ニーズ得点は、満足度と重要度により、満足度が低くかつ重要度が大きいほど点数が高くなる指標であり、その得点が大きい項目ほど市民のニーズが高いことを示している。

### 《満足度と重要度の各選択肢に対する得点(ウェイト得点)》

満足度	選択肢	満足度得点
満足	1	1
やや満足	2	2
ふつう	3	3
やや不満	4	4
不満	5	5

重要度	選択肢	重要度得点
重要	1	5
やや重要	2	4
ふつう	3	3
あまり重要でない	4	2
重要でない	5	1

### 《ニーズ得点の算出式》

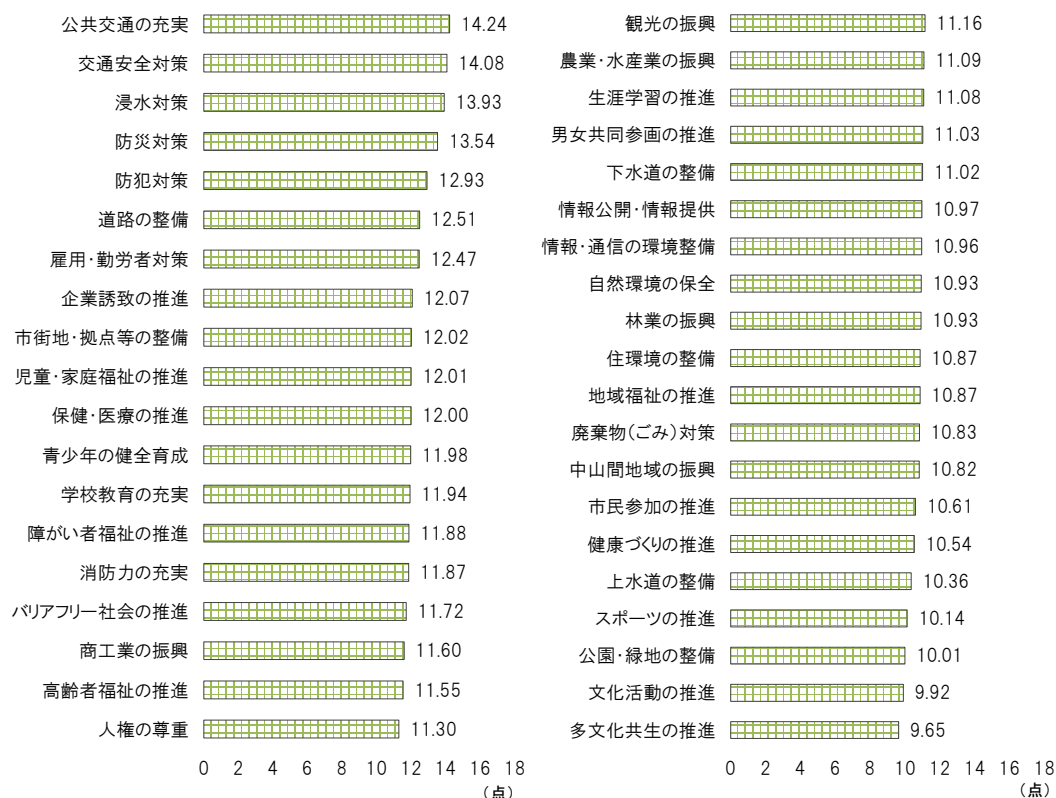
ニーズ得点 = 満足度得点 × 重要度得点

優先順位の判定にあたっては、平均ニーズ得点で行う。

### 《平均ニーズ得点の算出式》

平均ニーズ得点 = ニーズ得点の合計 ÷ 回答数(満足度と重要度の両方が回答された数)

以上の算出方法をもとに、最重点項目について平均ニーズ得点を整理すると、以下のように「公共交通の充実」、「交通安全対策」、「浸水対策」、「防災対策」などのニーズ得点が高くなっている。



満足度と重要度から、居住地別に「市民が優先して求めている施策」を検討する。

回答者が居住する町によって、住民自治協議会のブロック別（管内別）に分類している。  
※複数の住民自治協議会に跨る町については、便宜的にどちらかのブロックに分類を行った。

①中央第一ブロック

松阪中央住民協議会・幸まちづくり協議会・鈴の森住民自治協議会

②中部ブロック

花岡住民自治協議会

③中央第二ブロック

第二地区まちづくり協議会・神戸まちづくり協議会・徳和住民自治協議会・東住民自治協議会

④北部ブロック

港住民自治協議会・松ヶ崎住民自治協議会・第四地区住民協議会

⑤東部ブロック

あさみ住民自治協議会・掃水住民自治協議会・漕代まちづくり協議会・  
西黒部まちづくり協議会・東黒部住民自治協議会・機殿住民自治協議会

⑥南部ブロック

大石地区住民自治協議会・茅広江住民自治協議会・射和地区住民自治協議会

⑦西部ブロック

伊勢寺地区住民自治協議会・あざか住民自治協議会・宇気郷住民協議会・  
松尾住民自治協議会・大河内地区住民自治協議会

⑧嬉野ブロック（嬉野管内）

嬉野宇気郷住民協議会・中郷まちづくり協議会・豊地まちづくり協議会・  
嬉野中川まちづくり協議会・豊田住民自治協議会・中原まちづくり協議会

⑨三雲ブロック（三雲管内）

米ノ庄住民自治協議会・天白まちづくり協議会・鵠住民自治協議会・おのえ住民自治協議会

⑩飯南ブロック（飯南管内）

有間野区住民自治協議会・粥見住民自治協議会・仁柿住民自治協議会・柿野住民自治協議会

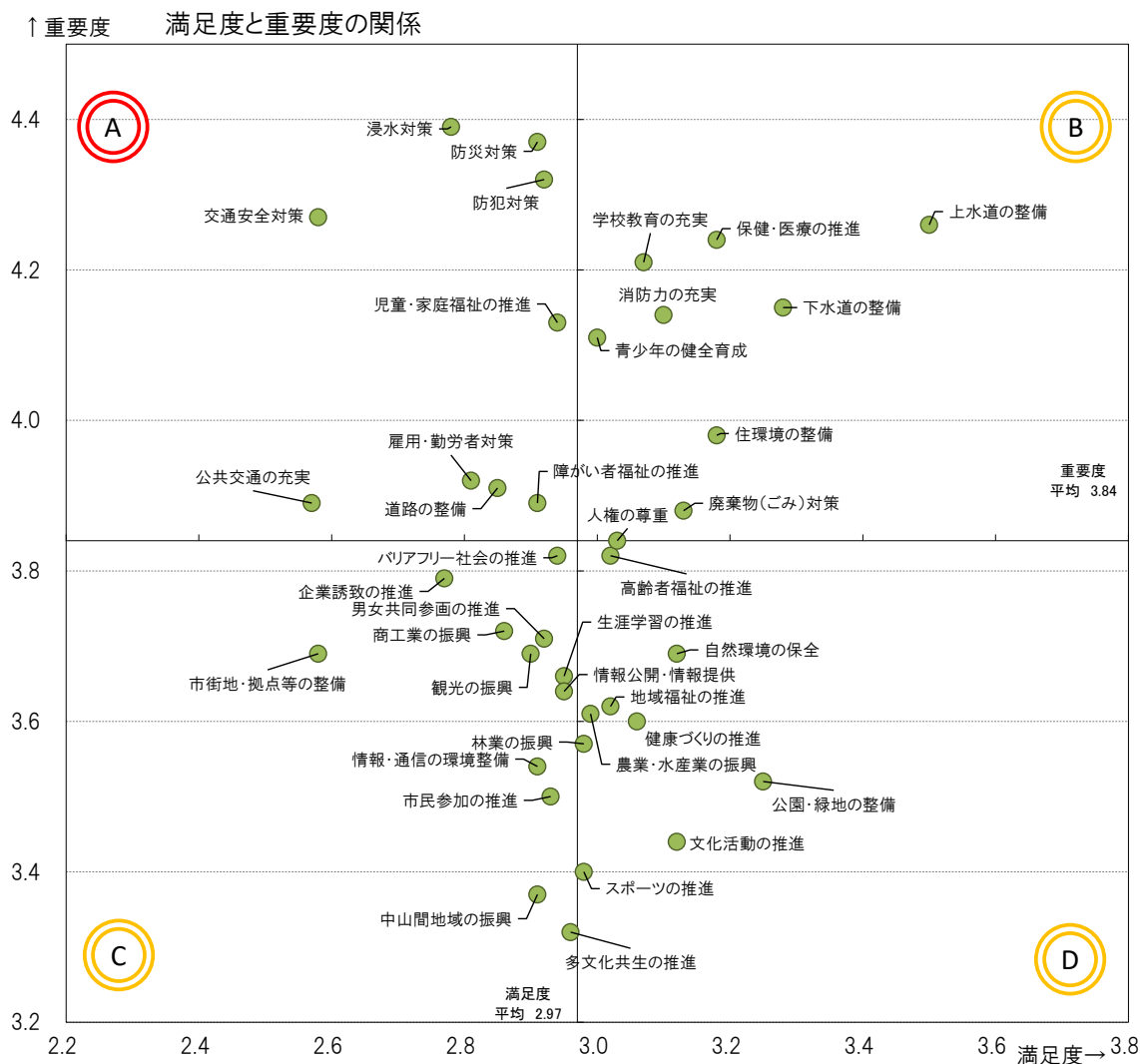
⑪飯高ブロック（飯高管内）

宮前まちづくり協議会・川俣住民自治協議会・森住民自治協議会・波瀬むらづくり協議会

## <<中央第一>>

湊町、白粉町、日野町、新町、新座町、殿町、魚町、中町、中町六丁目、本町、西町、川井町、黒田町、京町、京町一区、桜町、末広町一丁目、泉町、五月町、内五曲町、大黒田町、船江町、塚本町、曲町、田牧町、井村町、外五曲町、西之庄町

## 満足度と重要度の関係



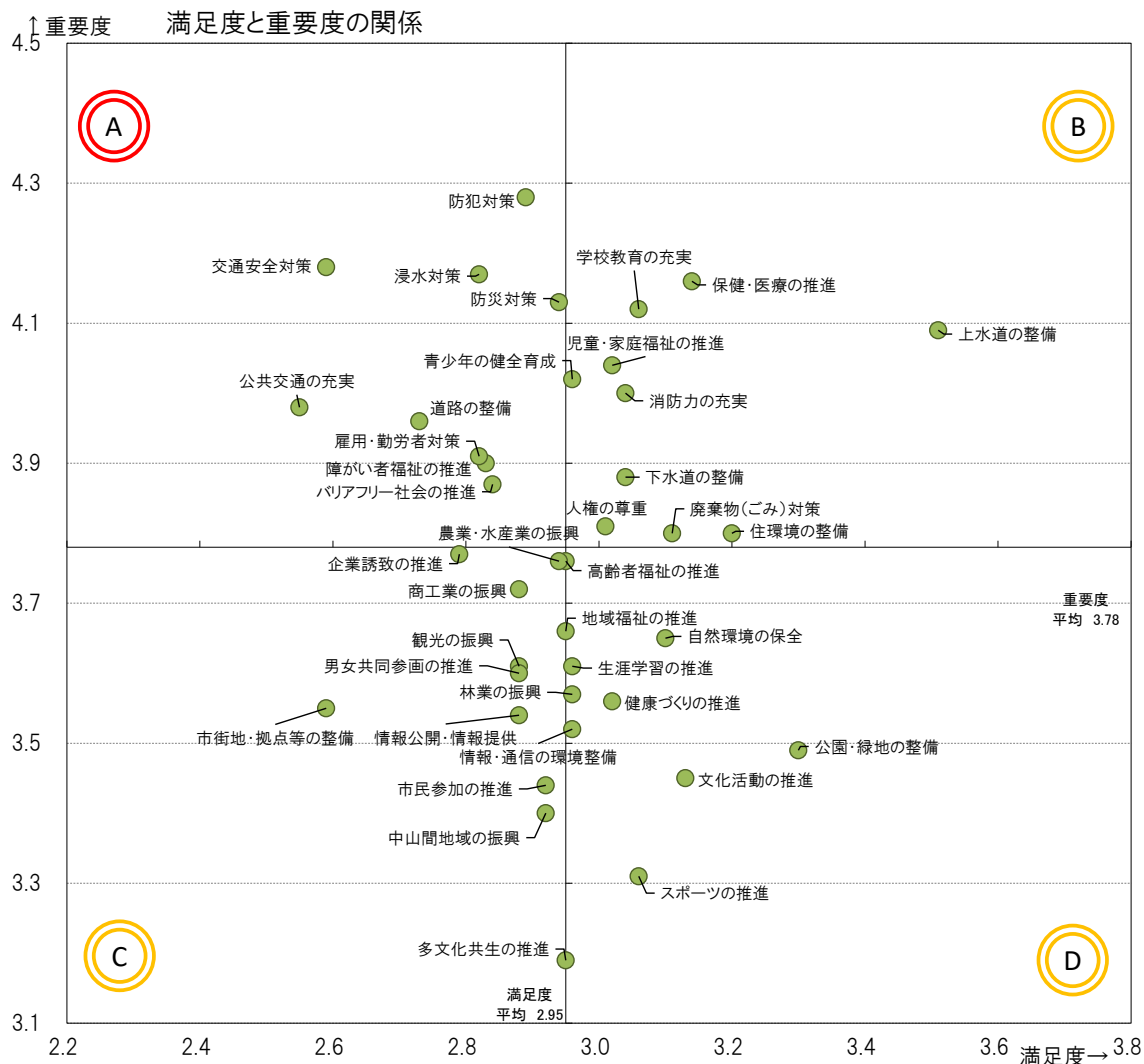
### (A) 最重点項目(中央第一ブロックの市民が優先して求めている施策)

- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- 障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)
- こどもたちがのびのび育つ環境づくり(児童・家庭福祉の推進)
- 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)

## <<中部>>

駅部田町、小黑田町、山室町、田村町、宝塚町、御殿山町、光町、五反田町一丁目、五反田町二丁目、五反田町三丁目、五反田町四丁目、五反田町五丁目、広陽町、木の郷町

## 満足度と重要度の関係



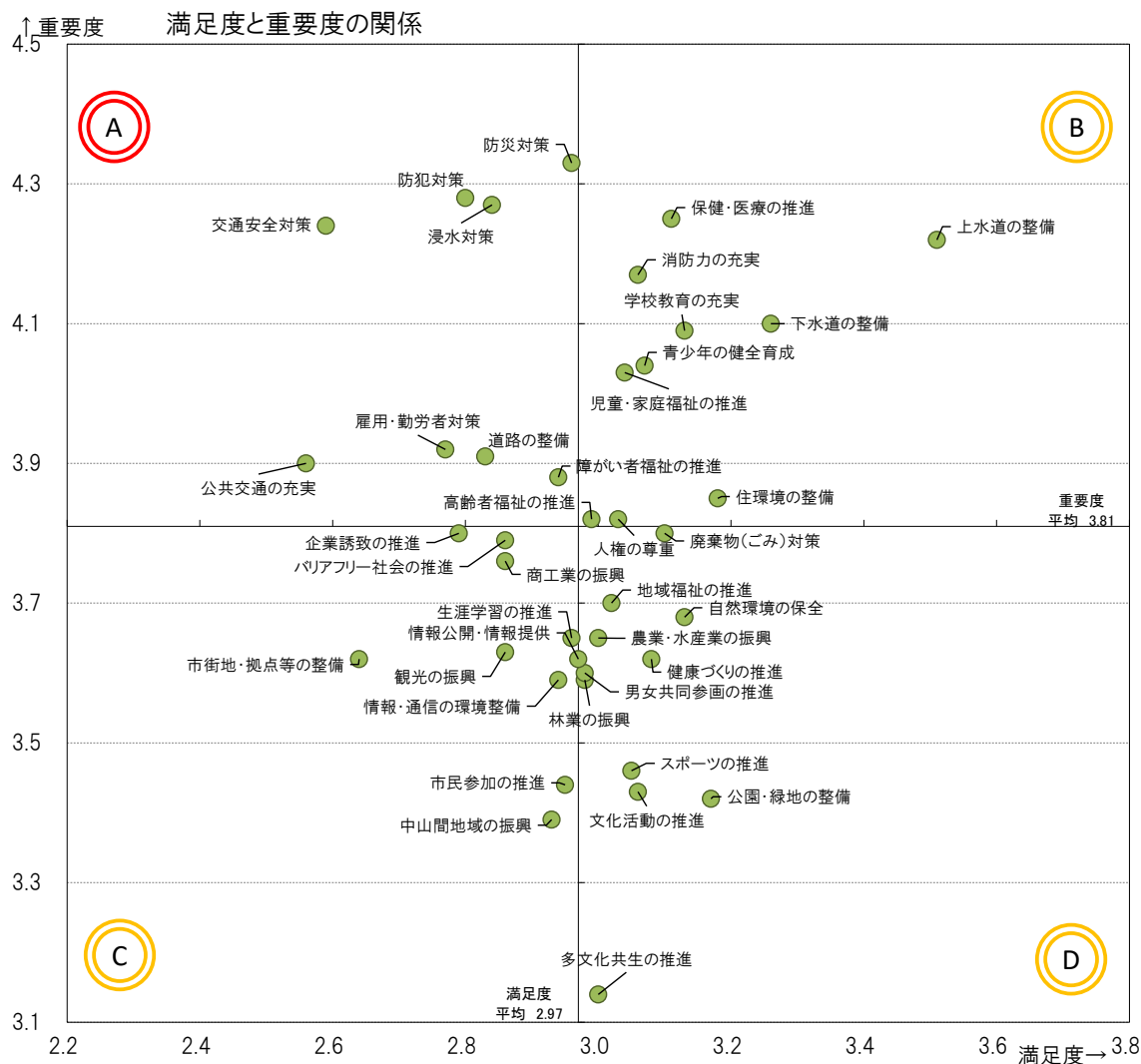
### (A) 最重点項目(中部ブロックの市民が優先して求めている施策)

- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- 障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)
- 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)
- すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現(バリアフリー社会の推進)

## <<中央第二>>

愛宕町一丁目、愛宕町二丁目、愛宕町三丁目、愛宕町四丁目、愛宕町、挽木町、平生町、五十鈴町、春日町一丁目、春日町二丁目、春日町三丁目、南町、長月町、茶与町、東町、宮町、清生町、幸生町、垣鼻町、大津町、田原町、久保町、下村町、上川町、虹が丘町、南虹が丘町

### 満足度と重要度の関係



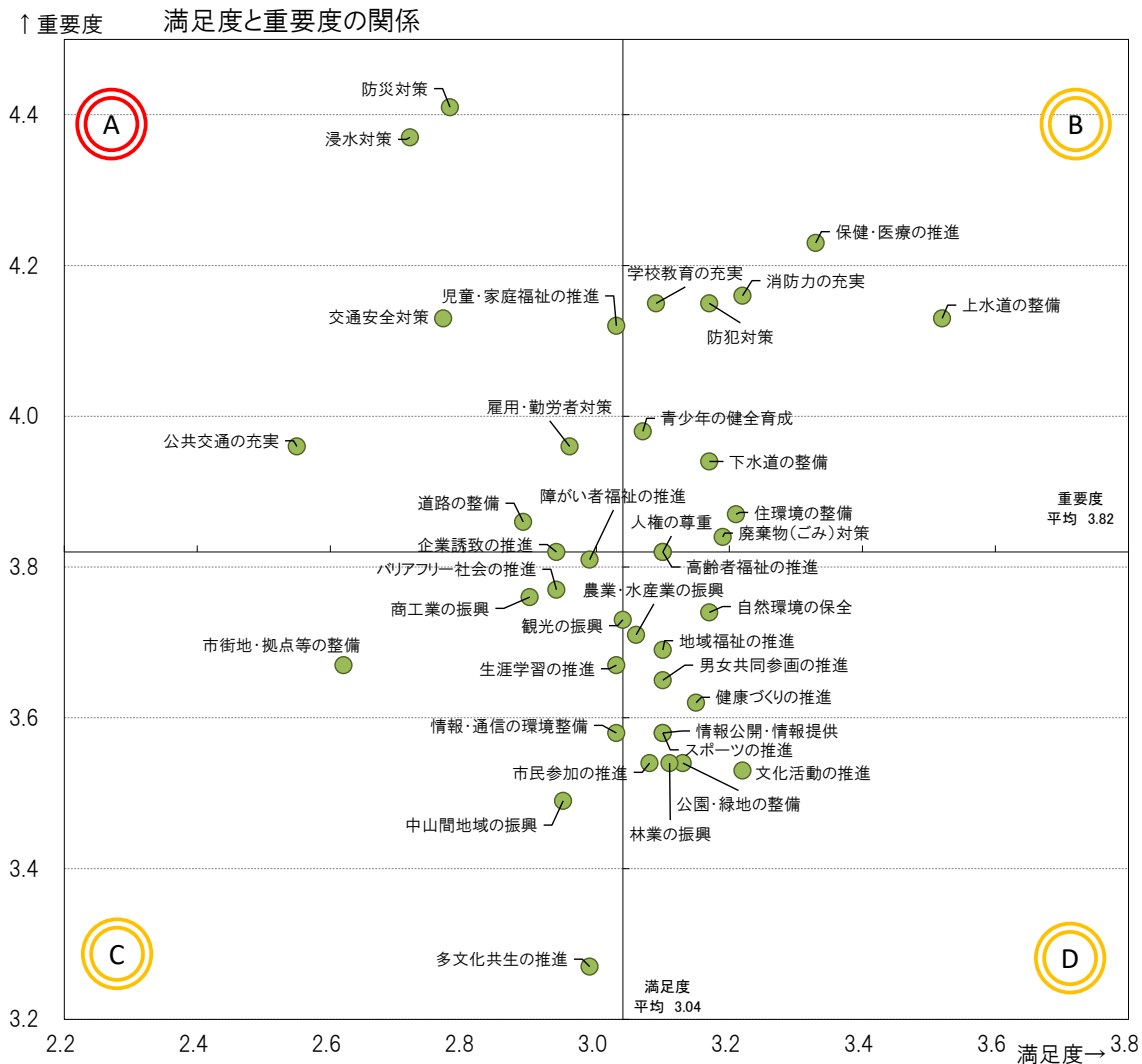
#### (A) 最重点項目(中央第二ブロックの市民が優先して求めている施策)

- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- 障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)
- 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)

## <<北部>>

鎌田町、朝日町、朝日町一区、石津町、荒木町、郷津町、高町、若葉町、大口町、中央町、末広町二丁目、久保田町、大塚町、大平尾町、新松ヶ島町、町平尾町、獺師町、松崎浦町、松ヶ島町、六軒町

## 満足度と重要度の関係



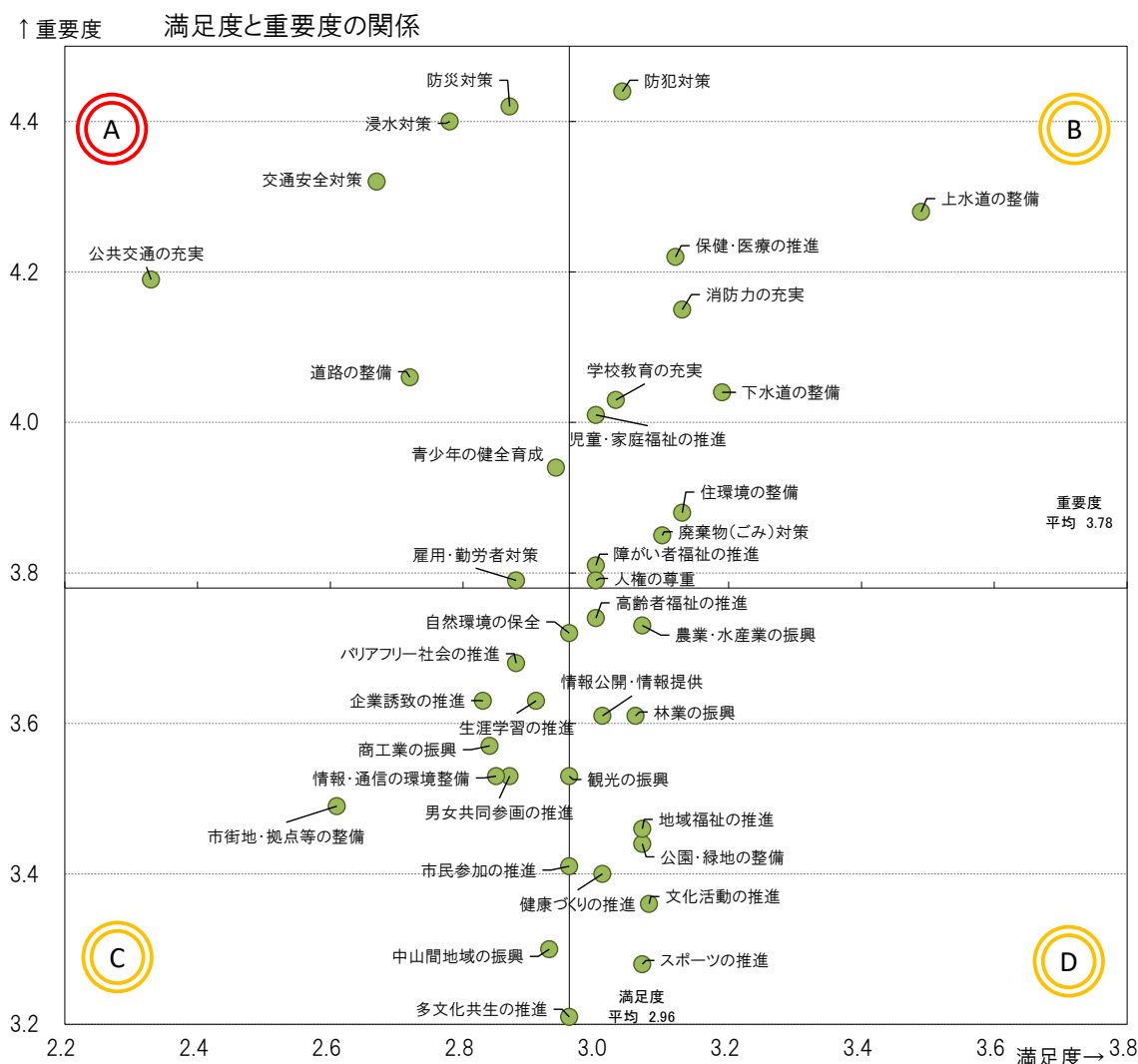
### (A) 最重点項目(北部ブロックの市民が優先して求めている施策)

- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- こどもたちがのびのび育つ環境づくり(児童・家庭福祉の推進)
- 企業誘致を促進し雇用の確保に努める取組(企業誘致の推進)
- 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)

## <<東部>>

朝田町、立田町、和屋町、上七見町、下七見町、新屋敷町、古井町、西野々町、佐久米町、大宮田町、井口中町、腹太町、六根町、保津町、魚見町、新開町、川島町、東久保町、西黒部町、松名瀬町、高須町、東黒部町、柿木原町、土古路町、出間町、大垣内町、蓮花寺町、神守町、牛草町、垣内田町、乙部町、早馬瀬町、目田町、横地町、法田町、伊勢場町、稲木町、高木町、山添町、安楽町、山下町、豊原町、櫛田町、清水町、菅生町

## 満足度と重要度の関係

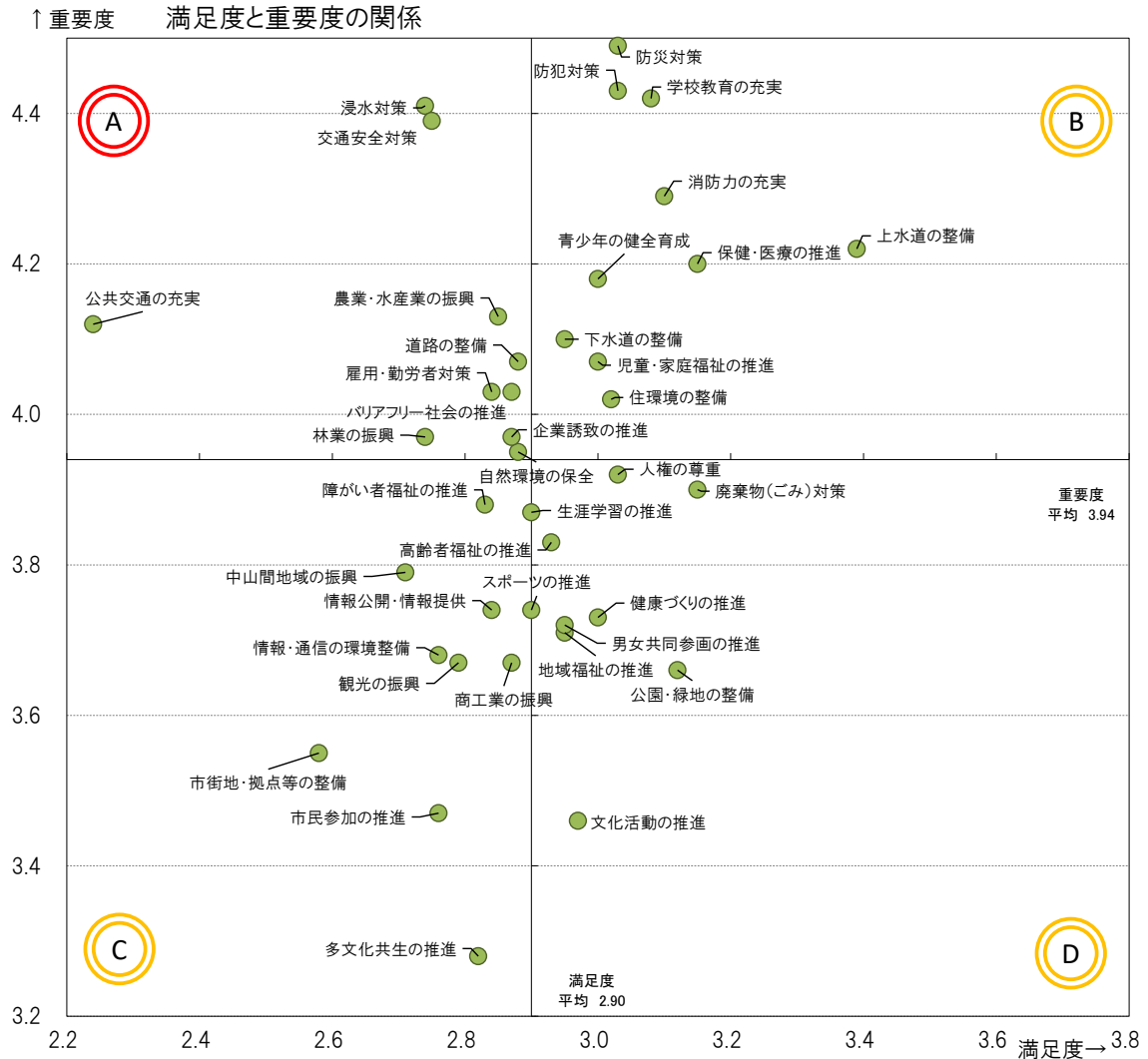


- A** 最重点項目(東部ブロックの市民が優先して求めている施策)
- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
  - 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
  - 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
  - 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
  - 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
  - こどもや若者がすこやかに成長できるまちづくり(青少年の健全育成)
  - 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)

## <<南部>>

六呂木町、小片野町、大石町、茅原町、広瀬町、御麻生園町、庄町、阿波曾町、射和町、中万町、八太町、上蛸路町、下蛸路町

## 満足度と重要度の関係



### 最重点項目(南部ブロックの市民が優先して求めている施策)

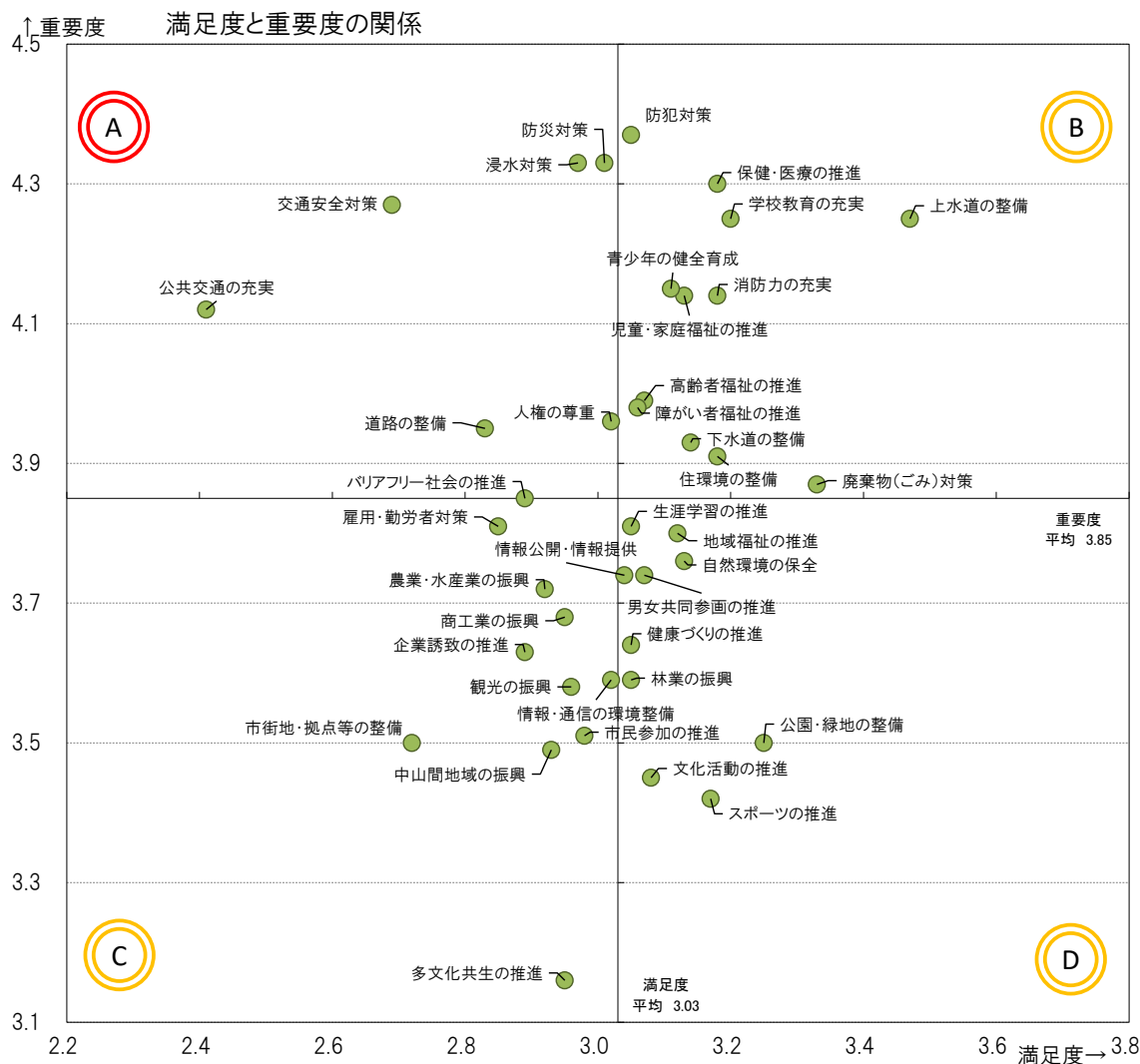
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- 森林や河川・海など豊かな自然を守っていく取組(自然環境の保全)
- 地域の特色を生かした農業・水産業の取組(農業・水産業の振興)
- 森林保全や森林資源の活用促進などの取組(林業の振興)
- 企業誘致を促進し雇用の確保に努める取組(企業誘致の推進)
- 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)
- すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現(バリアフリー社会の推進)



## <<西部>>

伊勢寺町、八重田町、深長町、岩内町、野村町、殿村町、日丘町、大足町、阿形町、藤之木町、岡本町、立野町、丹生寺町、西野町、岡山町、平成町、小野町、大阿坂町、小阿坂町、美濃田町、柚原町、後山町、飯福田町、与原町、桂瀬町、笹川町、大河内町、矢津町、勢津町、辻原町、阪内町

## 満足度と重要度の関係



### 最重点項目(西部ブロックの市民が優先して求めている施策)

- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- 人権が尊重され、安心して幸せに暮らせるまちづくり(人権の尊重)
- すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現(バリアフリー社会の推進)

## <<嬉野管内>>

### 満足度と重要度の関係

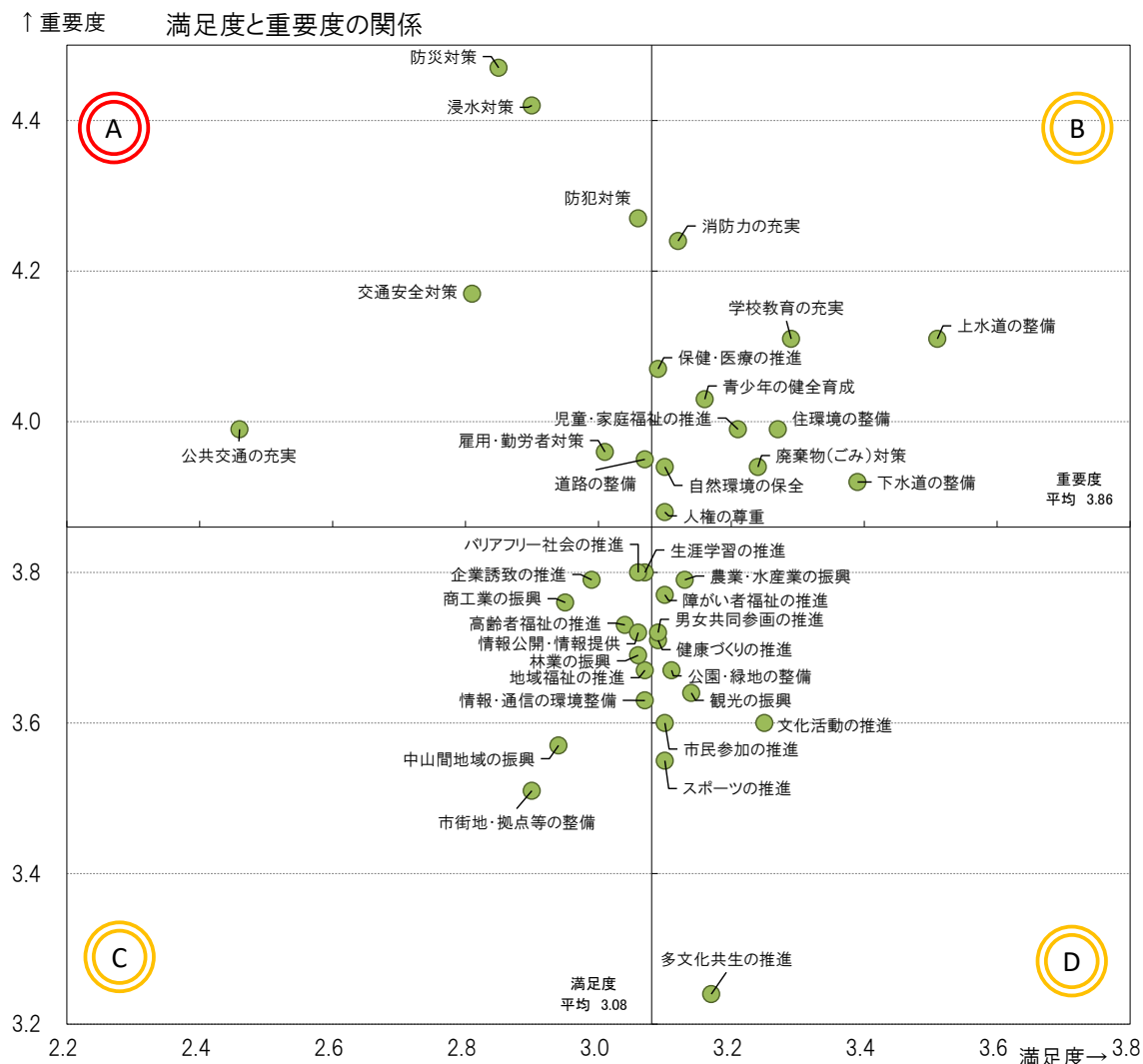


#### **A** 最重点項目(嬉野ブロックの市民が優先して求めている施策)

- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- お年寄りの方が地域で安心して暮らせるまちづくり(高齢者福祉の推進)
- 障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)
- 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)
- すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現(バリアフリー社会の推進)

## ≪三雲管内≫

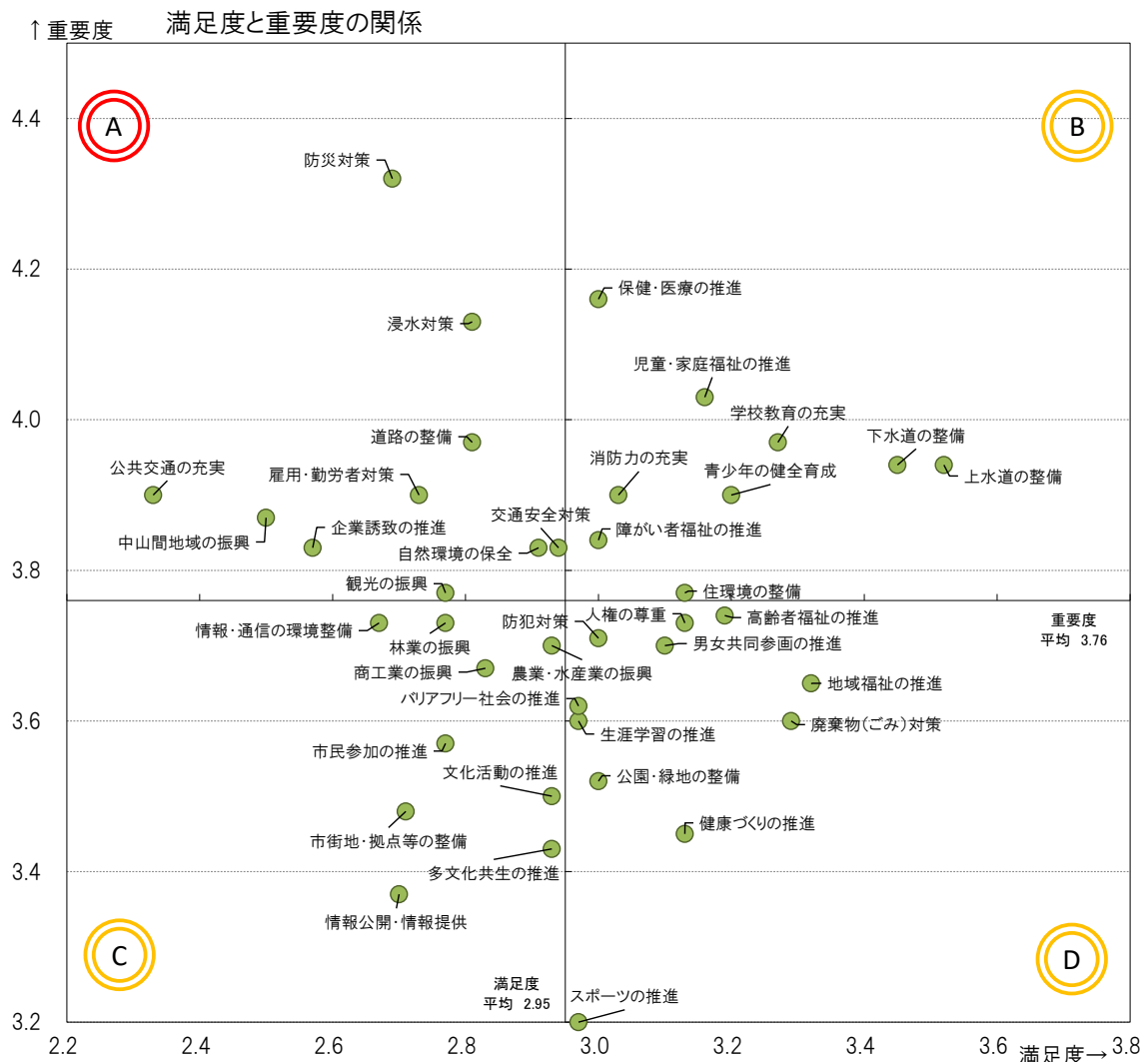
### 満足度と重要度の関係



- (A) 最重点項目(三雲ブロックの市民が優先して求めている施策)**
- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
  - 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
  - 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
  - 犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)
  - 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
  - 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
  - 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)

## <<飯南管内>>

### 満足度と重要度の関係

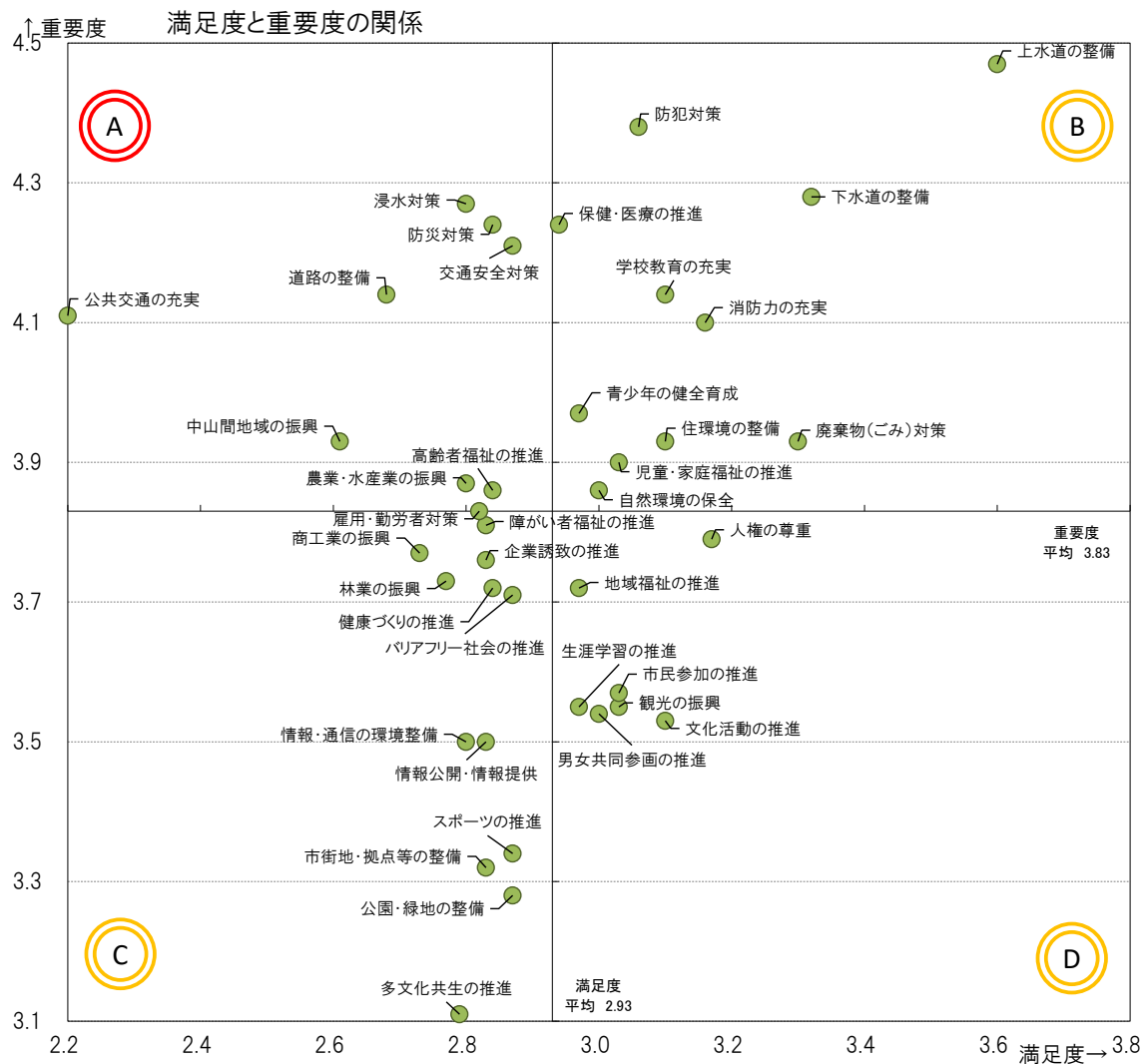


#### **A** 最重点項目(飯南ブロックの市民が優先して求めている施策)

- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- 森林や河川・海など豊かな自然を守っていく取組(自然環境の保全)
- 企業誘致を促進し雇用の確保に努める取組(企業誘致の推進)
- 地域資源を生かした観光政策(観光の振興)
- 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)
- 中山間地域の地域資源を活用したまちづくり(中山間地域の振興)

## <<飯高管内>>

### 満足度と重要度の関係

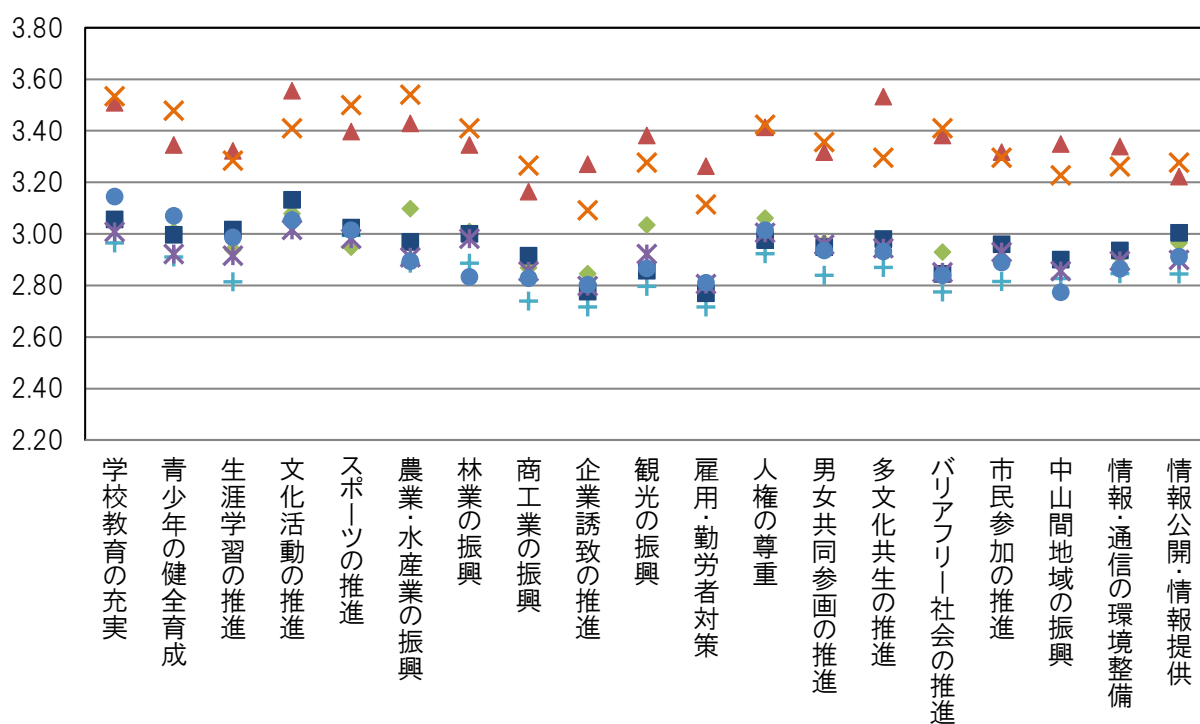
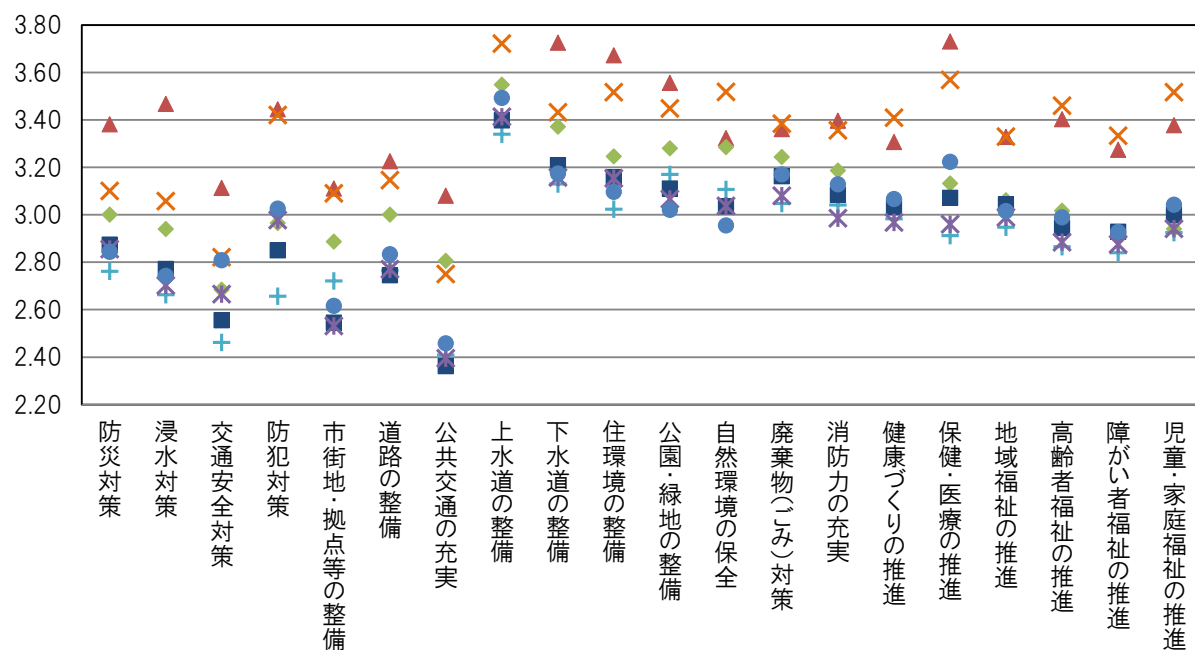


#### **(A)** 最重点項目(飯高ブロックの市民が優先して求めている施策)

- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- お年寄りの方が地域で安心して暮らせるまちづくり(高齢者福祉の推進)
- 地域の特色を生かした農業・水産業の取組(農業・水産業の振興)
- 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)
- 中山間地域の地域資源を活用したまちづくり(中山間地域の振興)

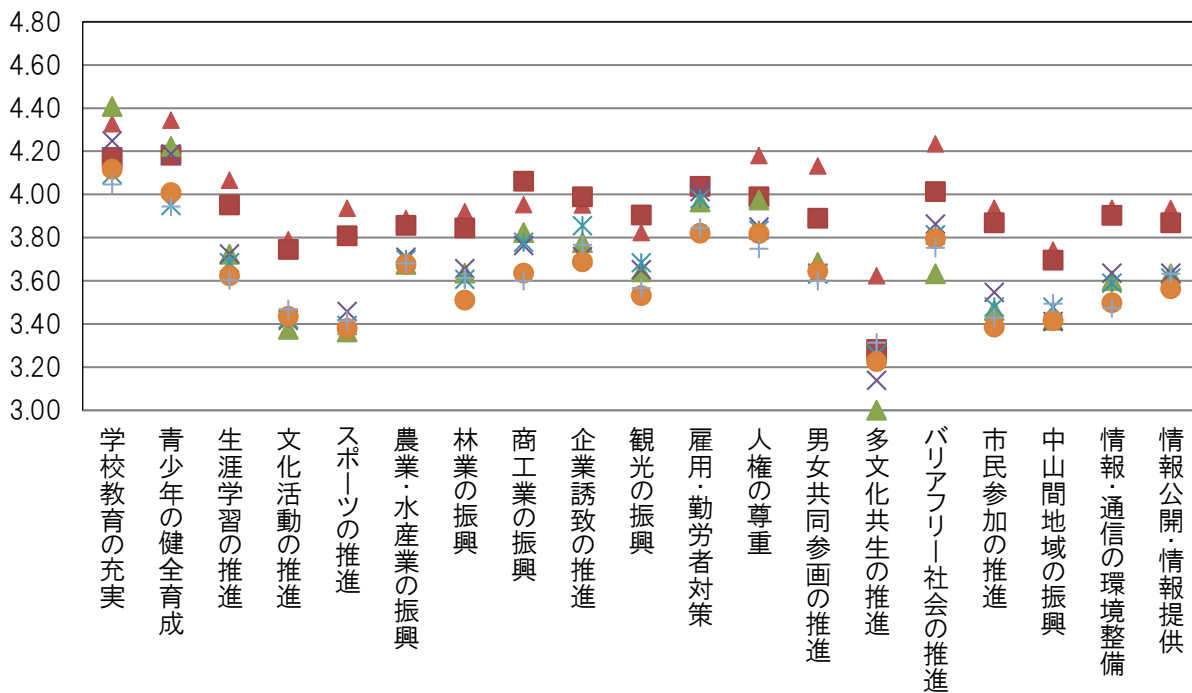
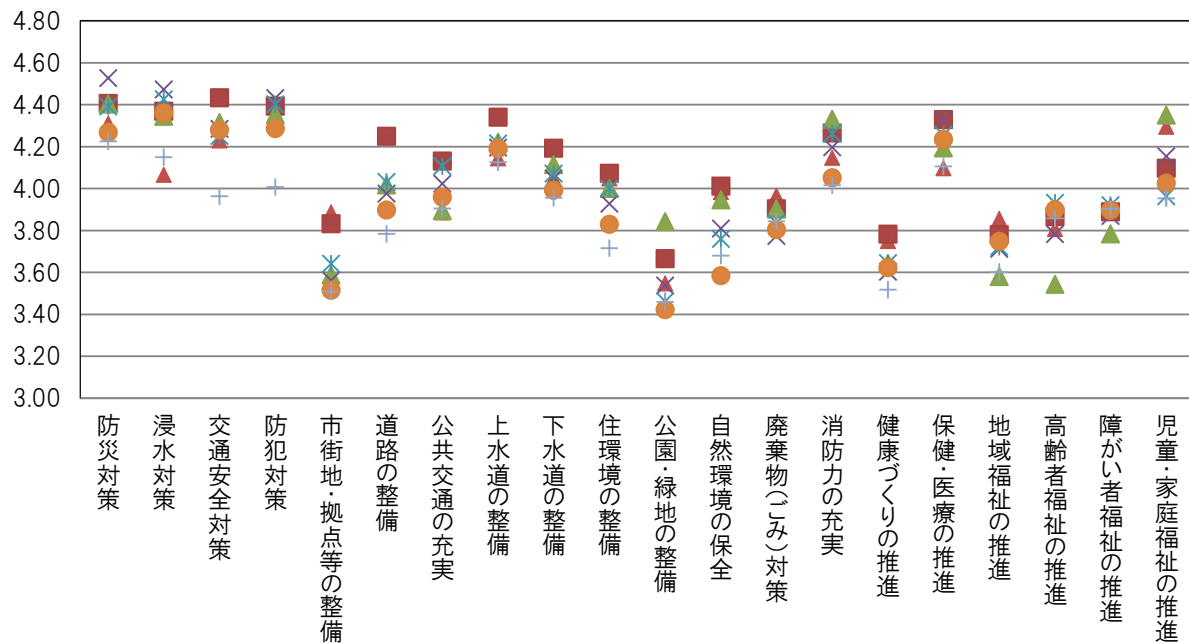
年代別にみた 39 項目の満足度と重要度は以下のとおりである。

# 《年代別 満足度》



▲10歳代    ×20歳代    ◆30歳代    +40歳代    ■50歳代    ×60歳代    ●70歳以上

# 《年代別 重要度》



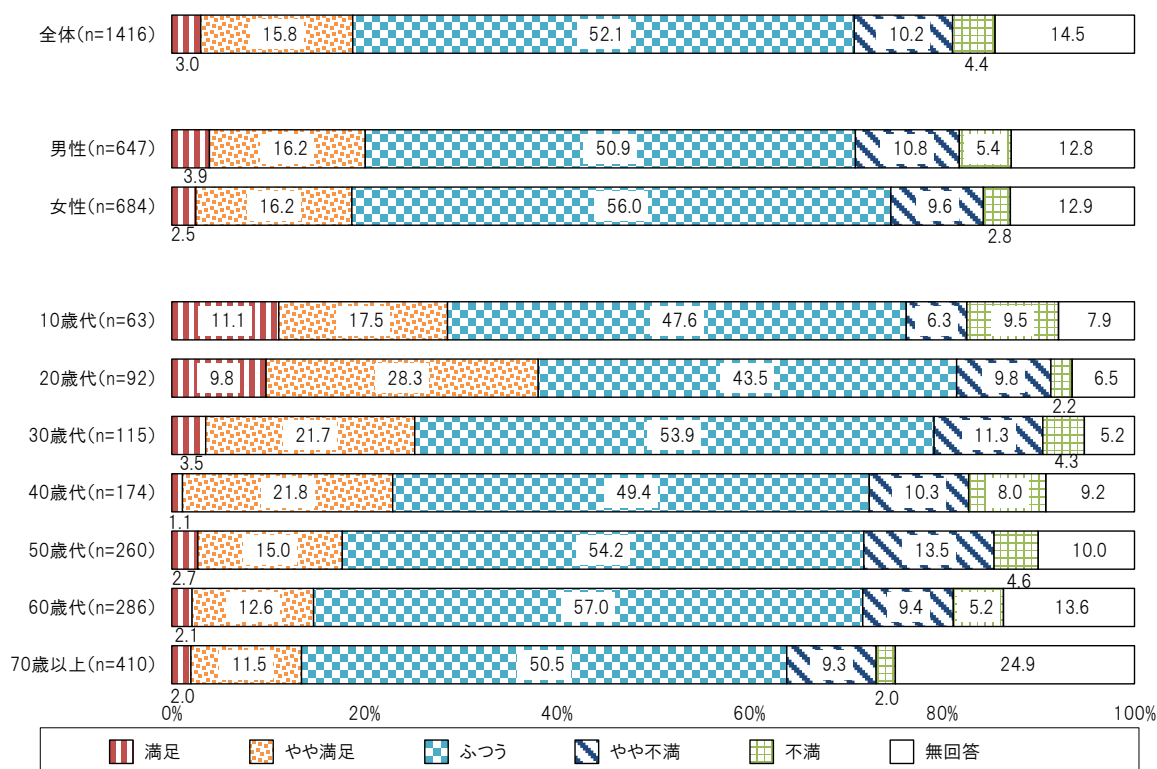
▲10歳代 ■20歳代 ▲30歳代 ×40歳代 ※50歳代 ●60歳代 +70歳以上

問7 あなたは松阪市の政策に対して、総合的にみてどのように感じていますか。(〇は1つだけ)

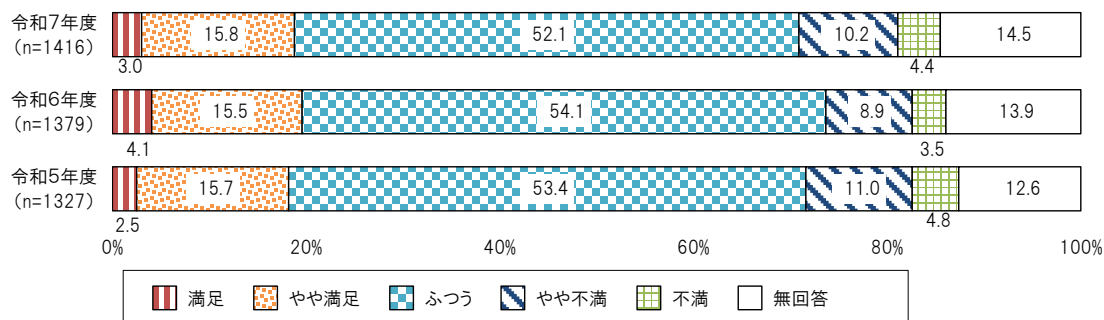
「ふつう」が 52.1%で最も高く、ついで「やや満足」が 15.8%、「やや不満」が 10.2%となっている。

性別にみると、「満足」「やや満足」の合計の割合は、男性が 20.1%、女性が 18.7%で男性の方が女性よりも 1.4 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「満足」「やや満足」の合計の割合は 20 歳代で最も高く 38.1%となっており、年代が上がるにつれ低くなる傾向にある。



前回と比較すると、「満足」「やや満足」の合計の割合は前回が 19.6%であったのに対し今回は 18.8%と 0.8 ポイント低下している。





# 松阪市の個々の課題

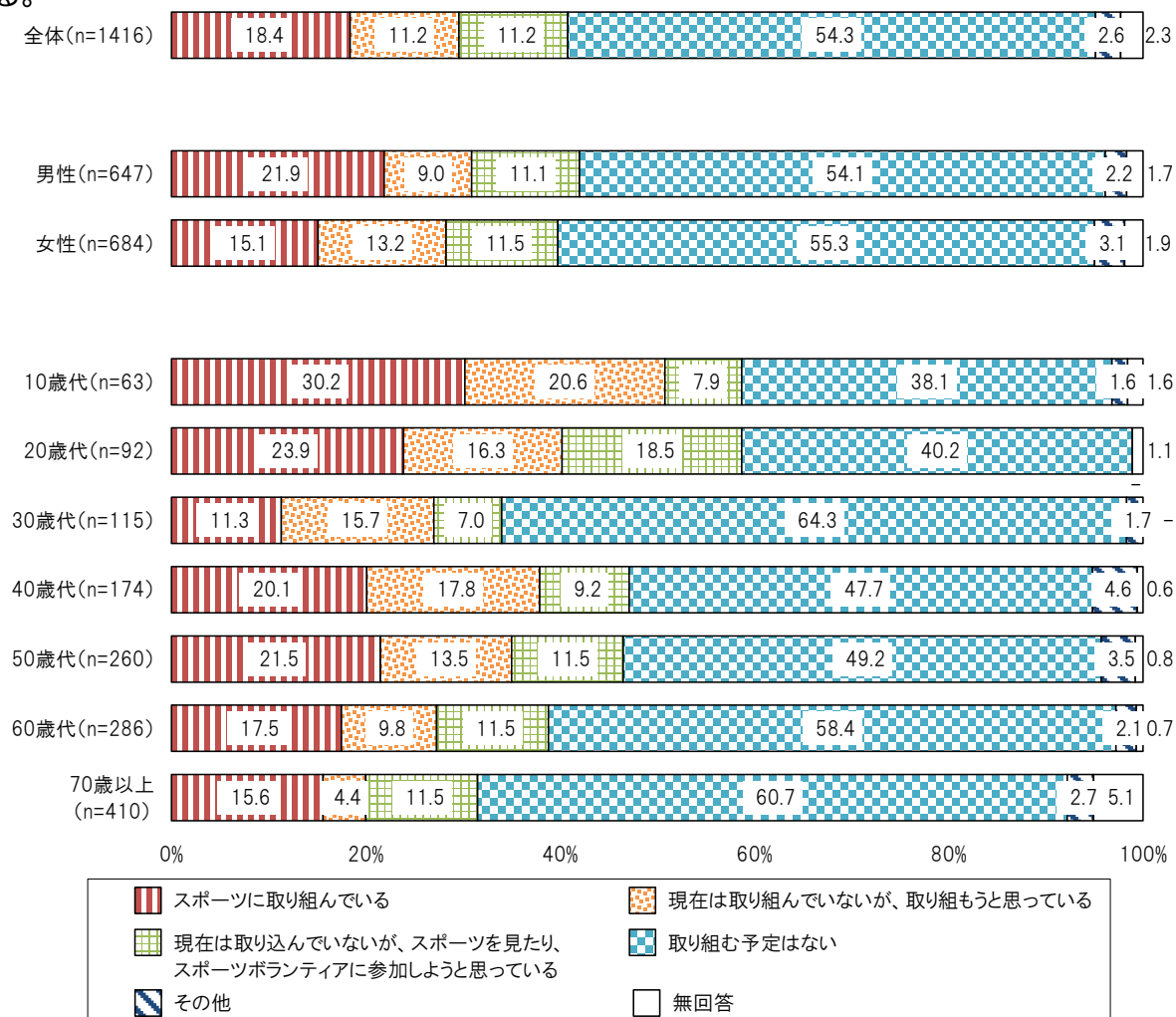
## スポーツのチカラを活用した健康まちづくりについて

問 8 松阪市では、「伝えたい！スポーツのチカラ」プロジェクトや「みえ松阪マラソン」の開催など、スポーツに関する話題を積極的に発信していますが、最近、あなたはスポーツに取り組んだことがありますか。(〇は1つだけ)

全体では「取り組む予定はない」が54.3%で最も高く、ついで「スポーツに取り組んでいる」が18.4%、「現在は取り組んでいないが、取り組もうと思っている」および「現在は取り込んでいないが、スポーツを見たり、スポーツボランティアに参加しようと思っている」が11.2%となっている。

性別にみると、「スポーツに取り組んでいる」は男性で21.9%であるのに対し、女性では15.1%と、男性の方が6.8ポイント多くなっている。

年代別にみると、「スポーツに取り組んでいる」は10歳代で30.2%と最も高く、20歳代、40歳代、50歳代では2割を超えている。一方30歳代では11.3%と各年代の中で最も低くなっている。



問 9 10年前と比べてスポーツをする市民(20歳以上)の割合が増えています。その要因は何だと思われますか。(〇はいくつでも)

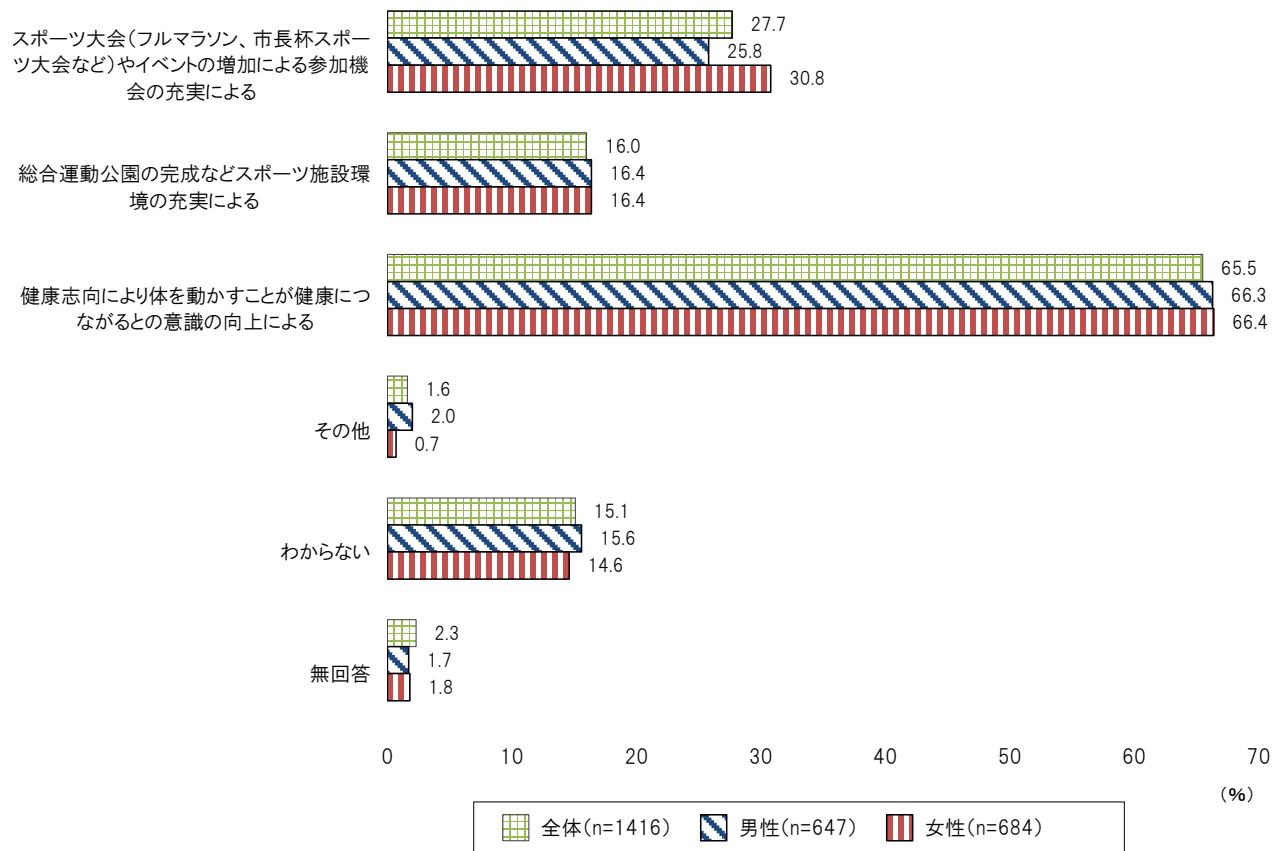
「健康志向により体を動かすことが健康につながる」との意識の向上による」が 65.5%で最も高く、ついで「スポーツ大会(フルマラソン、市長杯スポーツ大会など)やイベントの増加による参加機会の充実による」が 27.7%、「総合運動公園の完成などスポーツ施設環境の充実による」が 16.0%となっている。

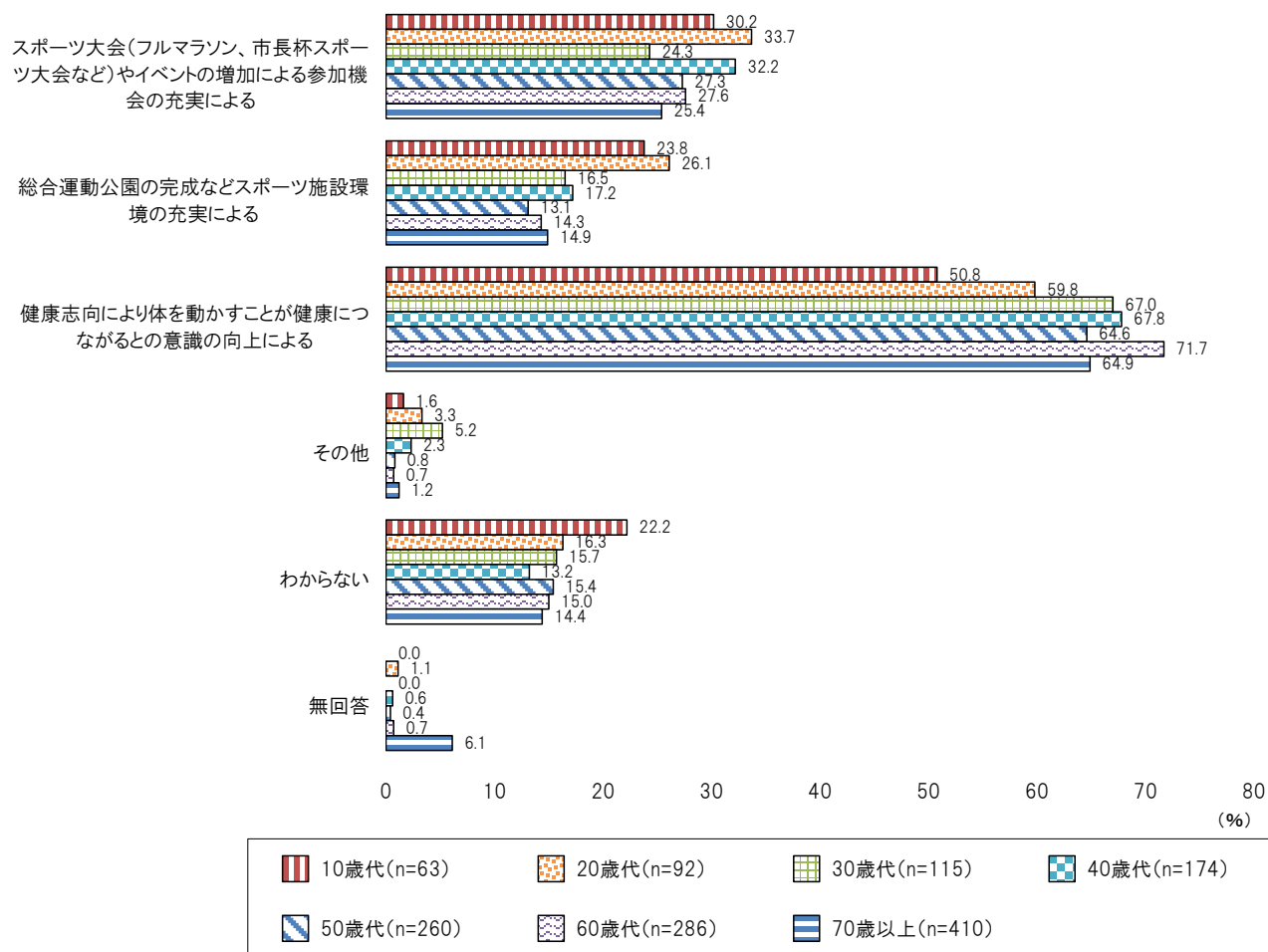
性別にみると、1番目、2番目、3番目に高い項目は男女とも同じであった。

年代別にみると、50 歳代、60 歳代を除き、1番目、2番目、3番目に高い項目は全体と同じであった。

#### <上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		健康志向により体を動かすことが健康につながる」との意識の向上による	65.5%	スポーツ大会(フルマラソン、市長杯スポーツ大会など)やイベントの増加による参加機会の充実による	27.7%	総合運動公園の完成などスポーツ施設環境の充実による	16.0%
性別	男性	健康志向により体を動かすことが健康につながる」との意識の向上による	66.3%	スポーツ大会やイベントの増加による参加機会の充実による	25.8%	総合運動公園の完成などスポーツ施設環境の充実による	16.4%
	女性	健康志向により体を動かすことが健康につながる」との意識の向上による	66.4%	スポーツ大会やイベントの増加による参加機会の充実による	30.8%	総合運動公園の完成などスポーツ施設環境の充実による	16.4%
年代別	10 歳代	健康志向により体を動かすことが健康につながる」との意識の向上による	50.8%	スポーツ大会やイベントの増加による参加機会の充実による	30.2%	総合運動公園の完成などスポーツ施設環境の充実による	23.8%
	20 歳代	健康志向により体を動かすことが健康につながる」との意識の向上による	59.8%	スポーツ大会やイベントの増加による参加機会の充実による	33.7%	総合運動公園の完成などスポーツ施設環境の充実による	26.1%
	30 歳代	健康志向により体を動かすことが健康につながる」との意識の向上による	67.0%	スポーツ大会やイベントの増加による参加機会の充実による	24.3%	総合運動公園の完成などスポーツ施設環境の充実による	16.5%
	40 歳代	健康志向により体を動かすことが健康につながる」との意識の向上による	67.8%	スポーツ大会やイベントの増加による参加機会の充実による	32.2%	総合運動公園の完成などスポーツ施設環境の充実による	17.2%
	50 歳代	健康志向により体を動かすことが健康につながる」との意識の向上による	64.6%	スポーツ大会やイベントの増加による参加機会の充実による	27.3%	わからない	15.4%
	60 歳代	健康志向により体を動かすことが健康につながる」との意識の向上による	71.7%	スポーツ大会やイベントの増加による参加機会の充実による	27.6%	わからない	15.0%
	70 歳以上	健康志向により体を動かすことが健康につながる」との意識の向上による	64.9%	スポーツ大会やイベントの増加による参加機会の充実による	25.4%	総合運動公園の完成などスポーツ施設環境の充実による	14.9%



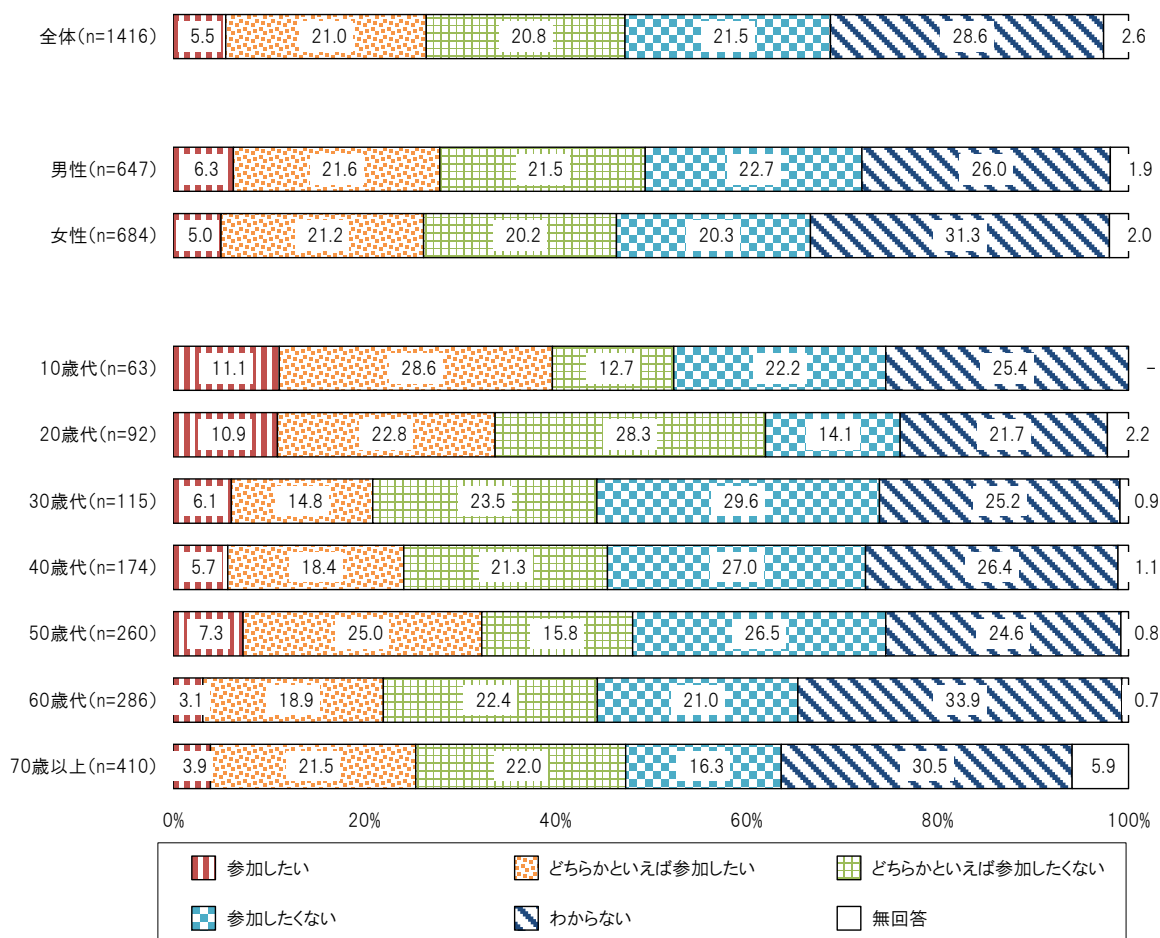


問 10 松阪市では、スポーツのチカラ「スポーツと連動したまちづくり」の一環として、市民の皆さまと一体となってスポーツボランティアへの参加によりスポーツを「支える」喜びを感じ、よりスポーツに親しむことで、さらなる健康づくりにつなげていきたいと考えています。今後も、スポーツイベントを通じボランティア参加の機会を増やしていこうと考えていますが、あなたはこのような取組に参加したいと思いますか。(〇は1つだけ)

全体では「わからない」が28.6%で最も高く、ついで「参加したくない」が21.5%、「どちらかといえば参加したい」が21.0%となっている。

性別にみると、「わからない」では男性と女性の間で5.3ポイントの差がみられるものの、それ以外では大きな違いは見られなかった。

年代別にみると、「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」の合計の割合は、10歳代で39.7%と最も高くなっており、30歳が20.9%で最も低くなっている。同割合が3割を超えているのは10歳代、20歳代、50歳代となっている。



## 観光施策について

問 11 あなたが旅行に行くとき、何を重視して行き先を決めますか。(○は3つまで)

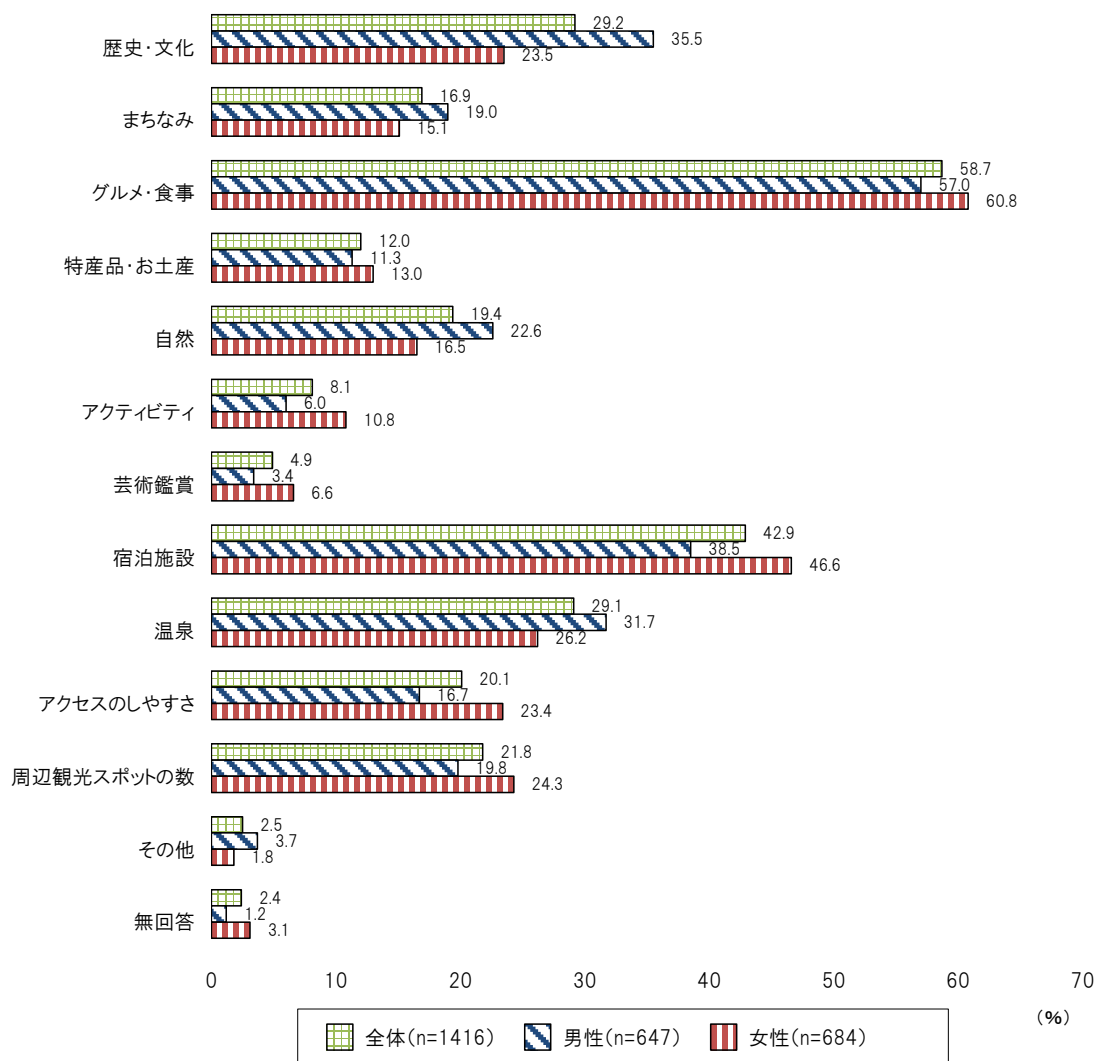
「グルメ・食事」が 58.7%で最も高く、ついで「宿泊施設」が 42.9%、「歴史・文化」が 29.2%となっている。

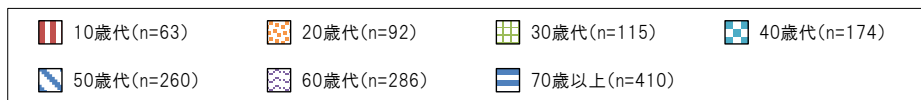
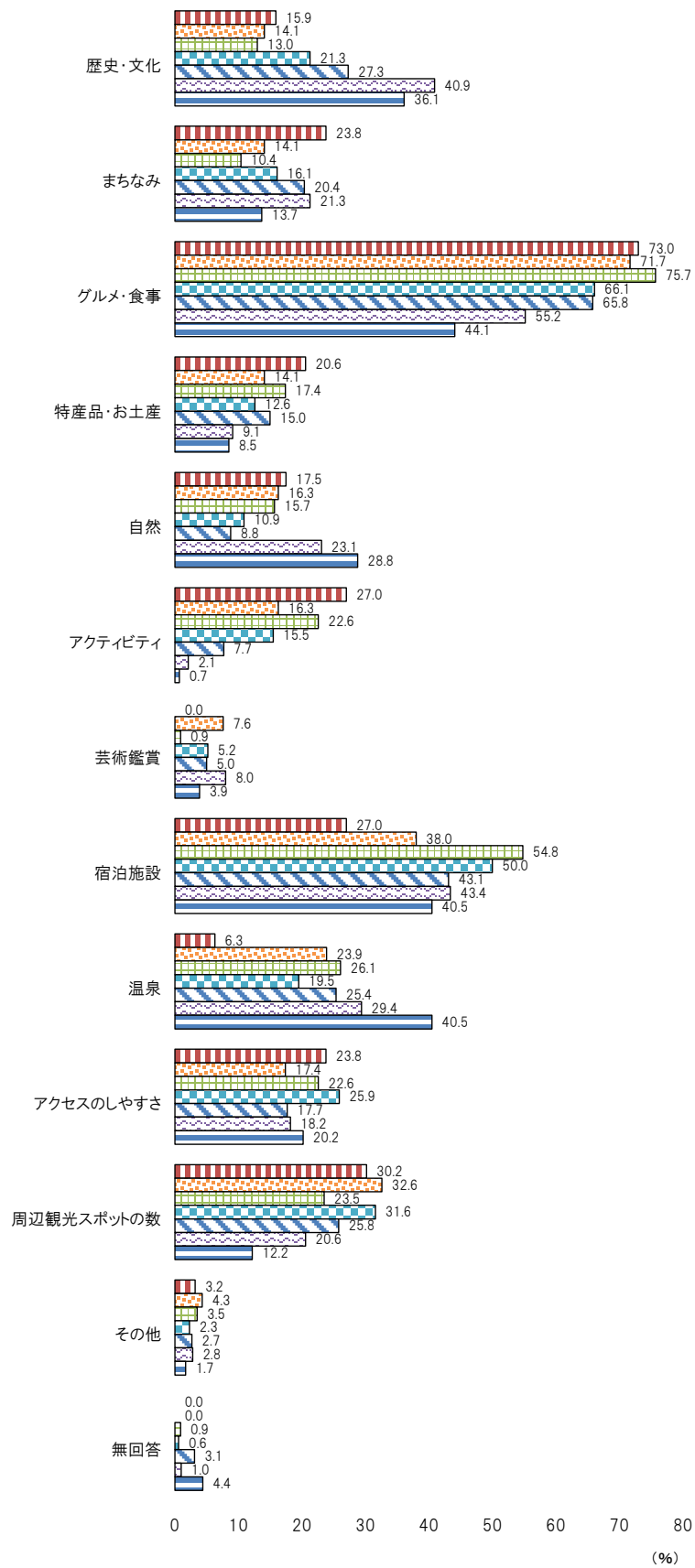
性別にみると、男性は1番目、2番目、3番目に高い項目は全体と同じであった。女性は3番目に「温泉」が入っている。

年代別にみると、1番目の項目は、いずれの年代も「グルメ・食事」であった。2番目は 10 歳代以外は「宿泊施設」であり、10 歳代では「周辺観光スポットの数」であった。3番目は年代によってさまざまな項目があがってきており、10 歳代では「アクティビティ」が入ってきている。

### <上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		グルメ・食事	58.7%	宿泊施設	42.9%	歴史・文化	29.2%
性別	男性	グルメ・食事	57.0%	宿泊施設	38.5%	歴史・文化	35.5%
	女性	グルメ・食事	60.8%	宿泊施設	46.6%	温泉	26.2%
年代別	10 歳代	グルメ・食事	73.0%	周辺観光スポットの数	30.2%	アクティビティ 宿泊施設	27.0%
	20 歳代	グルメ・食事	71.7%	宿泊施設	38.0%	周辺観光スポットの数	32.6%
	30 歳代	グルメ・食事	75.7%	宿泊施設	54.8%	温泉	26.1%
	40 歳代	グルメ・食事	66.1%	宿泊施設	50.0%	周辺観光スポットの数	31.6%
	50 歳代	グルメ・食事	65.8%	宿泊施設	43.1%	歴史・文化	27.3%
	60 歳代	グルメ・食事	55.2%	宿泊施設	43.4%	歴史・文化	40.9%
	70 歳以上	グルメ・食事	44.1%	宿泊施設	40.5%	温泉	40.5%





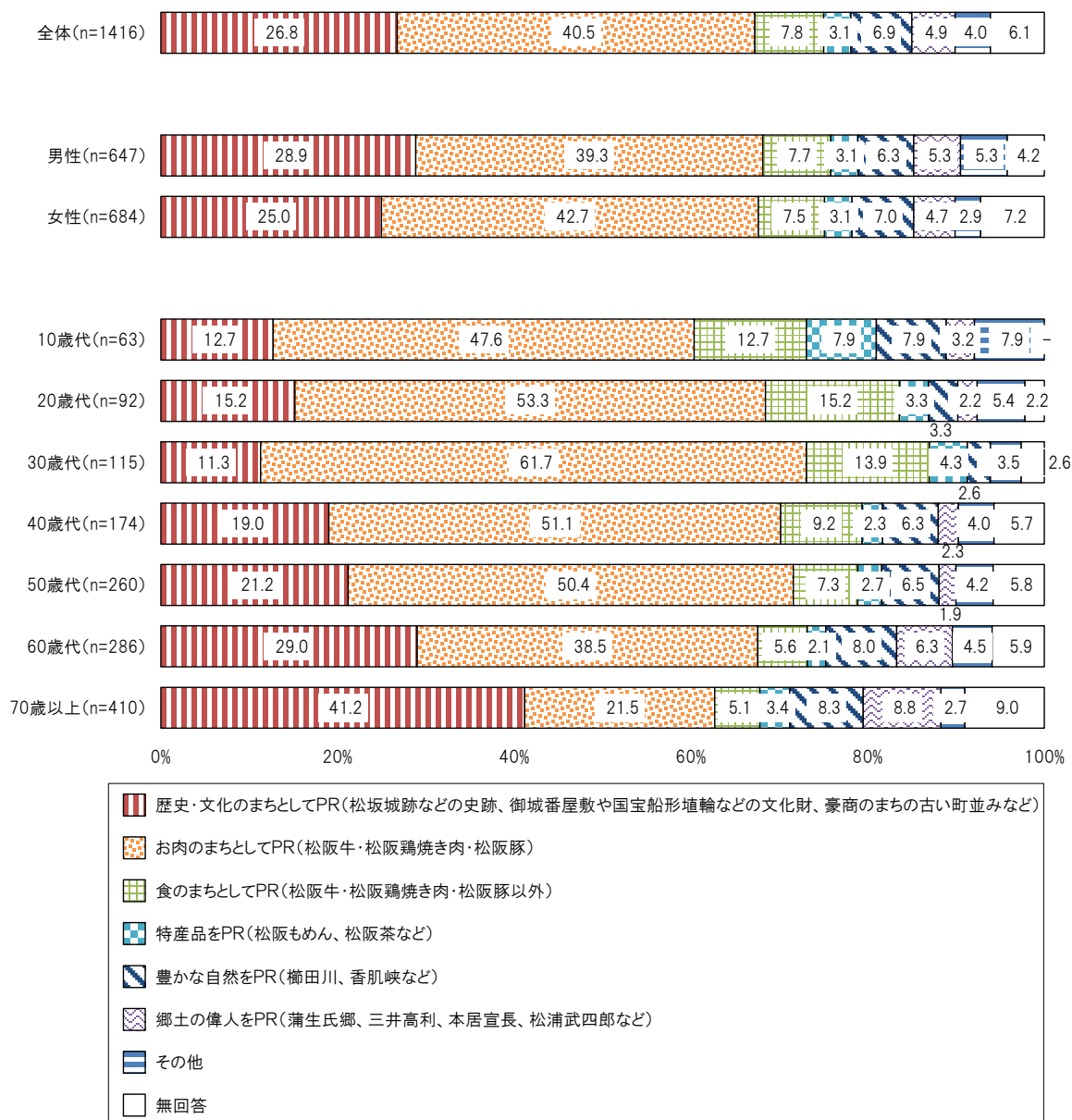


問 12 多くの観光客に松阪市を訪れてもらうには、どうPRすればよいと思いますか。(〇は1つだけ)

全体では「お肉のまちとしてPR(松阪牛・松阪鶏焼き肉・松阪豚)」が40.5%で最も高く、ついで「歴史・文化のまちとしてPR(松坂城跡などの史跡、御城番屋敷や国宝船形埴輪などの文化財、豪商のまちの古い町並みなど)」が26.8%、「食のまちとしてPR(松阪牛・松阪鶏焼き肉・松阪豚以外)」が7.8%となっている。

性別にみると、ほぼ同様の傾向となっているが、「歴史・文化のまちとしてPR(松坂城跡などの史跡、御城番屋敷や国宝船形埴輪などの文化財、豪商のまちの古い町並みなど)」では男性の方が3.9ポイント高くなっている、

年代別にみると、70歳以上では「歴史・文化のまちとしてPR(松坂城跡などの史跡、御城番屋敷や国宝船形埴輪などの文化財、豪商のまちの古い町並みなど)」が最も高くなっており、他の年代では「お肉のまちとしてPR(松阪牛・松阪鶏焼き肉・松阪豚)」が最も高くなっている。



問 13 どのようなところに向けたPRや情報発信をすればよいと思いますか。(〇は2つまで)

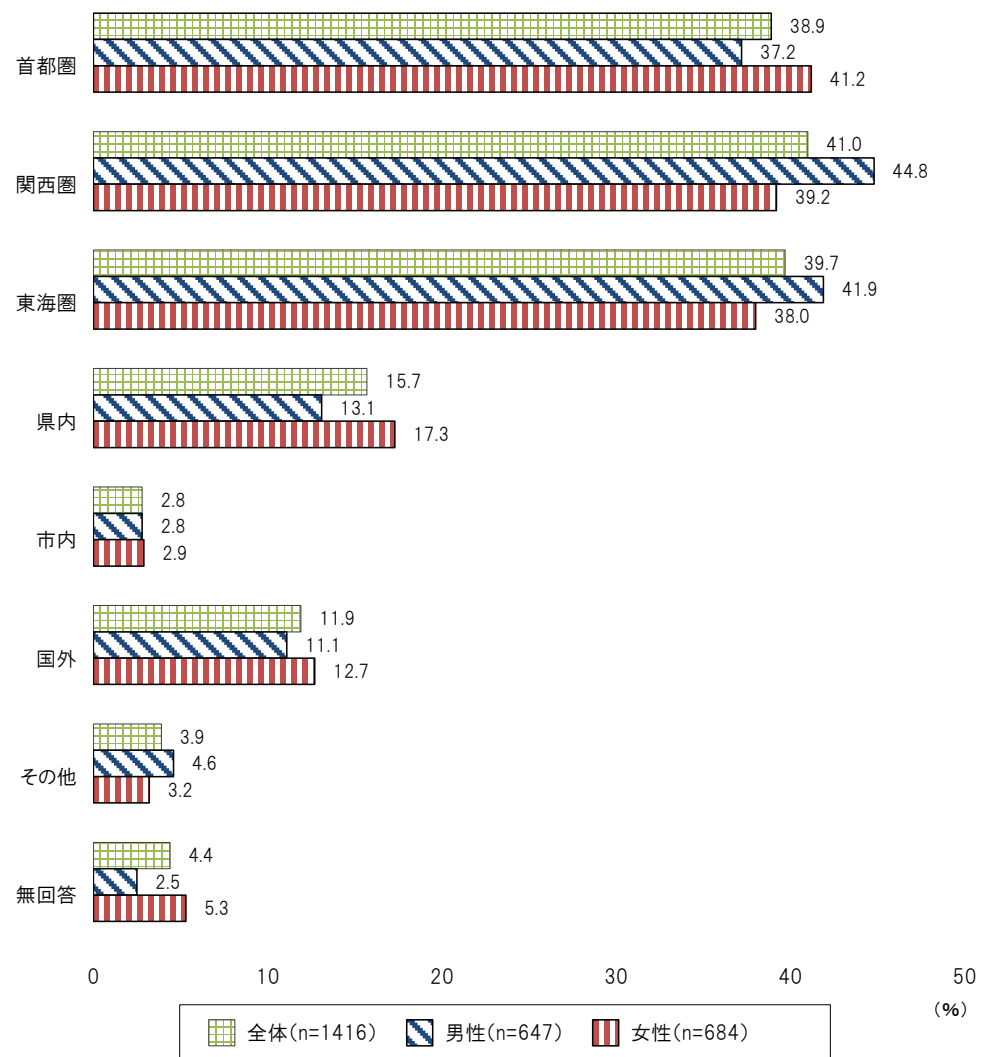
「関西圏」が 41.0%で最も高く、ついで「東海圏」が 39.7%、「首都圏」が 38.9%となっている。

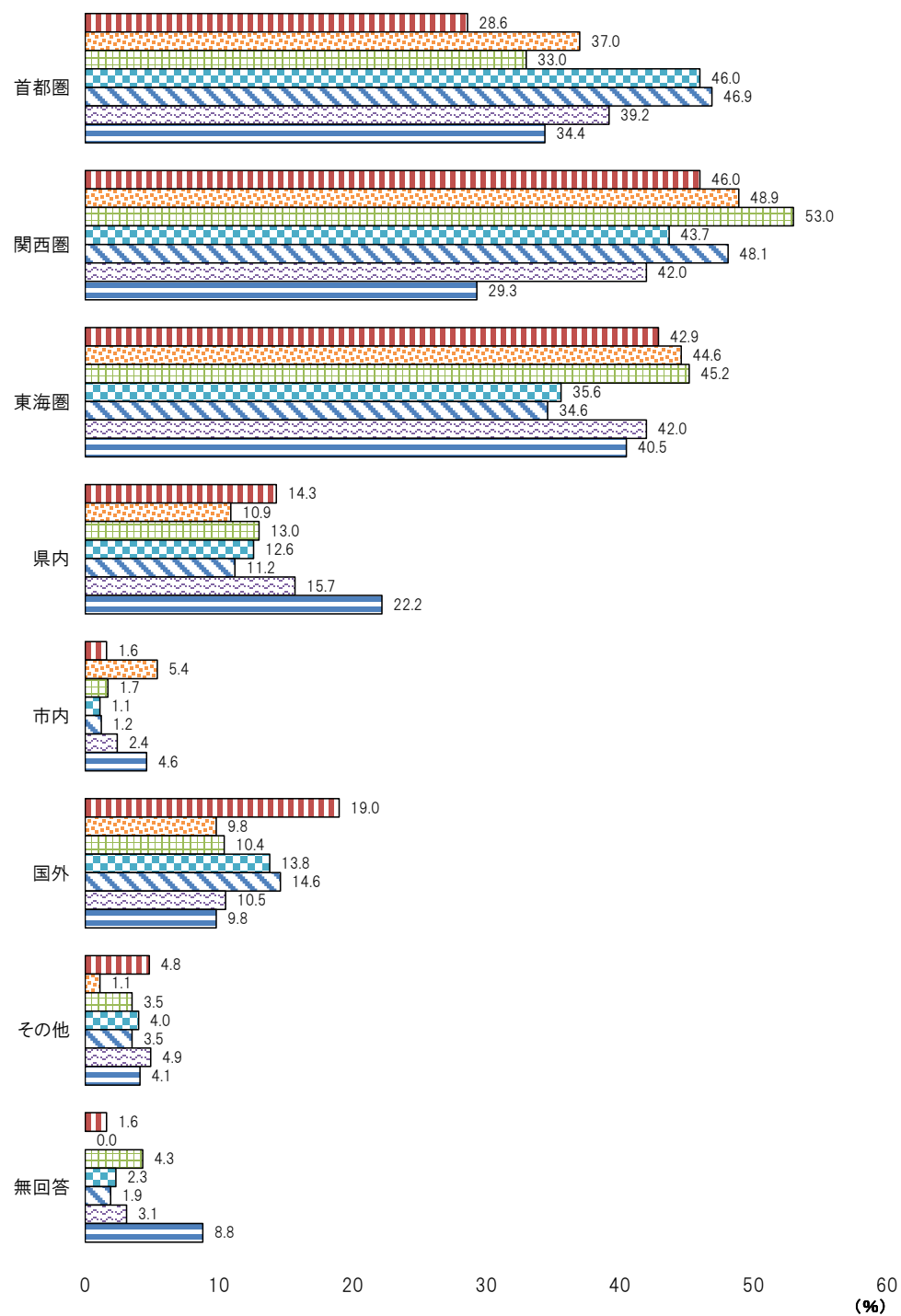
性別にみると、男性は1番目、2番目、3番目に高い項目は全体と同じであった。女性では「首都圏」が1番目に入ってきている。

年代別にみると、上位3項目に入っている項目は「関西圏」、「東海圏」、「首都圏」のいずれかではあった。10 歳代、20 歳代、30 歳代、60 歳代は全体と同じであった。40 歳代は「首都圏」が1番目であり、70 歳以上は「東海圏」が1番目であった。

<上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		関西圏	41.0%	東海圏	39.7%	首都圏	38.9%
性別	男性	関西圏	44.8%	東海圏	41.9%	首都圏	37.2%
	女性	首都圏	41.2%	関西圏	39.2%	東海圏	38.0%
年代別	10 歳代	関西圏	46.0%	東海圏	42.9%	首都圏	28.6%
	20 歳代	関西圏	48.9%	東海圏	44.6%	首都圏	37.0%
	30 歳代	関西圏	53.0%	東海圏	45.2%	首都圏	33.0%
	40 歳代	首都圏	46.0%	関西圏	43.7%	東海圏	35.6%
	50 歳代	関西圏	48.1%	首都圏	46.9%	東海圏	34.6%
	60 歳代	関西圏	42.0%	東海圏	42.0%	首都圏	39.2%
	70 歳以上	東海圏	40.5%	首都圏	34.4%	関西圏	29.3%





問 14 どのような方法で観光PRや情報発信をすればよいと思いますか。(○は3つまで)

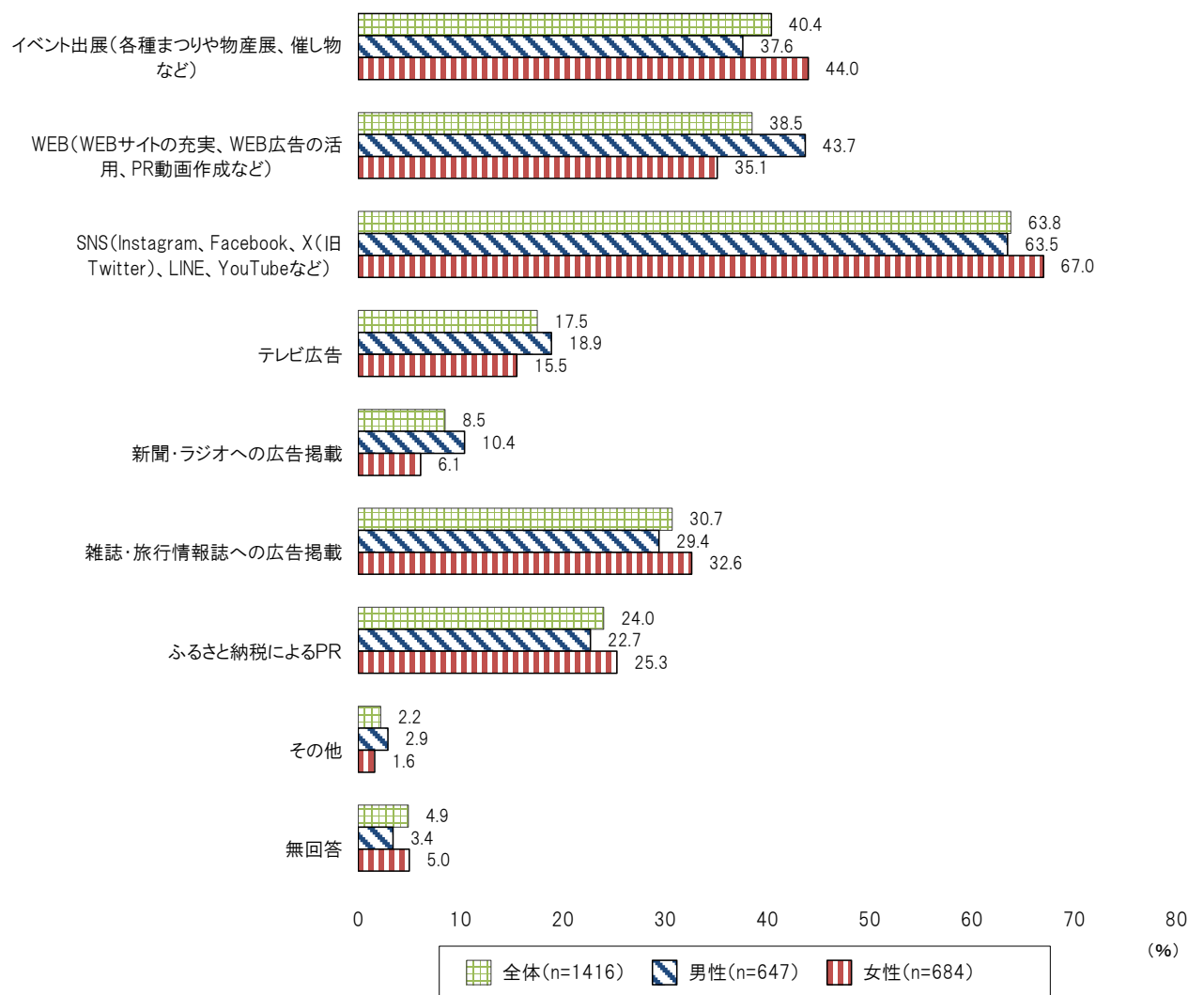
「SNS(Instagram、Facebook、X(旧 Twitter)、LINE、YouTube など)」が 63.8%で最も高く、ついで「イベント出展(各種まつりや物産展、催し物など)」が 40.4%、「WEB(WEB サイトの充実、WEB 広告の活用、PR 動画作成など)」が 38.5%となっている。

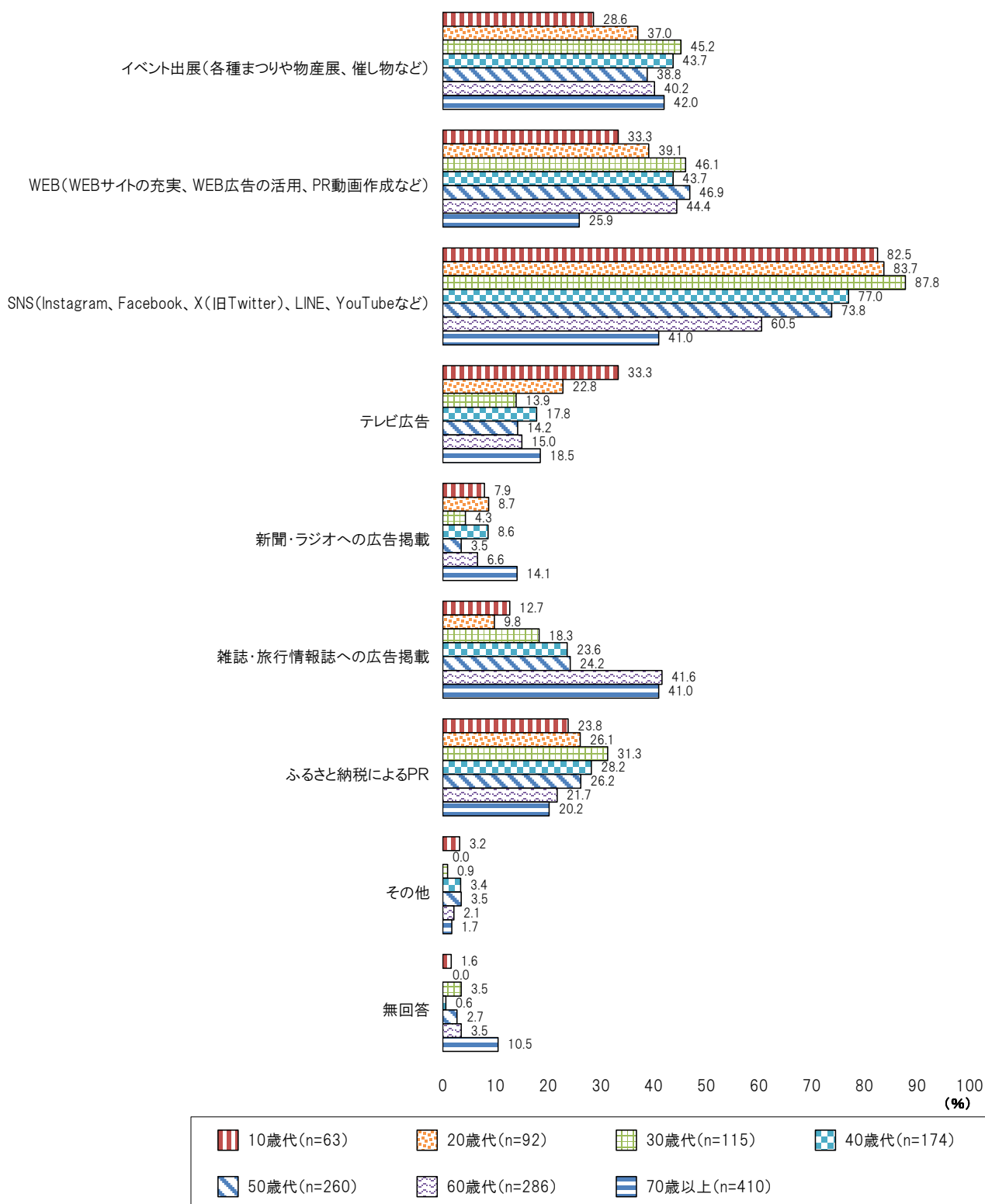
性別にみると、女性は1番目、2番目、3番目に高い項目は全体と同じであった。男性は2番目と3番目の順位が全体と入れ替わっている。

年代別にみると、70 歳以上以外の年代では「SNS(Instagram、Facebook、X(旧 Twitter)、LINE、YouTube など)」が1番目となっている。70 歳以上では「イベント出展(各種まつりや物産展、催し物など)」が1番目となっている。全体の上位3項目以外が入ってきているのは、10 歳代の3番目「テレビ広告」や 60 歳代、70 歳以上の3番目「雑誌・旅行情報誌への広告掲載」となっている。

<上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		SNS (Instagram、Facebook、X (旧 Twitter)、LINE、YouTube など)	63.8%	イベント出展(各種まつりや物産展、催し物など)	40.4%	WEB (WEB サイトの充実、WEB 広告の活用、PR 動画作成など)	38.5%
性別	男性	SNS (Instagram、Facebook、X、LINE、YouTube など)	63.5%	WEB (WEB サイトの充実、WEB 広告の活用、PR 動画作成など)	43.7%	イベント出展(各種まつりや物産展、催し物など)	37.6%
	女性	SNS (Instagram、Facebook、X、LINE、YouTube など)	67.0%	イベント出展(各種まつりや物産展、催し物など)	44.0%	WEB (WEB サイトの充実、WEB 広告の活用、PR 動画作成など)	35.1%
年代別	10 歳代	SNS (Instagram、Facebook、X、LINE、YouTube など)	82.5%	WEB (WEB サイトの充実、WEB 広告の活用、PR 動画作成など)	33.3%	テレビ広告	33.3%
	20 歳代	SNS (Instagram、Facebook、X、LINE、YouTube など)	83.7%	WEB (WEB サイトの充実、WEB 広告の活用、PR 動画作成など)	39.1%	イベント出展(各種まつりや物産展、催し物など)	37.0%
	30 歳代	SNS (Instagram、Facebook、X、LINE、YouTube など)	87.8%	WEB (WEB サイトの充実、WEB 広告の活用、PR 動画作成など)	46.1%	イベント出展(各種まつりや物産展、催し物など)	45.2%
	40 歳代	SNS (Instagram、Facebook、X、LINE、YouTube など)	77.0%	イベント出展(各種まつりや物産展、催し物など)	43.7%	WEB (WEB サイトの充実、WEB 広告の活用、PR 動画作成など)	43.7%
	50 歳代	SNS (Instagram、Facebook、X、LINE、YouTube など)	73.8%	WEB (WEB サイトの充実、WEB 広告の活用、PR 動画作成など)	46.9%	イベント出展(各種まつりや物産展、催し物など)	38.8%
	60 歳代	SNS (Instagram、Facebook、X、LINE、YouTube など)	60.5%	WEB (WEB サイトの充実、WEB 広告の活用、PR 動画作成など)	44.4%	雑誌・旅行情報誌への広告掲載	41.6%
	70 歳以上	イベント出展(各種まつりや物産展、催し物など)	42.0%	SNS (Instagram、Facebook、X、LINE、YouTube など)	41.0%	雑誌・旅行情報誌への広告掲載	41.0%



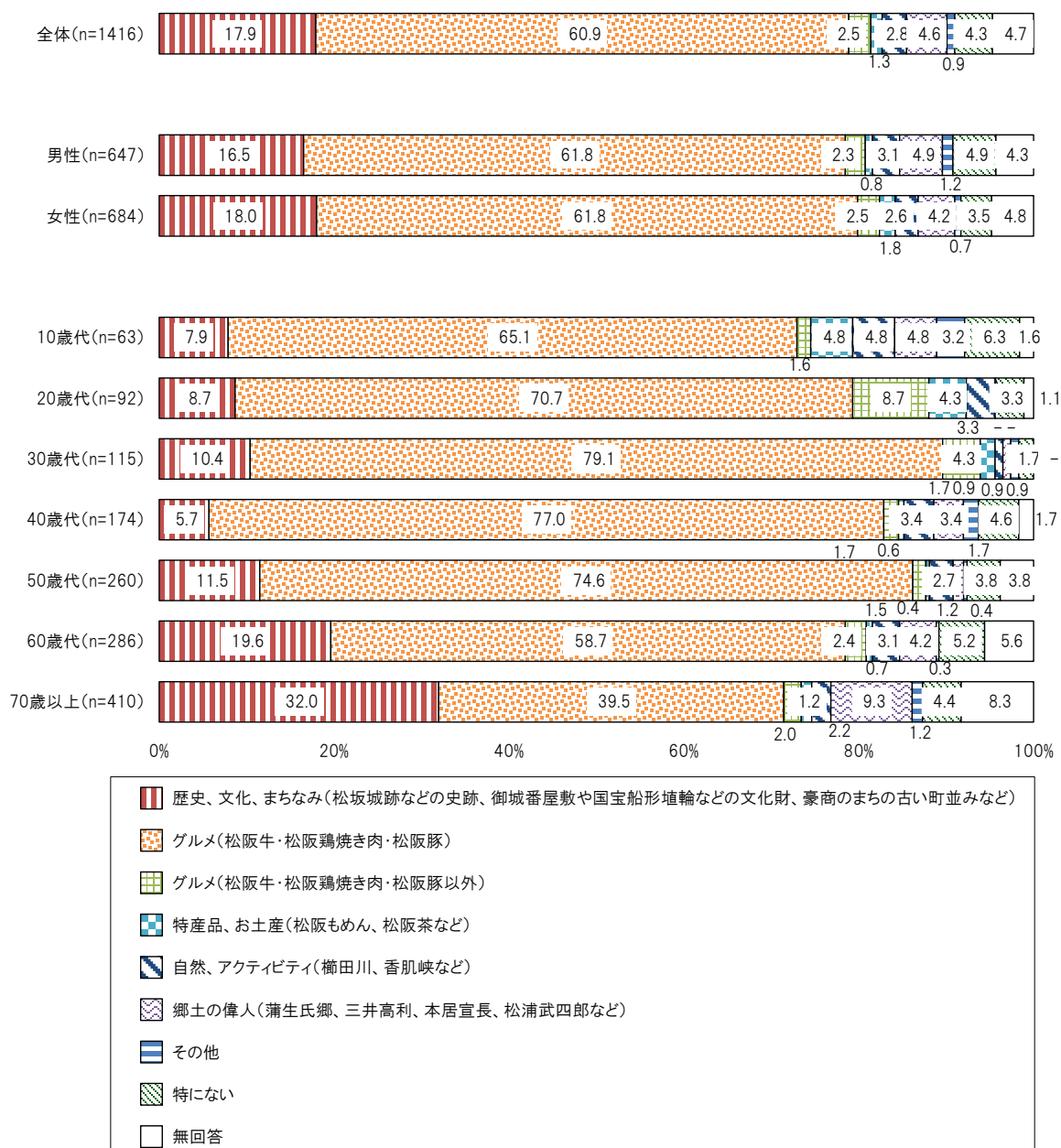


問 15 もし、あなたが観光客などから松阪市のことをたずねられた場合、何を紹介(自慢)しますか。(〇は1つだけ)

全体では「グルメ(松阪牛・松阪鶏焼き肉・松阪豚)」が 60.9%で最も高く、ついで「歴史、文化、まちなみ(松坂城跡などの史跡、御城番屋敷や国宝船形埴輪などの文化財、豪商のまちの古い町並みなど)」が 17.9%、「郷土の偉人(蒲生氏郷、三井高利、本居宣長、松浦武四郎など)」が 4.6%となっている。

性別にみると、いずれの項目も大きな違いは見られない。

年代別にみると、いずれの年代とも1番目が「グルメ(松阪牛・松阪鶏焼き肉・松阪豚)」、2番目が「歴史、文化、まちなみ(松坂城跡などの史跡、御城番屋敷や国宝船形埴輪などの文化財、豪商のまちの古い町並みなど)」であるが、その差の幅をみると最も差の大きい 40 歳代では 71.3 ポイント差であるのに対し、最も差の小さい 70 歳以上では 7.5 ポイント差となっている。



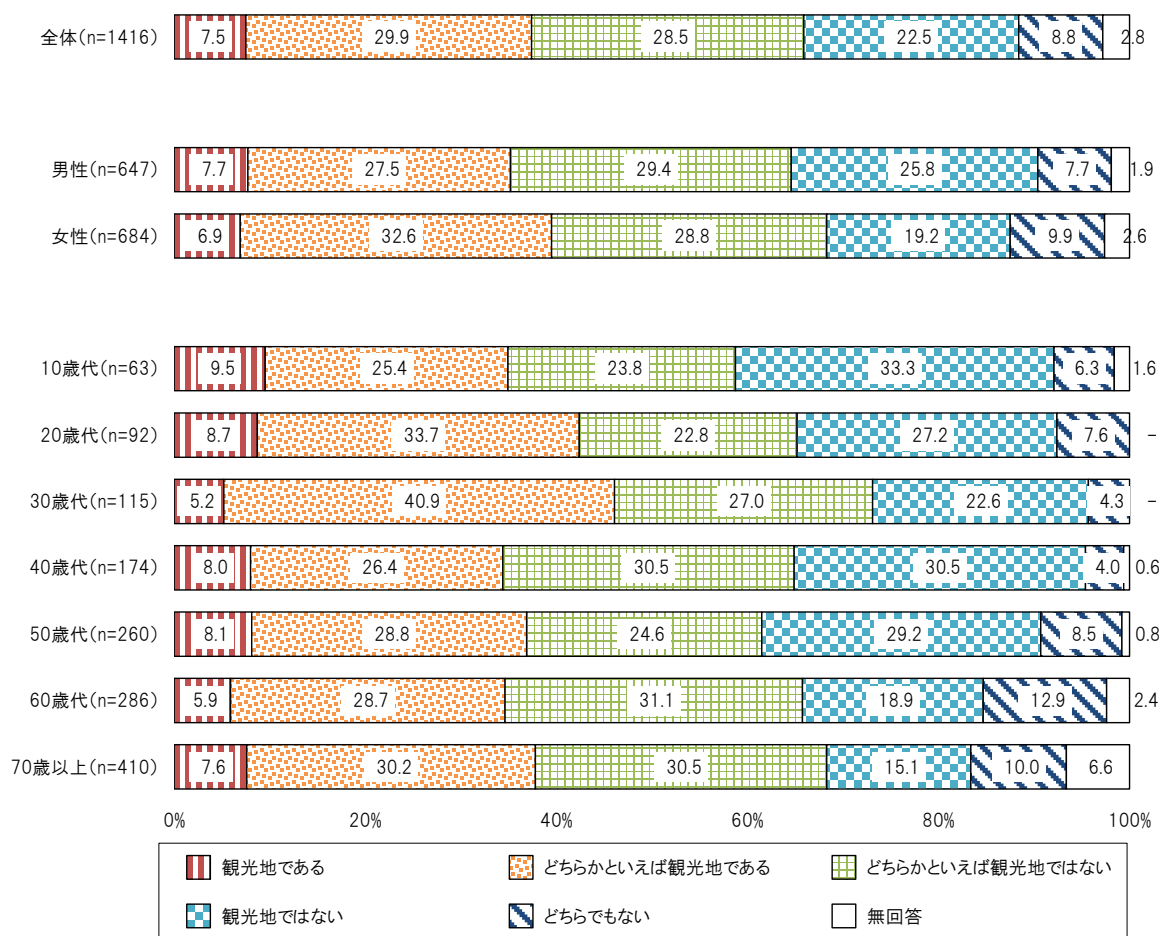


問 16 あなたは、松阪市を観光地だと思いますか。(○は 1 つだけ)

全体では「どちらかといえば観光地である」が 29.9%で最も高く、ついで「どちらかといえば観光地ではない」が 28.5%、「観光地ではない」が 22.5%となっている。

性別にみると、「観光地である」と「どちらかといえば観光地である」の合計の割合は、男性が 35.2%、女性が 39.5%であり、女性の方が 4.3 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「観光地である」と「どちらかといえば観光地である」の合計の割合は、30 歳代で最も高く 46.1%であり、40 歳代で最も低く 34.4%であった。同割合が4割以上であったのは 20 歳代と 30 歳代であった。



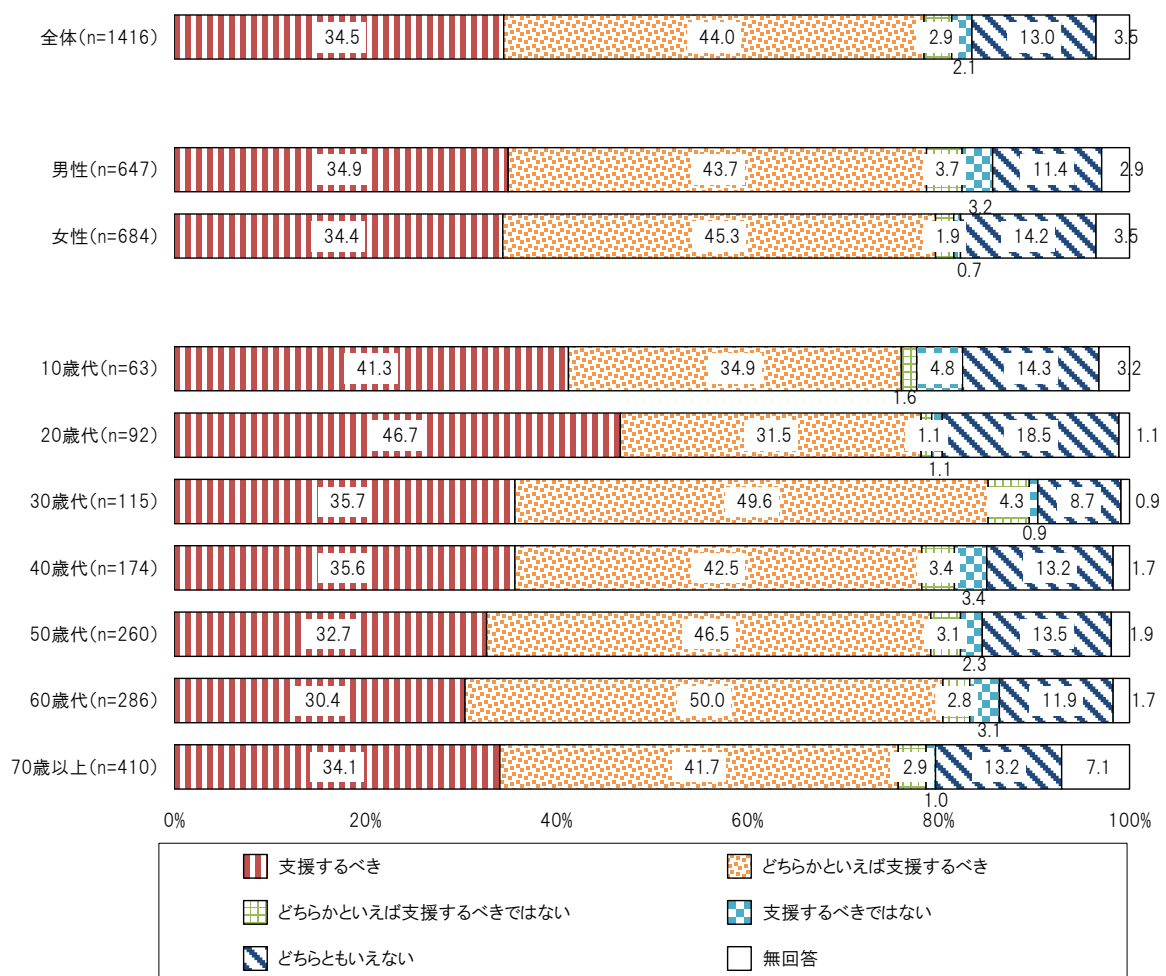
## 伝統産業に対する支援について

問 17 地域の文化的資源、観光資源として、まちづくりを社会面や経済面で支えてきた、松阪牛伝統肥育や松阪もめん、造り酒屋などの伝統産業は、担い手不足や生活様式等の変化を要因に技術の伝承および経営が厳しい状況にあります。地域産業の基盤としてだけでなく、松阪市の魅力をアピールする上で欠かすことのできない伝統産業に対し経営支援、補助することは、必要だと思いますか。(〇は1つだけ)

全体では「どちらかといえば支援すべき」が44.0%で最も高く、ついで「支援すべき」が34.5%、「どちらともいえない」が13.0%となっている。

性別にみると、いずれの項目も大きな違いは見られない。

年代別にみると、「支援すべき」と「どちらかといえば支援すべき」の合計の割合は、30歳代で最も高く85.3%であり、70歳以上で最も低く75.8%であった。同割合が8割以上であったのは30歳代と60歳代であった。



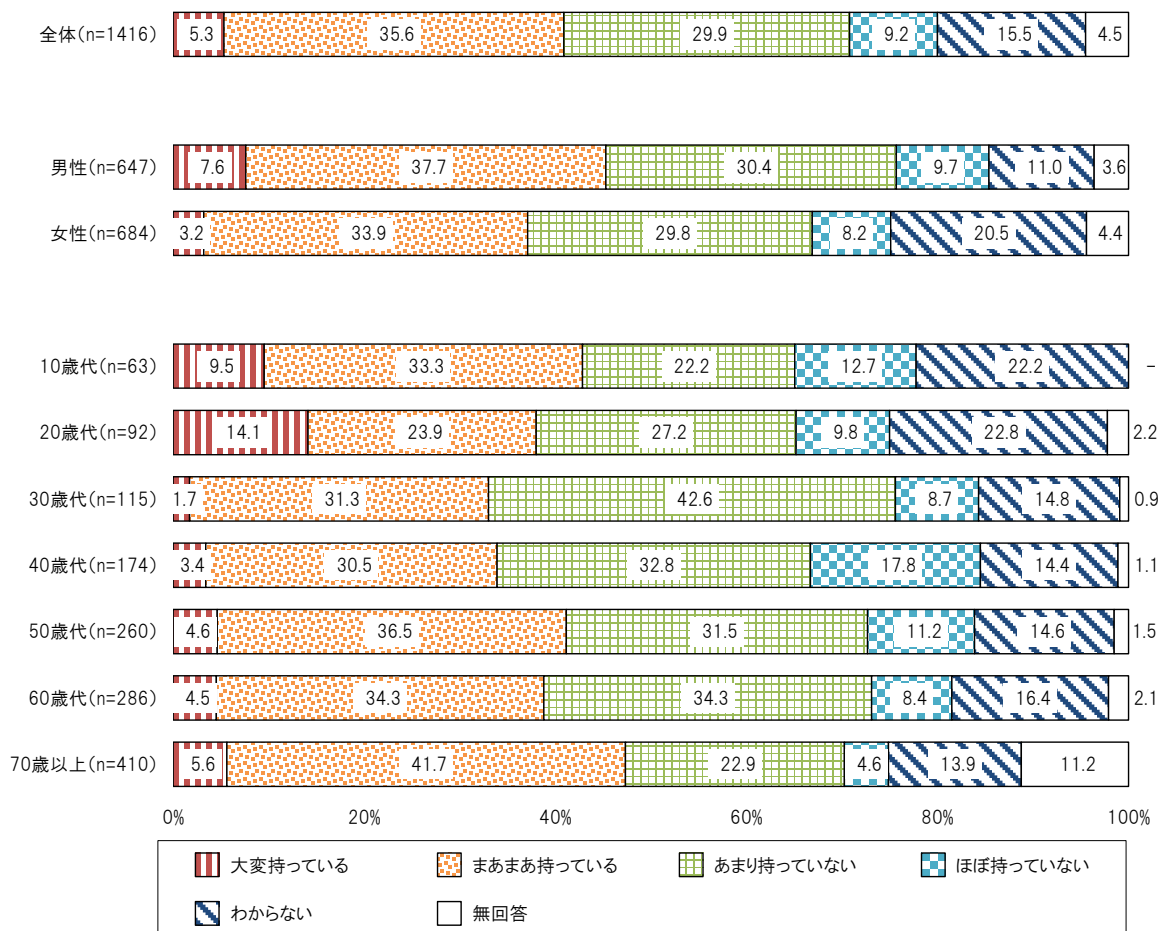
## シビックプライドについて

問 18 松阪市では、文化や歴史などの郷土教育を通じて、こどもたちの松阪市に対する愛着・誇りを育む教育を進めていますが、あなたは松阪市というまちに対して「シビックプライド」を持っていると感じますか。(〇は1つだけ)

全体では「まあまあ持っている」が35.6%で最も高く、ついで「あまり持っていない」が29.9%、「わからない」が15.5%となっている。

性別にみると、「大変持っている」と「まあまあ持っている」の合計の割合は、男性が45.3%、女性が37.1%であり、男性の方が8.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「大変持っている」と「まあまあ持っている」の合計の割合は、70歳以上で最も高く47.3%であり、30歳代で最も低く33.0%であった。同割合が4割以上であったのは10歳代、50歳代、70歳以上であった。



問 18 で「1. 大変持っている」「2. まあまあ持っている」と答えた方におききします

問 19 松阪市のどのようなところに愛着・誇り・シビックプライドを感じますか。(〇はいくつでも)

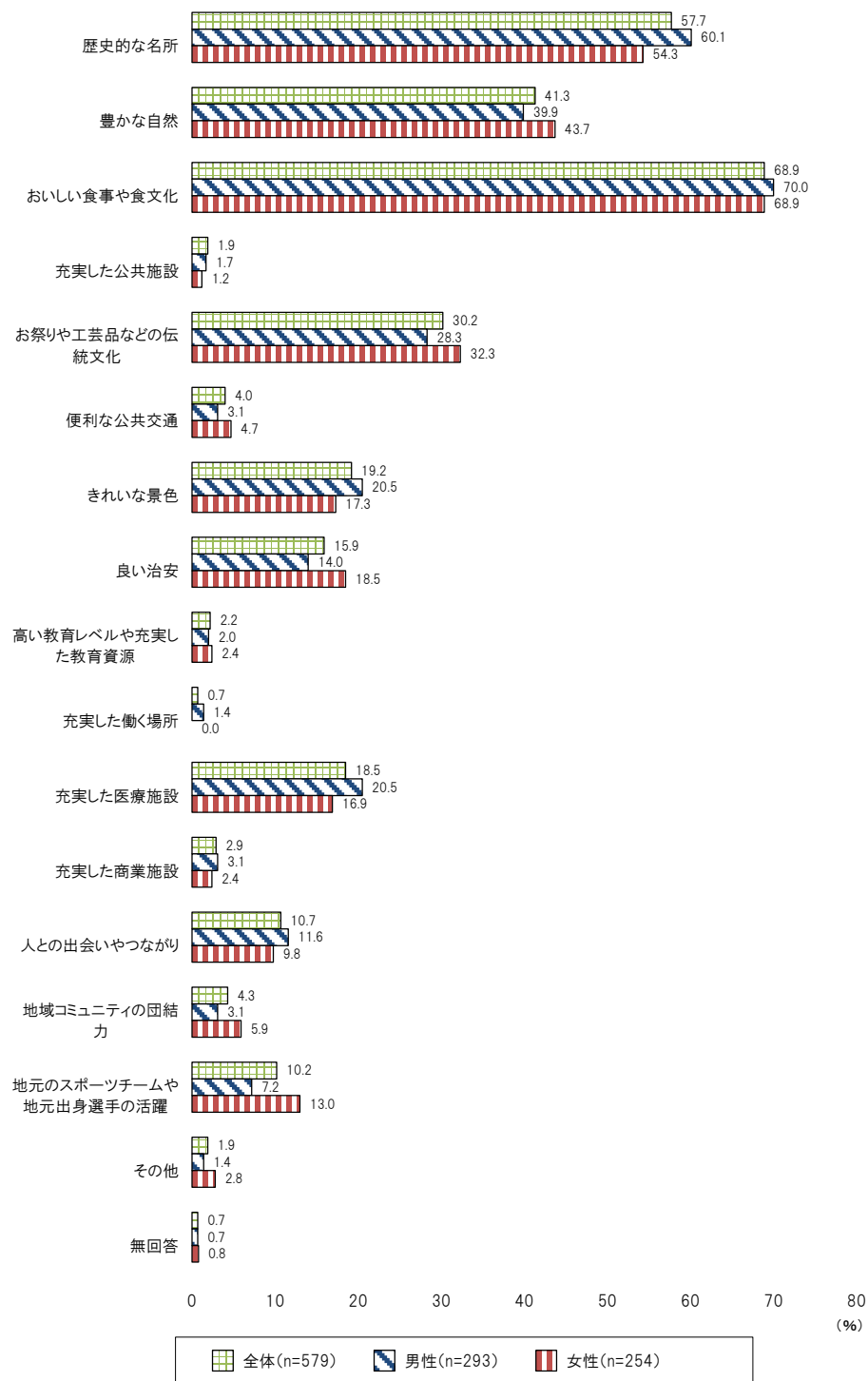
「おいしい食事や食文化」が 68.9%で最も高く、ついで「歴史的な名所」が 57.7%、「豊かな自然」が 41.3%となっている。

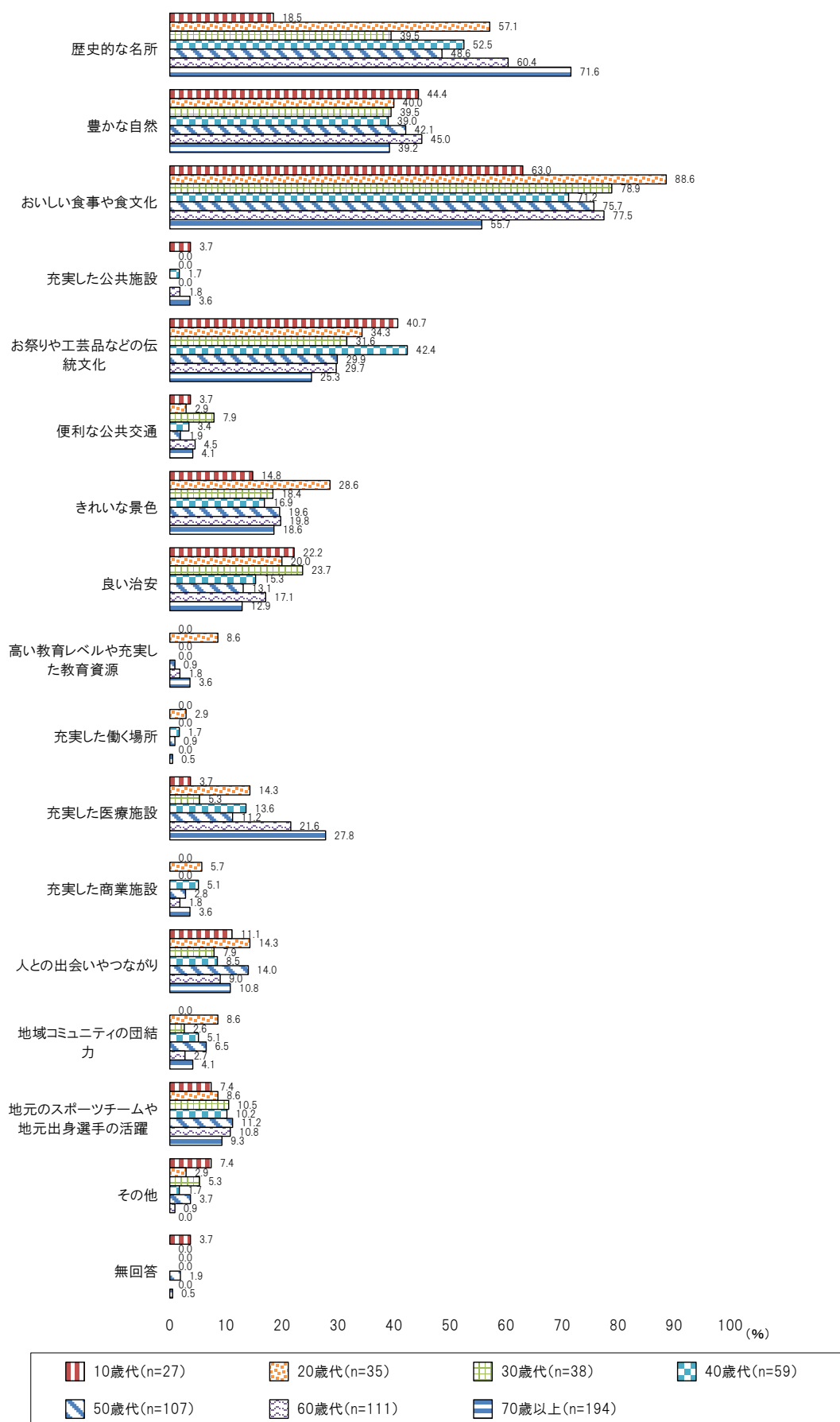
性別にみると、1番目、2番目、3番目に高い項目は男女とも全体と同じであった。

年代別にみると、1番目の項目は、70 歳以上を除き「おいしい食事や食文化」であり、70 歳以上では「歴史的な名所」となっている。全体の上位3項目以外が入ってきているのは、10 歳代と 40 歳代の3番目に「お祭りや工芸品などの伝統文化」があがっている。

#### <上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		おいしい食事や食文化	68.9%	歴史的な名所	57.7%	豊かな自然	41.3%
性別	男性	おいしい食事や食文化	70.0%	歴史的な名所	60.1%	豊かな自然	39.9%
	女性	おいしい食事や食文化	68.9%	歴史的な名所	54.3%	豊かな自然	43.7%
年代別	10 歳代	おいしい食事や食文化	63.0%	豊かな自然	44.4%	お祭りや工芸品などの伝統文化	40.7%
	20 歳代	おいしい食事や食文化	88.6%	歴史的な名所	57.1%	豊かな自然	40.0%
	30 歳代	おいしい食事や食文化	78.9%	歴史的な名所	39.5%	豊かな自然	39.5%
	40 歳代	おいしい食事や食文化	71.2%	歴史的な名所	52.5%	お祭りや工芸品などの伝統文化	42.4%
	50 歳代	おいしい食事や食文化	75.7%	歴史的な名所	48.6%	豊かな自然	42.1%
	60 歳代	おいしい食事や食文化	77.5%	歴史的な名所	60.4%	豊かな自然	45.0%
	70 歳以上	歴史的な名所	71.6%	おいしい食事や食文化	55.7%	豊かな自然	39.2%



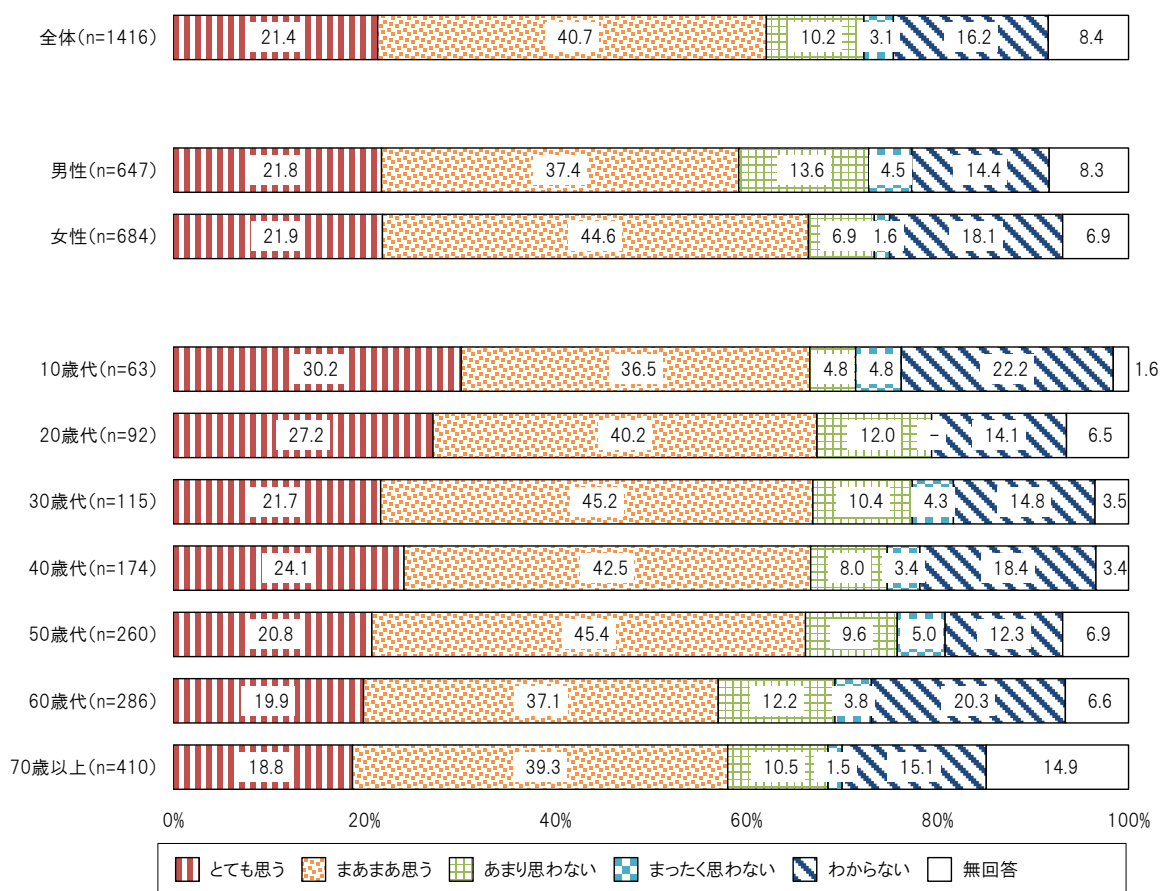


問 20 松阪市というまちに対して「シビックプライド」を持つ人が増えると、魅力的なまちになると思いますか。(〇は 1 つだけ)

全体では「まあまあ思う」が 40.7%で最も高く、ついで「とても思う」が 21.4%、「わからない」が 16.2%となっている。

性別にみると、「とても思う」と「まあまあ思う」の合計の割合は、男性が 59.2%、女性が 66.5%であり、女性の方が 7.3 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「とても思う」と「まあまあ思う」の合計の割合は、20 歳代で最も高く 67.4%、60 歳代で最も低く 57.0%であった。10 歳代から 50 歳代が 6 割台後半であるのに対し、60 歳代、70 歳以上では 5 割台後半であり 1 割ほど低くなっている。



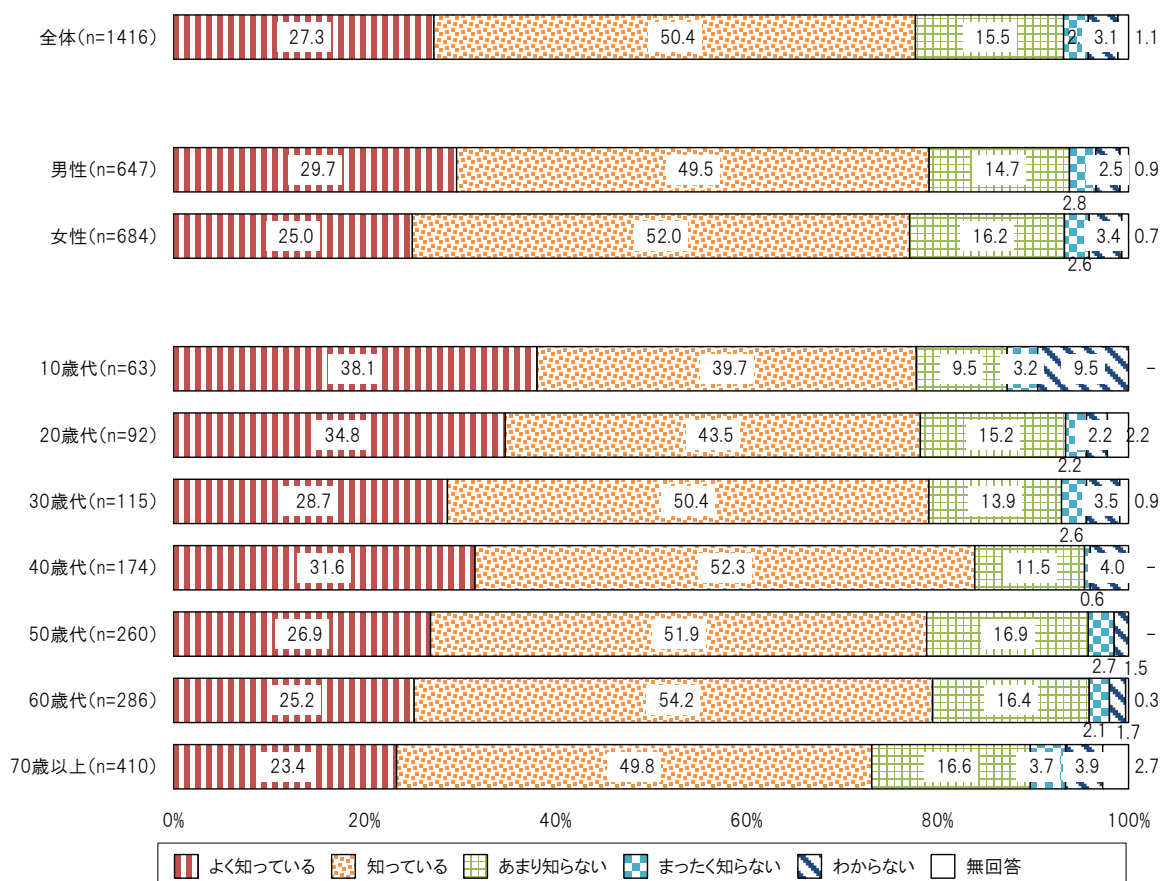
## 食品ロス削減の取組について

問 21 あなたは、現在、まだ食べることができる食品が、生産、製造、流通、販売、消費等の段階で日常的に廃棄されていることを知っていますか。(〇は1つだけ)

全体では「知っている」が50.4%で最も高く、ついで「よく知っている」が27.3%、「あまり知らない」が15.5%となっている。

性別にみると、「よく知っている」は男性が29.7%、女性が25.0%であり、男性の方が4.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、「よく知っている」と「知っている」の合計の割合は、40歳代で最も高く83.9%であり、70歳以上で最も低く73.2%であった。同割合が8割以上であったのは40歳代だけであった。10歳代では「よく知っている」が38.1%と高くなっている。



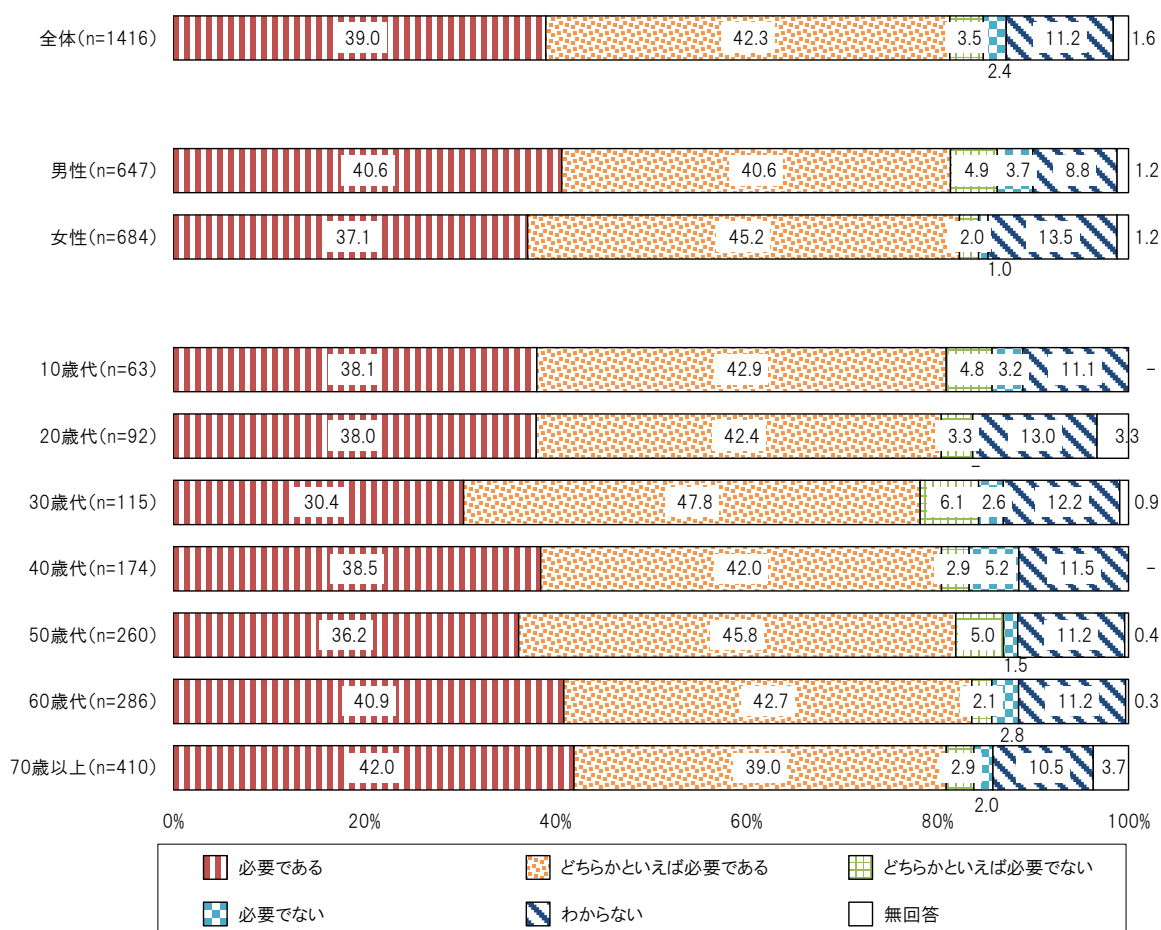


問 22 松阪市が今後、食品ロスの削減をさらに推進するため、市、事業者、市民の責務等を明確にした食品ロスに関する条例制定の取組等を進める必要がありますか。  
(○は1つだけ)

全体では「どちらかといえば必要である」が42.3%で最も高く、ついで「必要である」が39.0%、「わからない」が11.2%となっている。

性別にみると、「必要である」と「どちらかといえば必要である」の合計の割合は、男性が81.2%、女性が82.3%であり、大きな違いは見られなかった。

年代別にみると、「必要である」と「どちらかといえば必要である」の合計の割合は、60歳代が最も高く83.6%であり、30歳代が最も低く78.2%であった。最も高い60歳代と最も低い30歳代の差は5.4ポイントであり、年代ごとの差はあまり大きくなかった。



## フードドライブの推進について

問 23 あなたは、企業や家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている地域のフードバンク等の生活困窮者支援団体、こども食堂、福祉施設等に寄付する活動、いわゆる「フードドライブ」という取組を知っていますか。(〇は1つだけ)

全体では「ほとんど知らない」が29.2%で最も高く、ついで「知っている」が27.3%、「ある程度知っている」が25.1%となっている。

性別にみると、「知っている」と「ある程度知っている」の合計の割合は、男性が47.4%、女性が57.1%であり、女性の方が9.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、「知っている」と「ある程度知っている」の合計の割合は、40歳代で最も高く57.4%であり、10歳代で最も低く41.3%であった。同割合について30歳代以下では4割台であるのに対し、40歳代以上では5割台となっている。

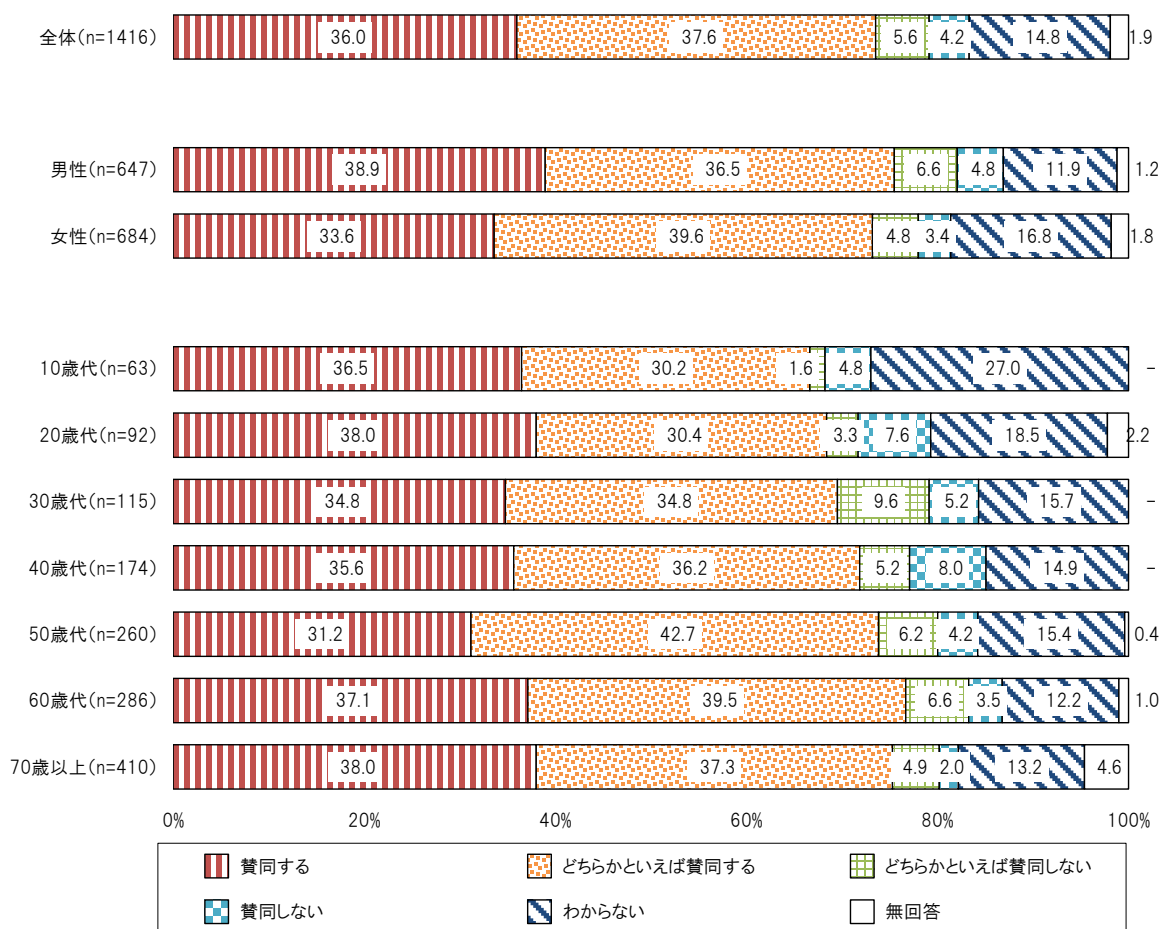


問 24 生活困窮などにより食料支援が必要な人が一定数いる中で、市内では、松阪市社会福祉協議会をはじめ民間の多数の団体でこうしたフードドライブの取組が現在も行われていますが、他の自治体ではフードバンク団体に対し支援を行っているところもあります。一方で、生活保護をはじめ社会保障制度が確立されていることから、民間の善意によってなされる形のほうが望ましいというご意見もあります。松阪市として生活困窮者や貧困家庭のこども等のためにフードドライブの取組をさらに支援していくことについて、あなたは賛同しますか。(○は1つだけ)

全体では「どちらかといえば賛同する」が37.6%で最も高く、ついで「賛同する」が36.0%、「わからない」が14.8%となっている。

性別にみると、「賛同する」と「どちらかといえば賛同する」の合計の割合は、男性が75.4%、女性が73.2%であり、大きな違いは見られなかった。

年代別にみると、「賛同する」と「どちらかといえば賛同する」の合計の割合は、60歳代で最も高く76.6%であり、10歳代で最も低く66.7%であった。同割合について30歳代以下では6割台であるのに対し、40歳代以上では7割台となっている。



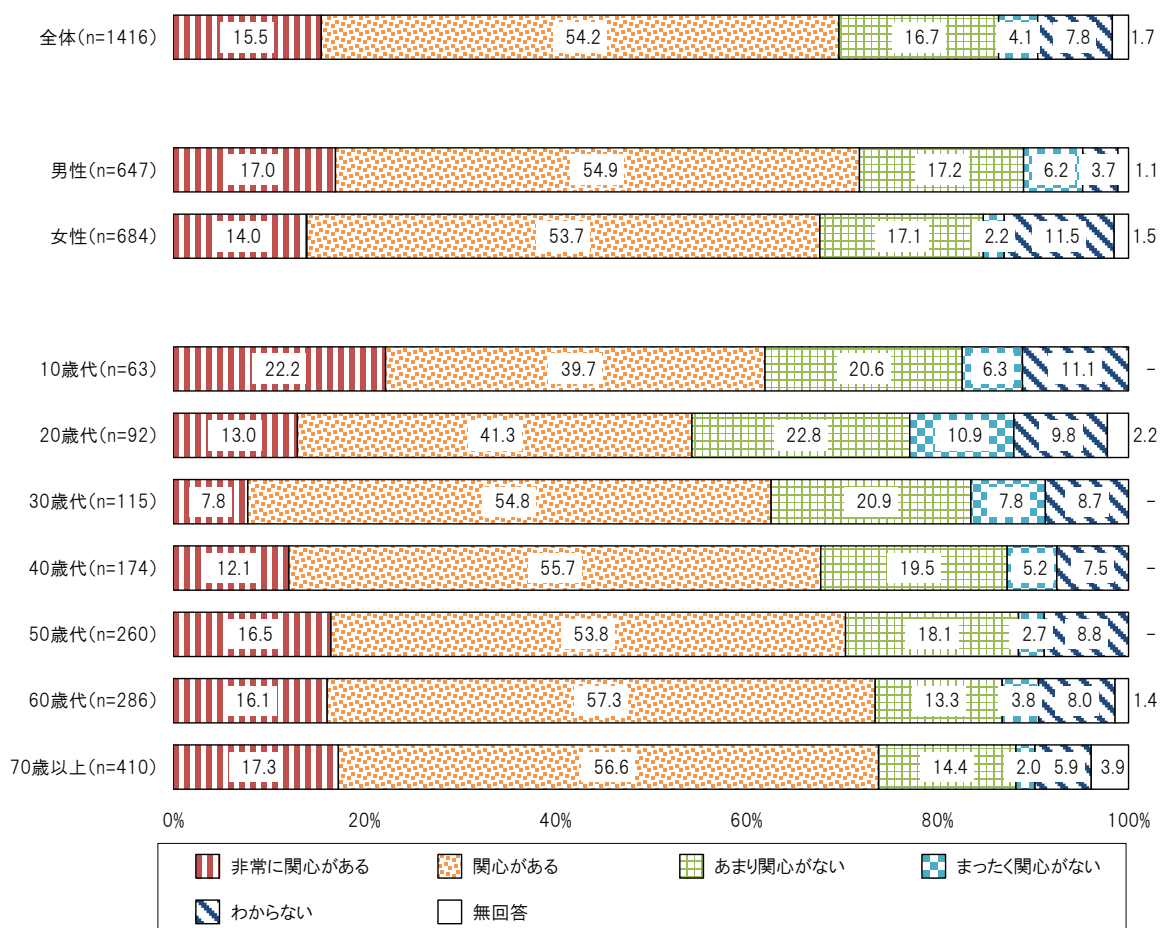
## ゼロカーボンシティの実現に向けて

問 25 あなたは、地球温暖化の防止や脱炭素社会の実現に関心がありますか。(〇は1つだけ)

全体では「関心がある」が54.2%で最も高く、ついで「非常に関心がある」が15.5%、「あまり関心がない」が16.7%となっている。

性別にみると、「非常に関心がある」と「関心がある」の合計の割合は、男性が71.9%、女性が67.7%であり、男性の方が4.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「非常に関心がある」と「関心がある」の合計の割合は、70歳以上が最も高く73.9%であり、20歳代が最も低く54.3%となっている。同割合について、20歳代が5割台、10歳代、30歳代、40歳代が6割台、50歳代、60歳代、70歳以上が7割台となっている。



問 26 松阪市の「ゼロカーボン」や「カーボンニュートラル」などと呼ばれる脱炭素社会の実現をめざした取組について、知っているものを選んでください。(〇はいくつでも)

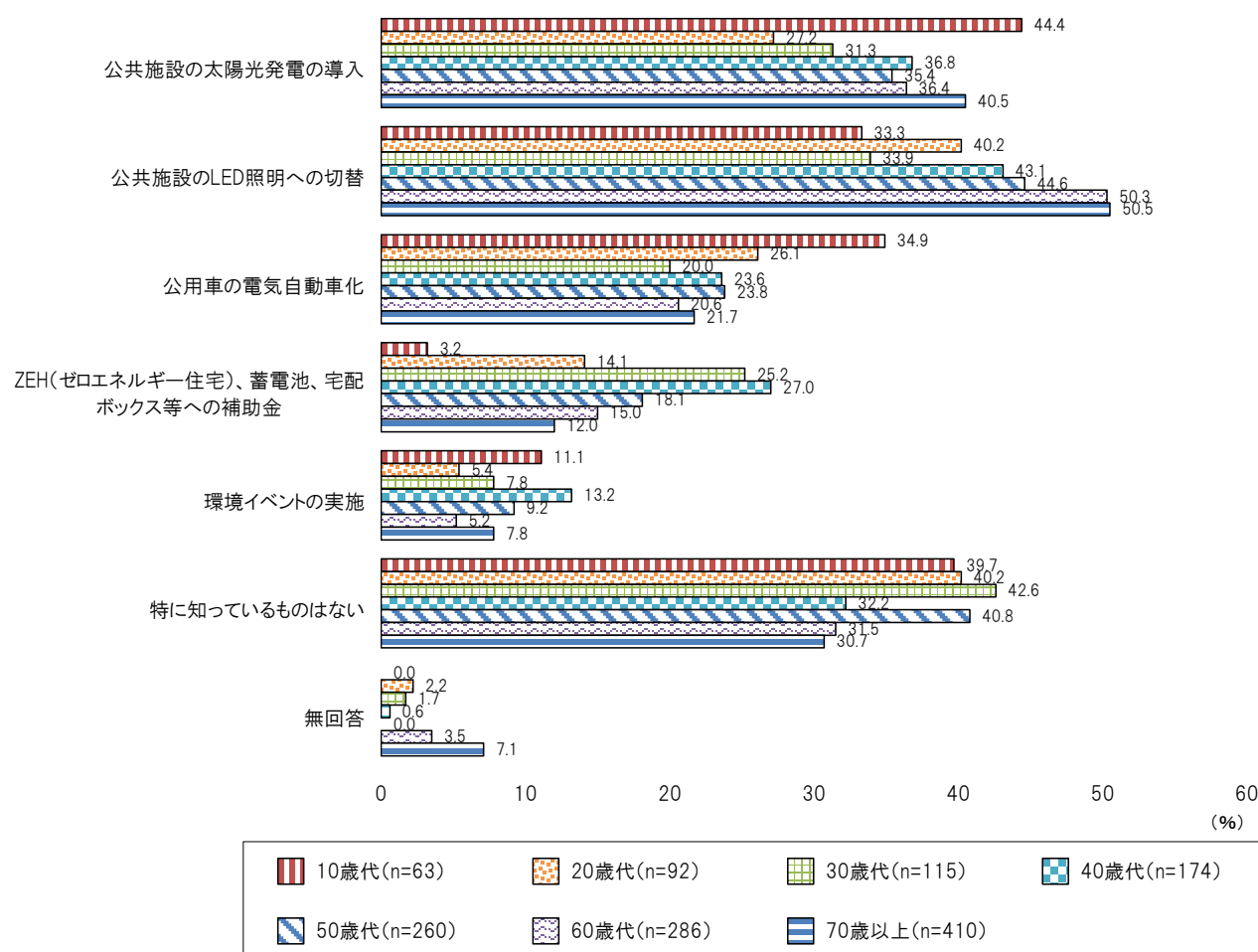
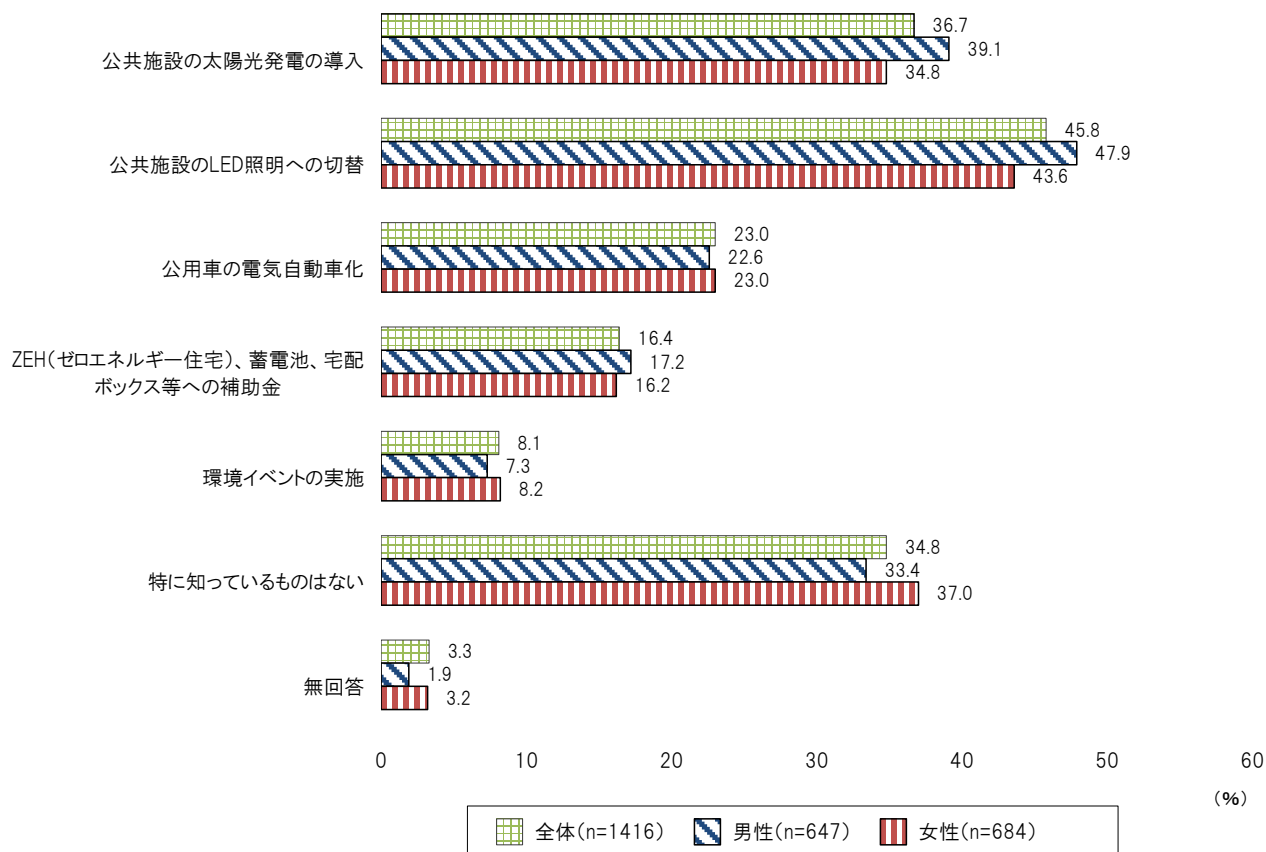
「公共施設の LED 照明への切替」が 45.8%で最も高く、ついで「公共施設の太陽光発電の導入」が 36.7%、「特に知っているものはない」が 34.8%となっている。

性別にみると、男性は1番目、2番目、3番目に高い項目は全体と同じであった。女性は2番目と3番目の順番が入れ替わっている。

年代別にみると、10 歳代の3番目「公用車の電気自動車」以外については、全体の上位3項目にあげられた項目と同じ項目となっている。40 歳代、60 歳代、70 歳以上は全体と同じ順番、項目であった。「特に知っているものはない」が 30 歳代では1番目、10 歳代、20 歳代、50 歳代では2番目となっている。

<上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		公共施設の LED 照明への切替	45.8%	公共施設の太陽光発電の導入	36.7%	特に知っているものはない	34.8%
性別	男性	公共施設の LED 照明への切替	47.9%	公共施設の太陽光発電の導入	39.1%	特に知っているものはない	33.4%
	女性	公共施設の LED 照明への切替	43.6%	特に知っているものはない	37.0%	公共施設の太陽光発電の導入	34.8%
年代別	10 歳代	公共施設の太陽光発電の導入	44.4%	特に知っているものはない	39.7%	公用車の電気自動車化	34.9%
	20 歳代	公共施設の LED 照明への切替	40.2%	特に知っているものはない	40.2%	公共施設の太陽光発電の導入	27.2%
	30 歳代	特に知っているものはない	42.6%	公共施設の LED 照明への切替	33.9%	公共施設の太陽光発電の導入	31.3%
	40 歳代	公共施設の LED 照明への切替	43.1%	公共施設の太陽光発電の導入	36.8%	特に知っているものはない	32.2%
	50 歳代	公共施設の LED 照明への切替	44.6%	特に知っているものはない	40.8%	公共施設の太陽光発電の導入	35.4%
	60 歳代	公共施設の LED 照明への切替	50.3%	公共施設の太陽光発電の導入	36.4%	特に知っているものはない	31.5%
	70 歳以上	公共施設の LED 照明への切替	50.5%	公共施設の太陽光発電の導入	40.5%	特に知っているものはない	30.7%



問 27 地球温暖化の防止や脱炭素社会の実現のため、あなたがすでに取り組んでいるものはありますか。(〇はいくつでも)

「食べ残さない、食材を使いきるなど食品ロスをなくす」が 59.3%で最も高く、ついで「マイボトルやマイバッグを使う」が 58.6%、「ごみの分別の徹底」が 51.8%となっている。

性別にみると、上位3位に入っている項目は全体と同じであるものの順番には違いがみられ、女性では1番目に「マイボトルやマイバッグを使う」が入っており、男性では2番目に「ごみの分別の徹底」が入っている。

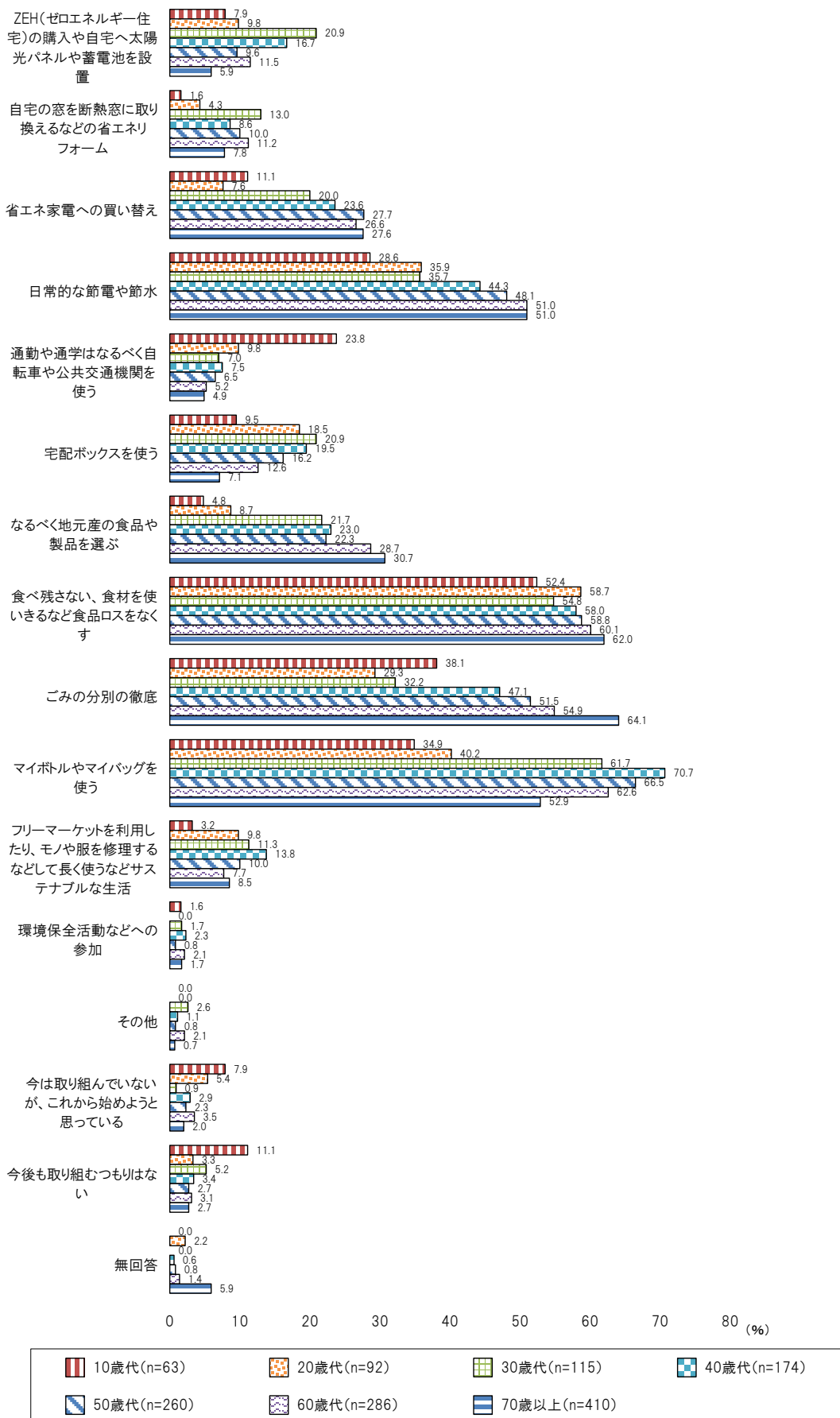
年代別にみると、20 歳代、30 歳代の3番目にあげられた「日常的な節電や節水」以外については、全体であげられた項目が入ってきている。「食べ残さない、食材を使いきるなど食品ロスをなくす」は年代ごとの数値に大きな差はなく、一方、「マイボトルやマイバッグを使う」は 30 歳代から 60 歳代では6割台以上と割合は高いものの、10 歳代や 20 歳代では4割代以下と割合が低くなっている。

<上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		食べ残さない、食材を使いきるなど食品ロスをなくす	59.3%	マイボトルやマイバッグを使う	58.6%	ごみの分別の徹底	51.8%
性別	男性	食べ残さない、食材を使いきるなど食品ロスをなくす	54.9%	ごみの分別の徹底	49.1%	マイボトルやマイバッグを使う	45.6%
	女性	マイボトルやマイバッグを使う	71.9%	食べ残さない、食材を使いきるなど食品ロスをなくす	64.2%	ごみの分別の徹底	53.7%
年代別	10 歳代	食べ残さない、食材を使いきるなど食品ロスをなくす	52.4%	ごみの分別の徹底	38.1%	マイボトルやマイバッグを使う	34.9%
	20 歳代	食べ残さない、食材を使いきるなど食品ロスをなくす	58.7%	マイボトルやマイバッグを使う	40.2%	日常的な節電や節水	35.9%
	30 歳代	マイボトルやマイバッグを使う	61.7%	食べ残さない、食材を使いきるなど食品ロスをなくす	54.8%	日常的な節電や節水	35.7%
	40 歳代	マイボトルやマイバッグを使う	70.7%	食べ残さない、食材を使いきるなど食品ロスをなくす	58.0%	ごみの分別の徹底	47.1%
	50 歳代	マイボトルやマイバッグを使う	66.5%	食べ残さない、食材を使いきるなど食品ロスをなくす	58.8%	ごみの分別の徹底	51.5%
	60 歳代	マイボトルやマイバッグを使う	62.6%	食べ残さない、食材を使いきるなど食品ロスをなくす	60.1%	ごみの分別の徹底	54.9%
	70 歳以上	ごみの分別の徹底	64.1%	食べ残さない、食材を使いきるなど食品ロスをなくす	62.0%	マイボトルやマイバッグを使う	52.9%







問 28 今後、さらに脱炭素化施策を促進していくため、松阪市が取り組むべきものとして、あなたの考えに近いものに○をつけてください。(○は 3 つまで)

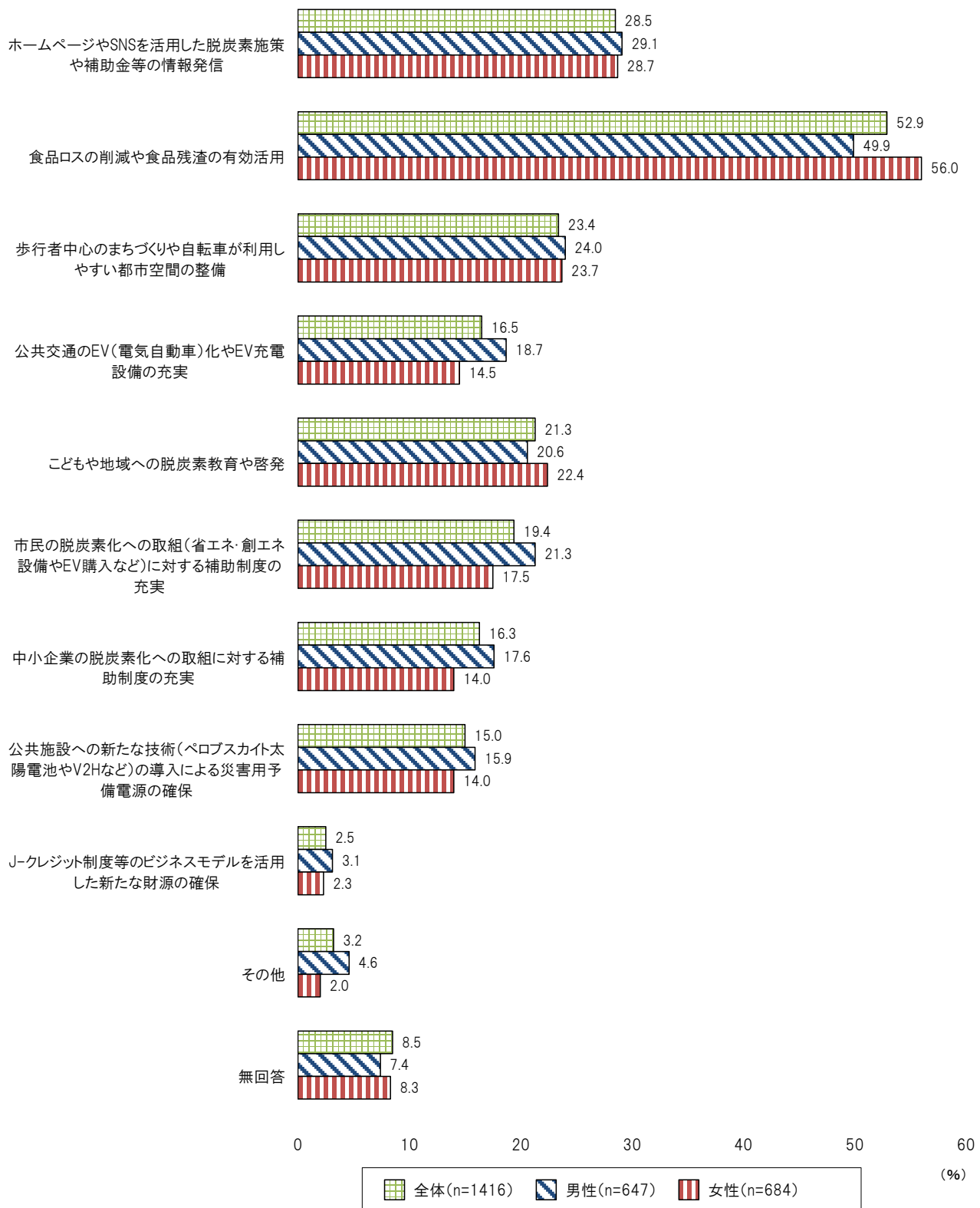
「食品ロスの削減や食品残渣の有効活用」が 52.9%で最も高く、ついで「ホームページや SNS を活用した脱炭素施策や補助金等の情報発信」が 28.5%、「歩行者中心のまちづくりや自転車が利用しやすい都市空間の整備」が 23.4%となっている。

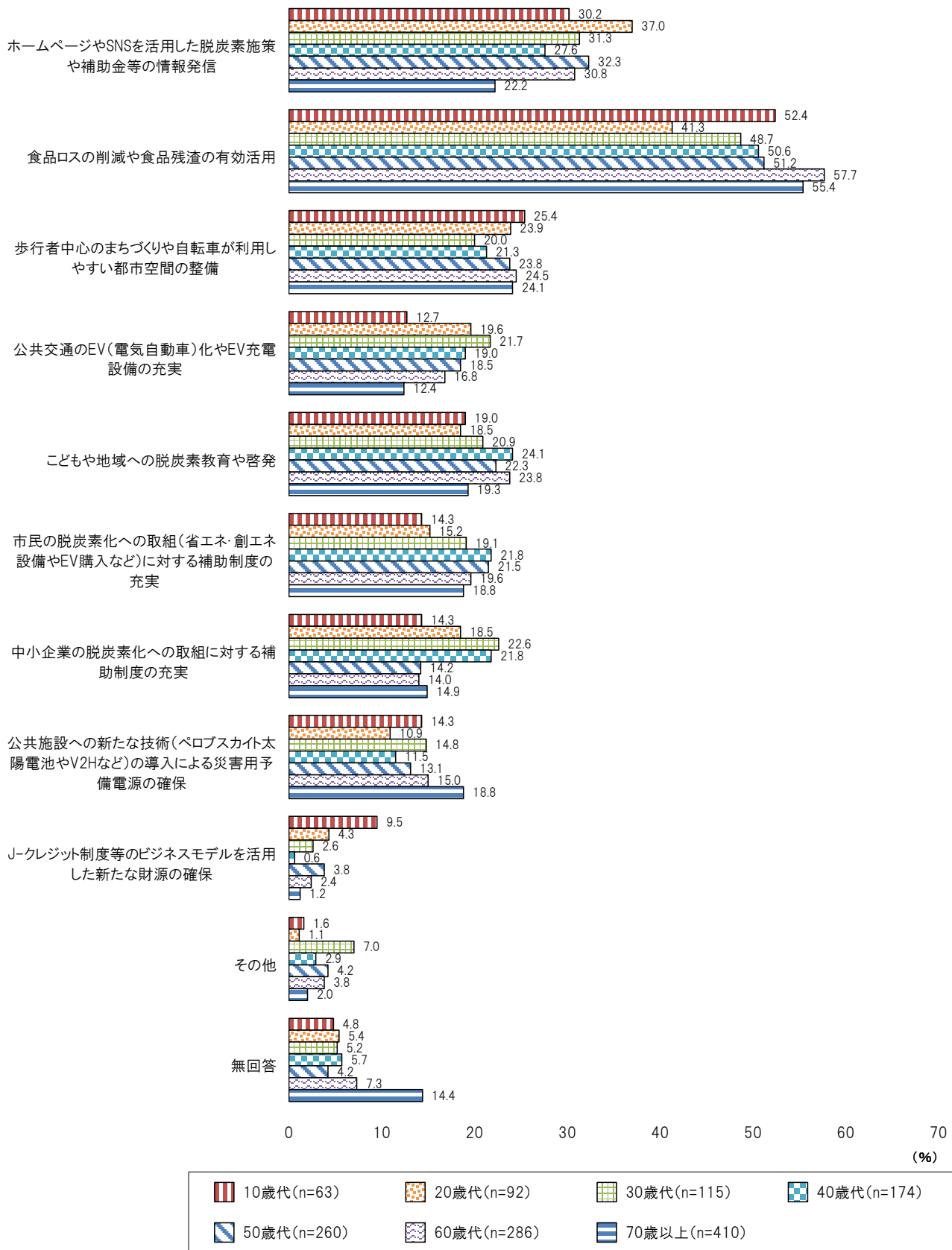
性別にみると、1 番目、2 番目、3 番目に高い項目は男女とも全体と同じであった。

年代別にみると、1 番目はいずれの年代も「食品ロスの削減や食品残渣の有効活用」であった。10 歳代、20 歳代、50 歳代、60 歳代は項目、順番とも全体と同じであった。全体の上位 3 項目以外の項目としては、30 歳代の 3 番目に「中小企業の脱炭素化への取組に対する補助制度の充実」、40 歳代の 3 番目に「こどもや地域への脱炭素教育や啓発」が入っている。

#### <上位3項目>

		1 番目		2 番目		3 番目	
全体		食品ロスの削減や食品残渣の有効活用	52.9%	ホームページや SNS を活用した脱炭素施策や補助金等の情報発信	28.5%	歩行者中心のまちづくりや自転車が利用しやすい都市空間の整備	23.4%
性別	男性	食品ロスの削減や食品残渣の有効活用	49.9%	ホームページや SNS を活用した脱炭素施策や補助金等の情報発信	29.1%	歩行者中心のまちづくりや自転車が利用しやすい都市空間の整備	24.0%
	女性	食品ロスの削減や食品残渣の有効活用	56.0%	ホームページや SNS を活用した脱炭素施策や補助金等の情報発信	28.7%	歩行者中心のまちづくりや自転車が利用しやすい都市空間の整備	23.7%
年代別	10 歳代	食品ロスの削減や食品残渣の有効活用	52.4%	ホームページや SNS を活用した脱炭素施策や補助金等の情報発信	30.2%	歩行者中心のまちづくりや自転車が利用しやすい都市空間の整備	25.4%
	20 歳代	食品ロスの削減や食品残渣の有効活用	41.3%	ホームページや SNS を活用した脱炭素施策や補助金等の情報発信	37.0%	歩行者中心のまちづくりや自転車が利用しやすい都市空間の整備	23.9%
	30 歳代	食品ロスの削減や食品残渣の有効活用	48.7%	ホームページや SNS を活用した脱炭素施策や補助金等の情報発信	31.3%	中小企業の脱炭素化への取組に対する補助制度の充実	22.6%
	40 歳代	食品ロスの削減や食品残渣の有効活用	50.6%	ホームページや SNS を活用した脱炭素施策や補助金等の情報発信	27.6%	こどもや地域への脱炭素教育や啓発	24.1%
	50 歳代	食品ロスの削減や食品残渣の有効活用	51.2%	ホームページや SNS を活用した脱炭素施策や補助金等の情報発信	32.3%	歩行者中心のまちづくりや自転車が利用しやすい都市空間の整備	23.8%
	60 歳代	食品ロスの削減や食品残渣の有効活用	57.7%	ホームページや SNS を活用した脱炭素施策や補助金等の情報発信	30.8%	歩行者中心のまちづくりや自転車が利用しやすい都市空間の整備	24.5%
	70 歳以上	食品ロスの削減や食品残渣の有効活用	55.4%	歩行者中心のまちづくりや自転車が利用しやすい都市空間の整備	24.1%	ホームページや SNS を活用した脱炭素施策や補助金等の情報発信	22.2%





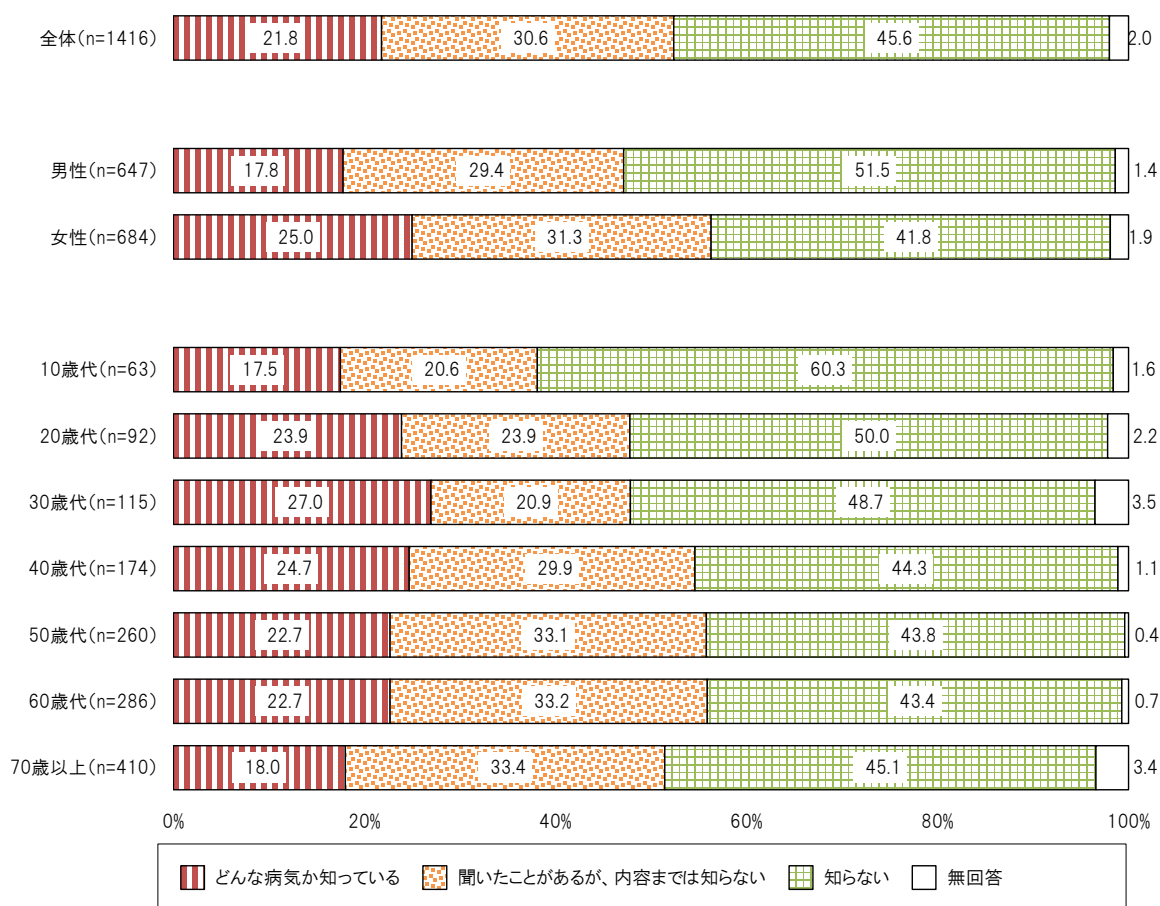
## COPD(慢性閉塞性肺疾患)の認知度について

問 29 あなたは COPD(慢性閉塞性肺疾患)という病気を知っていますか。(○は 1 つだけ)

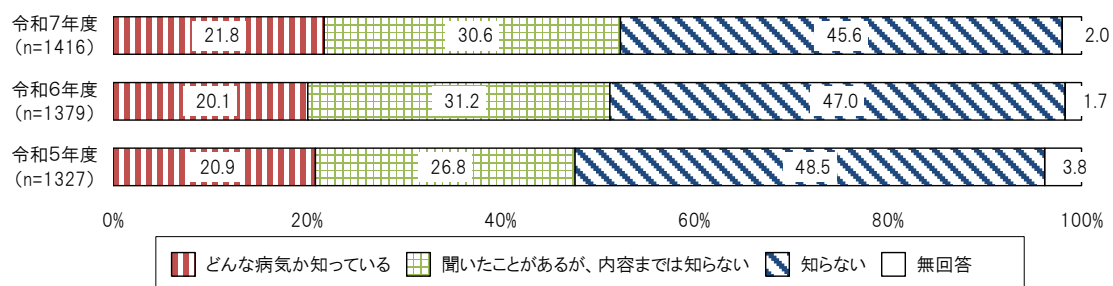
全体では「知らない」45.6%で最も高く、ついで「聞いたことがあるが、内容までは知らない」が 30.6%、「どんな病気か知っている」が 21.8%となっている。

性別にみると、「どんな病気か知っている」は男性が 17.8%、女性が 25.0%であり、女性の方が 7.2 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「どんな病気か知っている」は 10 歳代が 17.5%、70 歳以上が 18.0%と低くなっており、30 歳代が 27.0%と最も高くなっている。



前回と比較すると、「どんな病気が知っている」は、前回は 20.1%であるのに対し今回は 21.8%と 1.7 ポイント増加している。



## 広報全般について

問 30 松阪市の情報を主にどのような方法で得ていますか。(〇は 3 つまで)

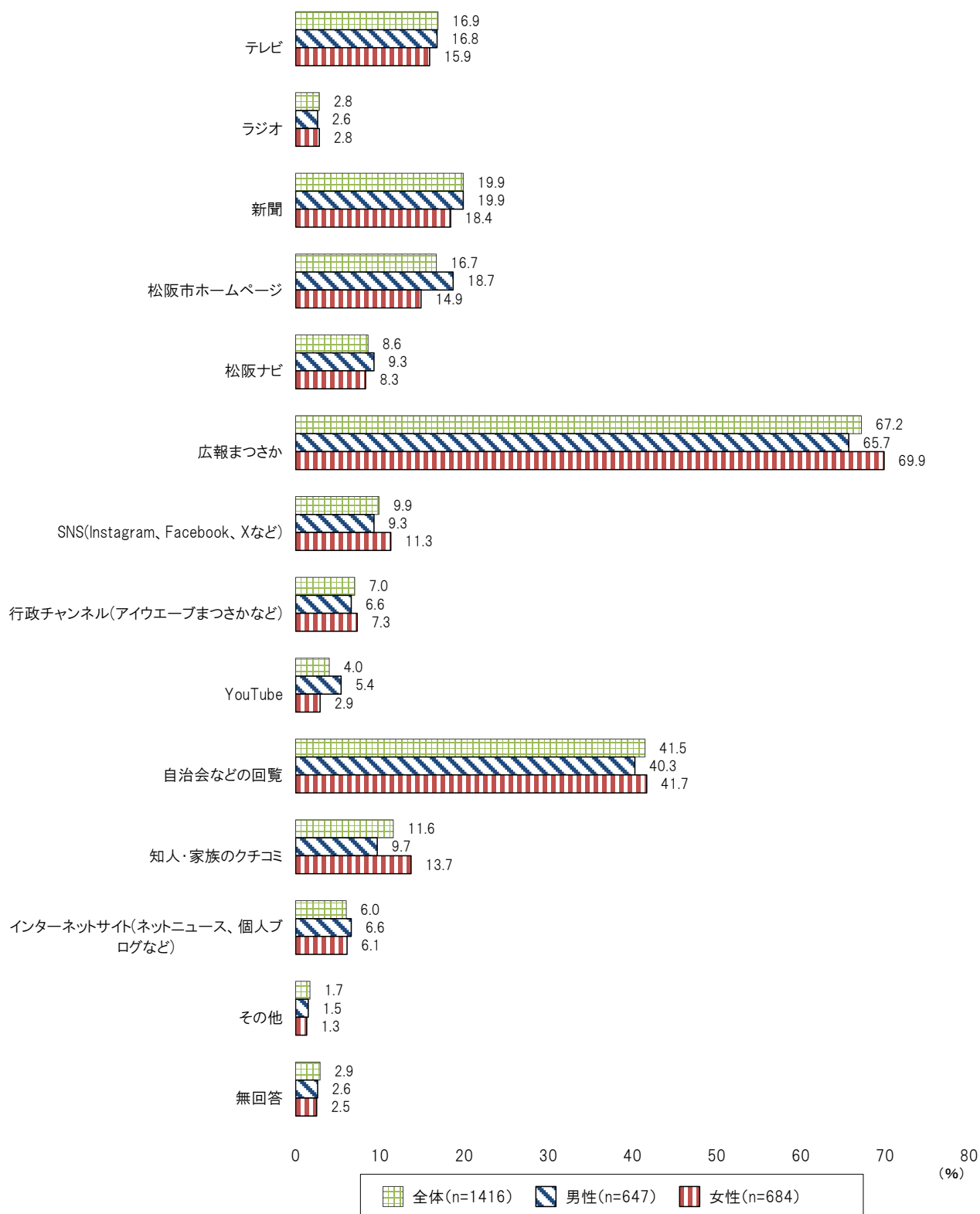
「広報まつさか」が 67.2%で最も高く、ついで「自治会などの回覧」が 41.5%、「新聞」が 19.9%となっている。

性別にみると、1 番目、2 番目、3 番目に高い項目は男女とも全体と同じであった、

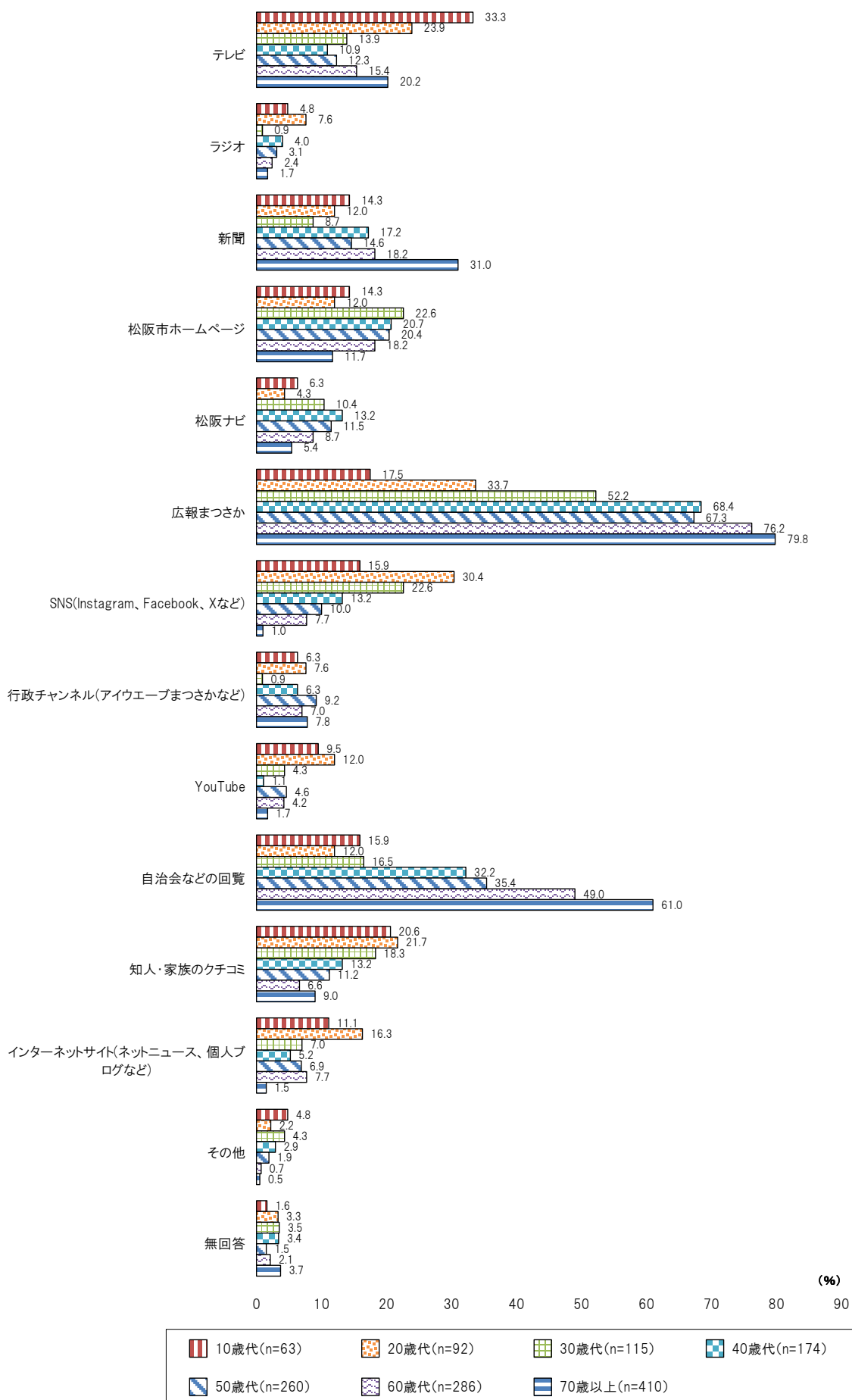
年代別にみると、1 番目は 10 歳代以外では「広報まつさか」となっており、10 歳代では「テレビ」となっている。全体の上位 3 項目以外で入ってきているのは、10 歳代、20 歳代の「テレビ」、10 歳代の「知人・家族の口コミ」、20 歳代、30 歳代の「SNS(Instagram、Facebook、X など)、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代の「松阪市ホームページ」となっている。

### <上位3項目>

		1 番目		2 番目		3 番目	
全体		広報まつさか	67.2%	自治会などの回覧	41.5%	新聞	19.9%
性別	男性	広報まつさか	65.7%	自治会などの回覧	40.3%	新聞	19.9%
	女性	広報まつさか	69.9%	自治会などの回覧	41.7%	新聞	18.4%
年代別	10 歳代	テレビ	33.3%	知人・家族の口コミ	20.6%	広報まつさか	17.5%
	20 歳代	広報まつさか	33.7%	SNS(Instagram、Facebook、X など)	30.4%	テレビ	23.9%
	30 歳代	広報まつさか	52.2%	松阪市ホームページ	22.6%	SNS(Instagram、Facebook、X など)	22.6%
	40 歳代	広報まつさか	68.4%	自治会などの回覧	32.2%	松阪市ホームページ	20.7%
	50 歳代	広報まつさか	67.3%	自治会などの回覧	35.4%	松阪市ホームページ	20.4%
	60 歳代	広報まつさか	76.2%	自治会などの回覧	49.0%	新聞 松阪市ホームページ	18.2%
	70 歳以上	広報まつさか	79.8%	自治会などの回覧	61.0%	新聞	31.0%





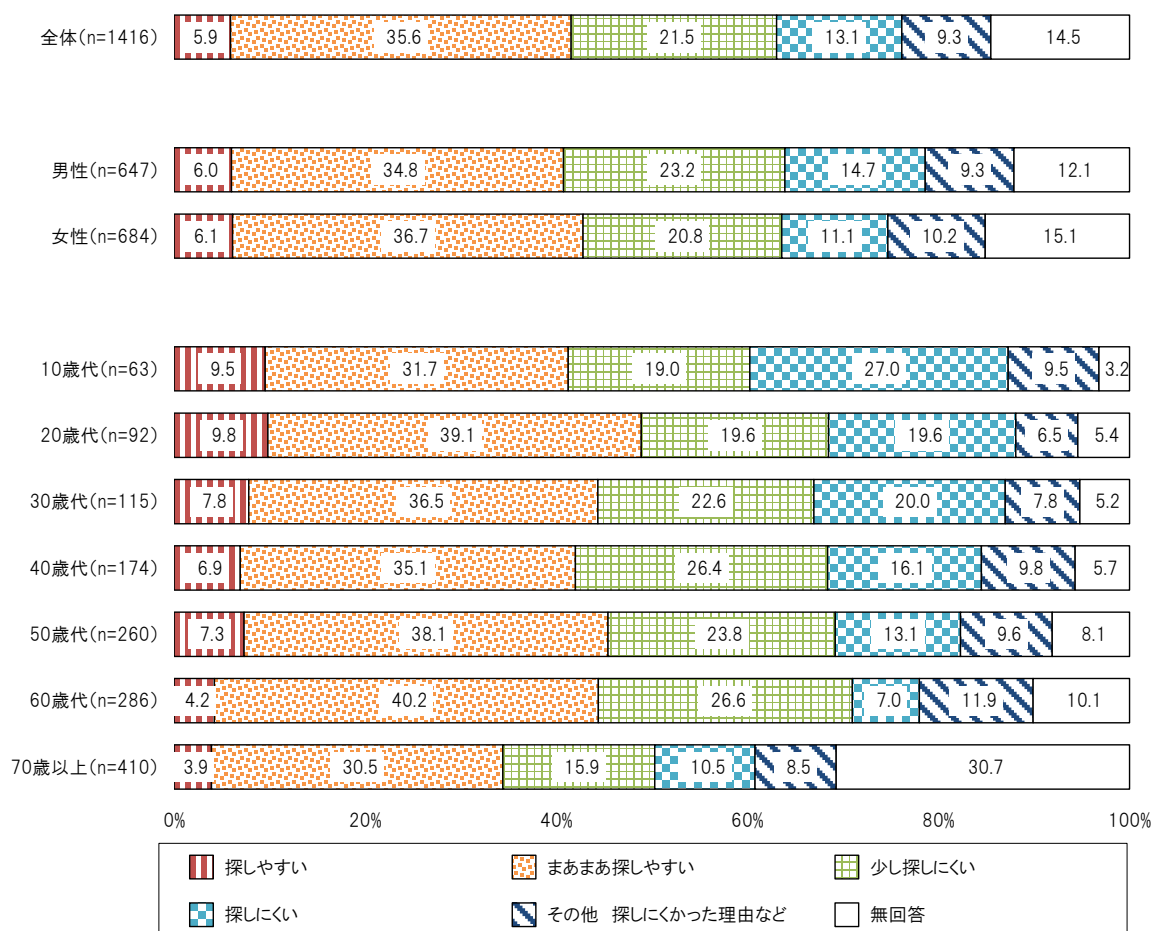


### 問 31 松阪市ホームページで記事は探しやすいですか。(○は1つだけ)

全体では「まあまあ探しやすい」が 35.6%で最も高く、ついで「少し探しにくい」が 21.5%、「探しにくい」が 13.1%となっている。

性別にみると、「探しやすい」と「まあまあ探しやすい」の合計の割合は、男性が 40.8%、女性が 42.8%であり、女性の方が 2.0 ポイント高くなっているが、大きな違いはみられない。

年代別にみると、「探しやすい」と「まあまあ探しやすい」の合計の割合は、20 歳代で最も高く 48.9%であり、70 歳以上で最も低く 34.4%であった。同割合について、70 歳以上で 34.4%であったのに対し、20 歳代、50 歳代ではそれより 10%以上高くなっている。また、2 番目に低かったのは 10 歳代の 41.2%であった。

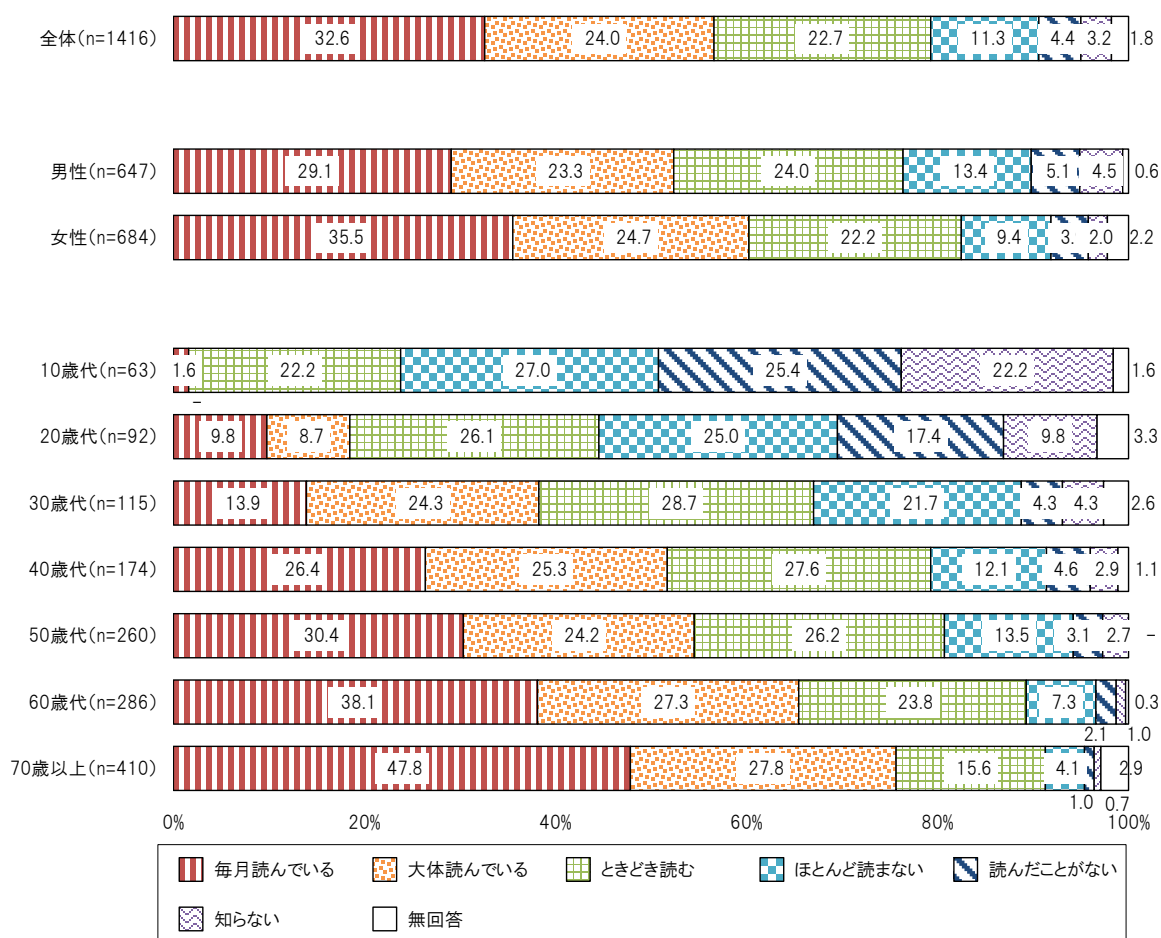


問 32 広報まつさかを読んでいますか。(○は1つだけ)

全体では「毎月読んでいる」が32.6%で最も高く、ついで「大体読んでいる」が24.0%、「ときどき読む」が22.7%となっている。

性別にみると、「毎月読んでいる」は男性が29.1%、女性が35.5%であり、女性の方が6.4ポイント高くなっている。

年代別にみると、「毎月読んでいる」は年齢が高いほど割合が高くなっており、70歳以上では47.8%となっている。一方、10歳代で「ほとんど読まない」が最も多くなっており、「ほとんど読まない」と「読んだことがない」の合計の割合をみると、10歳代で74.6%、20歳代で52.2%となっている。



問 32 で「1. 毎月読んでいる」「2. 大体読んでいる」「3. ときどき読む」と答えた方におきします

問 33 広報まつさかをどのような方法で読んでいますか。(〇はいくつでも)

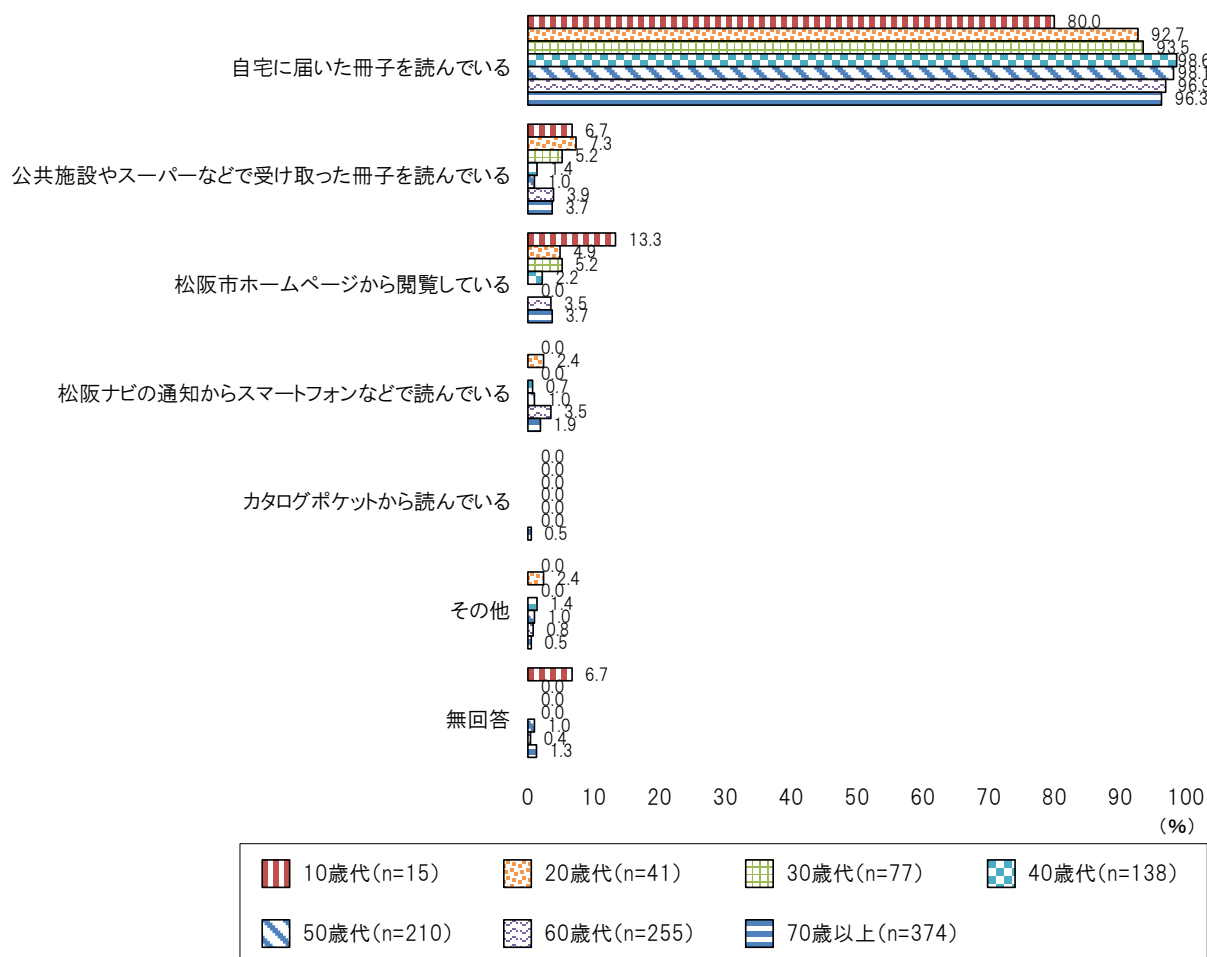
「自宅に届いた冊子を読んでいる」が 96.3%で最も高く、ついで「公共施設やスーパーなどで受け取った冊子を読んでいる」が 3.3%、「松阪市ホームページから閲覧している」が 3.0%となっている。

性別にみると、1番目、2番目、3番目に高い項目は男女とも全体と同じであった。

年代別にみると、1番目はいずれの年代も「自宅に届いた冊子を読んでいる」であった。全体の上位3項目以外であがっているのは、「その他」、「無回答」以外では 50 歳代、60 歳代の「松阪ナビの通知からスマートフォンなどで読んでいる」が入っていた。

#### <上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		自宅に届いた冊子を読んでいる	96.3%	公共施設やスーパーなどで受け取った冊子を読んでいる	3.3%	松阪市ホームページから閲覧している	3.0%
性別	男性	自宅に届いた冊子を読んでいる	96.0%	公共施設やスーパーなどで受け取った冊子を読んでいる	4.0%	松阪市ホームページから閲覧している	3.8%
	女性	自宅に届いた冊子を読んでいる	96.6%	公共施設やスーパーなどで受け取った冊子を読んでいる	2.7%	松阪市ホームページから閲覧している	2.0%
年代別	10 歳代	自宅に届いた冊子を読んでいる	80.0%	松阪市ホームページから閲覧している	13.3%	公共施設やスーパーなどで受け取った冊子を読んでいる 無回答	6.7%
	20 歳代	自宅に届いた冊子を読んでいる	92.7%	公共施設やスーパーなどで受け取った冊子を読んでいる	7.3%	松阪市ホームページから閲覧している	4.9%
	30 歳代	自宅に届いた冊子を読んでいる	93.5%	公共施設やスーパーなどで受け取った冊子を読んでいる	5.2%	松阪市ホームページから閲覧している	5.2%
	40 歳代	自宅に届いた冊子を読んでいる	98.6%	松阪市ホームページから閲覧している	2.2%	公共施設やスーパーなどで受け取った冊子を読んでいる その他	1.4%
	50 歳代	自宅に届いた冊子を読んでいる	98.1%	公共施設やスーパーなどで受け取った冊子を読んでいる その他	1.0%	松阪ナビの通知からスマートフォンなどで読んでいる 無回答	1.0%
	60 歳代	自宅に届いた冊子を読んでいる	96.9%	公共施設やスーパーなどで受け取った冊子を読んでいる	3.9%	松阪市ホームページから閲覧している 松阪ナビの通知からスマートフォンなどで読んでいる	3.5%
	70 歳以上	自宅に届いた冊子を読んでいる	96.3%	公共施設やスーパーなどで受け取った冊子を読んでいる	3.7%	松阪市ホームページから閲覧している	3.7%

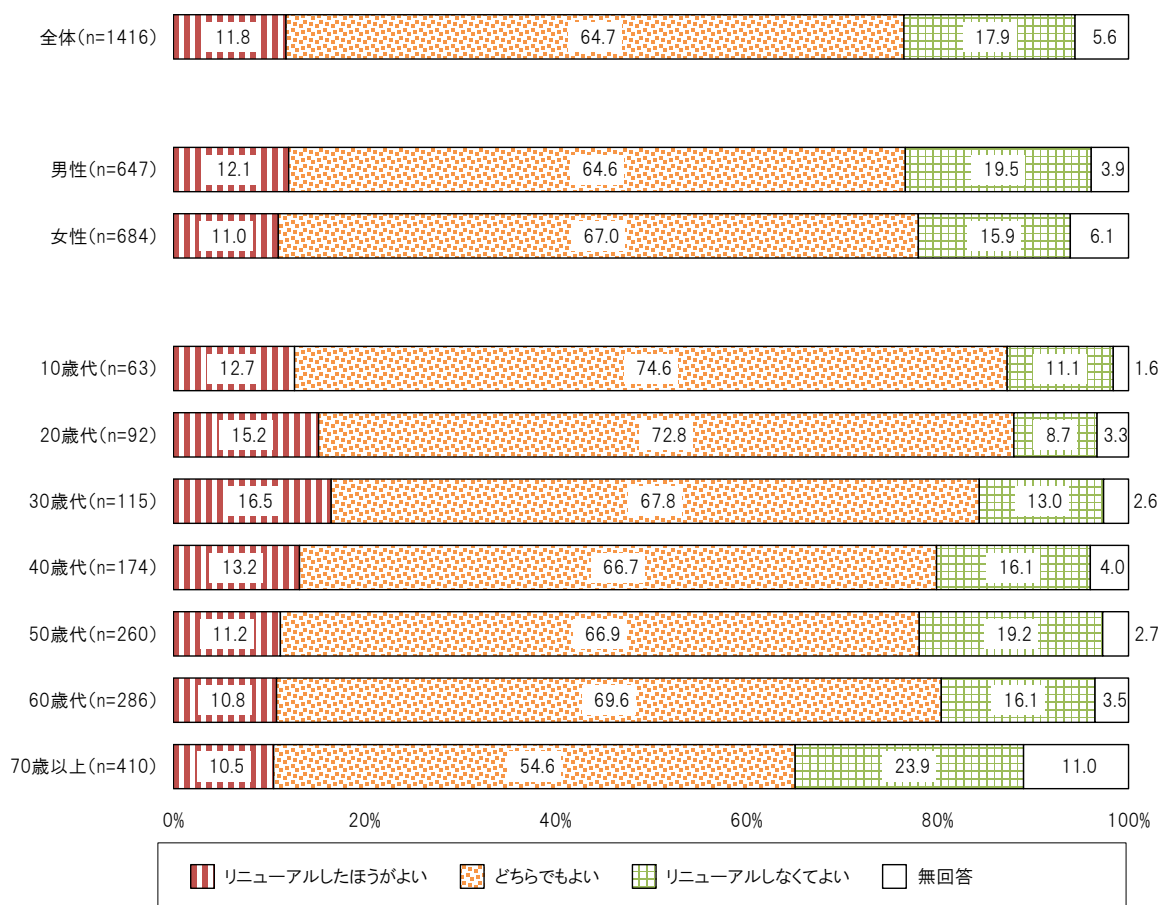


問 34 広報まつさをリニューアルしたほうがよいと思いますか。(○は1つだけ)

全体では「どちらでもよい」が64.7%で最も高く、ついで「リニューアルしなくてよい」が17.9%、「リニューアルしたほうがよい」が11.8%となっている。

性別にみると、「リニューアルしなくてよい」は男性が19.5%、女性が15.9%であり、男性の方が3.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「リニューアルしなくてよい」は70歳以上で最も高く23.9%であり、20歳代で最も低く8.7%であった。「リニューアルしたほうがよい」は30歳代が16.5%で最も高く、70歳以上が10.5%で最も低くなっており、30歳代以降では年代が上がるにつれて減少する傾向にある。



問 34 で「1. リニューアルしたほうがよい」「2. どちらでもよい」と答えた方におききします

問 35 リニューアル後の広報まつさかに求めるものは何ですか。(○は3つまで)

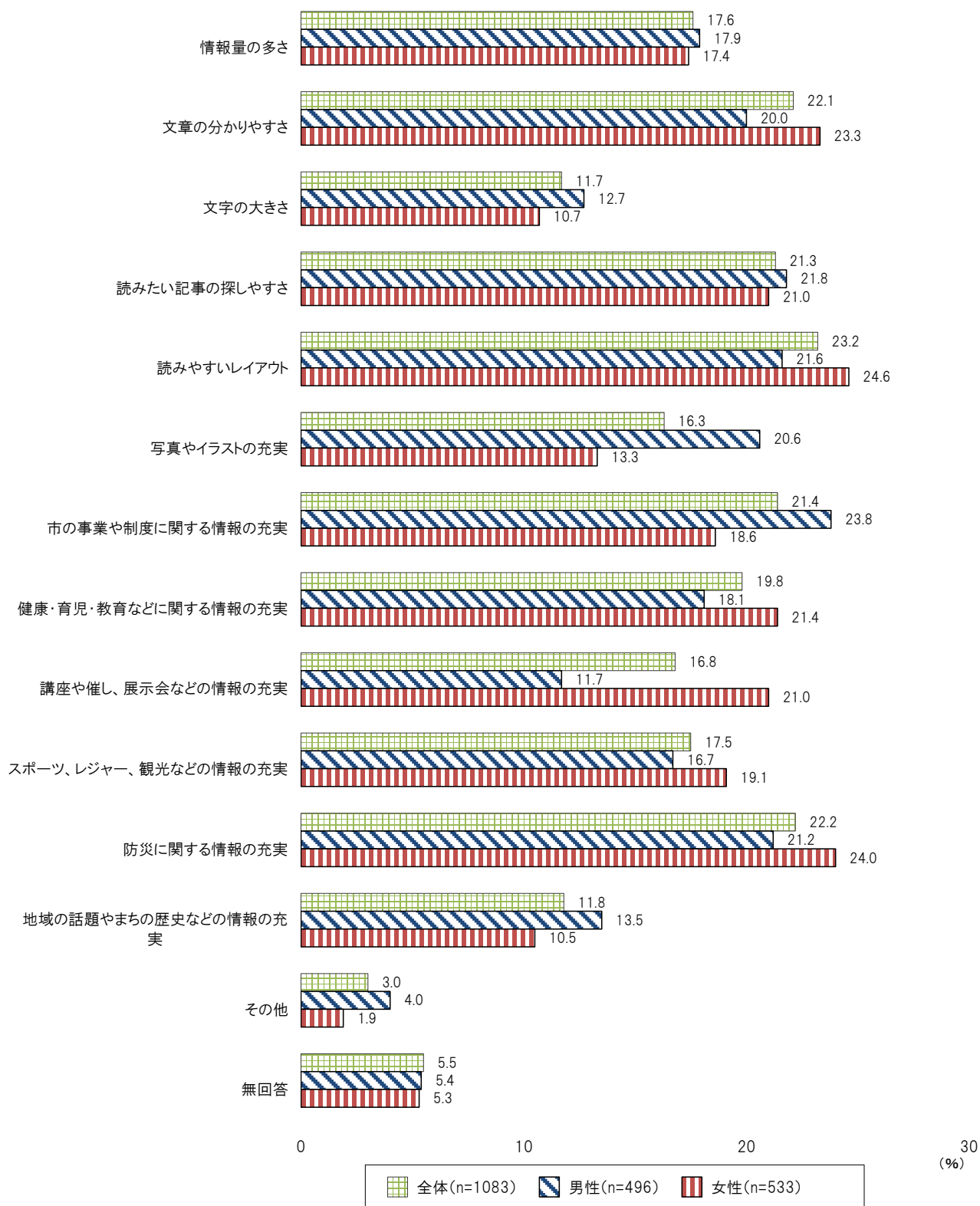
「読みやすいレイアウト」が 23.2%で最も高く、ついで「防災に関する情報の充実」が 22.2%、「文章のわかりやすさ」が 22.1%となっている。

性別にみると、女性は1番目、2番目、3番目に高い項目は全体と同じであった。男性では1番目に「市の事業や制度に関する情報の充実」、2番目に「読みたい記事の探しやすさ」が入っている。

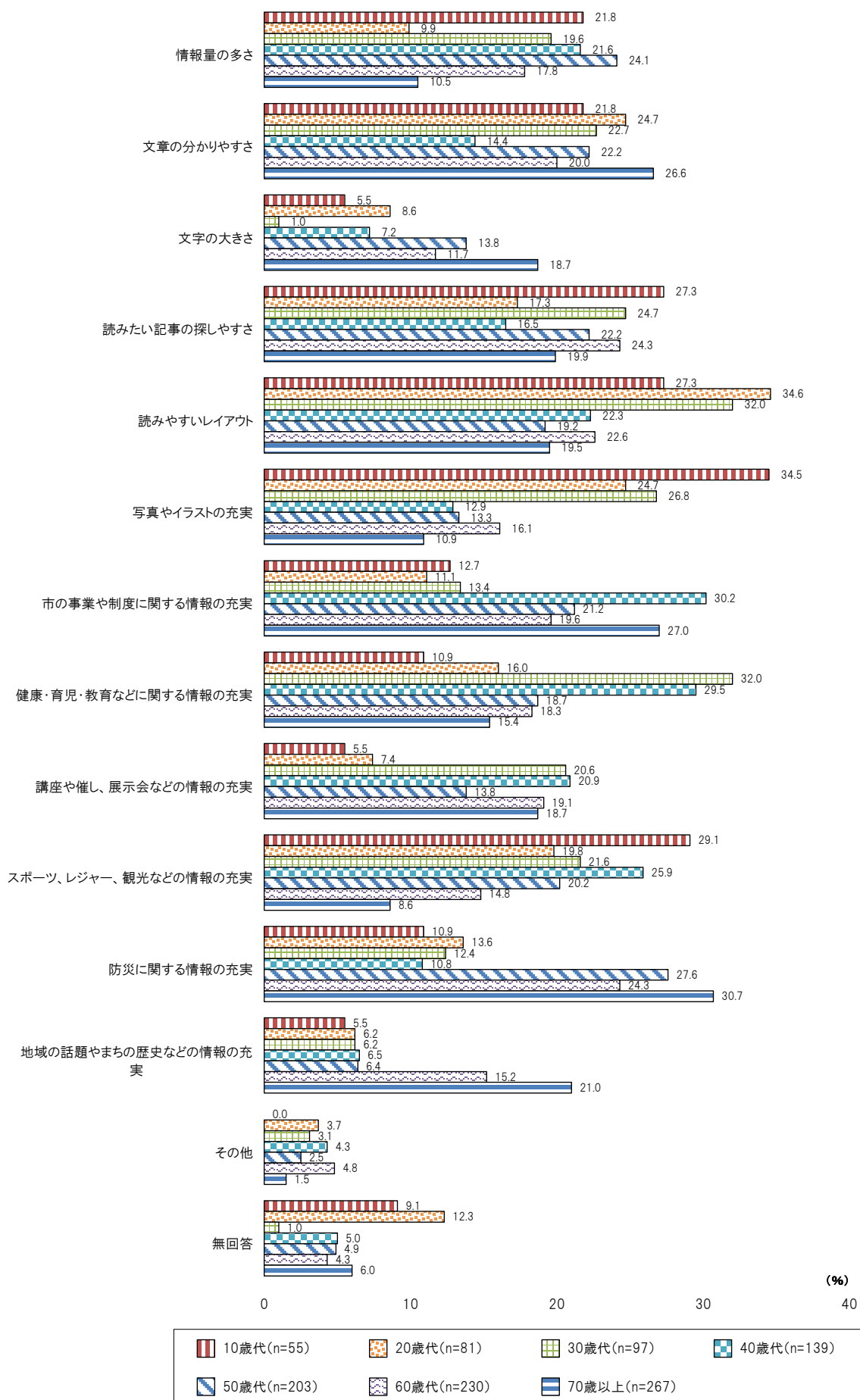
年代別にみると、1番目の項目について 20 歳代、30 歳代は「読みやすいレイアウト」、50 歳代、70 歳以上は「防災に関する情報の充実」、10 歳代は「写真やイラストの充実」、40 歳代は「市の事業や制度に関する情報の充実」、60 歳代は「読みたい記事の探しやすさ」と年代によってばらけている。

#### <上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		読みやすいレイアウト	23.2%	防災に関する情報の充実	22.2%	文章の分かりやすさ	22.1%
性別	男性	市の事業や制度に関する情報の充実	23.8%	読みたい記事の探しやすさ	21.8%	読みやすいレイアウト	21.6%
	女性	読みやすいレイアウト	24.6%	防災に関する情報の充実	24.0%	文章の分かりやすさ	23.3%
年代別	10 歳代	写真やイラストの充実	34.5%	スポーツ、レジャー、観光などの情報の充実	29.1%	読みたい記事の探しやすさ 読みやすいレイアウト	27.3%
	20 歳代	読みやすいレイアウト	34.6%	文章の分かりやすさ	24.7%	写真やイラストの充実	24.7%
	30 歳代	読みやすいレイアウト	32.0%	健康・育児・教育などに関する情報の充実	32.0%	写真やイラストの充実	26.8%
	40 歳代	市の事業や制度に関する情報の充実	30.2%	健康・育児・教育などに関する情報の充実	29.5%	スポーツ、レジャー、観光などの情報の充実	25.9%
	50 歳代	防災に関する情報の充実	27.6%	情報量の多さ	24.1%	文章の分かりやすさ 読みたい記事の探しやすさ	22.2%
	60 歳代	読みたい記事の探しやすさ	24.3%	防災に関する情報の充実	24.3%	読みやすいレイアウト	22.6%
	70 歳以上	防災に関する情報の充実	30.7%	市の事業や制度に関する情報の充実	27.0%	文章の分かりやすさ	26.6%





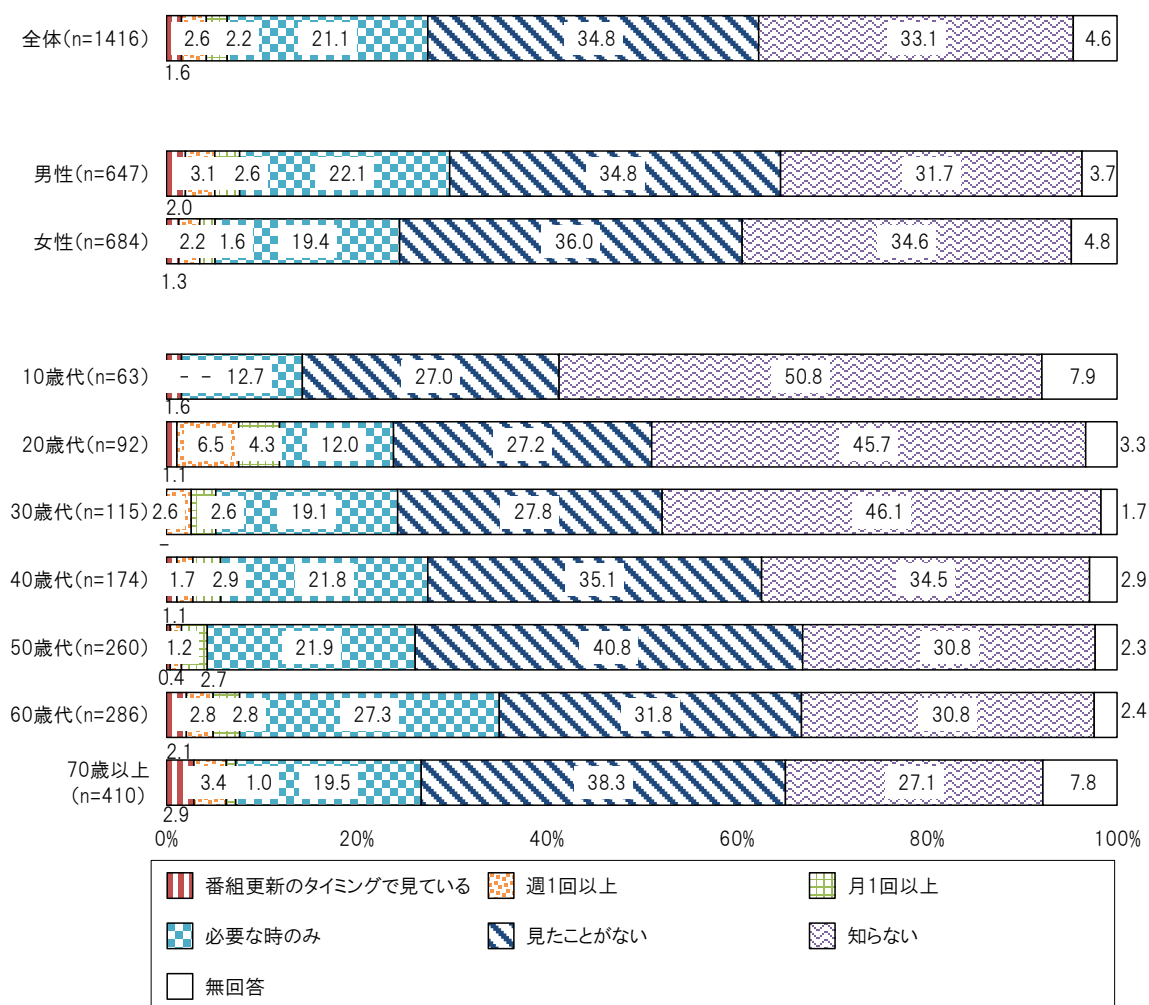


問 36 行政チャンネル(123ch)をご覧になったことはありませんか。(○は1つだけ)

全体では「見たことがない」が34.8%で最も高く、ついで「知らない」が33.1%、「必要な時のみ」が21.1%となっている。

性別にみると、「見たことがない」と「知らない」の合計の割合は、男性が66.5%、女性が70.6%であり、女性の方が4.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、「見たことがない」と「知らない」の合計の割合は、10歳代で最も高く77.8%であり、60歳代で最も低く62.6%となっている。「番組更新のタイミングで見ている」と「週1回以上」と「月1回以上」の合計の割合でみると、20歳代では11.9%と割合が高くなっている。

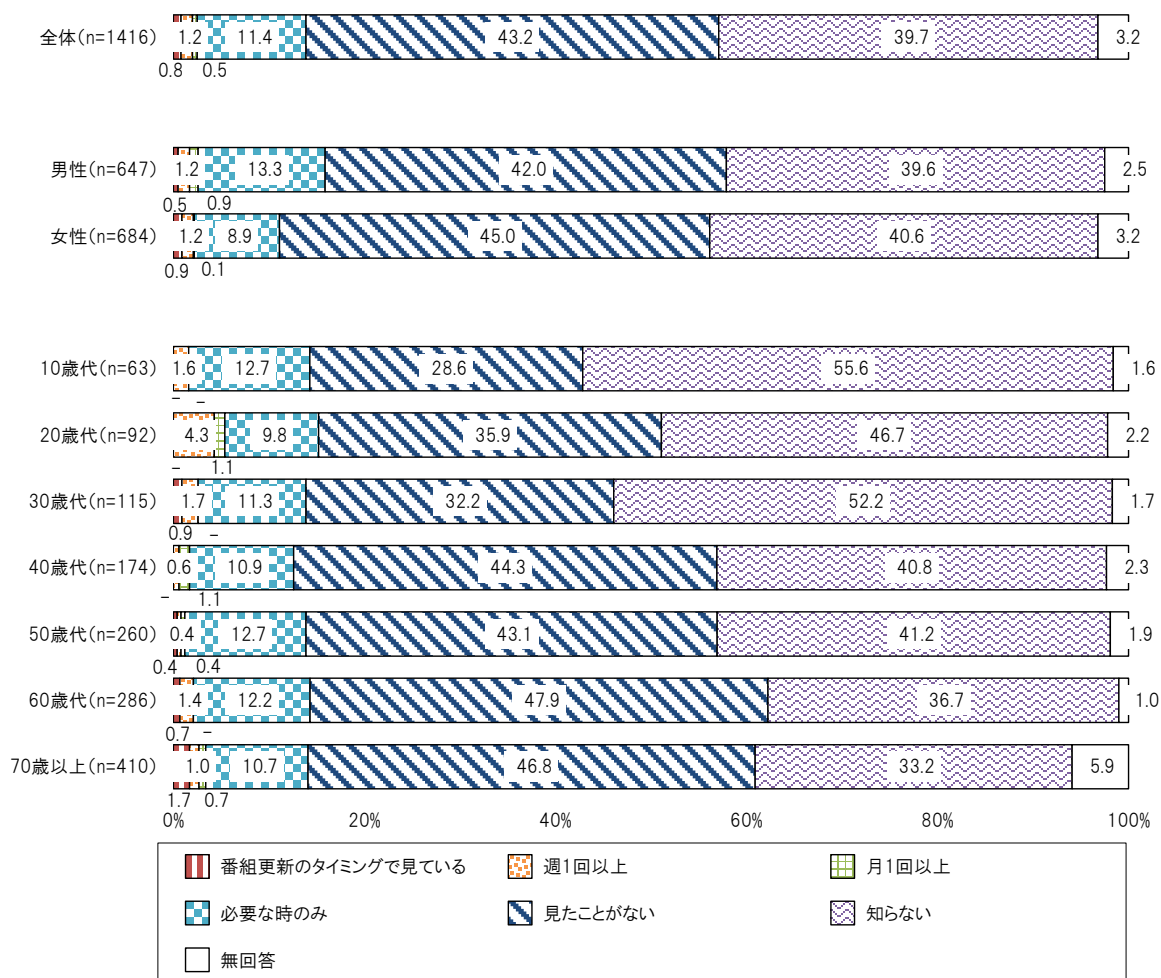


問 37 行政チャンネル(123ch)で放送したすべての番組が視聴できる松阪市公式  
YouTube をご覧になったことはありますか。(〇は1つだけ)

全体では「見たことがない」が43.2%で最も高く、ついで「知らない」が39.7%、「必要な時のみ」が11.4%となっている。

性別にみると、「見たことがない」と「知らない」の合計の割合は、男性が81.6%、女性が85.6%であり、女性の方が4.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「見たことがない」と「知らない」の合計の割合は、40歳代が最も高く85.1%であり、70歳以上が最も低く80.0%となっている。「番組更新のタイミングで見ている」と「週1回以上」と「月1回以上」の合計の割合は、20歳代が5.4%と比較的高くなっている。



問 38 行政チャンネル(123ch)で取り扱ってほしい・充実してほしい情報はどのようなものですか。(〇はいくつでも)

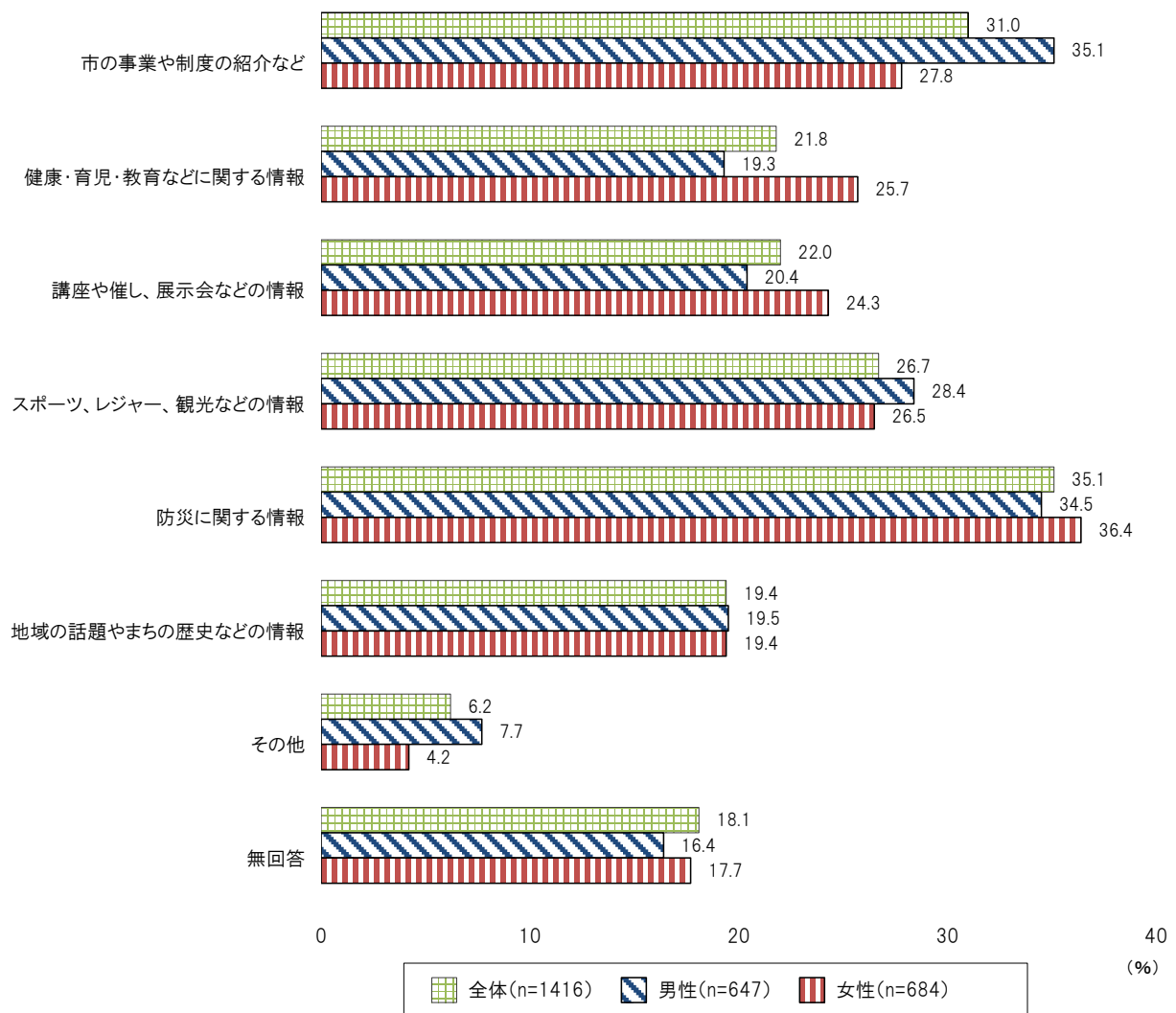
「防災に関する情報」が 35.1%で最も高く、ついで「市の事業や制度の紹介など」が 31.0%、「スポーツ、レジャー、観光などの情報」が 26.7%となっている。

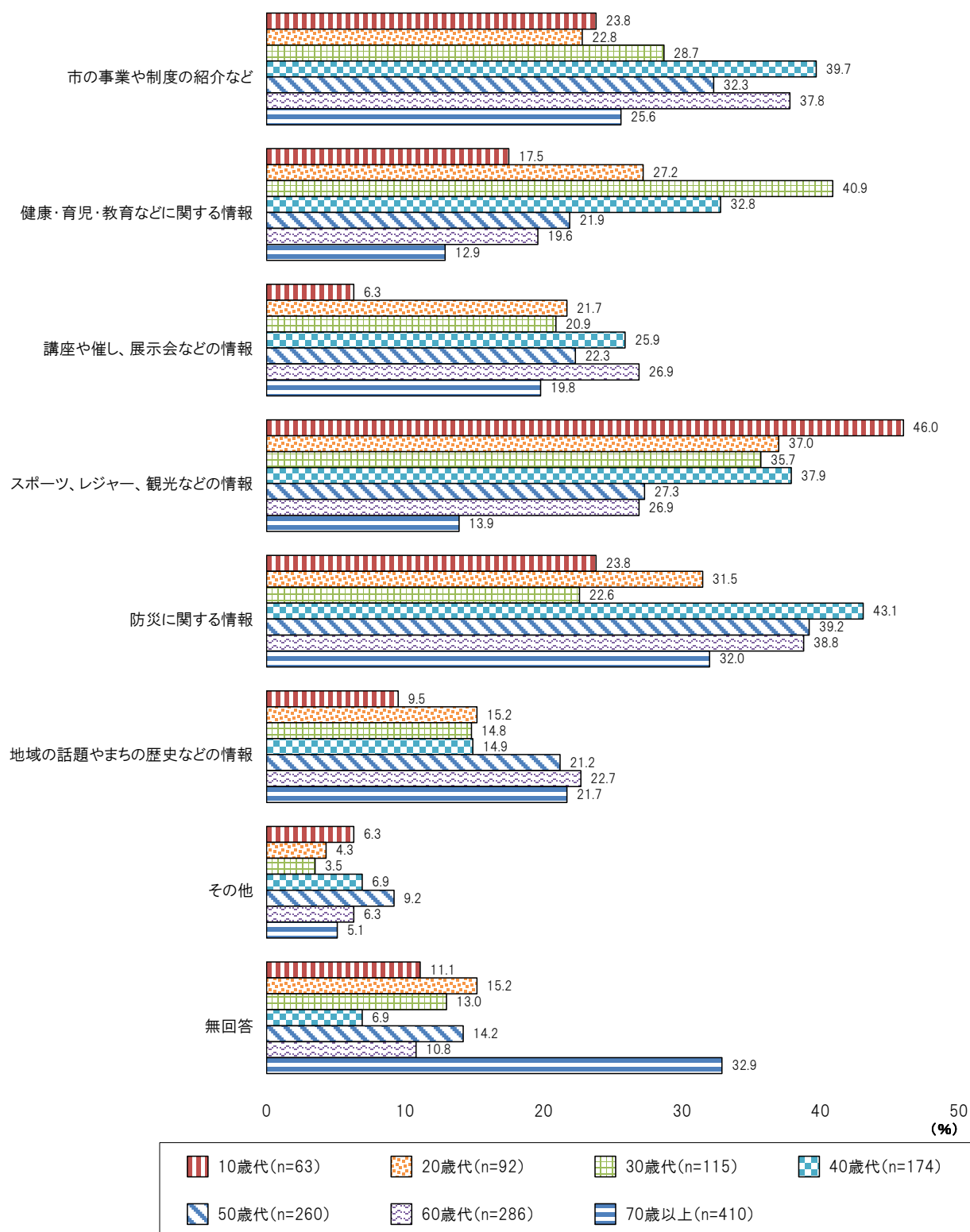
性別にみると、女性は1番目、2番目、3番目に高い項目は全体と同じであった。男性は1番目と2番目の順番が入れ替わっている。

年代別にみると、1番目の項目は 40 歳代、50 歳代、60 歳代は「防災に関する情報」、10 歳代、20 歳代は「スポーツ、レジャー、観光などの情報」、30 歳代は「健康・育児・教育などに関する情報」であった。全体の上位3項目以外で入ってきている項目は、20 歳代、30 歳代の「健康・育児・教育などに関する情報」、60 歳代の「講座や催し、展示会などの情報」となっている。

<上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		防災に関する情報	35.1%	市の事業や制度の紹介など	31.0%	スポーツ、レジャー、観光などの情報	26.7%
性別	男性	市の事業や制度の紹介など	35.1%	防災に関する情報	34.5%	スポーツ、レジャー、観光などの情報	28.4%
	女性	防災に関する情報	36.4%	市の事業や制度の紹介など	27.8%	スポーツ、レジャー、観光などの情報	26.5%
年代別	10 歳代	スポーツ、レジャー、観光などの情報	46.0%	市の事業や制度の紹介など	23.8%	防災に関する情報	23.8%
	20 歳代	スポーツ、レジャー、観光などの情報	37.0%	防災に関する情報	31.5%	健康・育児・教育などに関する情報	27.2%
	30 歳代	健康・育児・教育などに関する情報	40.9%	スポーツ、レジャー、観光などの情報	35.7%	市の事業や制度の紹介など	28.7%
	40 歳代	防災に関する情報	43.1%	市の事業や制度の紹介など	39.7%	スポーツ、レジャー、観光などの情報	37.9%
	50 歳代	防災に関する情報	39.2%	市の事業や制度の紹介など	32.3%	スポーツ、レジャー、観光などの情報	27.3%
	60 歳代	防災に関する情報	38.8%	市の事業や制度の紹介など	37.8%	講座や催し、展示会などの情報 スポーツ、レジャー、観光などの情報	26.9%
	70 歳以上	無回答	32.9%	防災に関する情報	32.0%	市の事業や制度の紹介など	25.6%





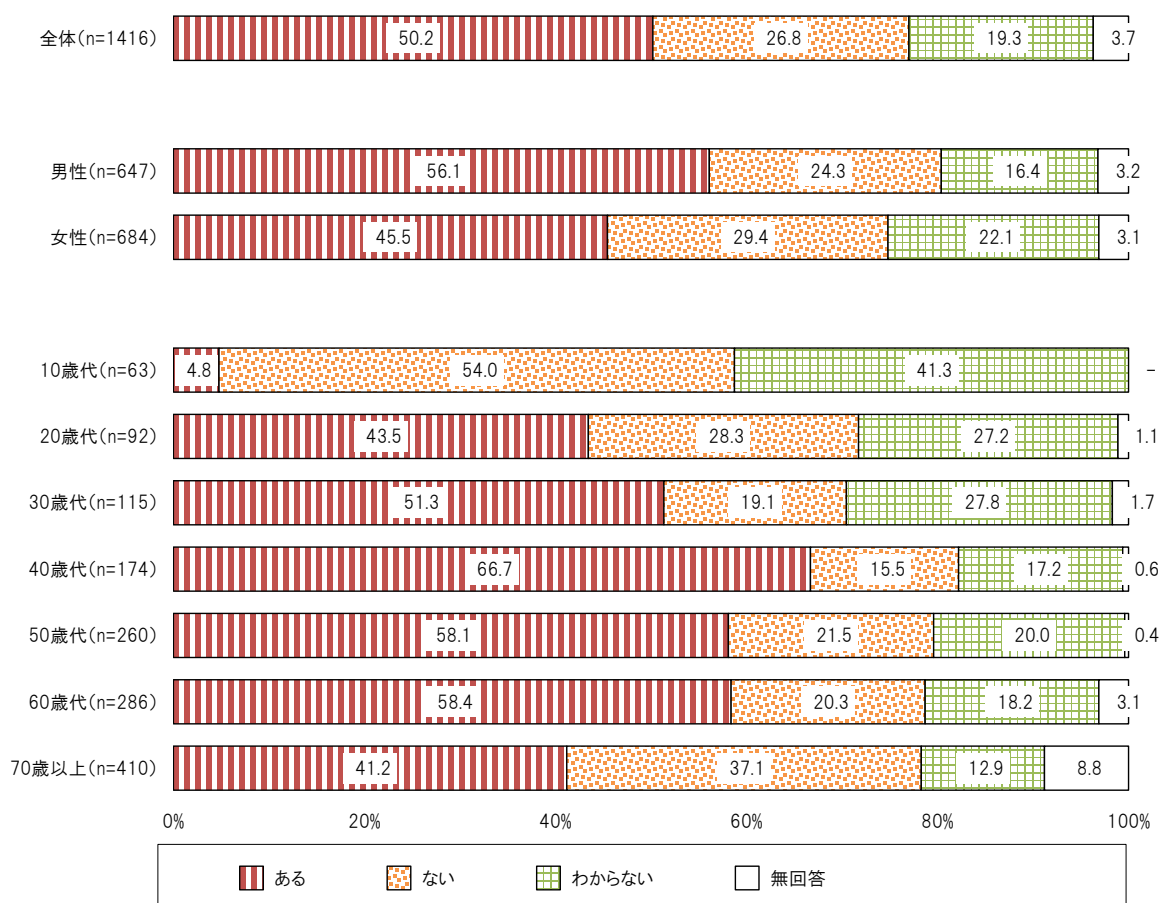
## 各種手続きのオンライン化について

問 39 あなたは、これまでにご自身で「行政への手続き」をしたことがありますか。

全体では「ある」が 50.2%で最も高く、ついで「ない」が 26.8%、「わからない」が 19.3%となっている。

性別にみると、「ある」は男性が 56.1%、女性が 45.5%であり、男性の方が 10.6 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「ある」は 40 歳代で最も高く 66.7%であり、10 歳代で最も低く 4.8%であった。「ある」について、5割未満だったのが 10 歳代、20 歳代、70 歳以上、5割台だったのが 30 歳代、50 歳代、60 歳代、6割台だったのが 40 歳代であった。



問 39 で「1. ある」と答えた方におききします

問 40 その「行政への手続き」が必要であることをどのように知りましたか。(〇はいくつでも)

「市から届いた文書で知った」が 53.7%で最も高く、ついで「家族や知人から聞いて知った」が 22.8%、「市の広報紙で知った」が 21.7%となっている。

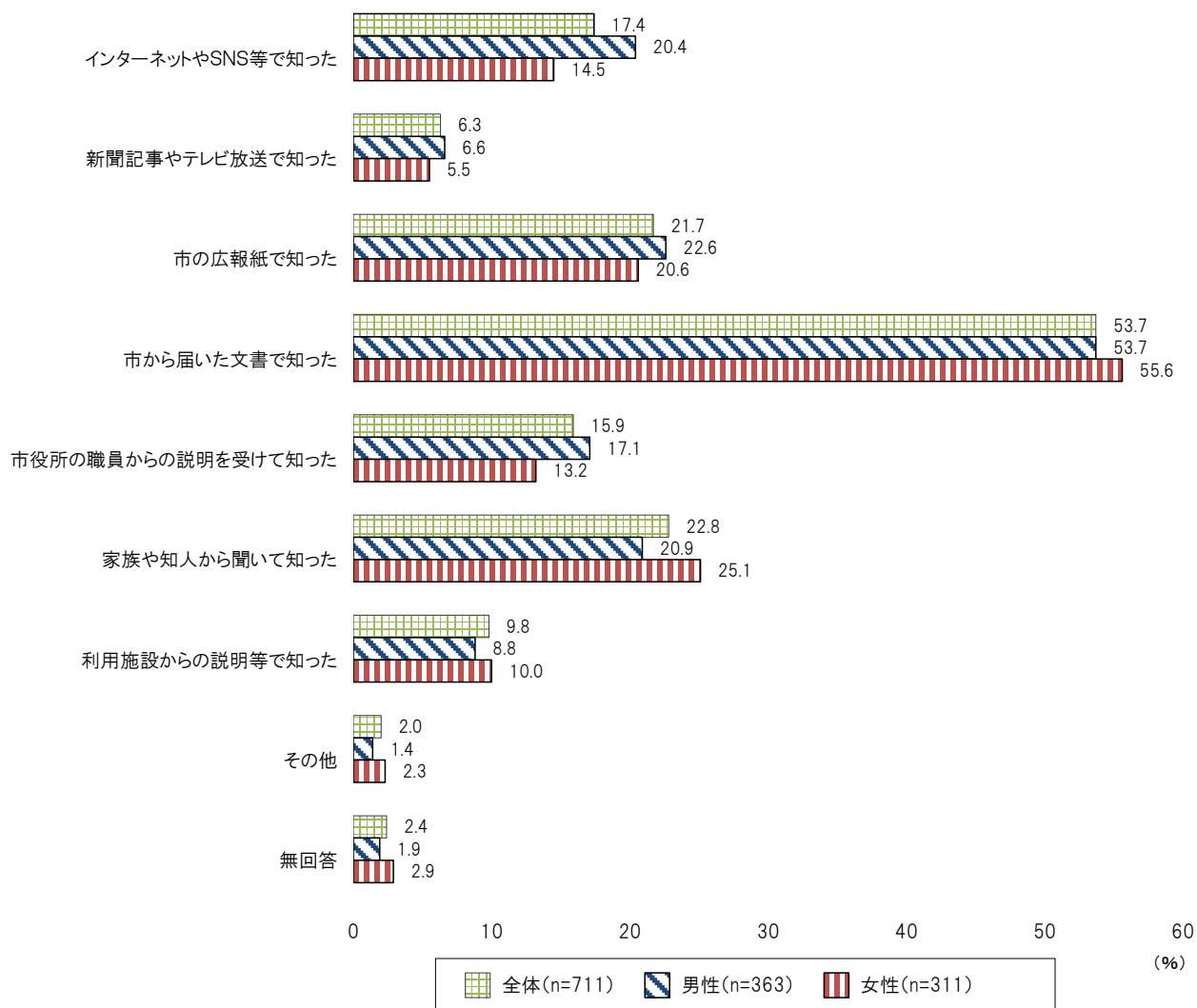
性別にみると、女性は1番目、2番目、3番目に高い項目は全体と同じであった。男性は2番目と3番目の順番が入れ替わっている。

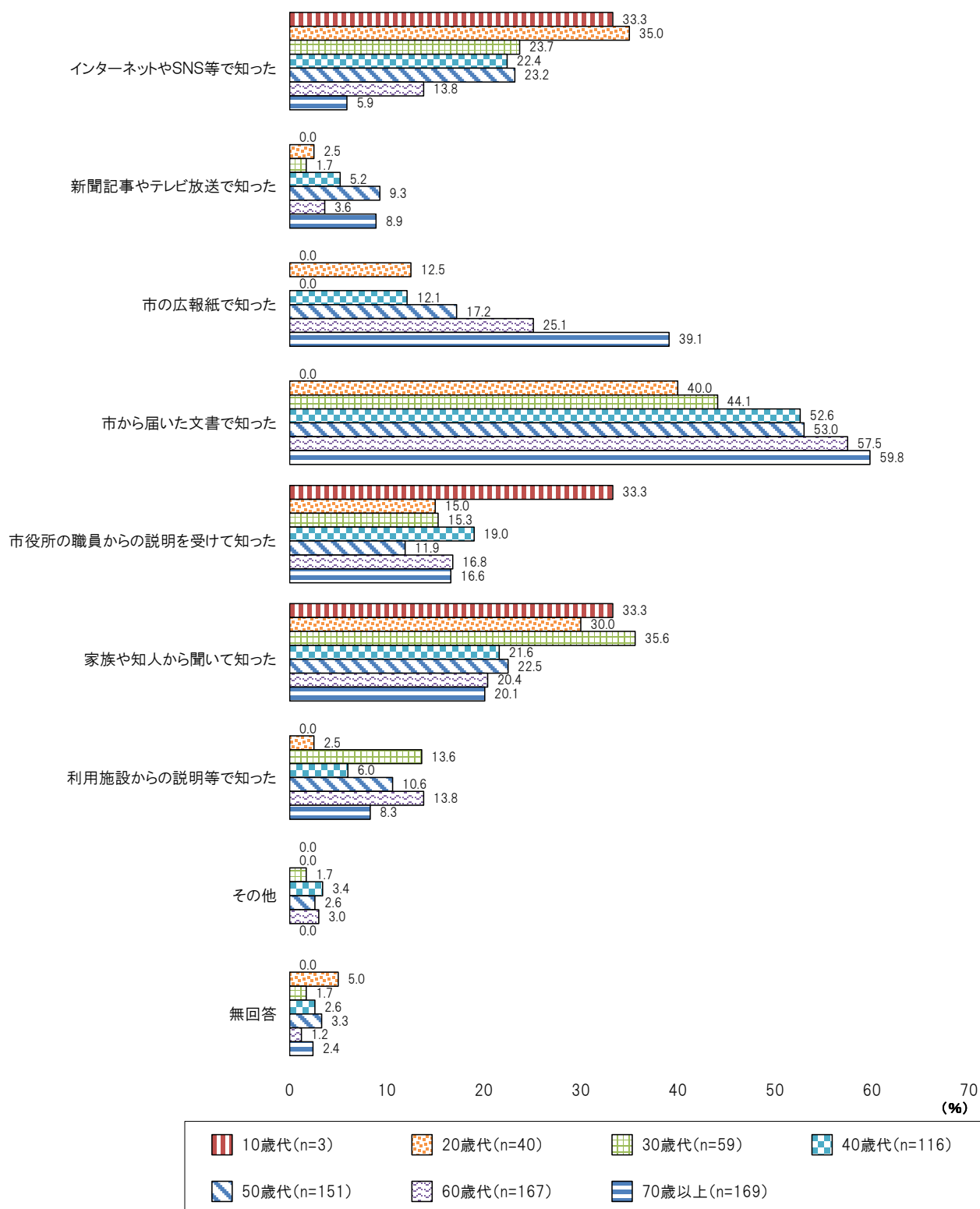
年代別にみると、1番目の項目は 10 歳代以外はいずれも「市から届いた文書で知った」であり、10 歳代では「インターネットや SNS 等で知った」であった。全体の上位3項目以外で入ってきているのは、10 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代の「インターネットや SNS 等で知った」、10 歳代の「市役所の職員からの説明を受けて知った」であった。

<上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		市から届いた文書で知った	53.7%	家族や知人から聞いて知った	22.8%	市の広報紙で知った	21.7%
性別	男性	市から届いた文書で知った	53.7%	市の広報紙で知った	22.6%	家族や知人から聞いて知った	20.9%
	女性	市から届いた文書で知った	55.6%	家族や知人から聞いて知った	25.1%	市の広報紙で知った	20.6%
年代別	10 歳代	インターネットやSNS等で知った	33.3%	市役所の職員からの説明を受けて知った	33.3%	家族や知人から聞いて知った	33.3%
	20 歳代	市から届いた文書で知った	40.0%	インターネットやSNS等で知った	35.0%	家族や知人から聞いて知った	30.0%
	30 歳代	市から届いた文書で知った	44.1%	家族や知人から聞いて知った	35.6%	インターネットやSNS等で知った	23.7%
	40 歳代	市から届いた文書で知った	52.6%	インターネットやSNS等で知った	22.4%	家族や知人から聞いて知った	21.6%
	50 歳代	市から届いた文書で知った	53.0%	インターネットやSNS等で知った	23.2%	家族や知人から聞いて知った	22.5%
	60 歳代	市から届いた文書で知った	57.5%	市の広報紙で知った	25.1%	家族や知人から聞いて知った	20.4%
	70 歳以上	市から届いた文書で知った	59.8%	市の広報紙で知った	39.1%	家族や知人から聞いて知った	20.1%







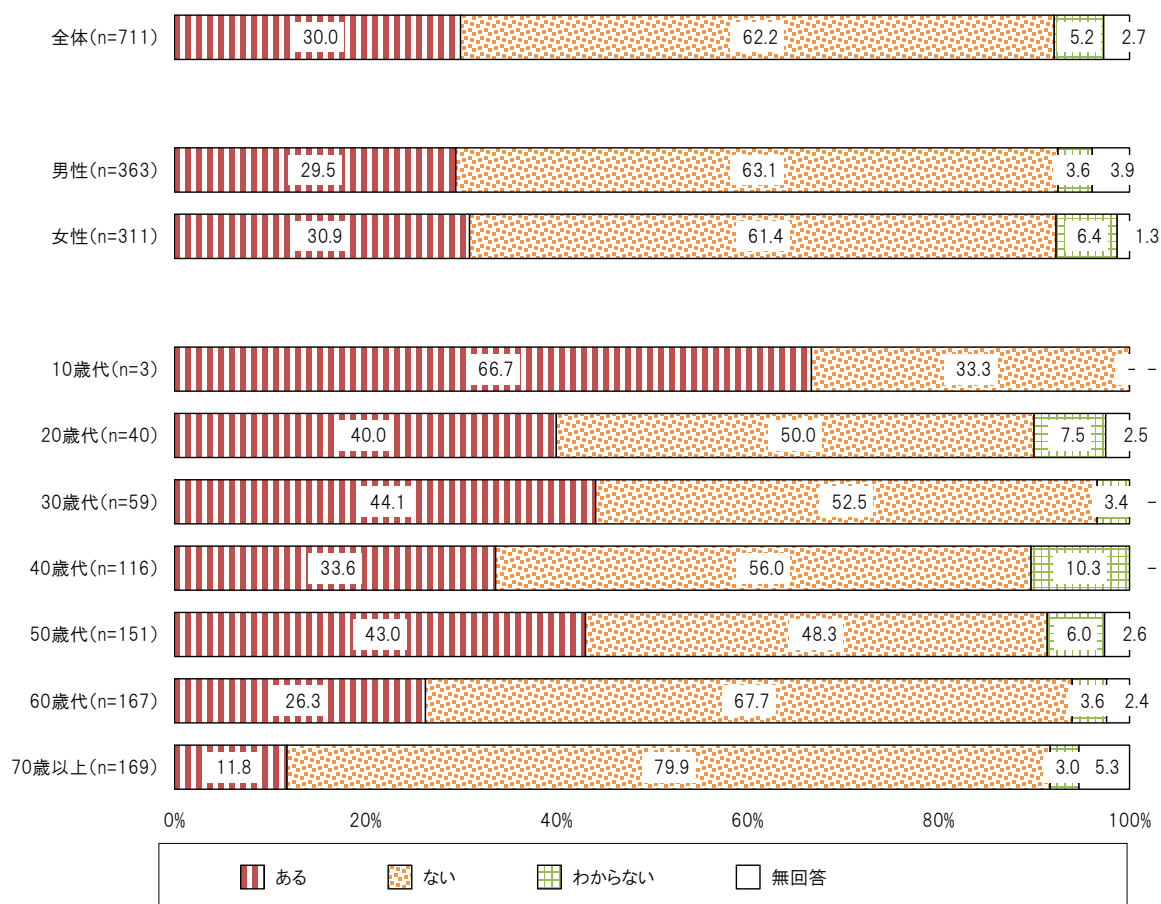
問 39 で「1. ある」と答えた方におききます

問 41 松阪市では「行政への手続き」をパソコンやスマートフォン等から行うことができる「オンライン化(オンライン申請)」を進めています。あなたは、これまでに松阪市の「行政への手続き」で、オンライン申請を利用したことがありますか。(○は 1 つだけ)

全体では「ない」が 62.2%で最も高く、ついで「ある」が 30.0%、「わからない」が 5.2%となっている。

性別にみると、「ある」は男性が 29.5%、女性が 30.9%であり、女性の方が 1.4 ポイント高くなっているものの、大きな違いはみられなかった。

年代別にみると、「ある」は 10 歳代で最も高く 66.7%、70 歳以上で 11.8%となっている。「ある」について、おおむね年代が高くなるにつれ割合が低下する傾向にある。



問 41 で「2.ない」と答えた方におききします

問 42 あなたが、今後オンラインで「行政への手続き」をするためには何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

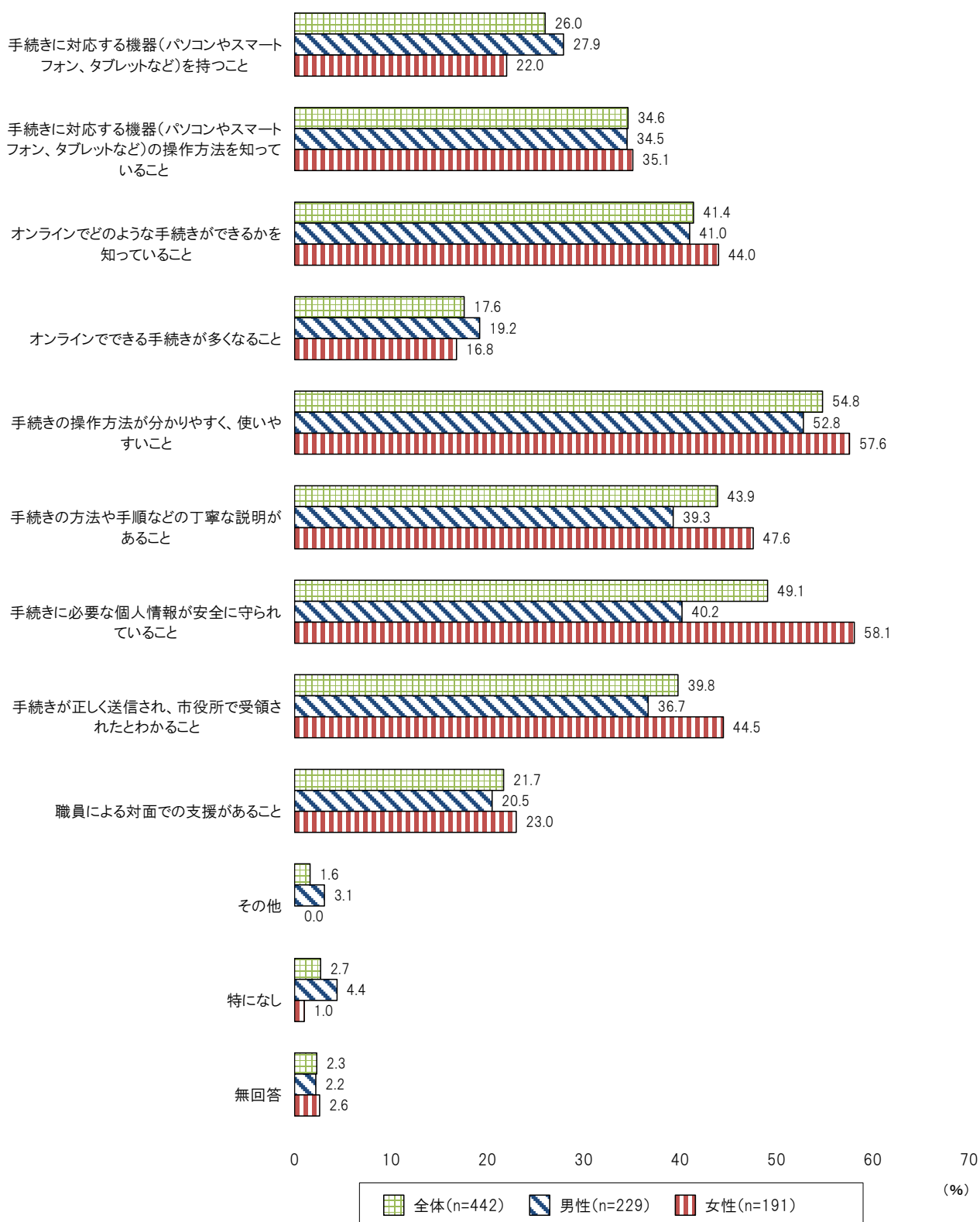
「手続きの操作方法が分かりやすく、使いやすいこと」が 54.8%で最も高く、ついで「手続きに必要な個人情報が安全に守られていること」が 49.1%、「手続きの方法や手順などの丁寧な説明があること」が 43.9%となっている。

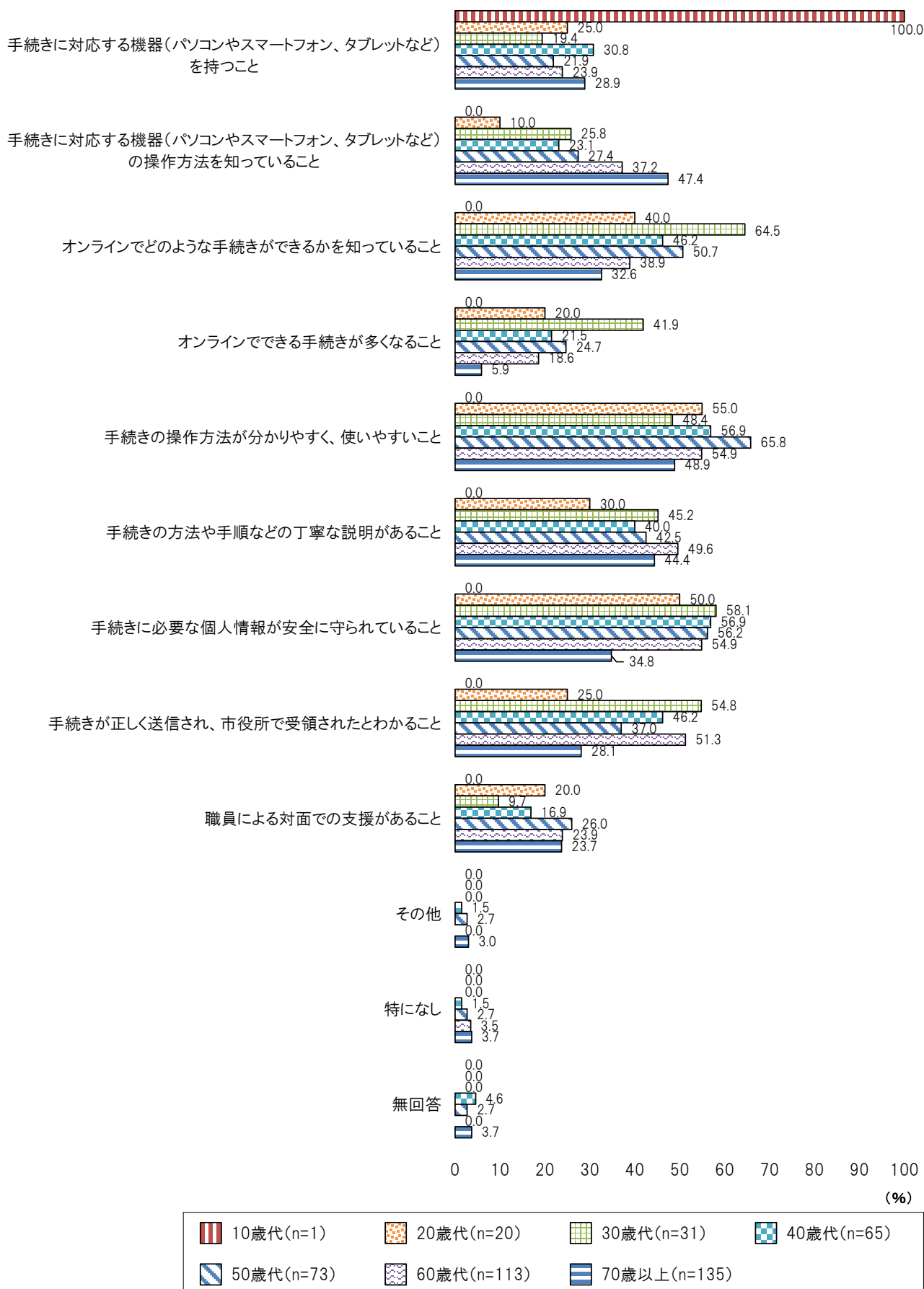
性別にみると、男性の2番目には「オンラインでどのような手続きができるかを知っていること」が入ってきている。

年代別にみると、1番目の項目は 10 歳代と 30 歳代を除いては「手続きの操作方法が分かりやすく、使いやすいこと」となっており、10 歳代は「手続きに対応する機器(パソコンやスマートフォン、タブレットなど)を持つこと」、30 歳代は「オンラインでどのような手続きができるかを知っていること」が入っている。

<上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		手続きの操作方法が分かりやすく、使いやすいこと	54.8%	手続きに必要な個人情報が安全に守られていること	49.1%	手続きの方法や手順などの丁寧な説明があること	43.9%
性別	男性	手続きの操作方法が分かりやすく、使いやすいこと	52.8%	オンラインでどのような手続きができるかを知っていること	41.0%	手続きに必要な個人情報が安全に守られていること	40.2%
	女性	手続きに必要な個人情報が安全に守られていること	58.1%	手続きの操作方法が分かりやすく、使いやすいこと	57.6%	手続きの方法や手順などの丁寧な説明があること	47.6%
年代別	10 歳代	手続きに対応する機器(パソコンやスマートフォン、タブレットなど)を持つこと	100.0%				
	20 歳代	手続きの操作方法が分かりやすく、使いやすいこと	55.0%	手続きに必要な個人情報が安全に守られていること	50.0%	オンラインでどのような手続きができるかを知っていること	40.0%
	30 歳代	オンラインでどのような手続きができるかを知っていること	64.5%	手続きに必要な個人情報が安全に守られていること	58.1%	手続きが正しく送信され、市役所で受領されたとわかること	54.8%
	40 歳代	手続きの操作方法が分かりやすく、使いやすいこと	56.9%	手続きに必要な個人情報が安全に守られていること	56.9%	オンラインでどのような手続きができるかを知っていること 手続きが正しく送信され、市役所で受領されたとわかること	46.2%
	50 歳代	手続きの操作方法が分かりやすく、使いやすいこと	65.8%	手続きに必要な個人情報が安全に守られていること	56.2%	オンラインでどのような手続きができるかを知っていること	50.7%
	60 歳代	手続きの操作方法が分かりやすく、使いやすいこと	54.9%	手続きに必要な個人情報が安全に守られていること	54.9%	手続きが正しく送信され、市役所で受領されたとわかること	51.3%
	70 歳以上	手続きの操作方法が分かりやすく、使いやすいこと	48.9%	手続きに対応する機器の操作方法を知っていること	47.4%	手続きの方法や手順などの丁寧な説明があること	44.4%





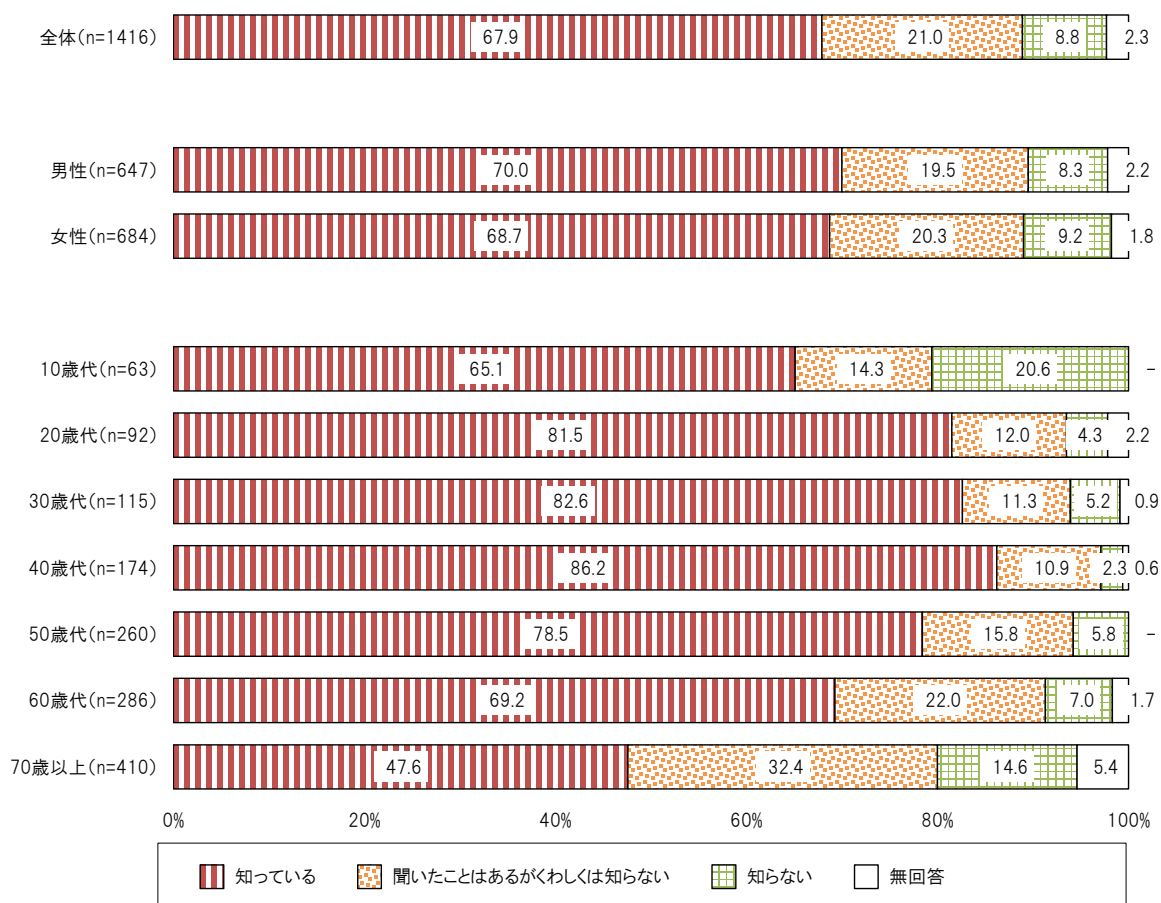
## カスタマーハラスメントに対する市の取組について

### 問 43 あなたは、カスハラについて知っていますか。(○は1つだけ)

全体では「知っている」が67.9%で最も高く、ついで「聞いたことはあるがくわしくは知らない」が21.0%、「知らない」が8.8%となっている。

性別にみると、「知っている」は男性が70.0%、女性が68.7%であり、男性の方が1.3ポイント高くなっているものの、大きな違いはみられなかった。

年代別にみると、「ある」は40歳代で最も高く86.2%であり、70歳以上で最も低く47.6%であった。「ある」の割合は20歳代から40歳代で高くなっており、10歳代、70歳以上で低くなっている。

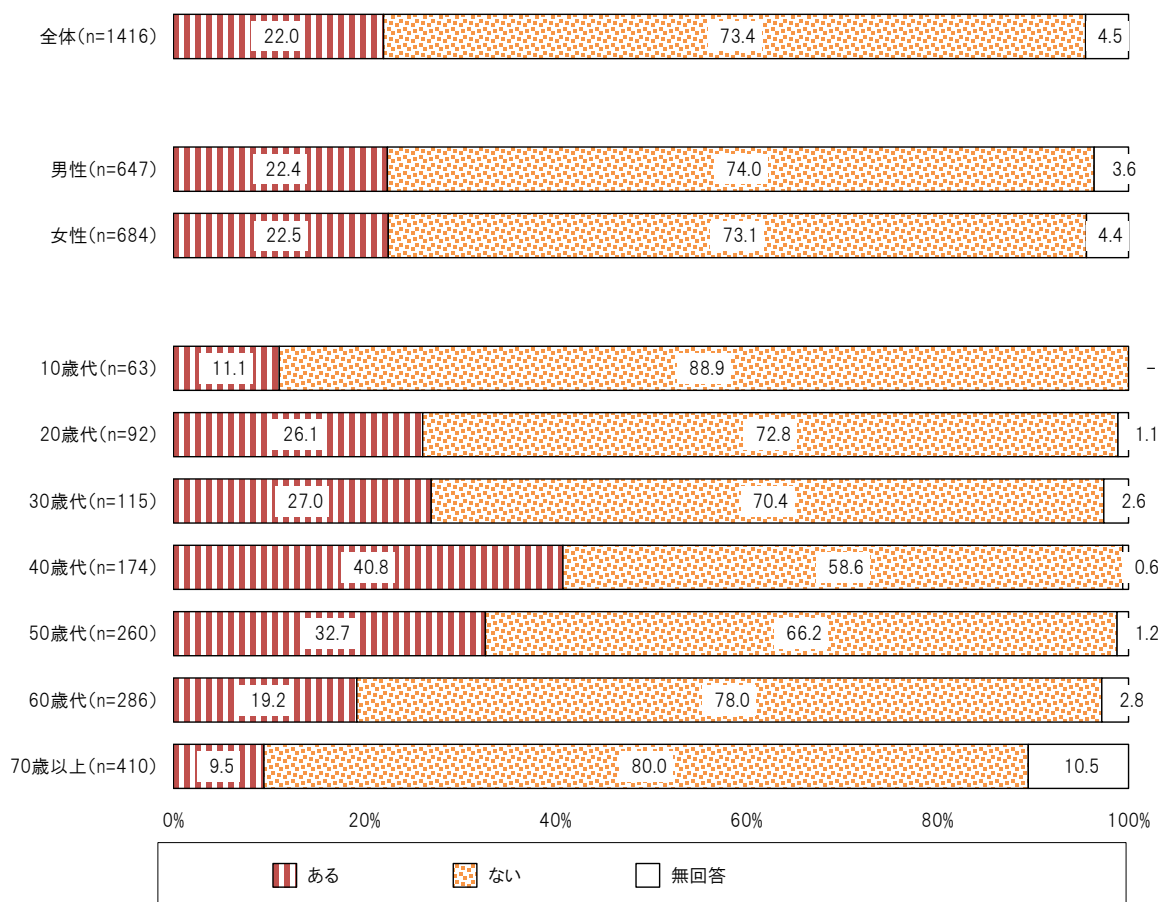


問 44 あなたは、カスハラを受けた経験がありますか。(○は1つだけ)

全体では「ない」が73.4%で最も高く、ついで「ある」が22.0%となっている。

性別にみると、男性と女性の間で大きな違いはみられない。

年代別にみると、「ある」は40歳代で最も高く40.8%であり、70歳以上で最も低く9.5%であった。「ある」の割合は40歳代、50歳代で高くなっており、10歳代、70歳以上で低くなっている。





問 44 で「1. ある」と答えた方におききします

問 45 あなたは、どのような状況でカスハラを受けましたか。具体的な例を教えてください。  
(〇はいくつでも)

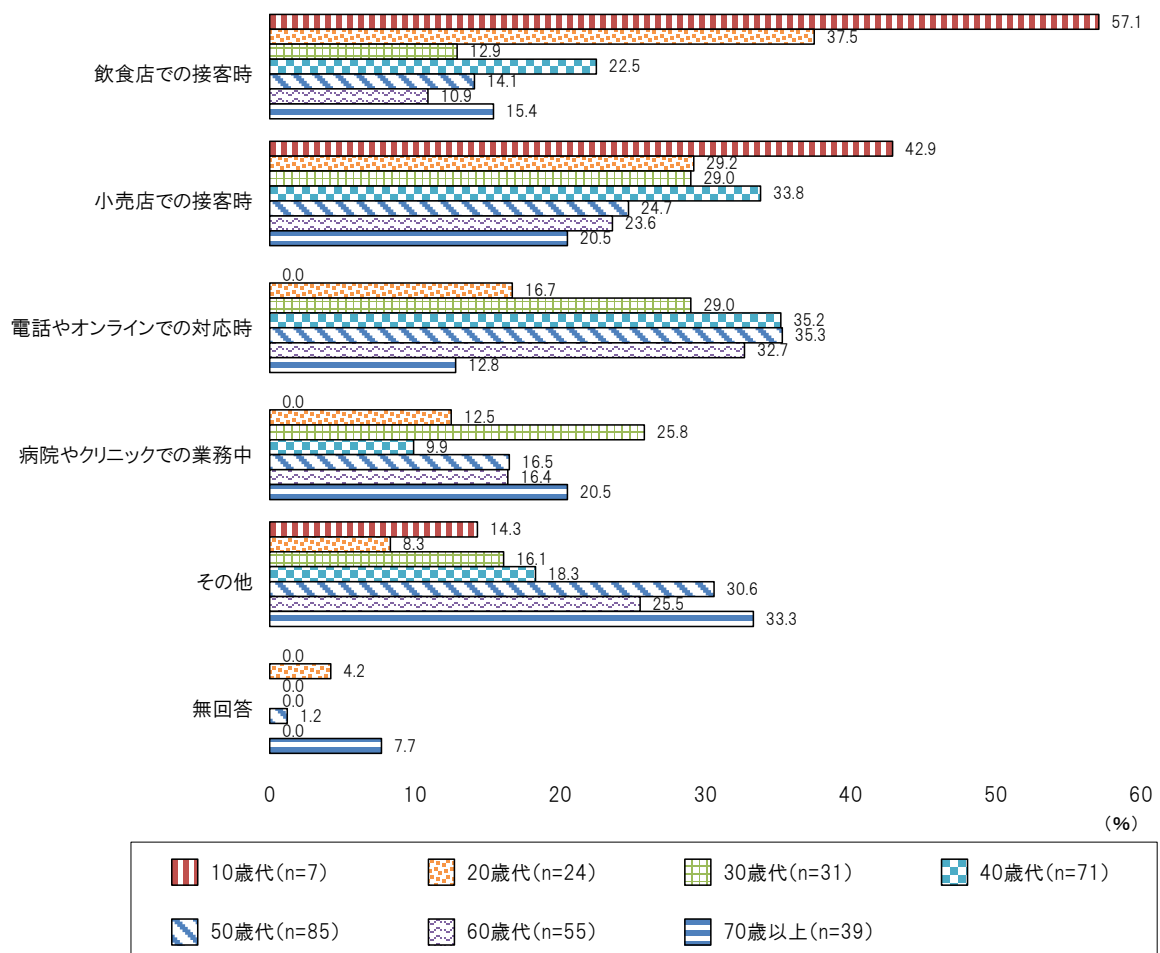
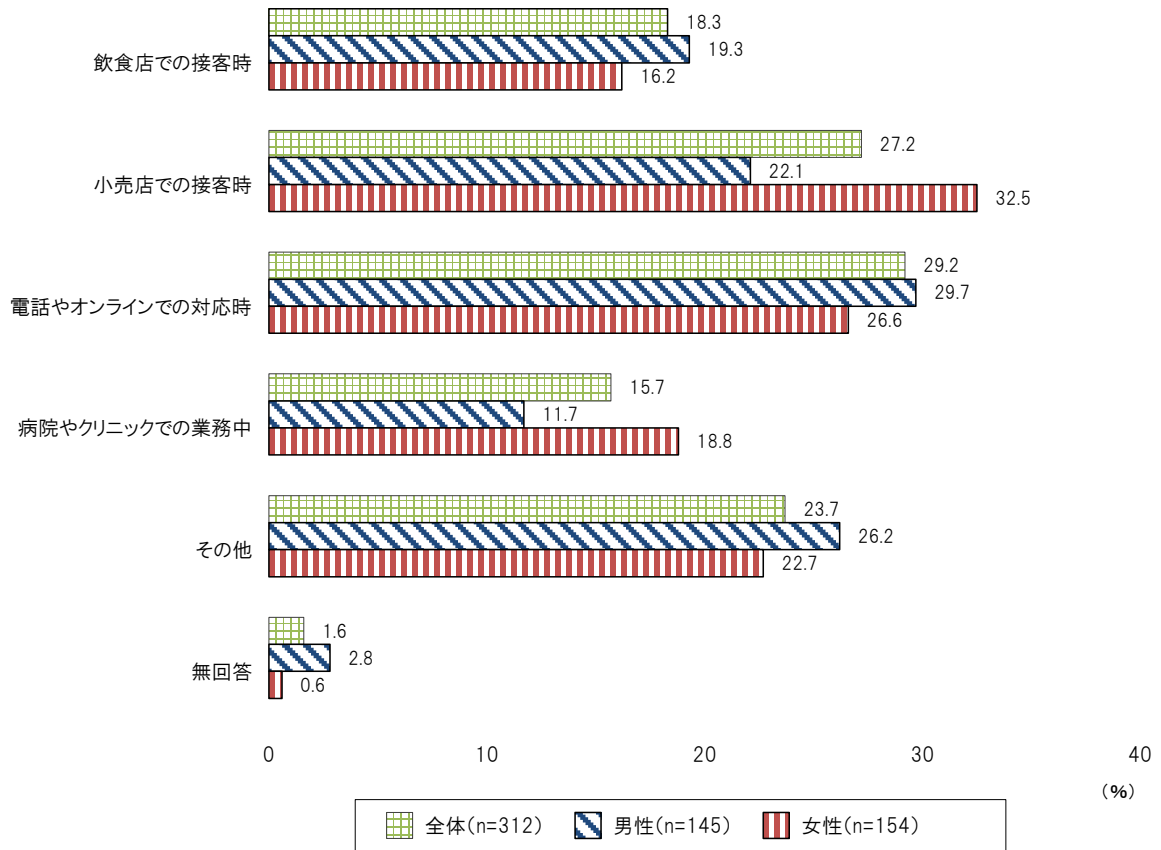
「電話やオンラインでの対応時」が 29.2%で最も高く、ついで「小売店での接客時」が 27.2%、「その他」が 23.7%となっている。

性別にみると、上位3項目にあがっている項目は全体と同じであった。1番目は男性では「電話やオンラインでの対応時」、女性では「小売店での接客時」となっている。

年代別にみると、1番目の項目は 40 歳代、50 歳代、60 歳代は「電話やオンラインでの対応時」、10 歳代、20 歳代は「飲食店での接客時」、30 歳代は「小売店での接客時」、70 歳以上は「その他」となっている。全体の上位3項目以外で入って生きているのは、10 歳代、20 歳代、40 歳代の「飲食店での接客時」、30 歳代、70 歳以上の「病院やクリニックでの業務中」となっている。

<上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		電話やオンラインでの対応時	29.2%	小売店での接客時	27.2%	その他	23.7%
性別	男性	電話やオンラインでの対応時	29.7%	その他	26.2%	小売店での接客時	22.1%
	女性	小売店での接客時	32.5%	電話やオンラインでの対応時	26.6%	その他	22.7%
年代別	10 歳代	飲食店での接客時	57.1%	小売店での接客時	42.9%	その他	14.3%
	20 歳代	飲食店での接客時	37.5%	小売店での接客時	29.2%	電話やオンラインでの対応時	16.7%
	30 歳代	小売店での接客時	29.0%	電話やオンラインでの対応時	29.0%	病院やクリニックでの業務中	25.8%
	40 歳代	電話やオンラインでの対応時	35.2%	小売店での接客時	33.8%	飲食店での接客時	22.5%
	50 歳代	電話やオンラインでの対応時	35.3%	その他	30.6%	小売店での接客時	24.7%
	60 歳代	電話やオンラインでの対応時	32.7%	その他	25.5%	小売店での接客時	23.6%
	70 歳以上	その他	33.3%	小売店での接客時	20.5%	病院やクリニックでの業務中	20.5%

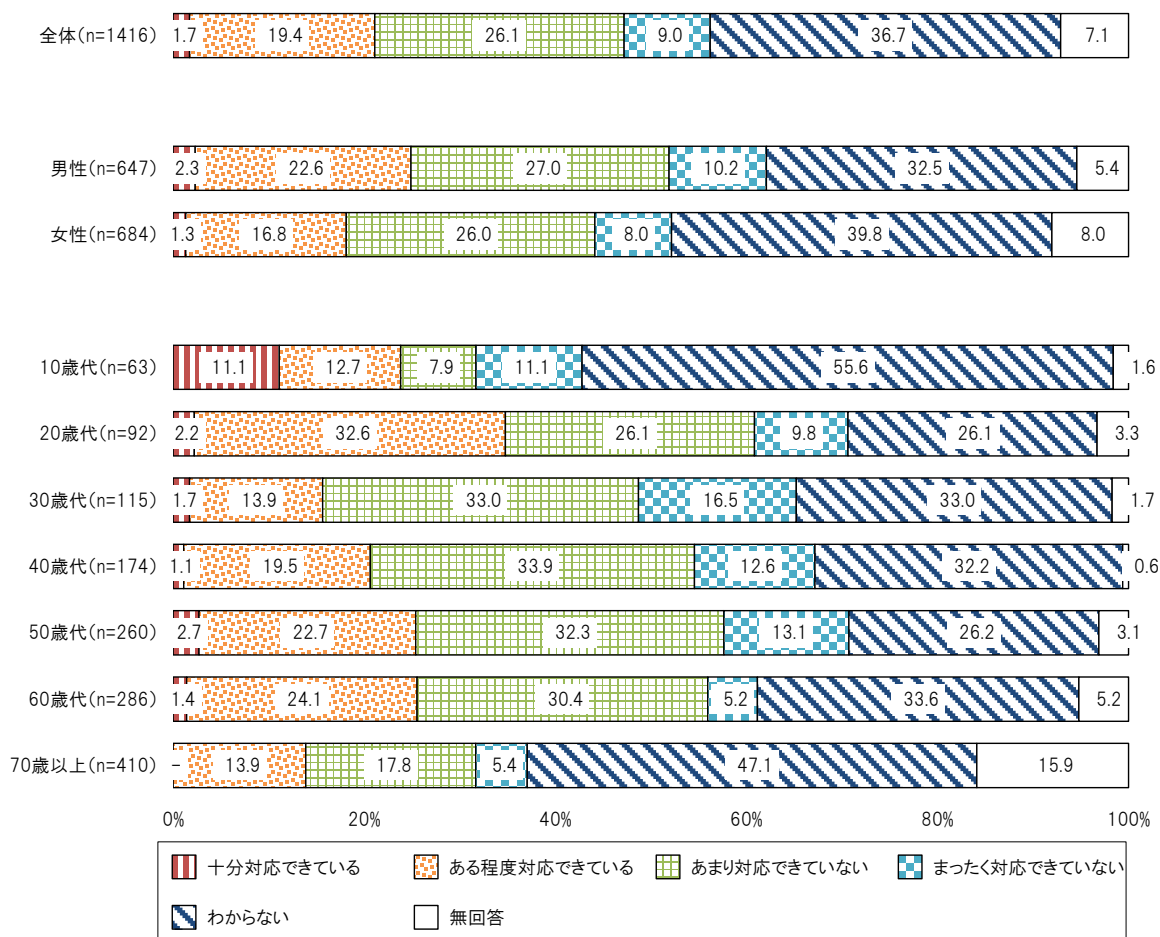


問 46 あなたは、企業や組織がカスハラに効果的に対応できていると思いますか。(○は1つだけ)

全体では「あまり対応できていない」が26.1%で最も高く、ついで「ある程度対応できている」が19.4%、「まったく対応できていない」が9.0%となっている。

性別にみると、「十分対応できている」と「ある程度対応できている」の合計の割合は、男性が24.9%、女性が18.1%であり、男性の方が6.8ポイント高くなっている。

年代別にみると、「十分対応できている」と「ある程度対応できている」の合計の割合は、20歳代で最も高く34.8%であり、70歳以上で最も低く13.9%であった。「あまり対応できていない」と「まったく対応できていない」の合計の割合は、30歳代で最も高く49.5%であり、10歳代で最も低く19.0%であった。「あまり対応できていない」と「まったく対応できていない」の合計の割合は、30歳代、40歳代、50歳代で4割台と高くなっている。

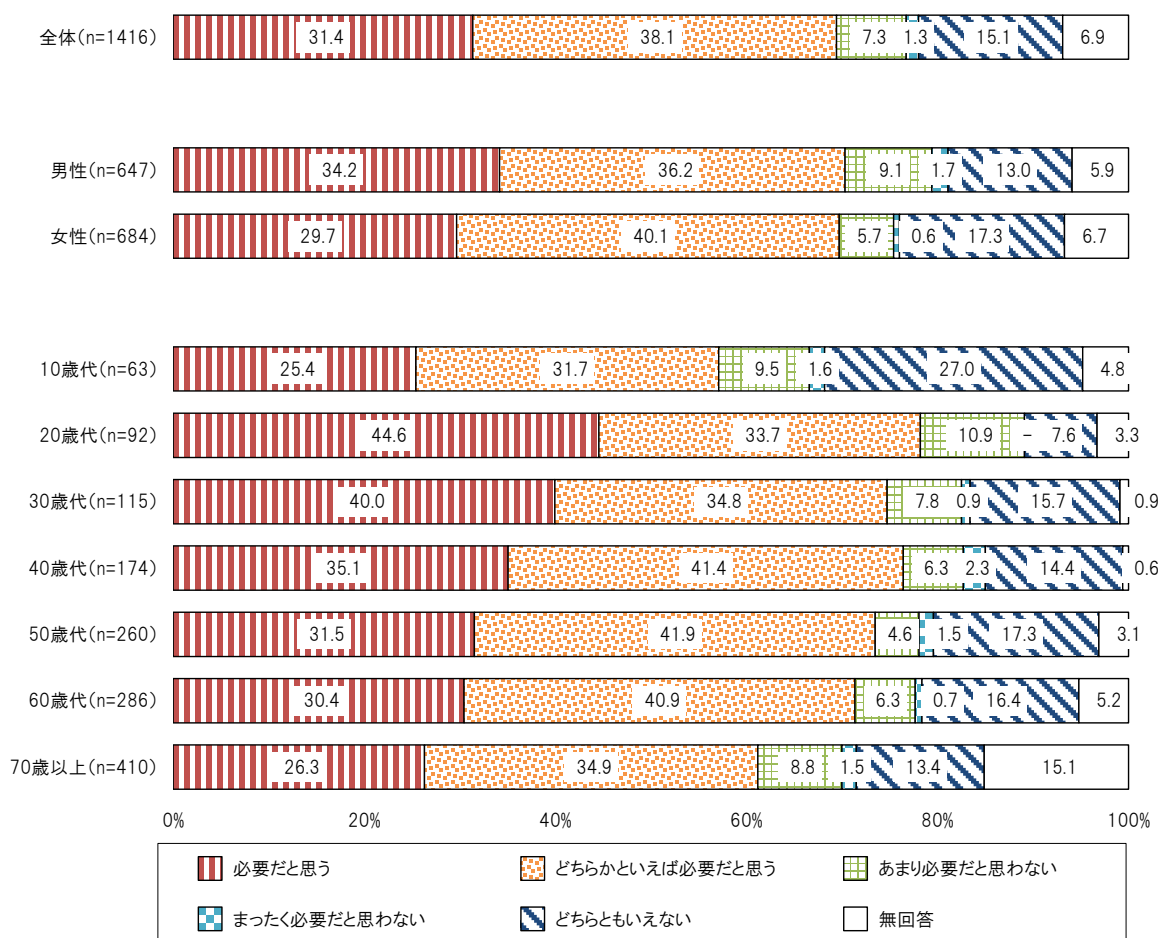


問 47 全国的にカスハラ条例を施行する自治体が増えてきている一方で、カスハラについては、ちょっとしたものの言い方がカスハラと指摘されるなど、「通常の要求と線引きがわかりにくく、コミュニケーションに躊躇するような風潮を招きかねない」といった意見があるとともに、カスハラを認定することもかなり難しい点が指摘されています。あなたは、松阪市においてもカスハラ防止に特化した条例が必要だと思いますか。(〇は1つだけ)

全体では「どちらかといえば必要だと思う」が 38.1%で最も高く、ついで「必要だと思う」が 31.4%、「どちらともいえない」が 15.1%となっている。

性別にみると、「必要だと思う」は男性が 34.2%、女性が 29.7%であり、男性の方が 4.5 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「必要だと思う」と「どちらかといえば必要だと思う」の合計の割合は、20 歳代で最も高く 78.3%であり、10 歳代で最も低く 57.1%であった。10 歳代が 57.1%と 70 歳以上が 61.2%と低いものの、それ以外の年代では7割台と高くなっている。



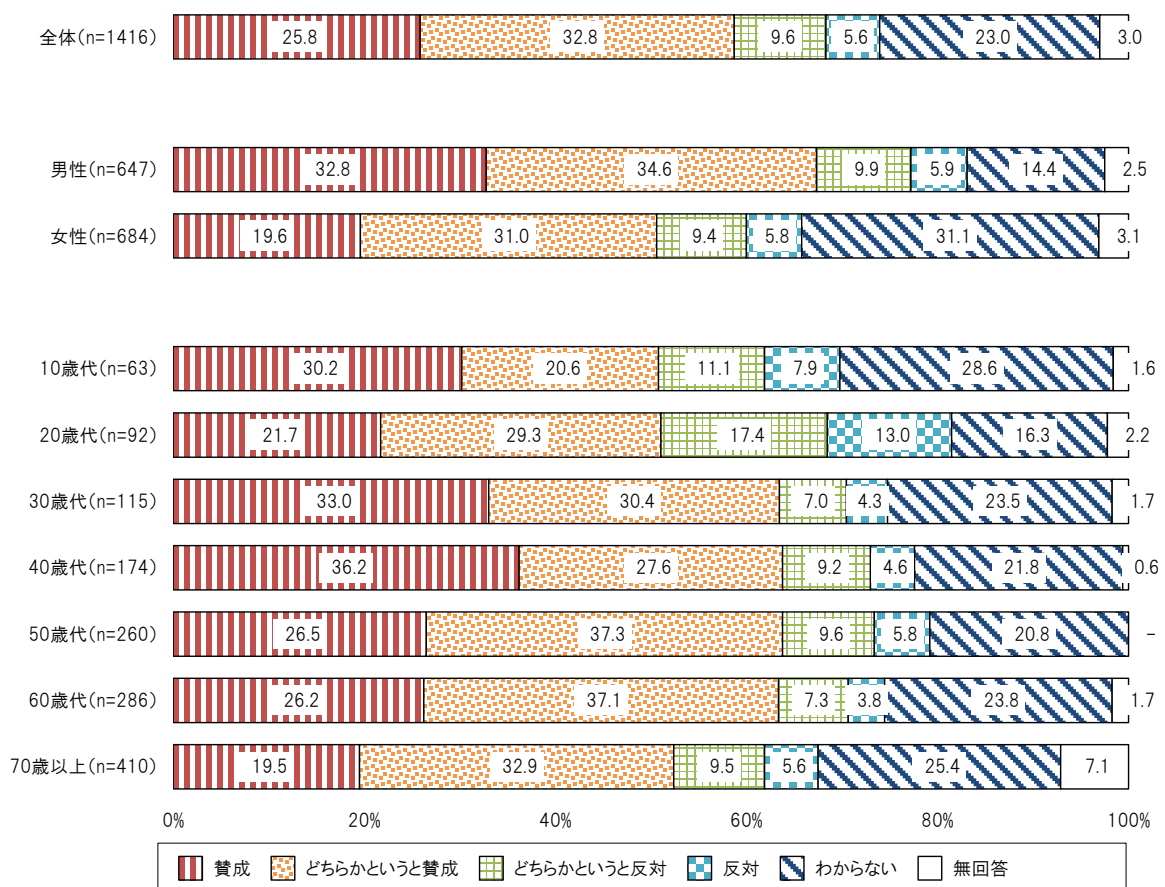
## 能力不足を理由にした職員の免職処分について

問 48 令和6年に佐賀県が、「能力不足」を理由に職員を「解雇」に相当する分限免職処分をしていたことがニュースとなりました。半年間に及ぶ研修後も改善がみられず、最下位の職位に降任しても見合った仕事ができないと判断し、免職処分となりました。あなたは、公務員が「能力不足」を理由に免職となることについてどう思いますか。(○は1つだけ)

全体では「どちらかという賛成」が 32.8%で最も高く、ついで「賛成」が 25.8%、「わからない」が 23.0%となっている。

性別にみると、「賛成」と「どちらかという賛成」の合計の割合は、男性が 67.4%、女性が 50.6%であり、男性の方が 16.8 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「賛成」と「どちらかという賛成」の合計の割合は、40 歳代、50 歳代が最も高く 63.8%であり、10 歳代が最も低く 50.8%となっている。同割合について、10 歳代、20 歳代、70 歳以上で低くなっており、それ以外の年代とは 10 ポイント以上の差がみられる。



問 49 あなたは、能力不足とみなされた職員に対するサポートや改善策として何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

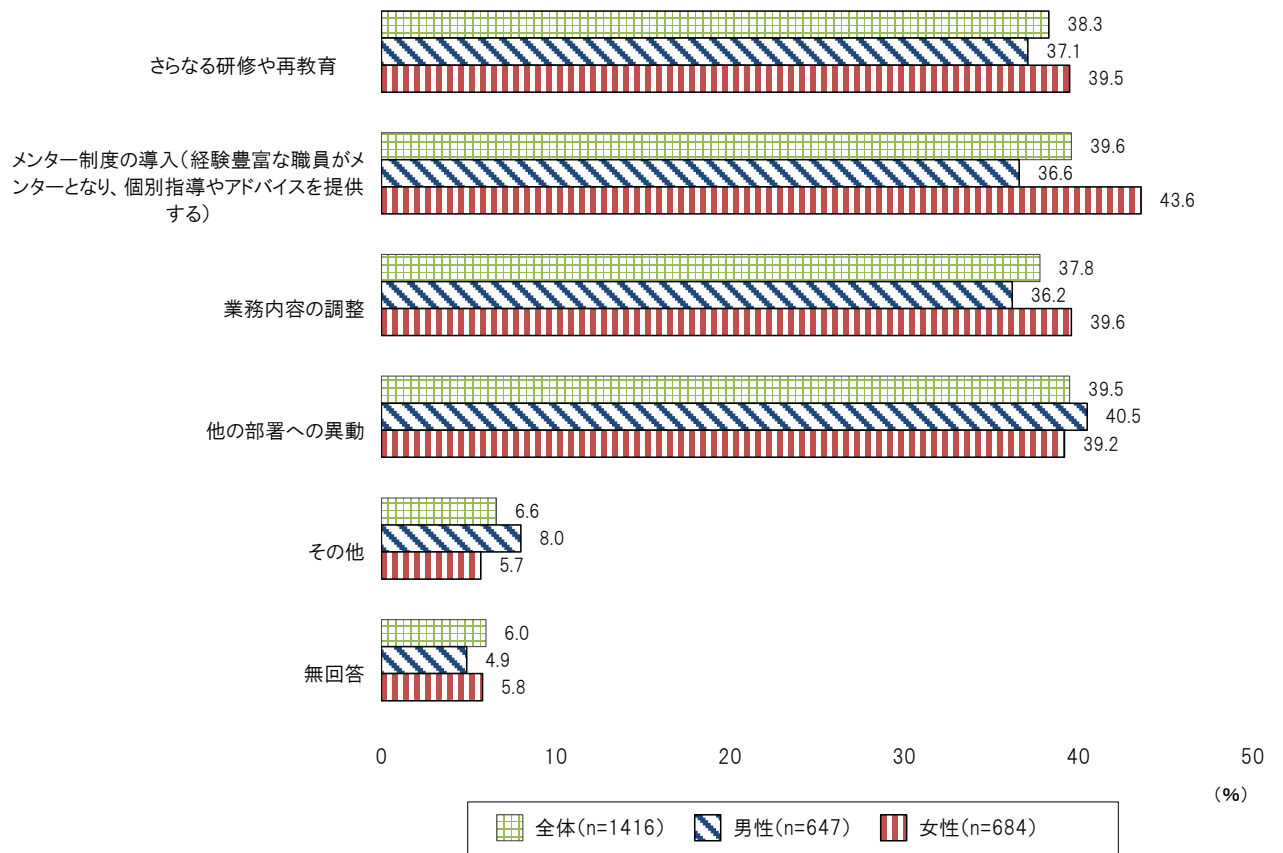
「メンター制度の導入(経験豊富な職員がメンターとなり、個別指導やアドバイスを提供する)」が 39.6%で最も高く、ついで「他の部署への異動」が 39.5%、「さらなる研修や再教育」が 38.3%となっている。

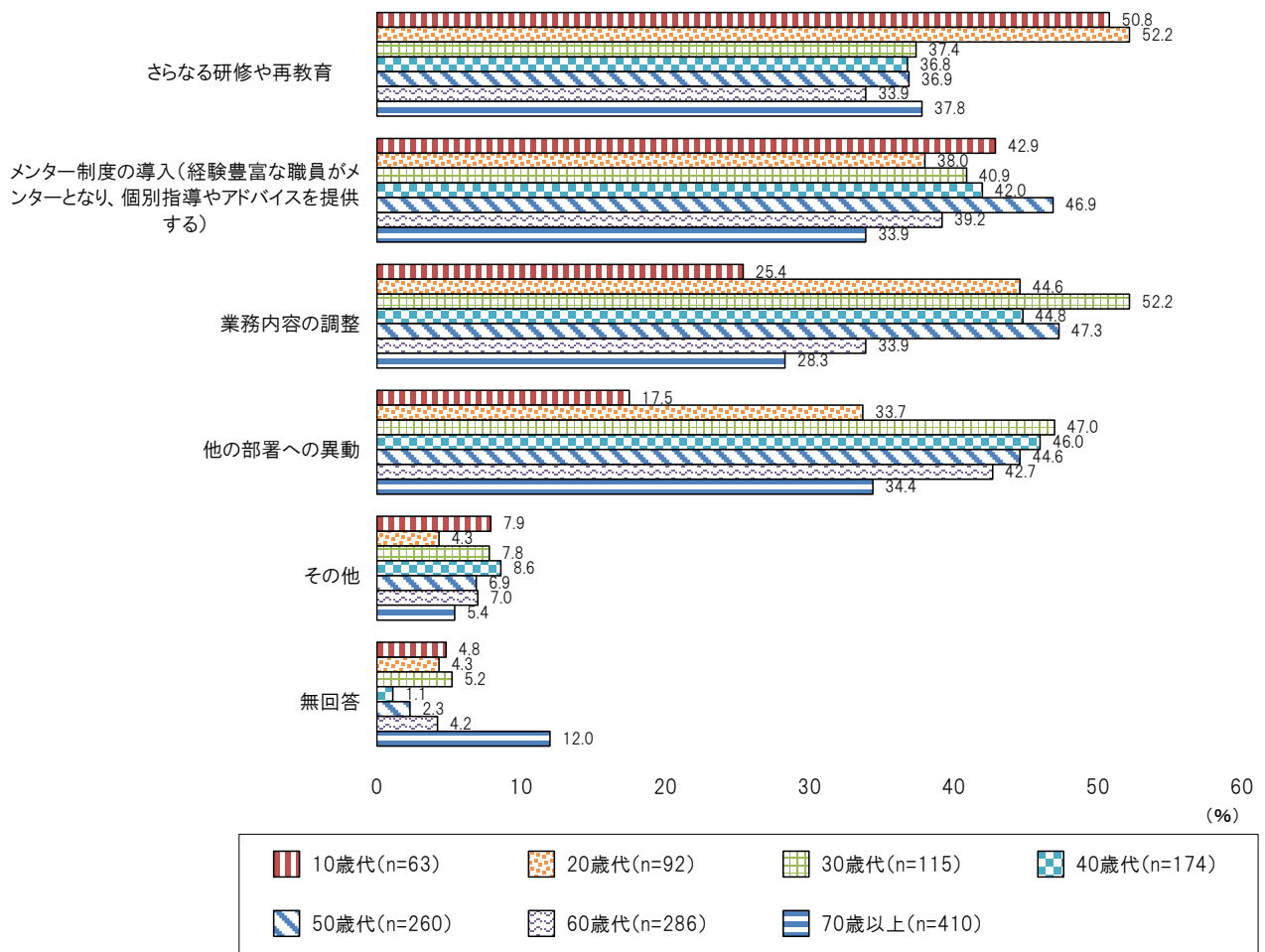
性別にみると、女性の2番目には「業務内容の調整」が入ってきている。男性の1番目は「他の部署への異動」となっている。

年代別にみると、1番目の項目は 10 歳代、20 歳代、70 歳以上は「さらなる研修や再教育」、30 歳代、50 歳代は「業務内容の調整」、40 歳代、60 歳代は「他の部署への異動」となっている。

<上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		メンター制度の導入(経験豊富な職員がメンターとなり、個別指導やアドバイスを提供する)	39.6%	他の部署への異動	39.5%	さらなる研修や再教育	38.3%
性別	男性	他の部署への異動	40.5%	さらなる研修や再教育	37.1%	メンター制度の導入	36.6%
	女性	メンター制度の導入	43.6%	業務内容の調整	39.6%	さらなる研修や再教育	39.5%
年代別	10 歳代	さらなる研修や再教育	50.8%	メンター制度の導入	42.9%	業務内容の調整	25.4%
	20 歳代	さらなる研修や再教育	52.2%	業務内容の調整	44.6%	メンター制度の導入	38.0%
	30 歳代	業務内容の調整	52.2%	他の部署への異動	47.0%	メンター制度の導入	40.9%
	40 歳代	他の部署への異動	46.0%	業務内容の調整	44.8%	メンター制度の導入	42.0%
	50 歳代	業務内容の調整	47.3%	メンター制度の導入	46.9%	他の部署への異動	44.6%
	60 歳代	他の部署への異動	42.7%	メンター制度の導入	39.2%	さらなる研修や再教育 業務内容の調整	33.9%
	70 歳以上	さらなる研修や再教育	37.8%	他の部署への異動	34.4%	メンター制度の導入	33.9%







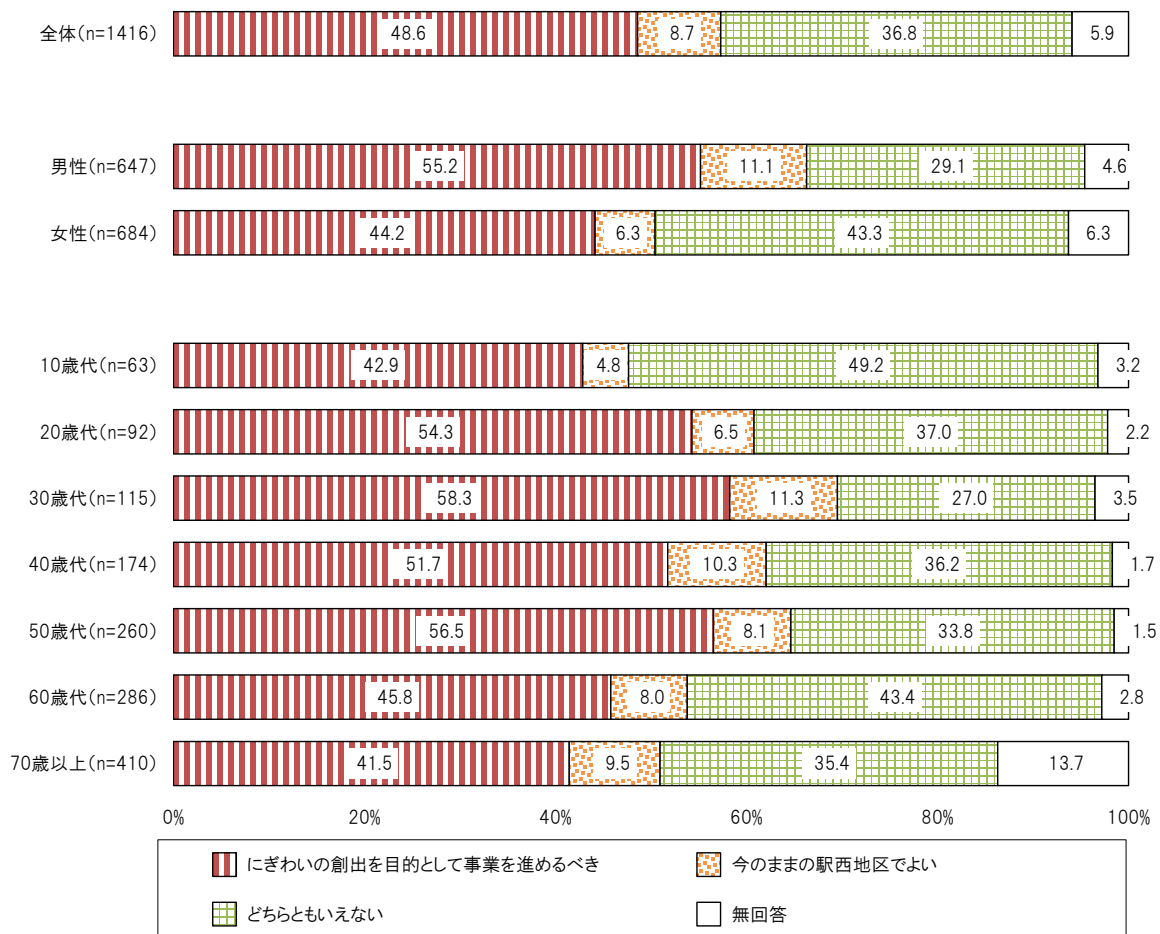
## 松阪駅西地区に整備する施設について

問 50 松阪駅西地区に整備する施設において、「一つの複合施設」に市がテナント入居するという形にこだわらず、一体的な土地利用の中で、公共機能部分については、市が別途整備することも検討しています。あなたは、このような松阪駅西地区の整備についてどのように思いますか。(○は1つだけ)

全体では「にぎわいの創出を目的として事業を進めるべき」が48.6%で最も高く、ついで「どちらともいえない」が36.8%、「今のままの駅西地区でよい」が8.7%となっている。

性別にみると、「にぎわいの創出を目的として事業を進めるべき」は男性が55.2%、女性が44.2%であり、男性の方が11.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「にぎわいの創出を目的として事業を進めるべき」は、30歳代で最も高く58.3%であり、70歳以上で最も低く41.5%であった。「にぎわいの創出を目的として事業を進めるべき」は、10歳代、60歳代、70歳以上が4割台であり、それ以外の年代は5割台であった。



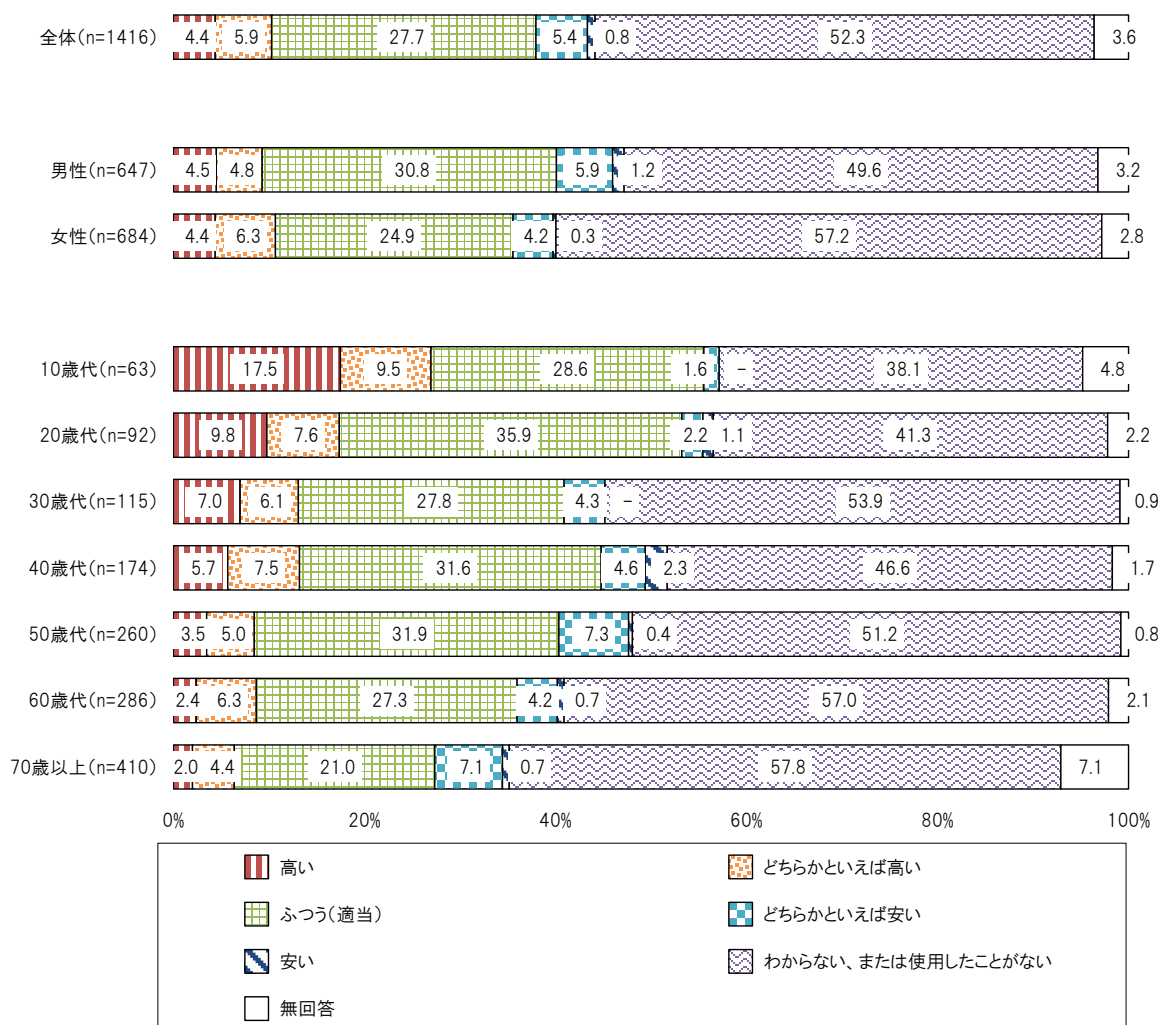
## 市施設における使用料について

問 51 あなたは、市施設の使用料について、どのように感じていますか。(○は1つだけ)

全体では「わからない、または使用したことがない」が 52.3%で最も高く、ついで「ふつう(適当)」が 27.7%、「どちらかといえば高い」が 5.9%となっている。

性別にみると、「高い」と「どちらかといえば高い」の合計の割合は、男性が 9.3%、女性が 10.7%であり、女性の方が 1.4 ポイント高くなっているものの、大きな違いはなかった。

年代別にみると、「高い」と「どちらかといえば高い」の合計の割合は、10 歳代で最も高く 27.0%であり、70 歳以上で最も低く 6.4%であった。同割合について、10 歳代は2割台、20 歳代、30 歳代、40 歳代は1割台、50 歳代、60 歳代、70 歳以上は 1 割未満となっている。

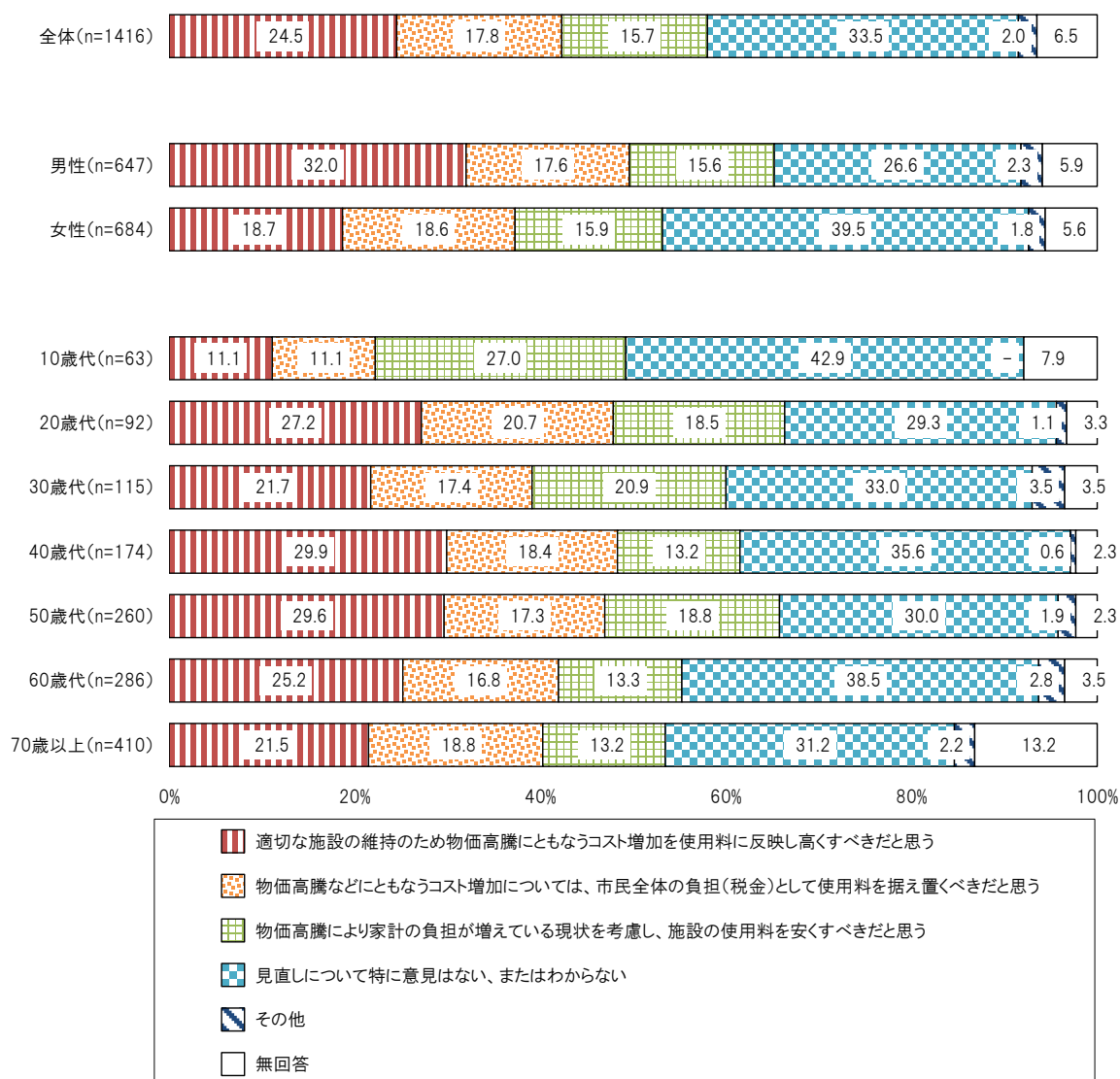


問 52 市施設の使用料は、建設費を除いた、人件費や電気代等から計算した金額を利用者に負担していただいています。現在、物価高騰が続いている状況の中で、見直しを行うと施設の使用料は高くなると考えられますが、あなたは見直しについてどう思いますか。  
(〇は1つだけ)

全体では「見直しについて特に意見はない、またはわからない」が33.5%で最も高く、ついで「適切な施設の維持のため物価高騰にともなうコスト増加を使用料に反映し高くすべきだと思う」が24.5%、「物価高騰などにともなうコスト増加については、市民全体の負担(税金)として使用料を据え置くべきだと思う」が17.8%となっている。

性別にみると、「適切な施設の維持のため物価高騰にともなうコスト増加を使用料に反映し高くすべきだと思う」は男性が32.0%、女性が18.7%であり、男性の方が13.3ポイント高くなっている。

年代別にみると、「適切な施設の維持のため物価高騰にともなうコスト増加を使用料に反映し高くすべきだと思う」について「は、40歳代で最も高く29.9%であり、10歳代で最も低く11.1%であった。



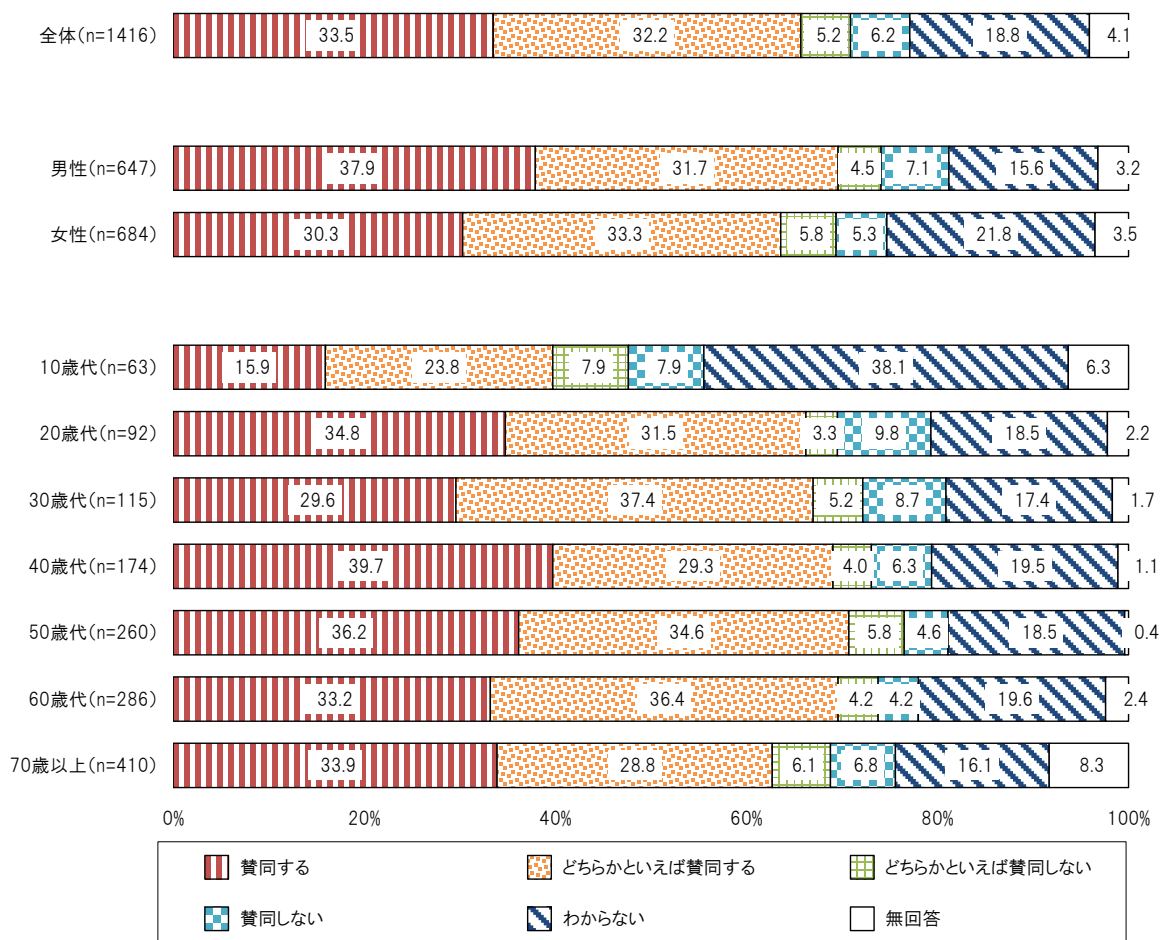
## 公民館の使用料と利用、公民館講座の受講料について

問 53 市民が公民館を使用して自主的なサークル活動を実施する場合に、一定程度の使用料の負担を求めることについて、あなたは賛同しますか。(○は1つだけ)

全体では「賛同する」が 33.5%で最も高く、ついで「どちらかといえば賛同する」が 32.2%、「わからない」が 18.8%となっている。

性別にみると、「賛同する」と「どちらかといえば賛同する」の合計の割合は、男性が 69.6%、女性が 63.6%であり、男性の方が 6.0 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「賛同する」と「どちらかといえば賛同する」の合計の割合は、50 歳代で最も高く 70.8%であり、10 歳代で最も低く 39.7%であった。10 歳代と 50 歳代を除く他の年代はいずれも6割台であった。

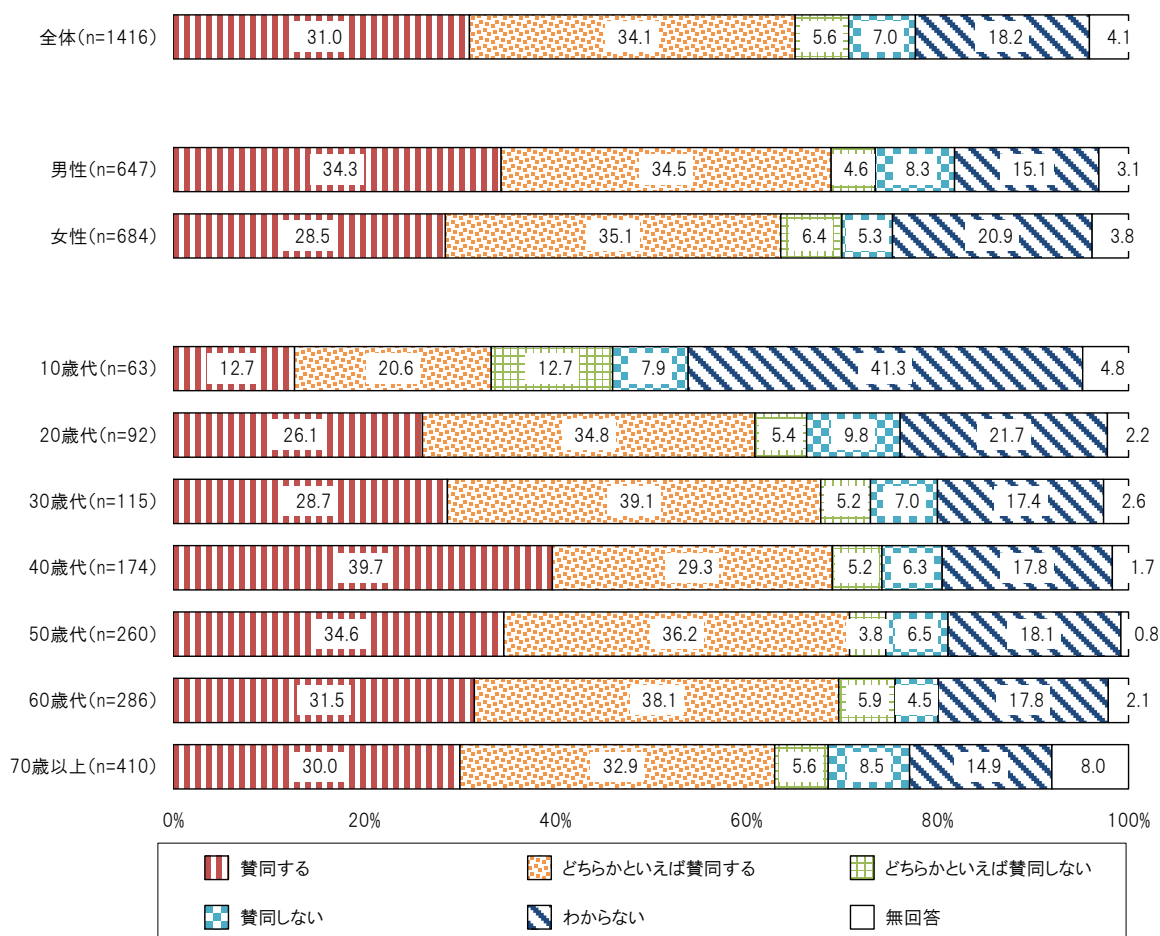


問 54 公民館講座を受講する場合に受講料を負担することに、あなたは賛同しますか。(○は1つだけ)

全体では「どちらかといえば賛同する」が 34.1%で最も高く、ついで「賛同する」が 31.0%、「わからない」が 18.2%となっている。

性別にみると、「賛同する」と「どちらかといえば賛同する」の合計の割合は、男性が 68.8%、女性が 63.6%であり、男性の方が 5.2 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「賛同する」と「どちらかといえば賛同する」の合計の割合は、50 歳代で最も高く 70.8%であり、10 歳代で最も低く 33.3%であった。10 歳代と 50 歳代を除く他の年代はいずれも6割台であった。



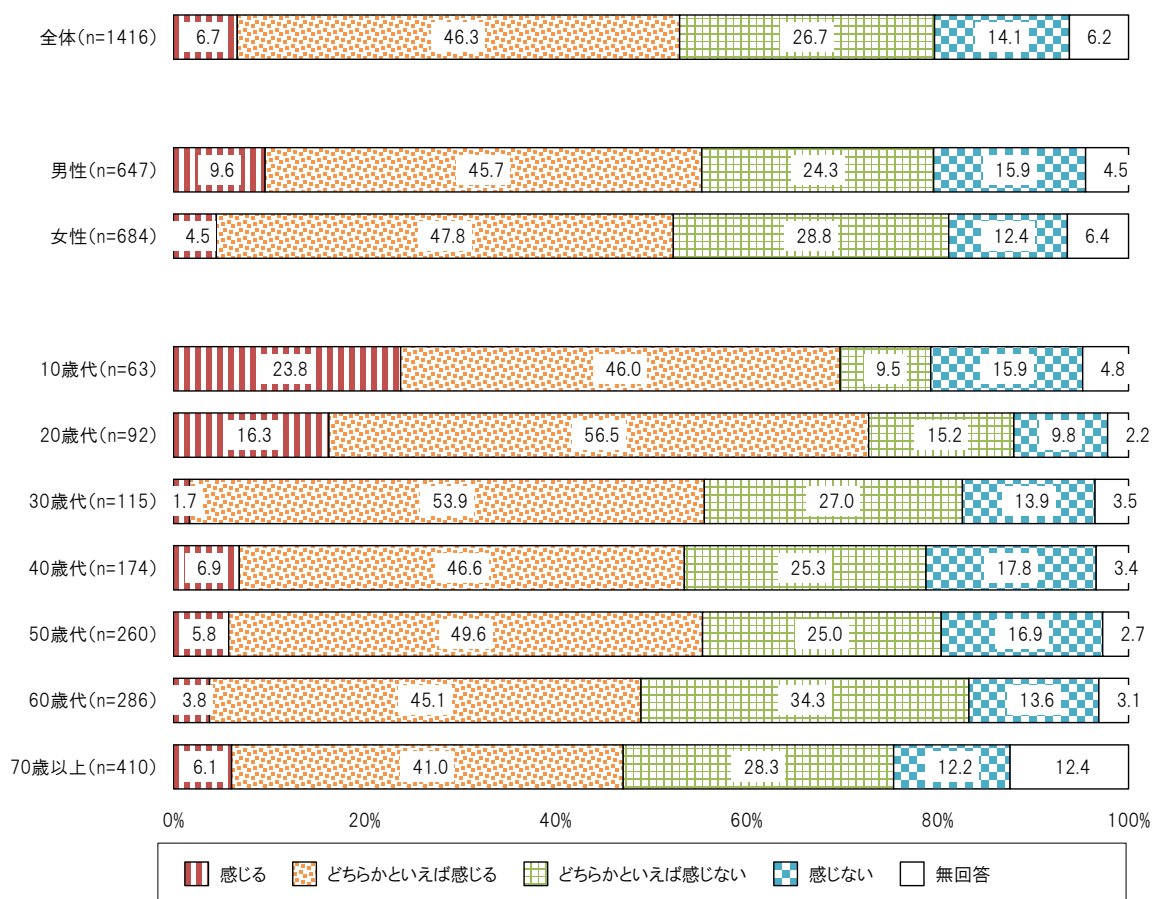
## 人権尊重・男女の地位の平等について

問 55 松阪市は人権が尊重されている社会になっていると感じますか。(○は1つだけ)

全体では「どちらかといえば感じる」が46.3%で最も高く、ついで「どちらかといえば感じない」が26.7%、「感じない」が14.1%となっている。

性別にみると、「感じる」と「どちらかといえば感じる」の合計の割合は、男性が55.3%、女性が52.3%であり、男性の方が3.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「感じる」と「どちらかといえば感じる」の合計の割合は、20歳代で最も高く72.8%であり、70歳以上が最も低く47.1%であった。同割合について、10歳代、20歳代で比較的高く、60歳代、70歳以上で比較的低くなっている。

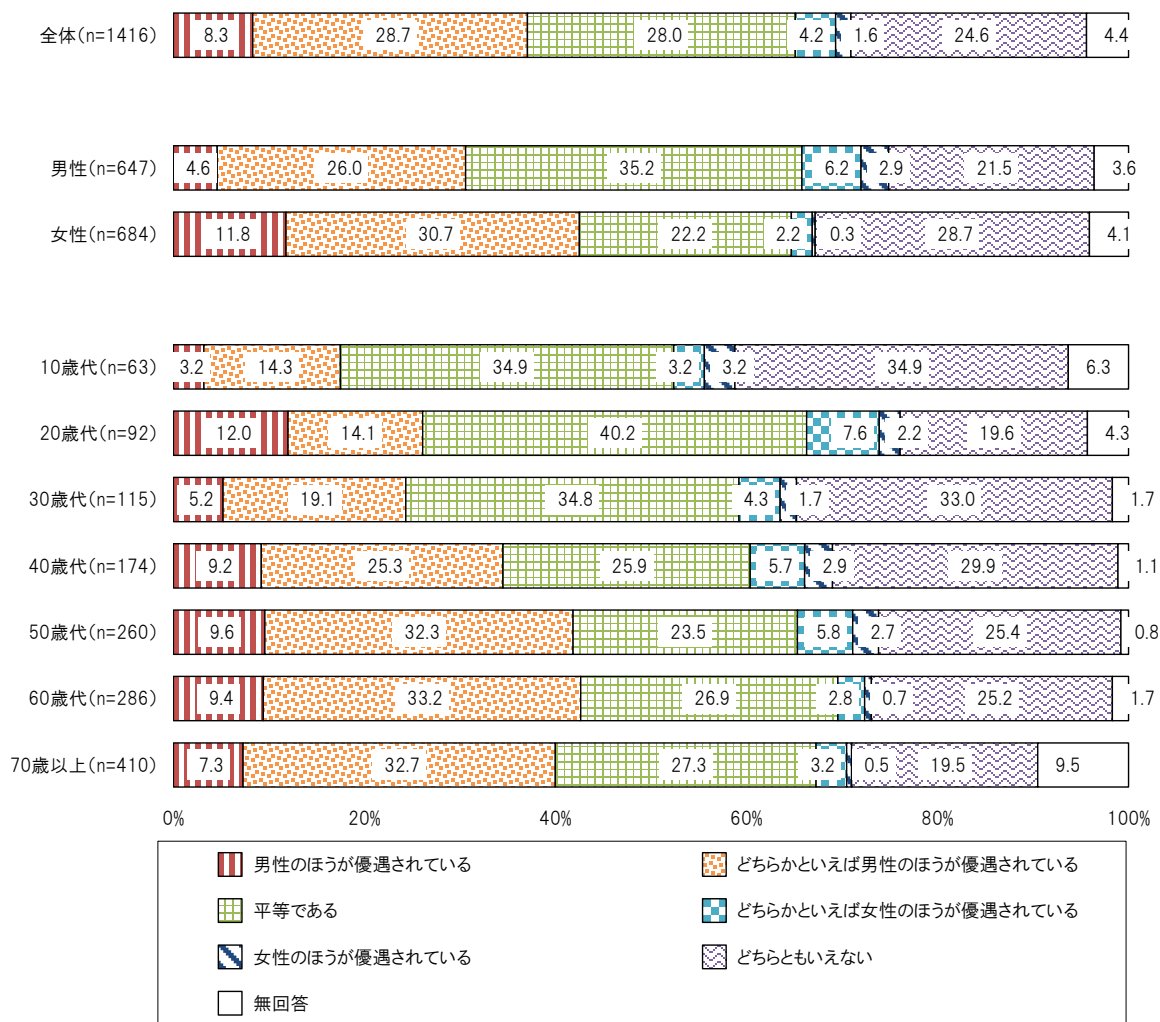


問 56 家庭生活において男女の地位が平等になっていると思いますか。(○は1つだけ)

全体では「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」が 28.7%で最も高く、ついで「平等である」が 28.0%、「どちらともいえない」が 24.6%となっている。

性別にみると、「男性のほうが優遇されている」と「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」の合計の割合は、男性が 30.6%、女性が 42.5%であり、女性の方が 11.9 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「男性のほうが優遇されている」と「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」の合計の割合は、60 歳代で最も高く 42.6%であり、10 歳代で最も低く 17.5%であった。同割合についておおむね年代が高くなるにつれ割合も高くなる傾向がみられる。



# 障がい福祉に関するアンケート調査

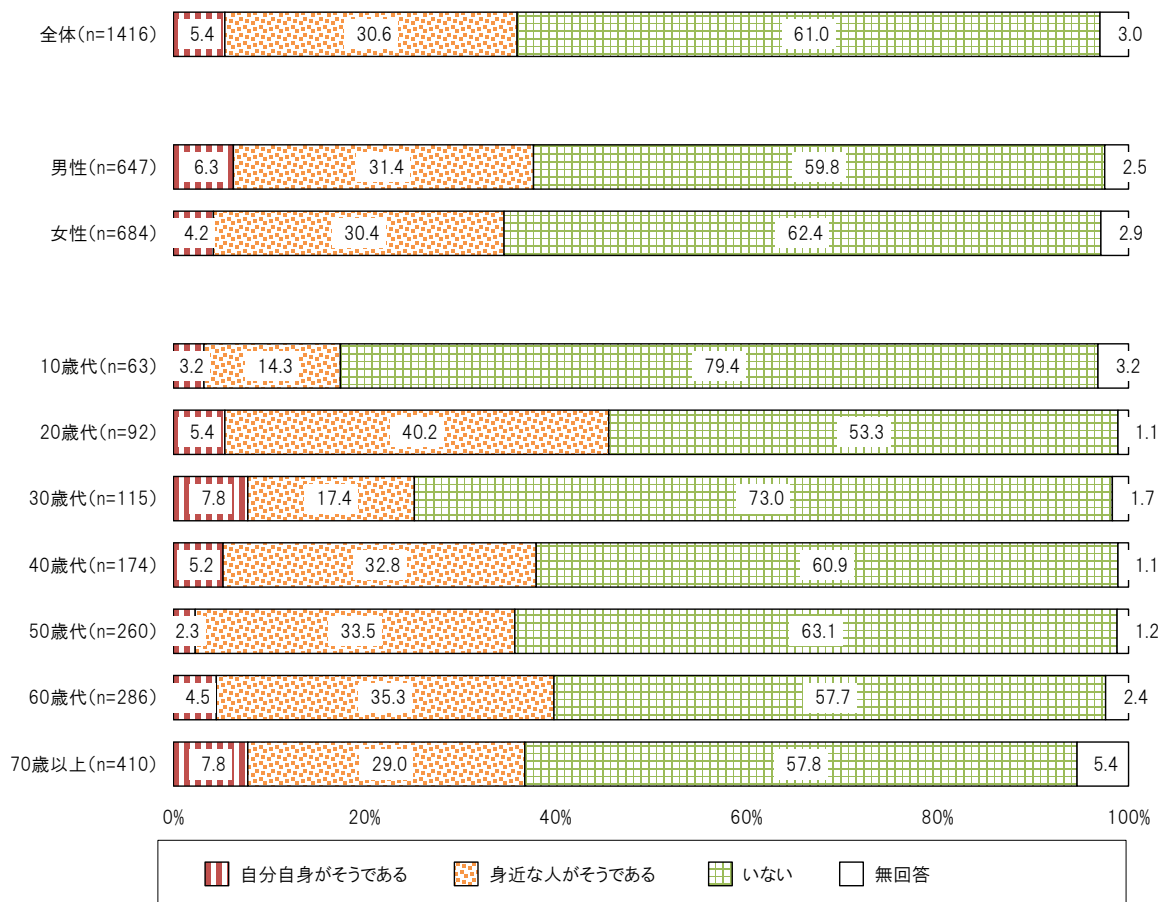
## 障がいのある人などに対する理解について

### 問 57 あなたの身近に障がいのある人はいますか。(〇は 1 つだけ)

全体では「いない」が 61.0%で最も高く、ついで「身近な人がそうである」が 30.6%、「自分自身がそうである」が 5.4%となっている。

性別にみると、男性と女性間に大きな違いはみられなかった。

年代別にみると、「自分自身がそうである」と「身近な人がそうである」の合計の割合は、20 歳代で最も高く 45.6%であり、10 歳代で最も低く 17.5%であった。同割合について、10 歳代、30 歳代で比較的少なくなっており、40 歳代以上はいずれも3割台であった。



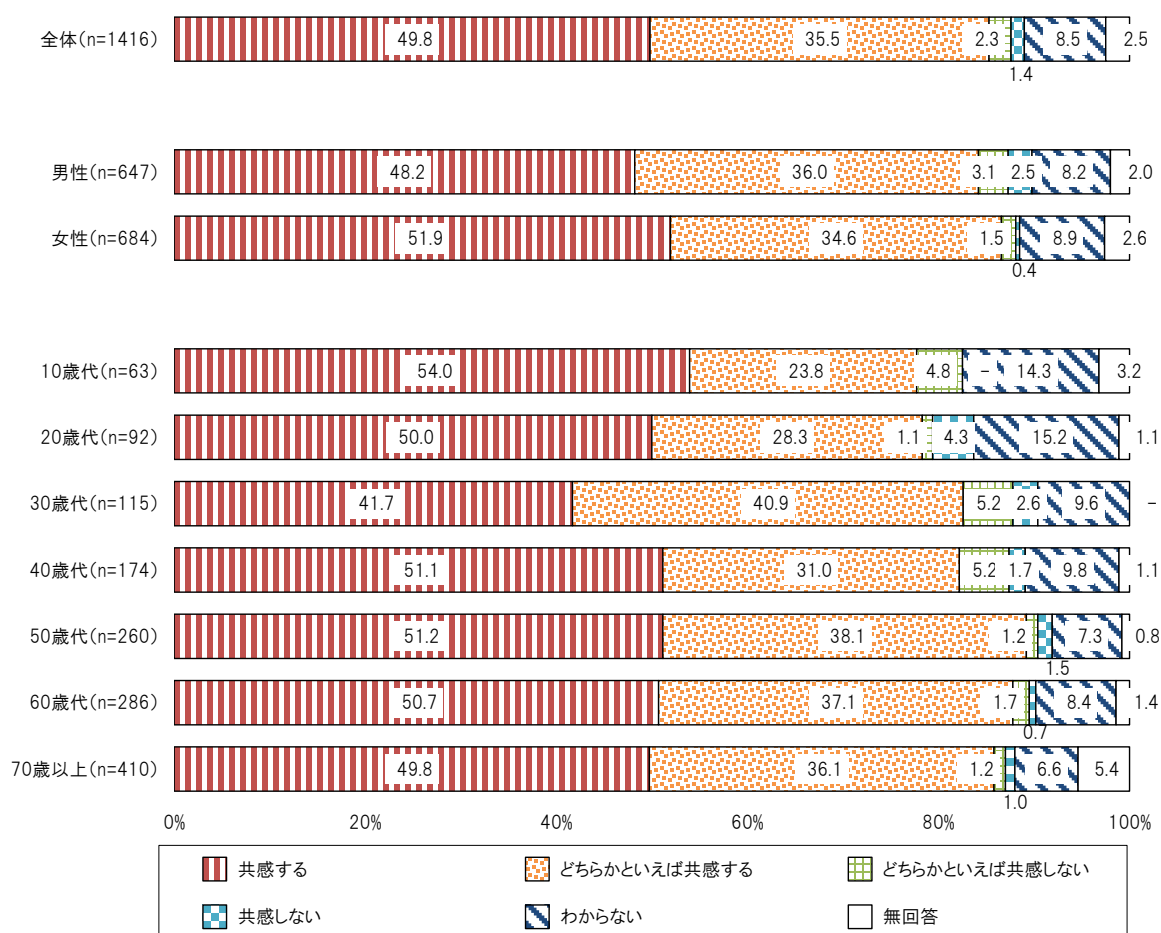


問 58 障がいのある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合  
て暮らすことをめざす「共生社会」という考え方について、あなたはと思いますか。  
(○は1つだけ)

全体では「共感する」が 49.8%で最も高く、ついで「どちらかといえば共感する」が 35.5%、「わ  
からない」が 8.5%となっている。

性別にみると、「共感する」と「どちらかといえば共感する」の合計の割合は、男性が 84.2%、女  
性が 86.5%であり、女性の方が 2.3 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「共感する」と「どちらかといえば共感する」の合計の割合は、50 歳代で最も高  
く 89.3%であり、10 歳代で最も低く 77.8%となっている。同割合について、10 歳代、20 歳代  
で比較的低くなっている。

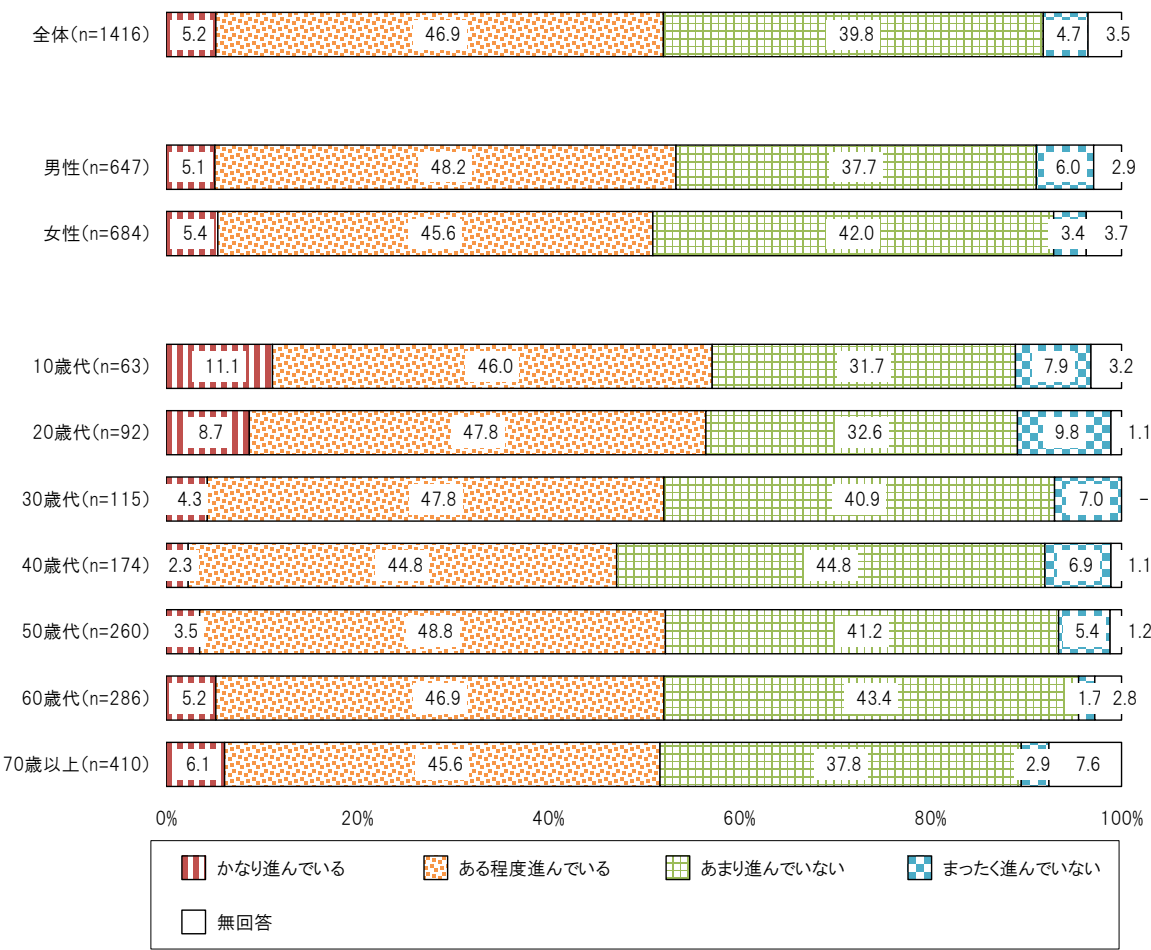


問 59 障がいのある人などに対し、人々の理解が進んでいると思いますか。(○は1つだけ)

全体では「ある程度進んでいる」が46.9%で最も高く、ついで「あまり進んでいない」が39.8%、「かなり進んでいる」が5.2%となっている。

性別にみると、「かなり進んでいる」と「ある程度進んでいる」の合計の割合は、男性が53.3%、女性が51.0%であり、男性の方が2.3ポイント高くなっている。

年代別にみると、「かなり進んでいる」と「ある程度進んでいる」の合計の割合は、10歳代で最も高く57.1%であり、40歳代で最も低く47.1%であった。同割合について、40歳代が4割台であり、それ以外の年代はいずれも5割台であった。

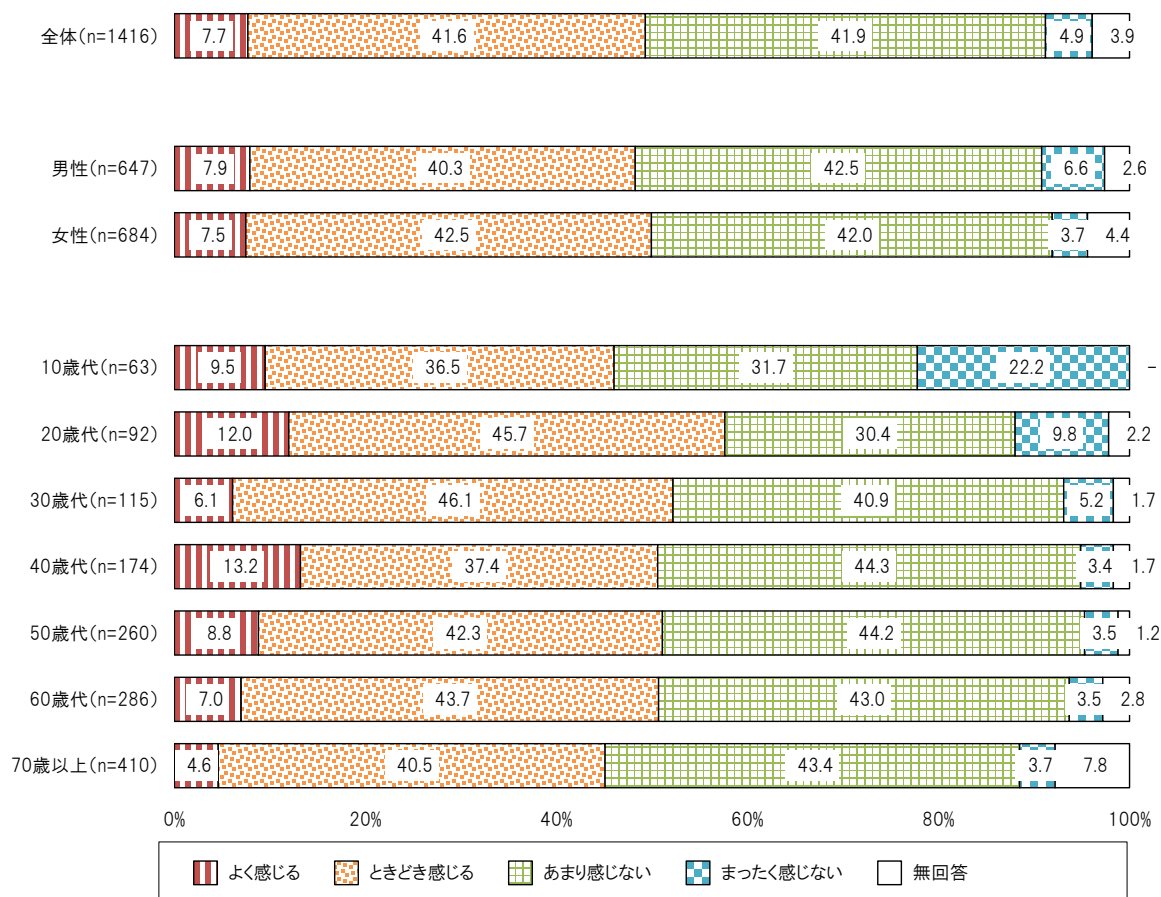


問 60 日頃の生活の中で、障がいのある人などに対する差別や偏見などを感じることはありますか。(〇は 1 つだけ)

全体では「あまり感じない」が 41.9%で最も高く、ついで「ときどき感じる」が 41.6%、「よく感じる」が 7.7%となっている。

性別にみると、「よく感じる」と「ときどき感じる」の合計の割合は、男性が 48.2%、女性が 50.0%であり、女性の方が 1.8 ポイント高くなっているが、大きな違いはみられなかった。

年代別にみると、「よく感じる」と「ときどき感じる」の合計の割合は、20 歳代で最も高く 57.7%であり、70 歳以上で最も低く 45.1%であった。同割合について、10 歳代と 70 歳以上が比較的低くなっている。



問 60 で「1. よく感じる」「2. ときどき感じる」と答えた方におききします

問 61 障がいのある人などへの差別や偏見を感じるのは、どのような時ですか。(〇はいくつでも)

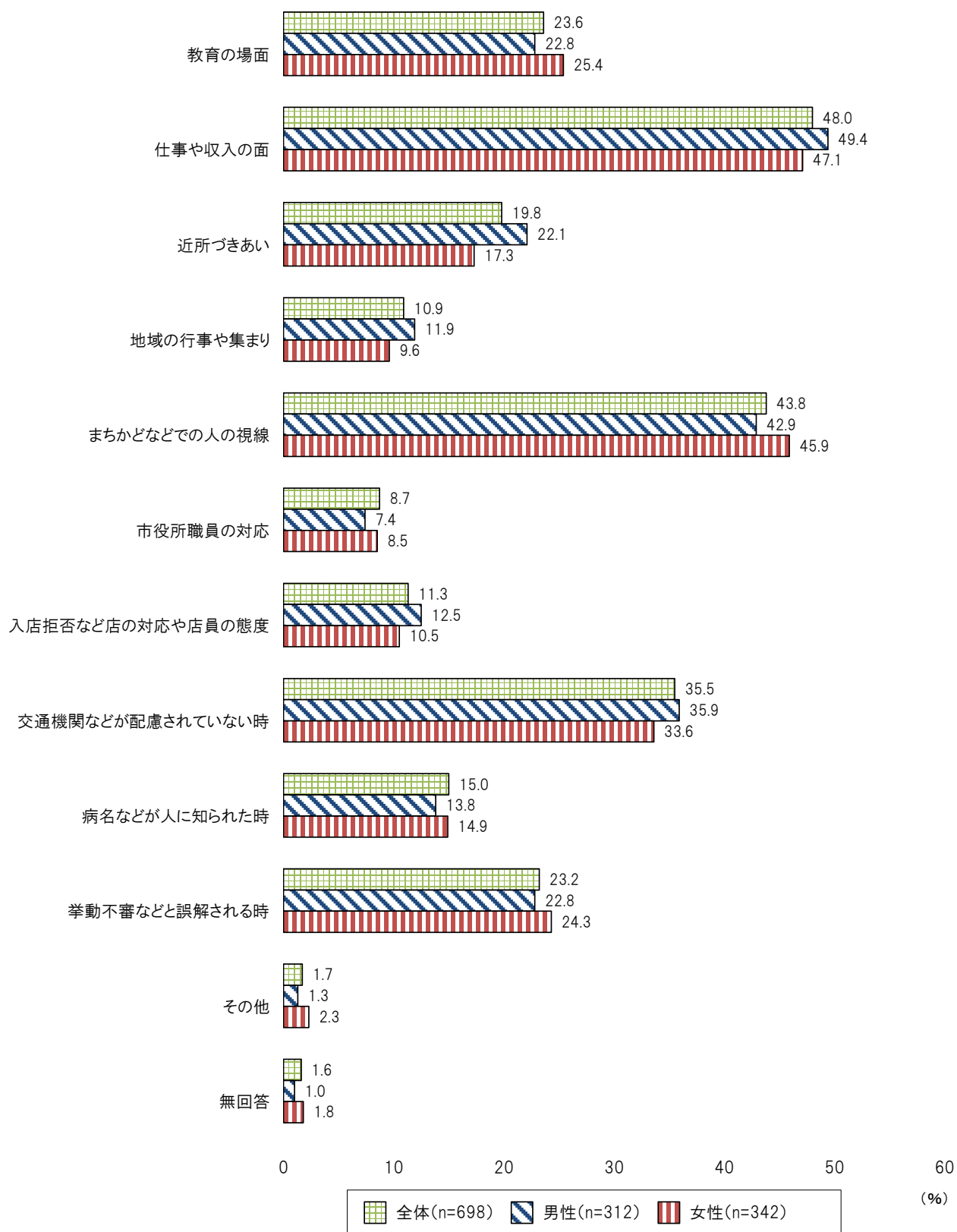
「仕事や収入の面」が 48.0%で最も高く、ついで「まちかどなどでの人の視線」が 43.8%、「交通機関などが配慮されていない時」が 35.5%となっている。

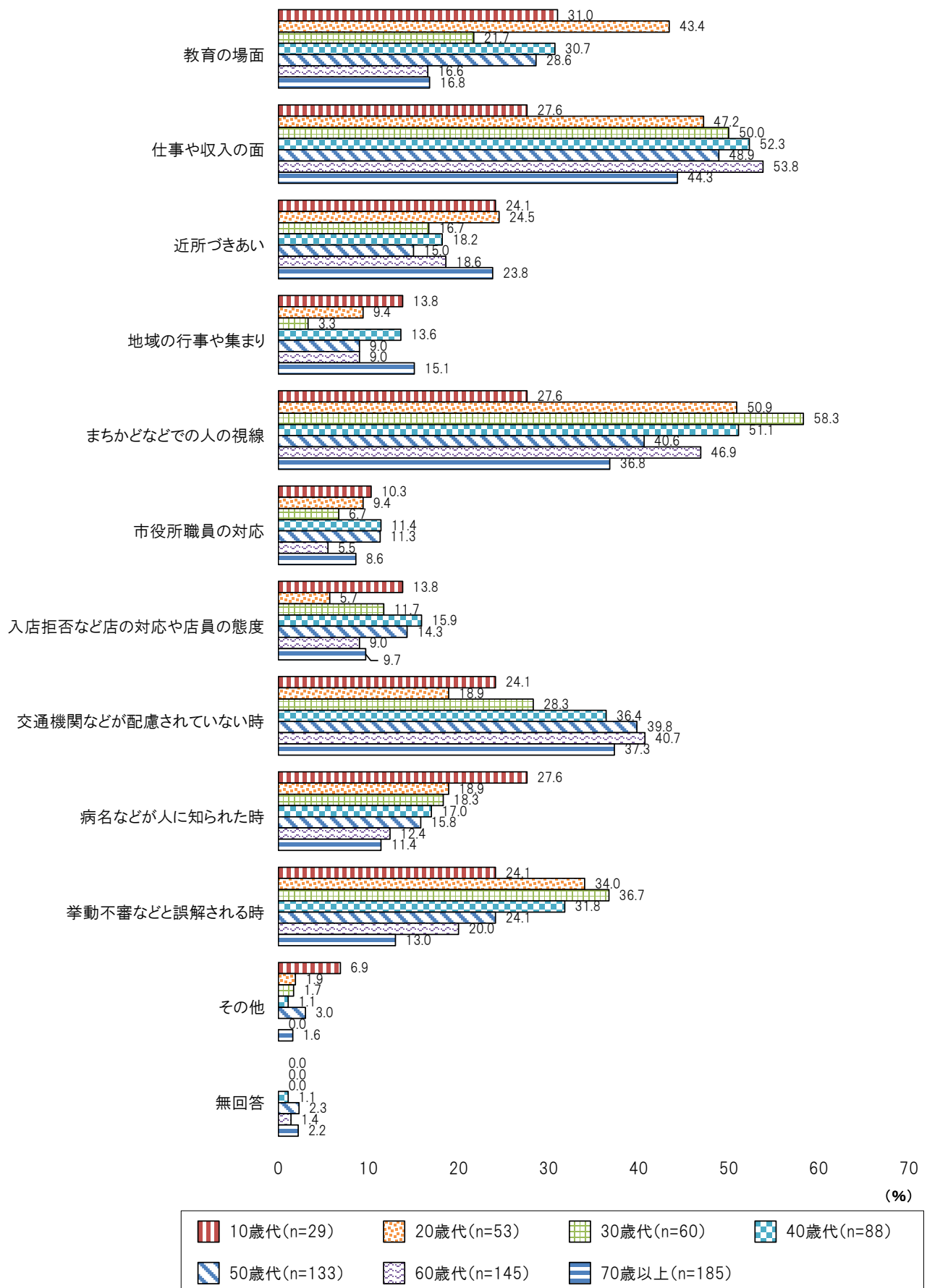
性別にみると、1番目、2番目、3番目に高い項目は男女とも全体と同じであった。

年代別にみると、1番目の項目は、40 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上は「仕事や収入の面」、20 歳代、30 歳代は「まちかどなどでの人の視線」、10 歳代は「教育の場面」となっている。全体の上位3項目以外で入ってきているのは、10 歳代、20 歳代の「教育の場面」、10 歳代の「病名などが人に知られた時」、30 歳代の「挙動不審などと誤解される時」となっている。

#### <上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		仕事や収入の面	48.0%	まちかどなどでの人の視線	43.8%	交通機関などが配慮されていない時	35.5%
性別	男性	仕事や収入の面	49.4%	まちかどなどでの人の視線	42.9%	交通機関などが配慮されていない時	35.9%
	女性	仕事や収入の面	47.1%	まちかどなどでの人の視線	45.9%	交通機関などが配慮されていない時	33.6%
年代別	10 歳代	教育の場面	31.0%	仕事や収入の面	27.6%	まちかどなどでの人の視線 病名などが人に知られた時	27.6%
	20 歳代	まちかどなどでの人の視線	50.9%	仕事や収入の面	47.2%	教育の場面	43.4%
	30 歳代	まちかどなどでの人の視線	58.3%	仕事や収入の面	50.0%	挙動不審などと誤解される時	36.7%
	40 歳代	仕事や収入の面	52.3%	まちかどなどでの人の視線	51.1%	交通機関などが配慮されていない時	36.4%
	50 歳代	仕事や収入の面	48.9%	まちかどなどでの人の視線	40.6%	交通機関などが配慮されていない時	39.8%
	60 歳代	仕事や収入の面	53.8%	まちかどなどでの人の視線	46.9%	交通機関などが配慮されていない時	40.7%
	70 歳以上	仕事や収入の面	44.3%	交通機関などが配慮されていない時	37.3%	まちかどなどでの人の視線	36.8%





問 62 あなたは、「ヘルプマーク」を知っていますか。(○は1つだけ)

全体では「名前を聞いたことがある」が40.5%で最も高く、ついで「内容まで知っている」が33.1%、「知らない」が21.5%となっている。

性別にみると、「内容まで知っている」は男性が28.0%、女性が39.0%であり、女性の方が11.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「内容まで知っている」は、20歳代が最も高く54.3%であり、ついで10歳代も52.4%と高くなっている。一方、70歳以上が最も低く19.5%であった。年代が高くなるにつれて同割合は低くなる傾向がみられる。

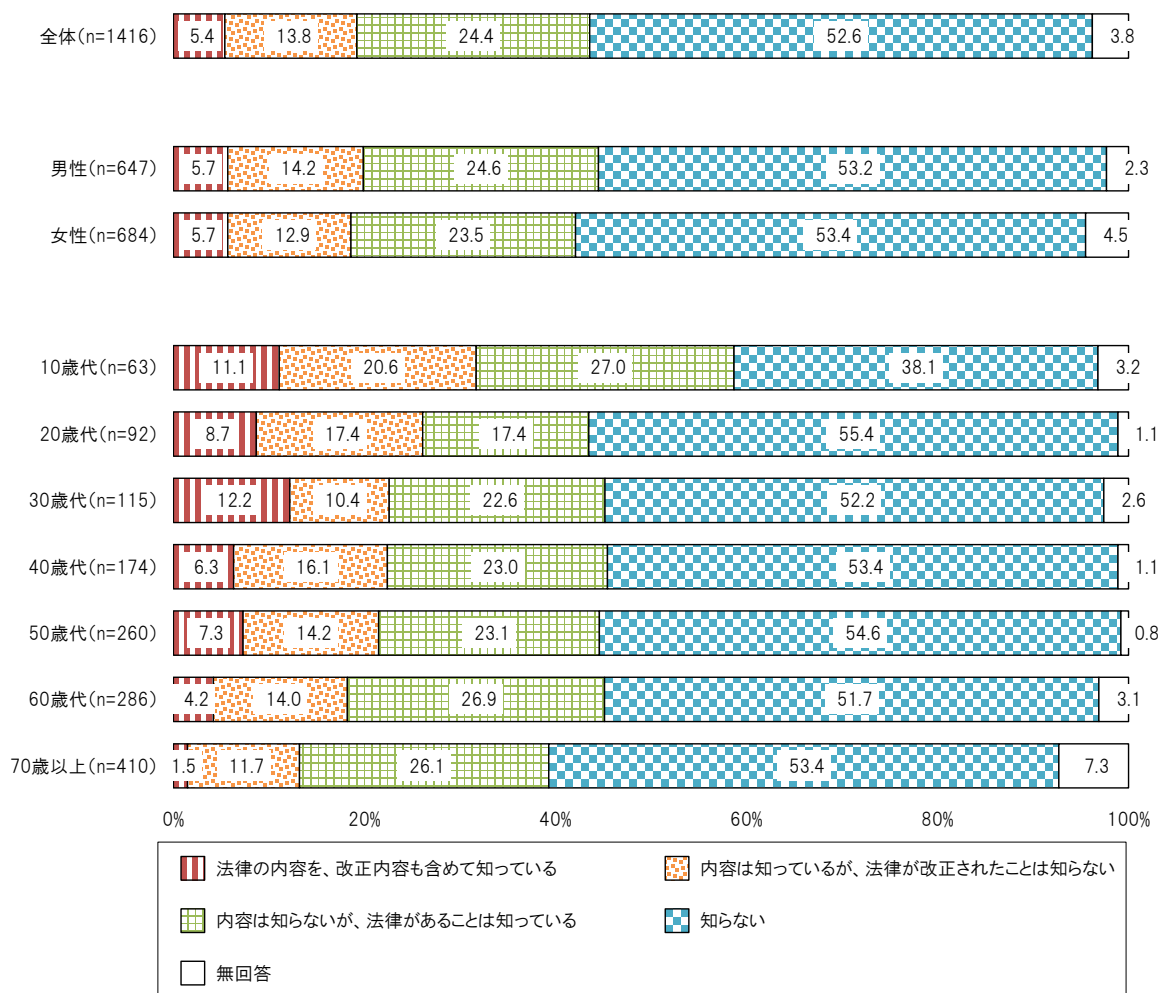


問 63 障がいのある人への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月に「障害者差別解消法」が施行され、令和 3 年 6 月には法改正が行われました（令和 6 年 4 月施行）。あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。（○は 1 つだけ）

全体では「知らない」が 52.6%で最も高く、ついで「内容は知らないが、法律があることは知っている」が 24.4%、「内容は知っているが、法律が改正されたことは知らない」が 13.8%となっている。

性別にみると、男性と女性の間で大きな違いはみられなかった。

年代別にみると、「法律の内容を、改正内容も含めて知っている」と「内容は知っているが、法律が改正されたことは知らない」の合計の割合は、10 歳代が最も高く 31.7%であり、70 歳以上が最も低く 13.2%となっている。年代が高くなるにつれて同割合は低くなる傾向がみられる。





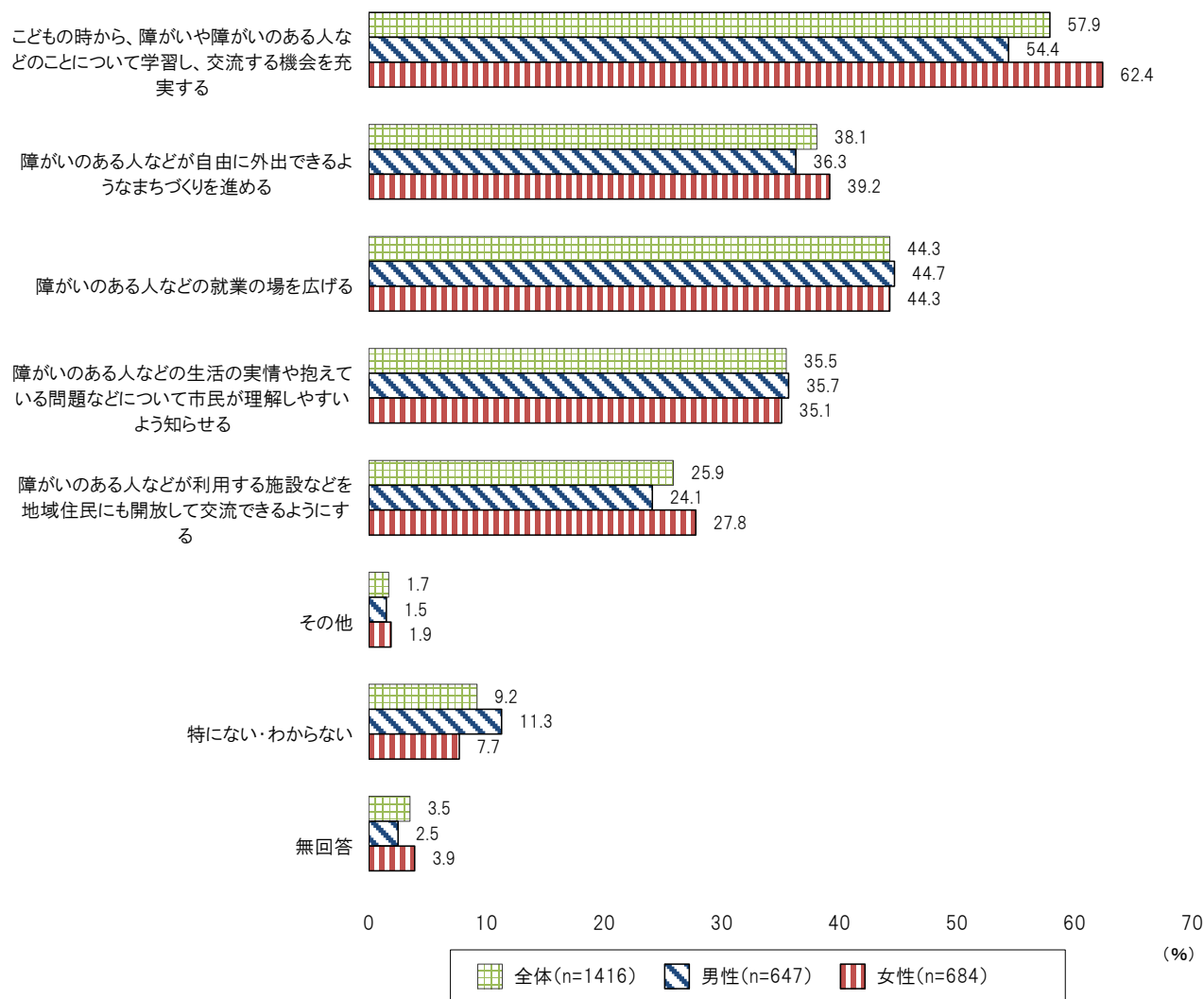
問 64 障がいのある人などに対する理解を深めるためには何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

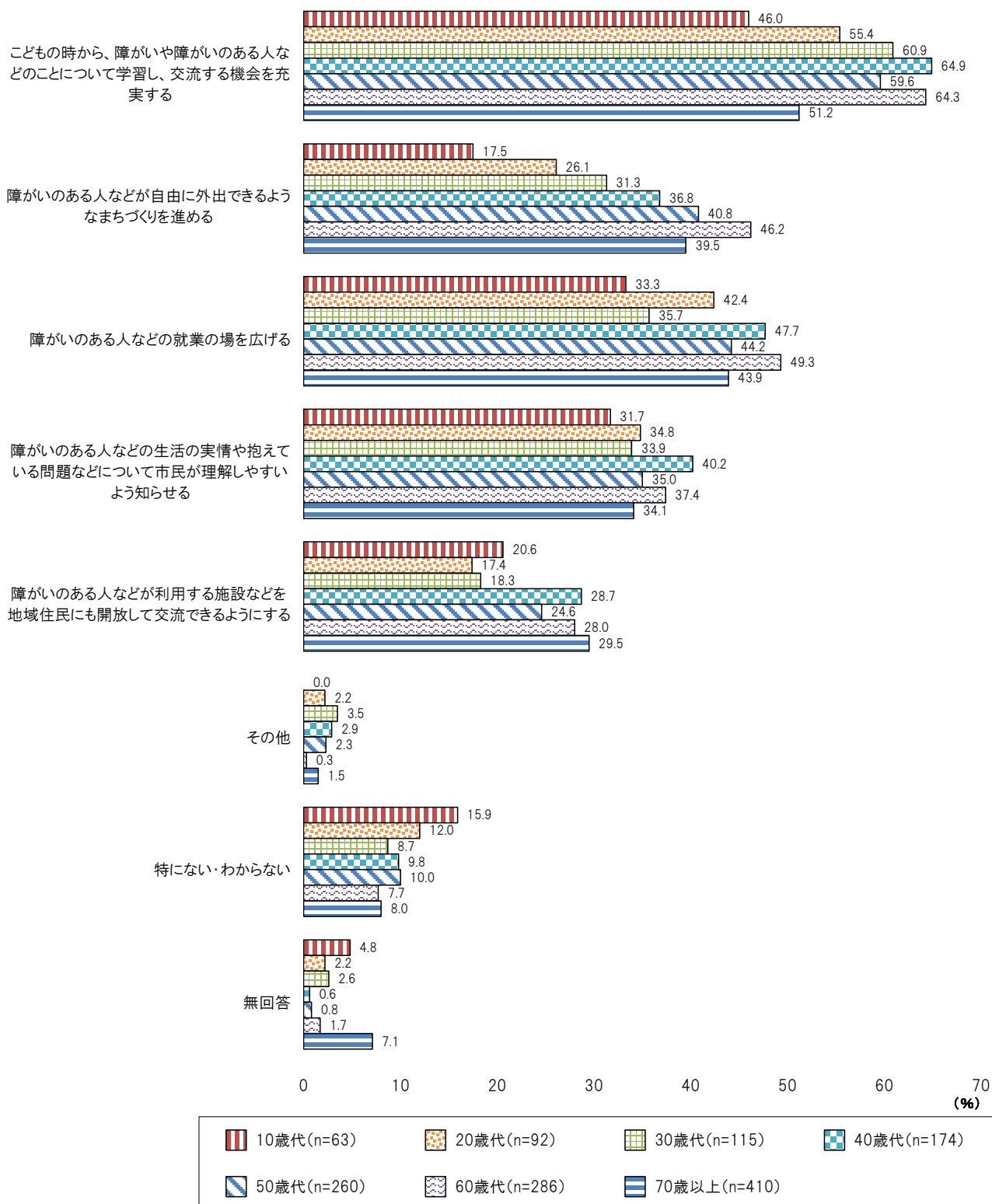
「こどもの時から、障がいや障がいのある人などのことについて学習し、交流する機会を充実する」が 57.9%で最も高く、ついで「障がいのある人などの就業の場を広げる」が 44.3%、「障がいのある人などが自由に外出できるようなまちづくりを進める」が 38.1%となっている。

性別にみると、1 番目、2 番目の項目はいずれの年代も同じであった。3 番目の項目は 10 歳代、20 歳代、30 歳代、40 歳代が「障がいのある人などの生活の実情や抱えている問題などについて市民が理解しやすいよう知らせる」、50 歳代、60 歳代、70 歳以上は「障がいのある人などが自由に外出できるようなまちづくりを進める」であった。

<上位3項目>

		1 番目		2 番目		3 番目	
全体		こどもの時から、障がいや障がいのある人などのことについて学習し、交流する機会を充実する	57.9%	障がいのある人などの就業の場を広げる	44.3%	障がいのある人などが自由に外出できるようなまちづくりを進める	38.1%
性別	男性	こどもの時から、障がいや障がいのある人などのことについて学習し、交流する機会を充実する	54.4%	障がいのある人などの就業の場を広げる	44.7%	障がいのある人などが自由に外出できるようなまちづくりを進める	36.3%
	女性	こどもの時から、障がいや障がいのある人などのことについて学習し、交流する機会を充実する	62.4%	障がいのある人などの就業の場を広げる	44.3%	障がいのある人などが自由に外出できるようなまちづくりを進める	39.2%
年代別	10 歳代	こどもの時から、障がいや障がいのある人などのことについて学習し、交流する機会を充実する	46.0%	障がいのある人などの就業の場を広げる	33.3%	障がいのある人などの生活の実情や抱えている問題などについて市民が理解しやすいよう知らせる	31.7%
	20 歳代	こどもの時から、障がいや障がいのある人などのことについて学習し、交流する機会を充実する	55.4%	障がいのある人などの就業の場を広げる	42.4%	障がいのある人などの生活の実情や抱えている問題などについて市民が理解しやすいよう知らせる	34.8%
	30 歳代	こどもの時から、障がいや障がいのある人などのことについて学習し、交流する機会を充実する	60.9%	障がいのある人などの就業の場を広げる	35.7%	障がいのある人などの生活の実情や抱えている問題などについて市民が理解しやすいよう知らせる	33.9%
	40 歳代	こどもの時から、障がいや障がいのある人などのことについて学習し、交流する機会を充実する	64.9%	障がいのある人などの就業の場を広げる	47.7%	障がいのある人などの生活の実情や抱えている問題などについて市民が理解しやすいよう知らせる	40.2%
	50 歳代	こどもの時から、障がいや障がいのある人などのことについて学習し、交流する機会を充実する	59.6%	障がいのある人などの就業の場を広げる	44.2%	障がいのある人などが自由に外出できるようなまちづくりを進める	40.8%
	60 歳代	こどもの時から、障がいや障がいのある人などのことについて学習し、交流する機会を充実する	64.3%	障がいのある人などの就業の場を広げる	49.3%	障がいのある人などが自由に外出できるようなまちづくりを進める	46.2%
	70 歳以上	こどもの時から、障がいや障がいのある人などのことについて学習し、交流する機会を充実する	51.2%	障がいのある人などの就業の場を広げる	43.9%	障がいのある人などが自由に外出できるようなまちづくりを進める	39.5%





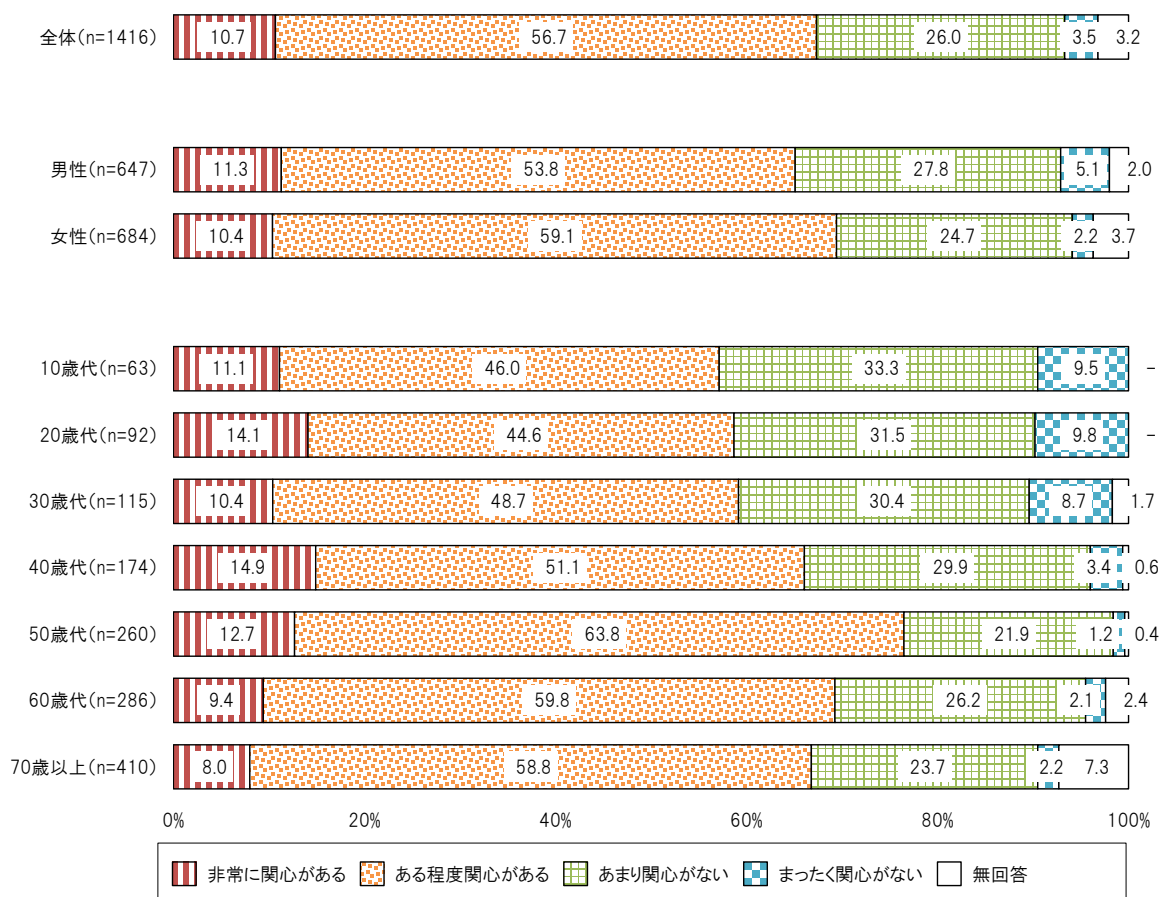
## 障がいのある人などの地域生活について

問 65 障がいのある人などが抱えている問題について、関心がありますか。(○は1つだけ)

全体では「ある程度関心がある」が 56.7%で最も高く、ついで「あまり関心がない」が 26.0%、「非常に関心がある」が 10.7%となっている。

性別にみると、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計の割合は、男性が 65.1%女性が 69.5%であり、女性の方が 4.4 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計の割合は、50 歳代で最も高く 76.5%であり、10 歳代で最も低く 57.1%であった。同割合について、10 歳代、20 歳代、30 歳代が5割台、40 歳代、60 歳代、70 歳以上が6割台、50 歳代が7割台となっている。



問 65 で「1. 非常に関心がある」「2. ある程度関心がある」と答えた方におききします

問 66 関心を持つようになった理由は何ですか。(○はいくつでも)

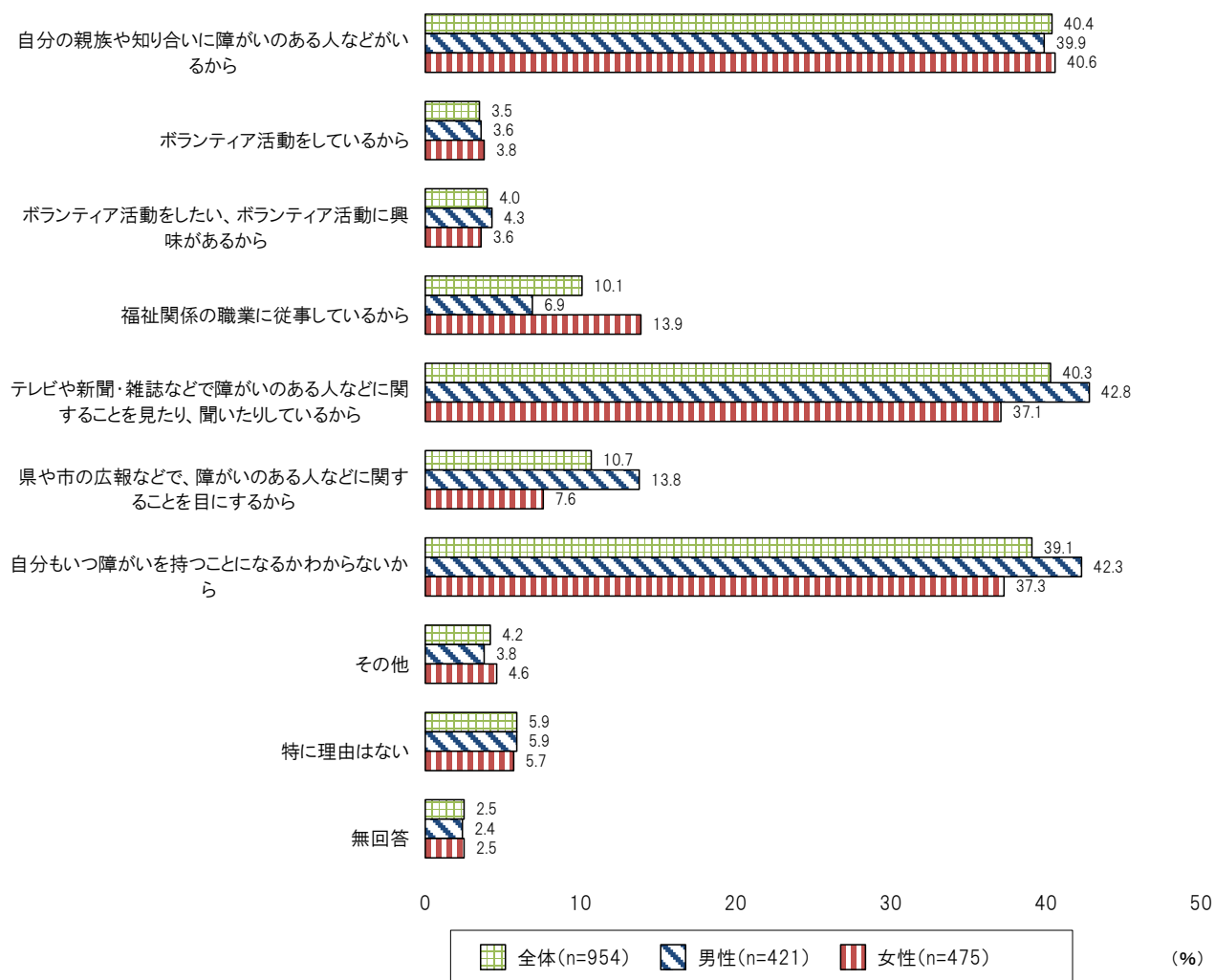
「自分の親族や知り合いに障がいのある人などがいるから」が 40.4%で最も高く、ついで「テレビや新聞・雑誌などで障がいのある人などに関することを見たり、聞いたりしているから」が 40.3%、「自分もいつ障がいを持つことになるかわからないから」が 39.1%となっている。

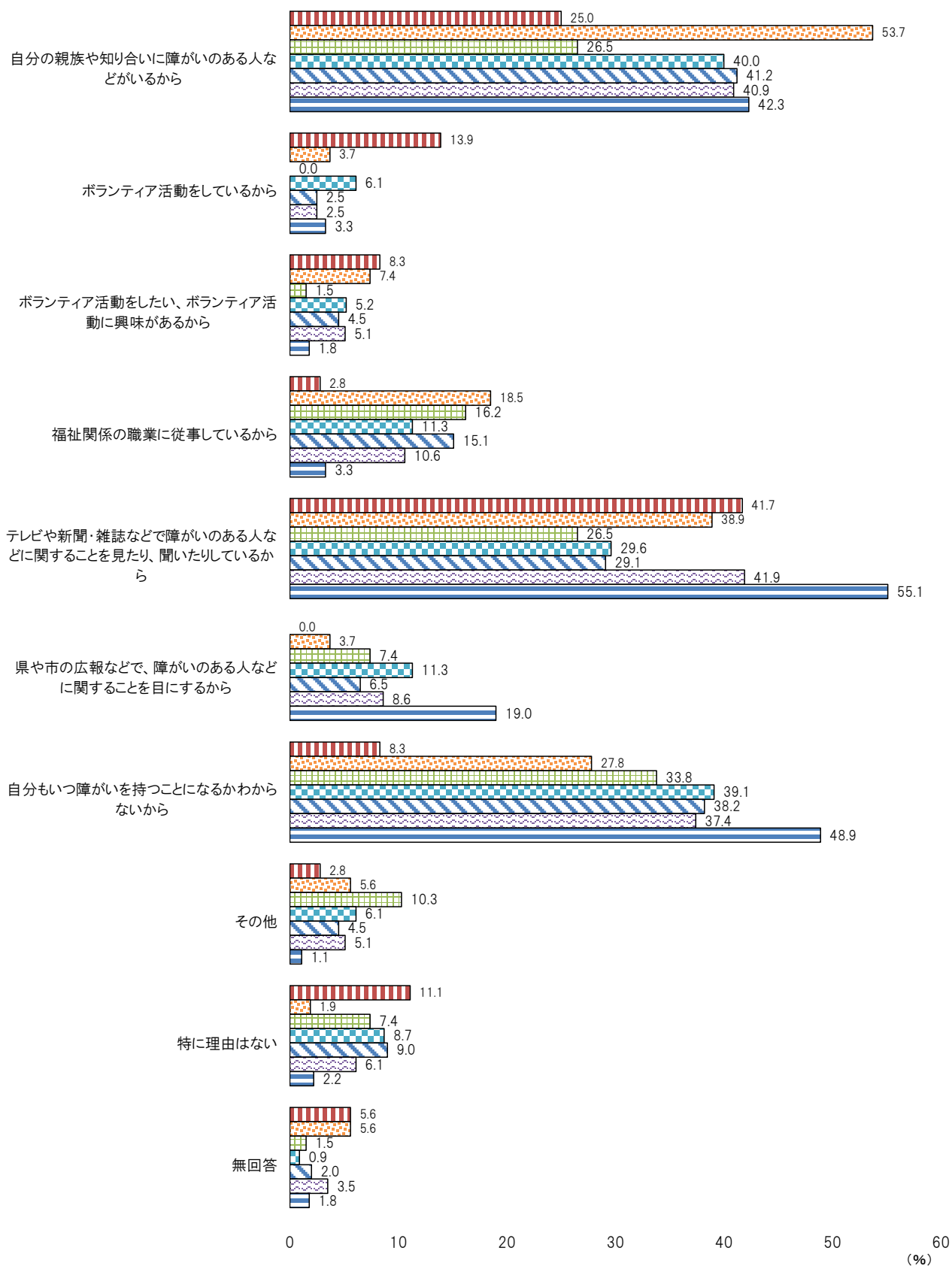
性別にみると、上位3位に入っている項目は全体と同じであった。

年代別にみると、1番目の項目は、20 歳代、40 歳代、50 歳代は「自分の親族や知り合いに障がいのある人などがいるから」、10 歳代、60 歳代、70 歳以上は「テレビや新聞・雑誌などで障がいのある人などに関することを見たり、聞いたりしているから」、30 歳代は「自分もいつ障がいを持つことになるかわからないから」となっている。全体の上位3項目以外で入ってきている項目は、10 歳代の「ボランティア活動をしているから」となっている。

#### <上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		自分の親族や知り合いに障がいのある人などがいるから	40.4%	テレビや新聞・雑誌などで障がいのある人などに関することを見たり、聞いたりしているから	40.3%	自分もいつ障がいを持つことになるかわからないから	39.1%
性別	男性	テレビや新聞・雑誌などで障がいのある人などに関することを見たり、聞いたりしているから	42.8%	自分もいつ障がいを持つことになるかわからないから	42.3%	自分の親族や知り合いに障がいのある人などがいるから	39.9%
	女性	自分の親族や知り合いに障がいのある人などがいるから	40.6%	自分もいつ障がいを持つことになるかわからないから	37.3%	テレビや新聞・雑誌などで障がいのある人などに関することを見たり、聞いたりしているから	37.1%
年代別	10 歳代	テレビや新聞・雑誌などで障がいのある人などに関することを見たり、聞いたりしているから	41.7%	自分の親族や知り合いに障がいのある人などがいるから	25.0%	ボランティア活動をしているから	13.9%
	20 歳代	自分の親族や知り合いに障がいのある人などがいるから	53.7%	テレビや新聞・雑誌などで障がいのある人などに関することを見たり、聞いたりしているから	38.9%	自分もいつ障がいを持つことになるかわからないから	27.8%
	30 歳代	自分もいつ障がいを持つことになるかわからないから	33.8%	自分の親族や知り合いに障がいのある人などがいるから	26.5%	テレビや新聞・雑誌などで障がいのある人などに関することを見たり、聞いたりしているから	26.5%
	40 歳代	自分の親族や知り合いに障がいのある人などがいるから	40.0%	自分もいつ障がいを持つことになるかわからないから	39.1%	テレビや新聞・雑誌などで障がいのある人などに関することを見たり、聞いたりしているから	29.6%
	50 歳代	自分の親族や知り合いに障がいのある人などがいるから	41.2%	自分もいつ障がいを持つことになるかわからないから	38.2%	テレビや新聞・雑誌などで障がいのある人などに関することを見たり、聞いたりしているから	29.1%
	60 歳代	テレビや新聞・雑誌などで障がいのある人などに関することを見たり、聞いたりしているから	41.9%	自分の親族や知り合いに障がいのある人などがいるから	40.9%	自分もいつ障がいを持つことになるかわからないから	37.4%
	70 歳以上	テレビや新聞・雑誌などで障がいのある人などに関することを見たり、聞いたりしているから	55.1%	自分もいつ障がいを持つことになるかわからないから	48.9%	自分の親族や知り合いに障がいのある人などがいるから	42.3%





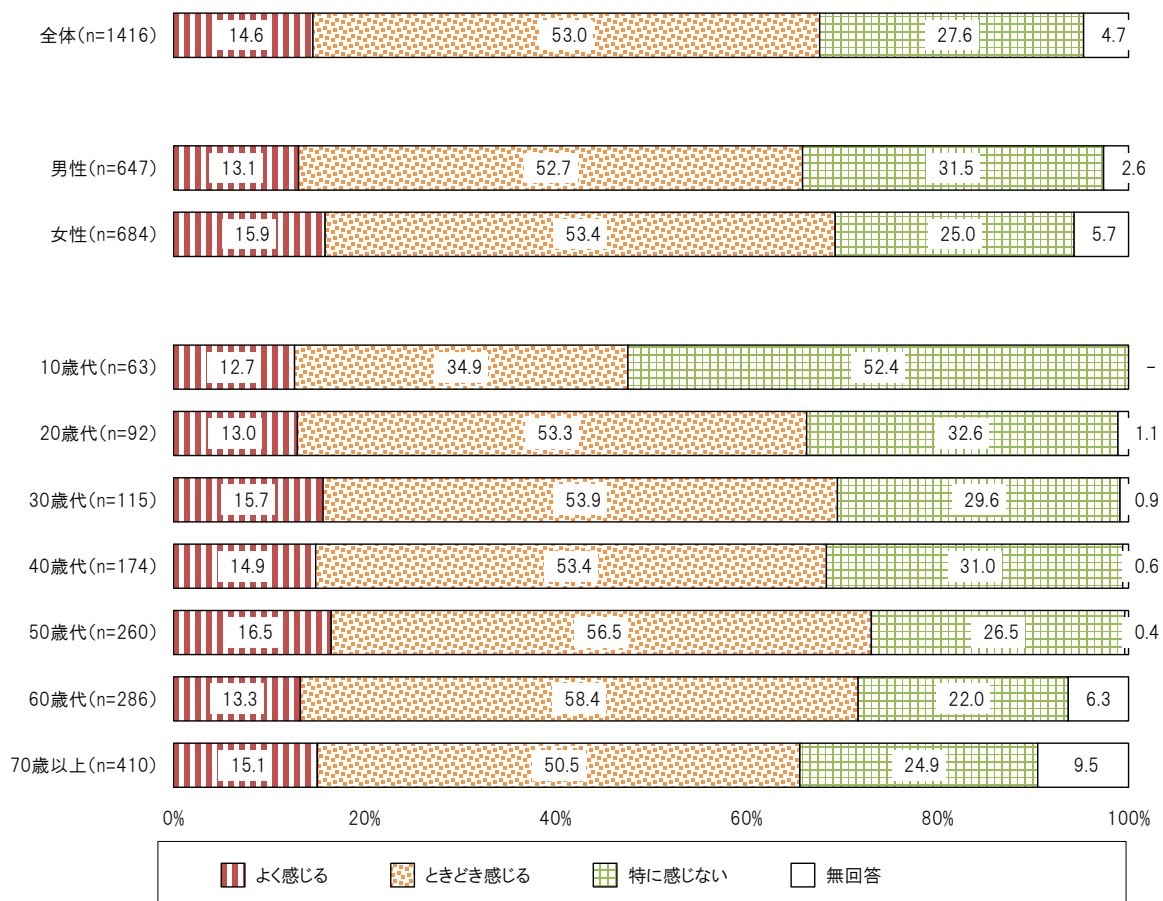
## 障がいのある人などにやさしいまちづくりについて

問 67 日常生活の中で、バリアフリーが進んでいないと感じることはありますか。(〇は1つだけ)

全体では「ときどき感じる」が 53.0%で最も高く、ついで「特に感じない」が 27.6%、「よく感じる」が 14.6%となっている。

性別にみると、「よく感じる」と「ときどき感じる」の合計の割合は、男性が 65.8%、女性が 69.3%であり、女性の方が 3.5 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「よく感じる」と「ときどき感じる」の合計の割合は、50 歳代で最も高く 73.0%であり、10 歳代で最も低く 47.6%であった。同割合について、50 歳代、60 歳代が比較的高くなっており、10 歳代が比較的低くなっている。





問 67 で「1. よく感じる」「2. ときどき感じる」と答えた方におきします

問 68 どんなところで感じますか。(○はいくつでも)

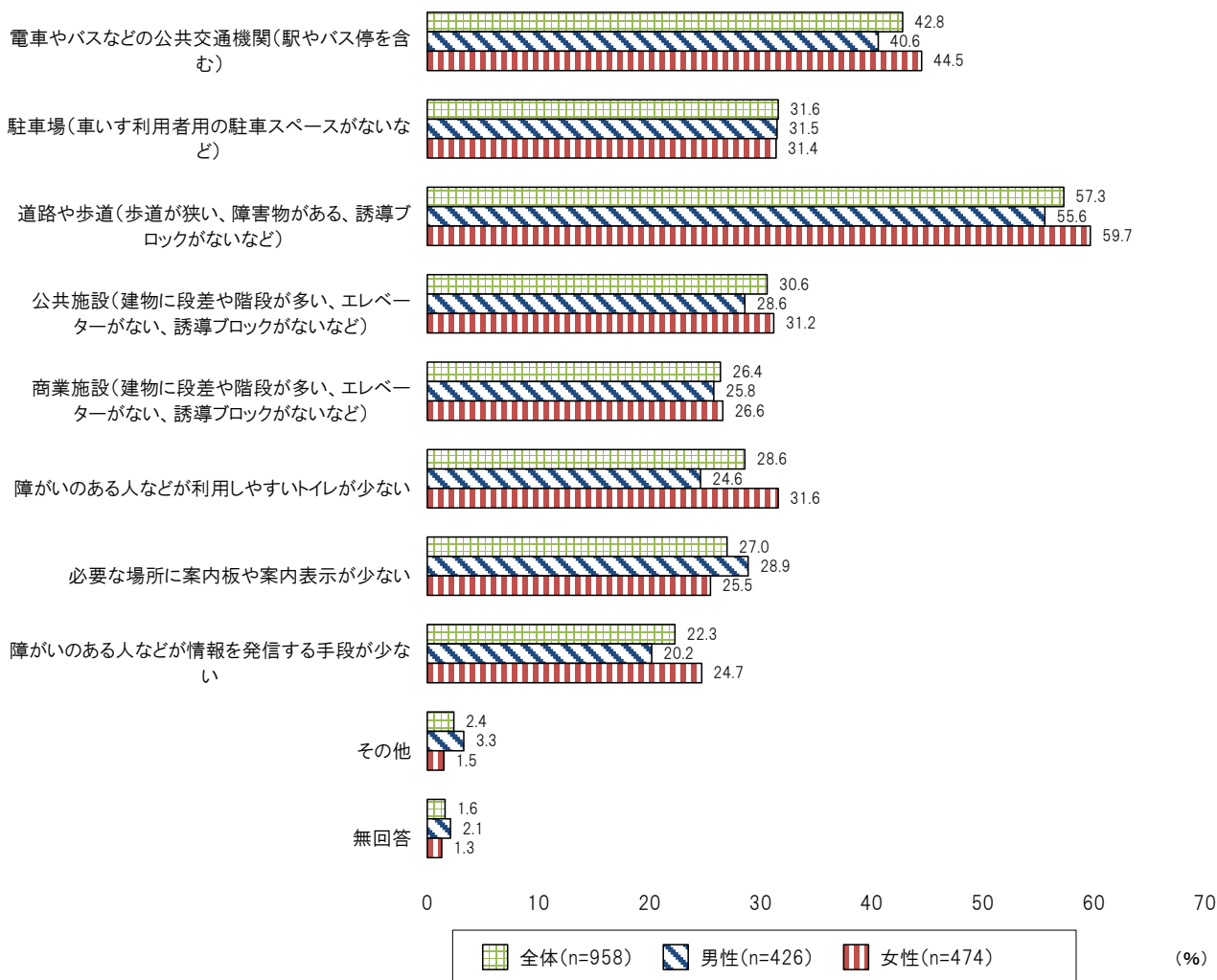
「道路や歩道(歩道が狭い、障害物がある、誘導ブロックがないなど)」が 57.3%で最も高く、ついで「電車やバスなどの公共交通機関(駅やバス停を含む)」が 42.8%、「駐車場(車いす利用者用の駐車スペースがないなど)」が 31.6%となっている。

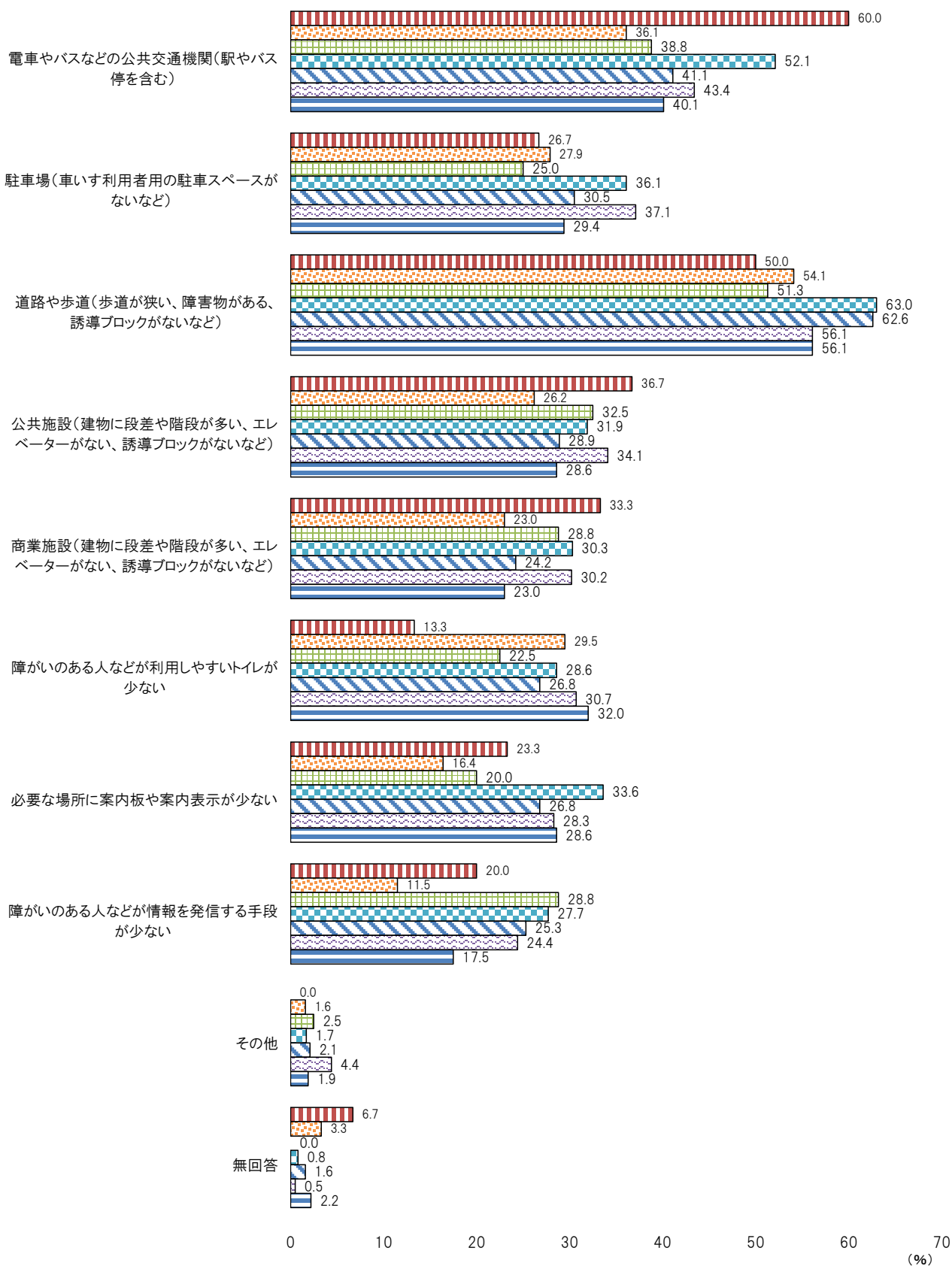
性別にみると、男性の1番目、2番目、3番目に高い項目は全体と同じであった。女性は3番目に「障がいのある人などが利用しやすいトイレが少ない」が入ってきている。

年代別にみると、1番目の項目は、10 歳代以外は「道路や歩道(歩道が狭い、障害物がある、誘導ブロックがないなど)」であり、10 歳代では「電車やバスなどの公共交通機関(駅やバス停を含む)」となっている。全体の上位3項目以外で入ってきている項目は、10 歳代、30 歳代の「公共施設(建物に段差や階段が多い、エレベーターがない、誘導ブロックがないなど)」、20 歳代、70 歳以上の「障がいのある人などが利用しやすいトイレが少ない」となっている。

#### <上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		道路や歩道(歩道が狭い、障害物がある、誘導ブロックがないなど)	57.3%	電車やバスなどの公共交通機関(駅やバス停を含む)	42.8%	駐車場(車いす利用者用の駐車スペースがないなど)	31.6%
性別	男性	道路や歩道(歩道が狭い、障害物がある、誘導ブロックがないなど)	55.6%	電車やバスなどの公共交通機関(駅やバス停を含む)	40.6%	駐車場(車いす利用者用の駐車スペースがないなど)	31.5%
	女性	道路や歩道(歩道が狭い、障害物がある、誘導ブロックがないなど)	59.7%	電車やバスなどの公共交通機関(駅やバス停を含む)	44.5%	障がいのある人などが利用しやすいトイレが少ない	31.6%
年代別	10 歳代	電車やバスなどの公共交通機関(駅やバス停を含む)	60.0%	道路や歩道(歩道が狭い、障害物がある、誘導ブロックがないなど)	50.0%	公共施設(建物に段差や階段が多い、エレベーターがない、誘導ブロックがないなど)	36.7%
	20 歳代	道路や歩道(歩道が狭い、障害物がある、誘導ブロックがないなど)	54.1%	電車やバスなどの公共交通機関(駅やバス停を含む)	36.1%	障がいのある人などが利用しやすいトイレが少ない	29.5%
	30 歳代	道路や歩道(歩道が狭い、障害物がある、誘導ブロックがないなど)	51.3%	電車やバスなどの公共交通機関(駅やバス停を含む)	38.8%	公共施設(建物に段差や階段が多い、エレベーターがない、誘導ブロックがないなど)	32.5%
	40 歳代	道路や歩道(歩道が狭い、障害物がある、誘導ブロックがないなど)	63.0%	電車やバスなどの公共交通機関(駅やバス停を含む)	52.1%	駐車場(車いす利用者用の駐車スペースがないなど)	36.1%
	50 歳代	道路や歩道(歩道が狭い、障害物がある、誘導ブロックがないなど)	62.6%	電車やバスなどの公共交通機関(駅やバス停を含む)	41.1%	駐車場(車いす利用者用の駐車スペースがないなど)	30.5%
	60 歳代	道路や歩道(歩道が狭い、障害物がある、誘導ブロックがないなど)	56.1%	電車やバスなどの公共交通機関(駅やバス停を含む)	43.4%	駐車場(車いす利用者用の駐車スペースがないなど)	37.1%
	70 歳以上	道路や歩道(歩道が狭い、障害物がある、誘導ブロックがないなど)	56.1%	電車やバスなどの公共交通機関(駅やバス停を含む)	40.1%	障がいのある人などが利用しやすいトイレが少ない	32.0%





10歳代(n=30)
  20歳代(n=61)
  30歳代(n=80)
  40歳代(n=119)

50歳代(n=190)
  60歳代(n=205)
  70歳以上(n=269)

問 69 障がいのある人などが、地域の行事や活動により参加しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

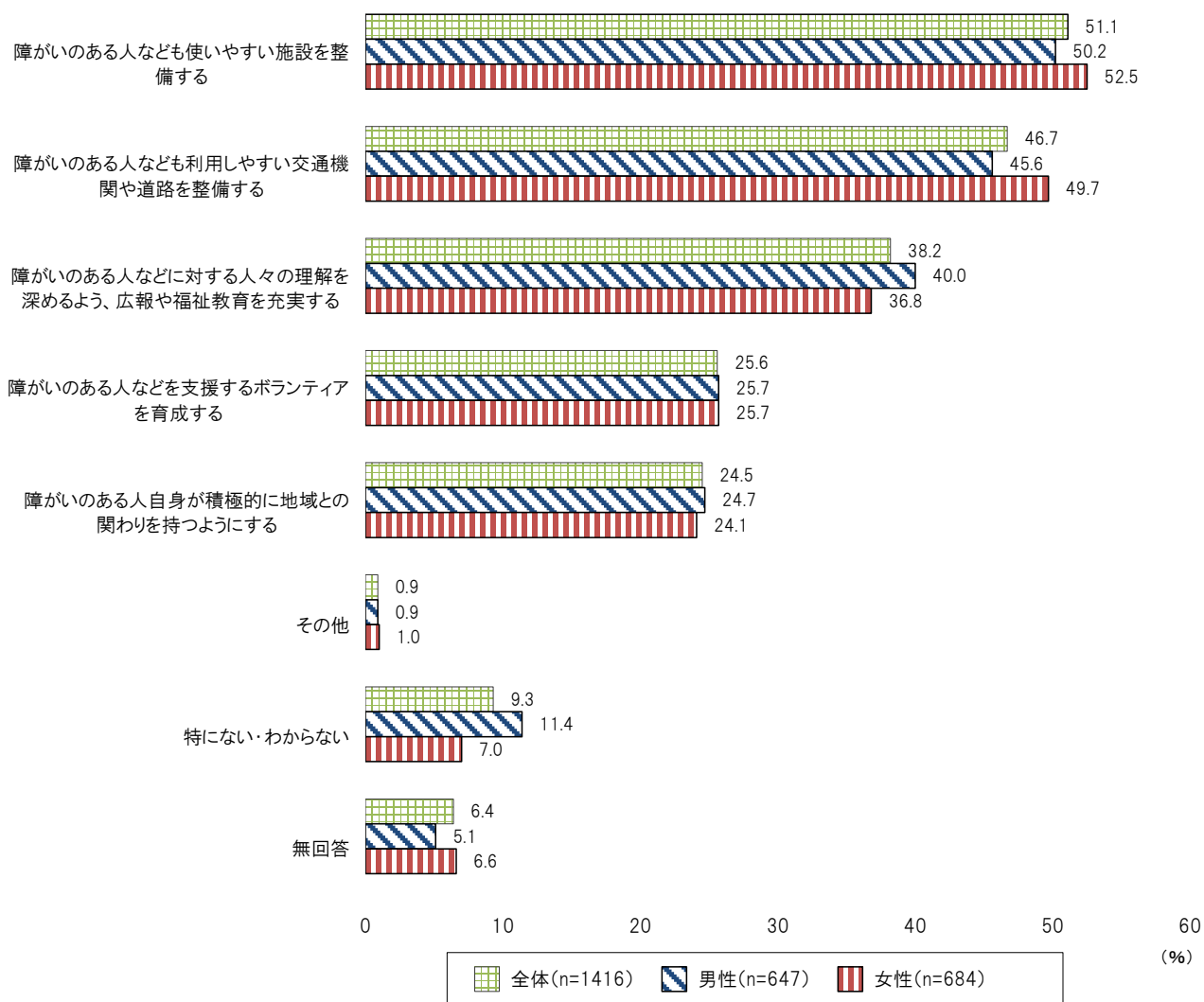
「障がいのある人なども使いやすい施設を整備する」が 51.1%で最も高く、ついで「障がいのある人なども利用しやすい交通機関や道路を整備する」が 46.7%、「障がいのある人などに対する人々の理解を深めるよう、広報や福祉教育を充実する」が 38.2%となっている。

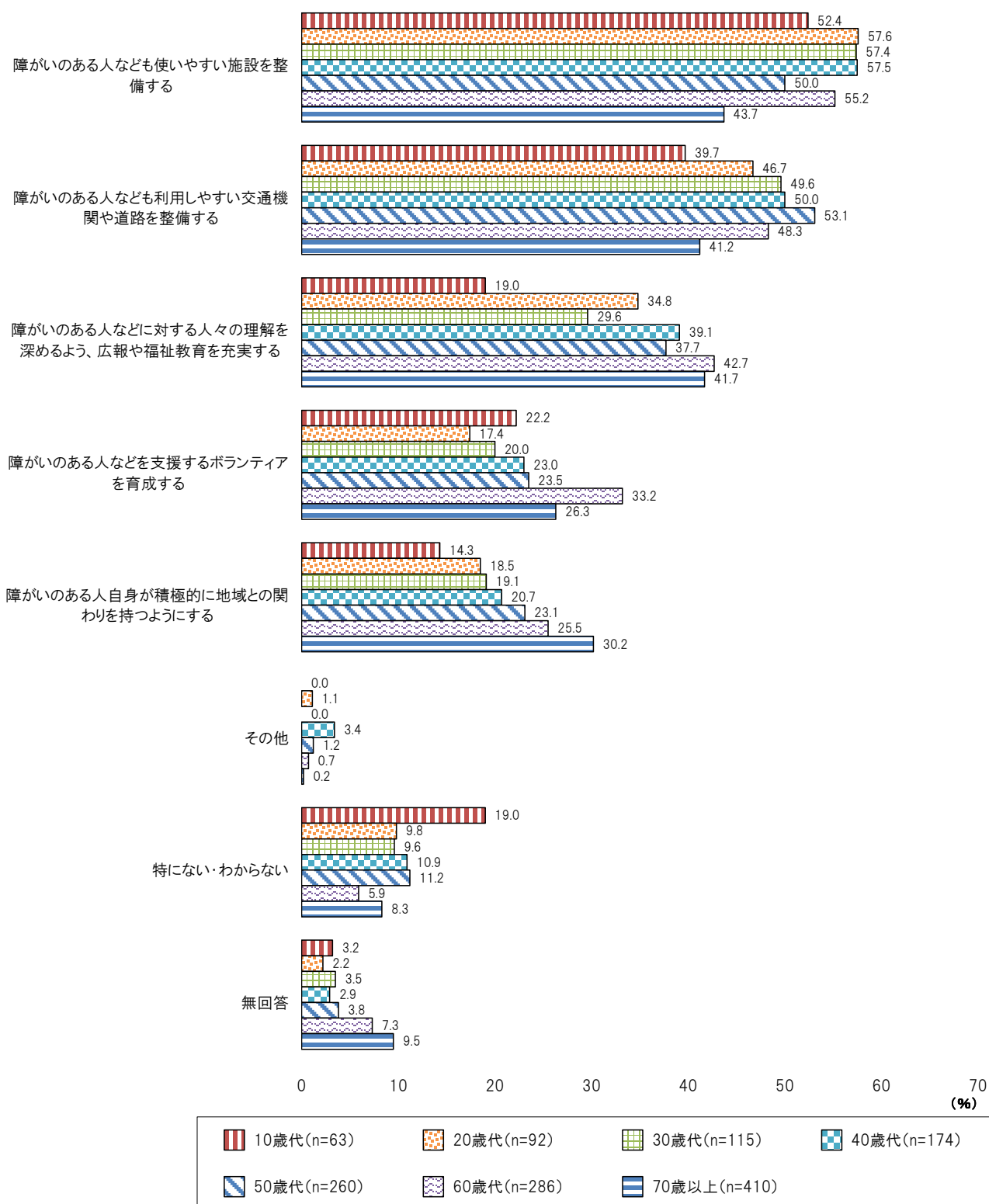
性別にみると、1番目、2番目、3番目に高い項目は男女とも全体と同じであった。

年代別にみると、1番目の項目は、50 歳代以外は「障がいのある人なども使いやすい施設を整備する」であり、50 歳代は「障がいのある人なども利用しやすい交通機関や道路を整備する」であった。全体の上位3項目以外で入ってきているのは、10 歳代の「障がいのある人などを支援するボランティアを育成する」となっている。

#### <上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		障がいのある人なども使いやすい施設を整備する	51.1%	障がいのある人なども利用しやすい交通機関や道路を整備する	46.7%	障がいのある人などに対する人々の理解を深めるよう、広報や福祉教育を充実する	38.2%
性別	男性	障がいのある人なども使いやすい施設を整備する	50.2%	障がいのある人なども利用しやすい交通機関や道路を整備する	45.6%	障がいのある人などに対する人々の理解を深めるよう、広報や福祉教育を充実する	40.0%
	女性	障がいのある人なども使いやすい施設を整備する	52.5%	障がいのある人なども利用しやすい交通機関や道路を整備する	49.7%	障がいのある人などに対する人々の理解を深めるよう、広報や福祉教育を充実する	36.8%
年代別	10 歳代	障がいのある人なども使いやすい施設を整備する	52.4%	障がいのある人なども利用しやすい交通機関や道路を整備する	39.7%	障がいのある人などを支援するボランティアを育成する	22.2%
	20 歳代	障がいのある人なども使いやすい施設を整備する	57.6%	障がいのある人なども利用しやすい交通機関や道路を整備する	46.7%	障がいのある人などに対する人々の理解を深めるよう、広報や福祉教育を充実する	34.8%
	30 歳代	障がいのある人なども使いやすい施設を整備する	57.4%	障がいのある人なども利用しやすい交通機関や道路を整備する	49.6%	障がいのある人などに対する人々の理解を深めるよう、広報や福祉教育を充実する	29.6%
	40 歳代	障がいのある人なども使いやすい施設を整備する	57.5%	障がいのある人なども利用しやすい交通機関や道路を整備する	50.0%	障がいのある人などに対する人々の理解を深めるよう、広報や福祉教育を充実する	39.1%
	50 歳代	障がいのある人なども利用しやすい交通機関や道路を整備する	53.1%	障がいのある人なども使いやすい施設を整備する	50.0%	障がいのある人などに対する人々の理解を深めるよう、広報や福祉教育を充実する	37.7%
	60 歳代	障がいのある人なども使いやすい施設を整備する	55.2%	障がいのある人なども利用しやすい交通機関や道路を整備する	48.3%	障がいのある人などに対する人々の理解を深めるよう、広報や福祉教育を充実する	42.7%
	70 歳以上	障がいのある人なども使いやすい施設を整備する	43.7%	障がいのある人などに対する人々の理解を深めるよう、広報や福祉教育を充実する	41.7%	障がいのある人なども利用しやすい交通機関や道路を整備する	41.2%





## 災害対策について

問 70 障がいのある人などのために、災害対策として、市はどのようなことに力を入れる必要があると思いますか。(〇はいくつでも)

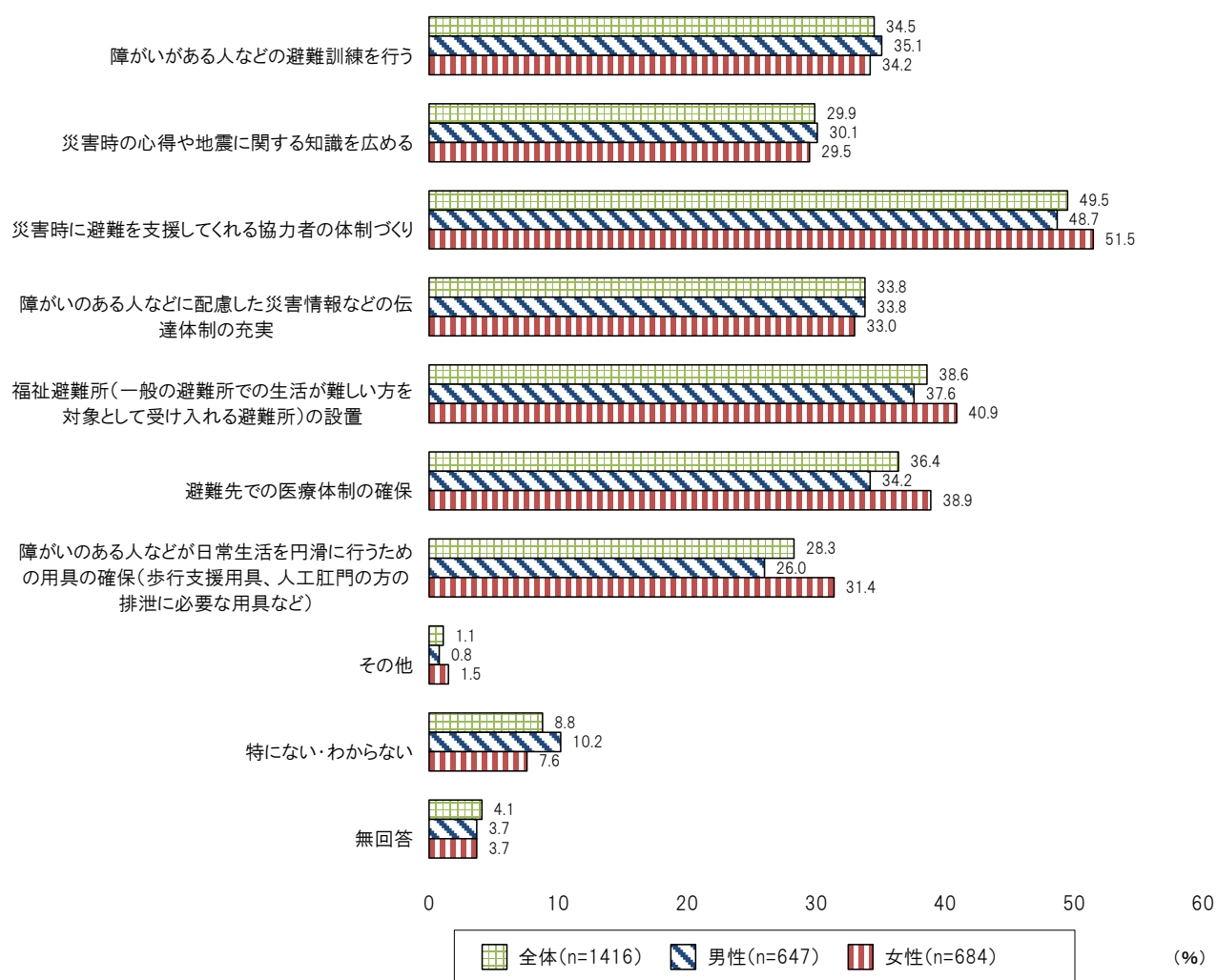
「災害時に避難を支援してくれる協力者の体制づくり」が 49.5%で最も高く、ついで「福祉避難所(一般の避難所での生活が難しい方を対象として受け入れる避難所)の設置」が 38.6%、「避難先での医療体制の確保」が 36.4%となっている。

性別にみると、女性は1番目、2番目、3番目に高い項目は全体と同じであった。男性は3番目に「障がいがある人などの避難訓練を行う」が入ってきている。

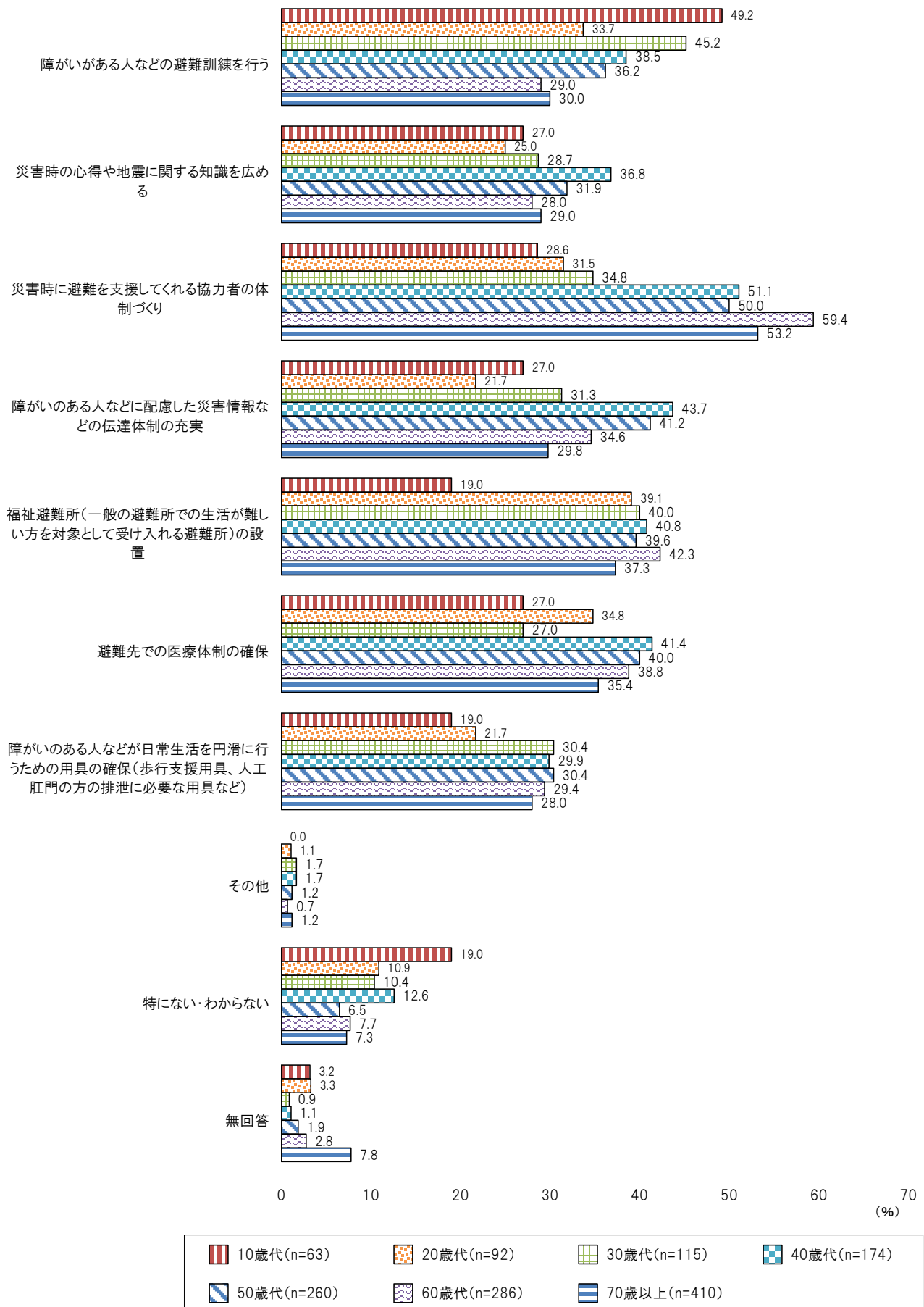
年代別にみると、1番目の項目は、40 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上は「災害時に避難を支援してくれる協力者の体制づくり」、10 歳代、30 歳代は「障がいがある人などの避難訓練を行う」、20 歳代は「福祉避難所(一般の避難所での生活が難しい方を対象として受け入れる避難所)の設置」となっている。

### <上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		災害時に避難を支援してくれる協力者の体制づくり	49.5%	福祉避難所(一般の避難所での生活が難しい方を対象として受け入れる避難所)の設置	38.6%	避難先での医療体制の確保	36.4%
性別	男性	災害時に避難を支援してくれる協力者の体制づくり	48.7%	福祉避難所の設置	37.6%	障がいがある人などの避難訓練を行う	35.1%
	女性	災害時に避難を支援してくれる協力者の体制づくり	51.5%	福祉避難所の設置	40.9%	避難先での医療体制の確保	38.9%
年代別	10 歳代	障がいがある人などの避難訓練を行う	49.2%	災害時に避難を支援してくれる協力者の体制づくり	28.6%	災害時の心得や地震に関する知識を広める 障がいのある人などに配慮した災害情報などの伝達体制の充実 避難先での医療体制の確保	27.0%
	20 歳代	福祉避難所の設置	39.1%	避難先での医療体制の確保	34.8%	障がいがある人などの避難訓練を行う	33.7%
	30 歳代	障がいがある人などの避難訓練を行う	45.2%	福祉避難所の設置	40.0%	災害時に避難を支援してくれる協力者の体制づくり	34.8%
	40 歳代	災害時に避難を支援してくれる協力者の体制づくり	51.1%	障がいのある人などに配慮した災害情報などの伝達体制の充実	43.7%	避難先での医療体制の確保	41.4%
	50 歳代	災害時に避難を支援してくれる協力者の体制づくり	50.0%	障がいのある人などに配慮した災害情報などの伝達体制の充実	41.2%	避難先での医療体制の確保	40.0%
	60 歳代	災害時に避難を支援してくれる協力者の体制づくり	59.4%	福祉避難所の設置	42.3%	避難先での医療体制の確保	38.8%
	70 歳以上	災害時に避難を支援してくれる協力者の体制づくり	53.2%	福祉避難所の設置	37.3%	避難先での医療体制の確保	35.4%







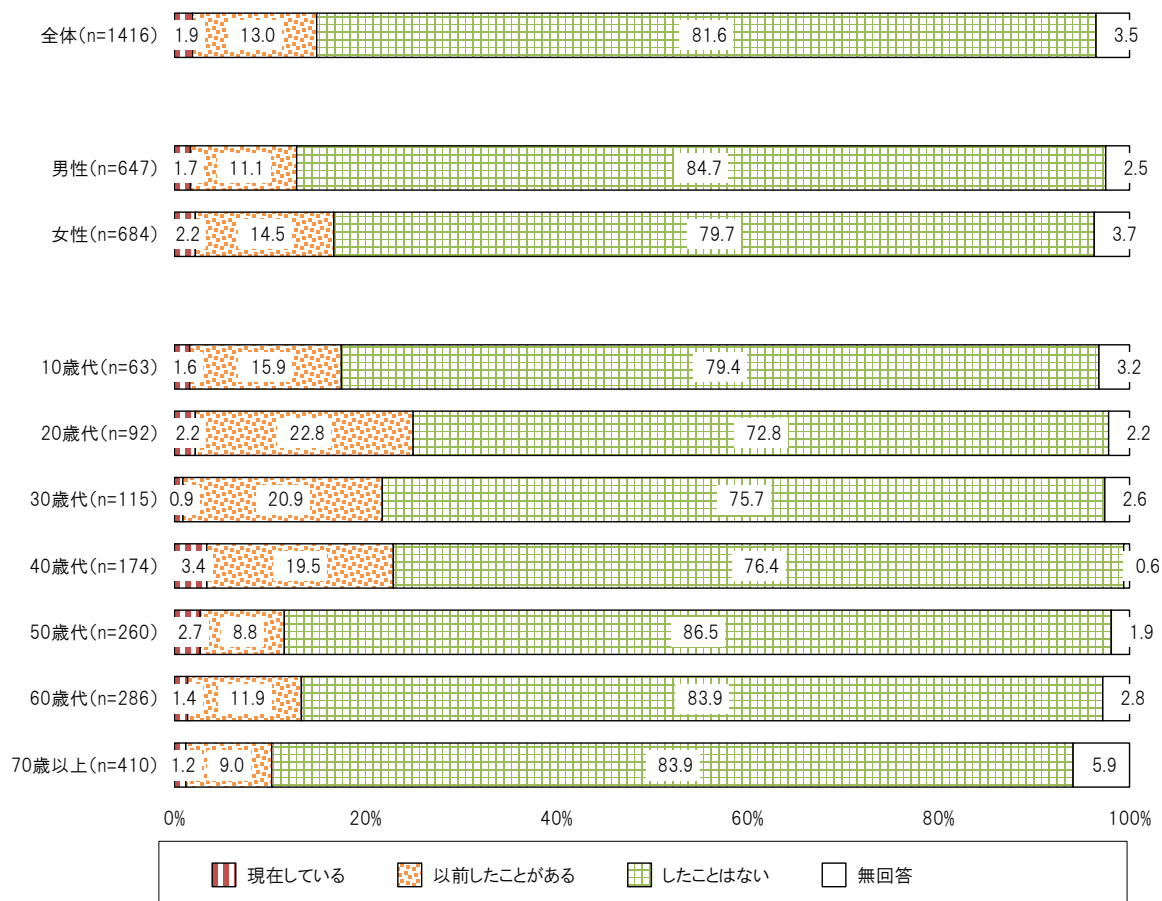
## ボランティア活動などについて

問 71 障がいのある人などを対象としたボランティア活動の経験はありますか。(○は1つだけ)

全体では「したことはない」が81.6%で最も高く、ついで「以前したことがある」が13.0%、「現在している」が1.9%となっている。

性別にみると、「現在している」と「以前したことがある」の合計の割合は、男性が12.8%、女性が16.7%であり、女性の方が3.9ポイント高くなっている。

年代別にみると、「現在している」と「以前したことがある」の合計の割合は、20歳代が最も高く25.0%であり、70歳以上が最も低く10.2%となっている。同割合について、10歳代、50歳代、60歳代、70歳以上が1割台、20歳代、30歳代、40歳代が2割台となっている。



問 72 あなたは、障がいのある人などに対して、どのような支援ができますか。(○はいくつでも)

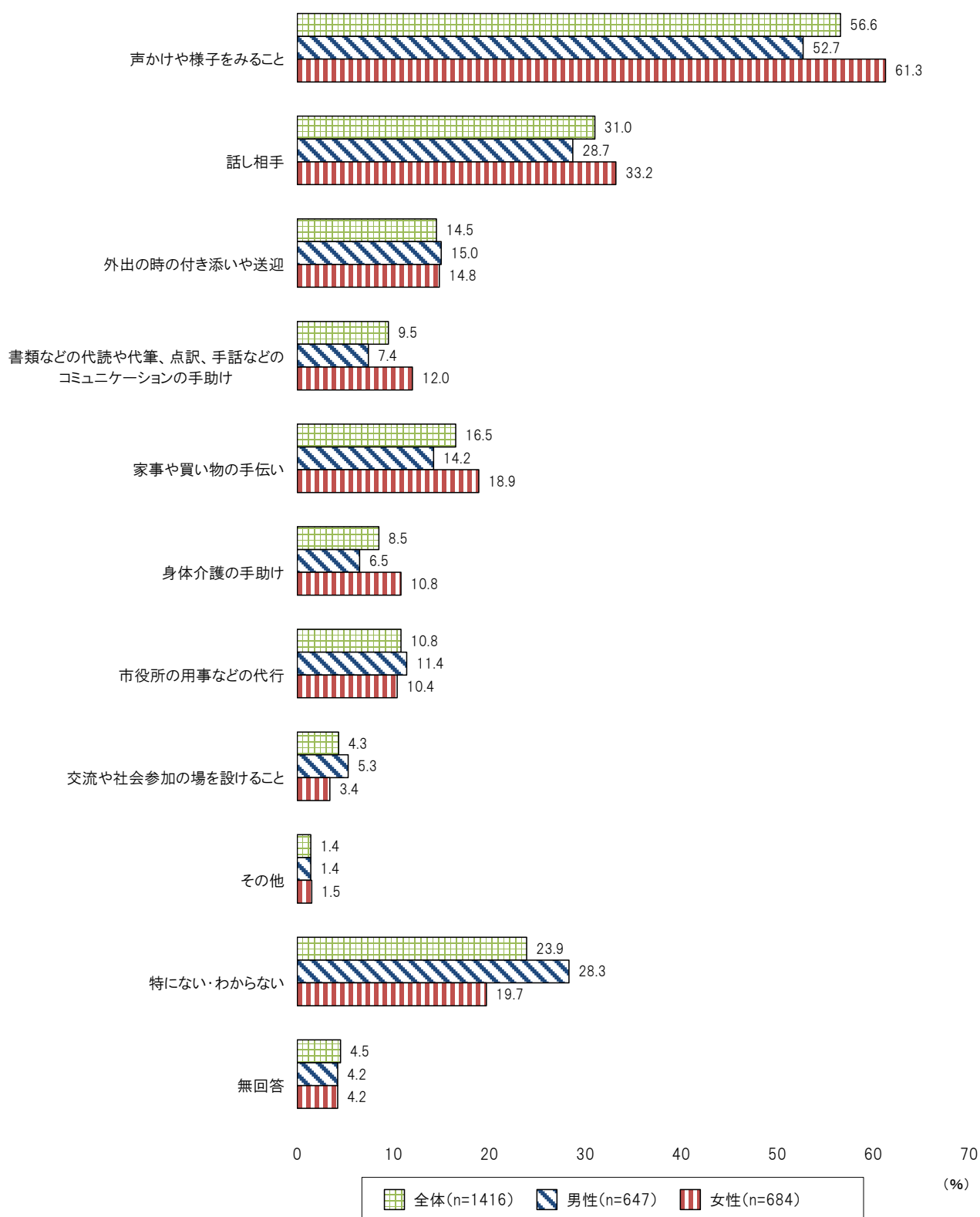
「声かけや様子を見ること」が 56.6%で最も高く、ついで「話し相手」が 31.0%、「特にない・わからない」が 23.9%となっている。

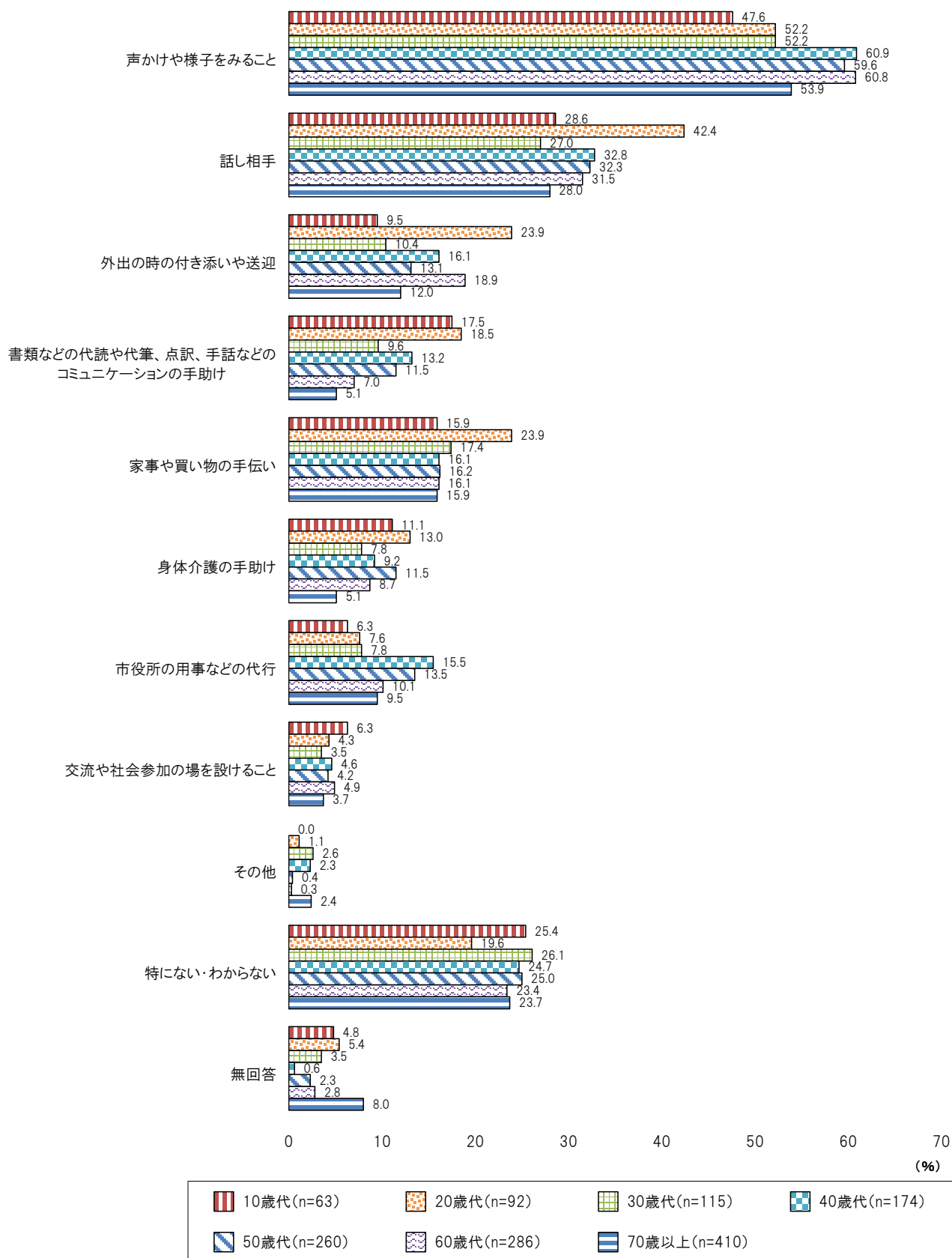
性別にみると、1番目、2番目、3番目に高い項目は男女とも全体と同じであった。

年代別にみると、1番目、2番目の項目は同じであった。全体の上位3項目以外で入ってきているのは、20 歳代の「外出の時の付き添いや送迎」、20 歳代の「家事や買い物の手伝い」となっている。

<上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		声かけや様子を見ること	56.6%	話し相手	31.0%	特にない・わからない	23.9%
性別	男性	声かけや様子を見ること	52.7%	話し相手	28.7%	特にない・わからない	28.3%
	女性	声かけや様子を見ること	61.3%	話し相手	33.2%	特にない・わからない	19.7%
年代別	10 歳代	声かけや様子を見ること	47.6%	話し相手	28.6%	特にない・わからない	25.4%
	20 歳代	声かけや様子を見ること	52.2%	話し相手	42.4%	外出の時の付き添いや送迎 家事や買い物の手伝い	23.9%
	30 歳代	声かけや様子を見ること	52.2%	話し相手	27.0%	特にない・わからない	26.1%
	40 歳代	声かけや様子を見ること	60.9%	話し相手	32.8%	特にない・わからない	24.7%
	50 歳代	声かけや様子を見ること	59.6%	話し相手	32.3%	特にない・わからない	25.0%
	60 歳代	声かけや様子を見ること	60.8%	話し相手	31.5%	特にない・わからない	23.4%
	70 歳以上	声かけや様子を見ること	53.9%	話し相手	28.0%	特にない・わからない	23.7%





## 市の取組について

問 73 障がいのある人もない人も、ともに住みやすいまちをつくるための施策について、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

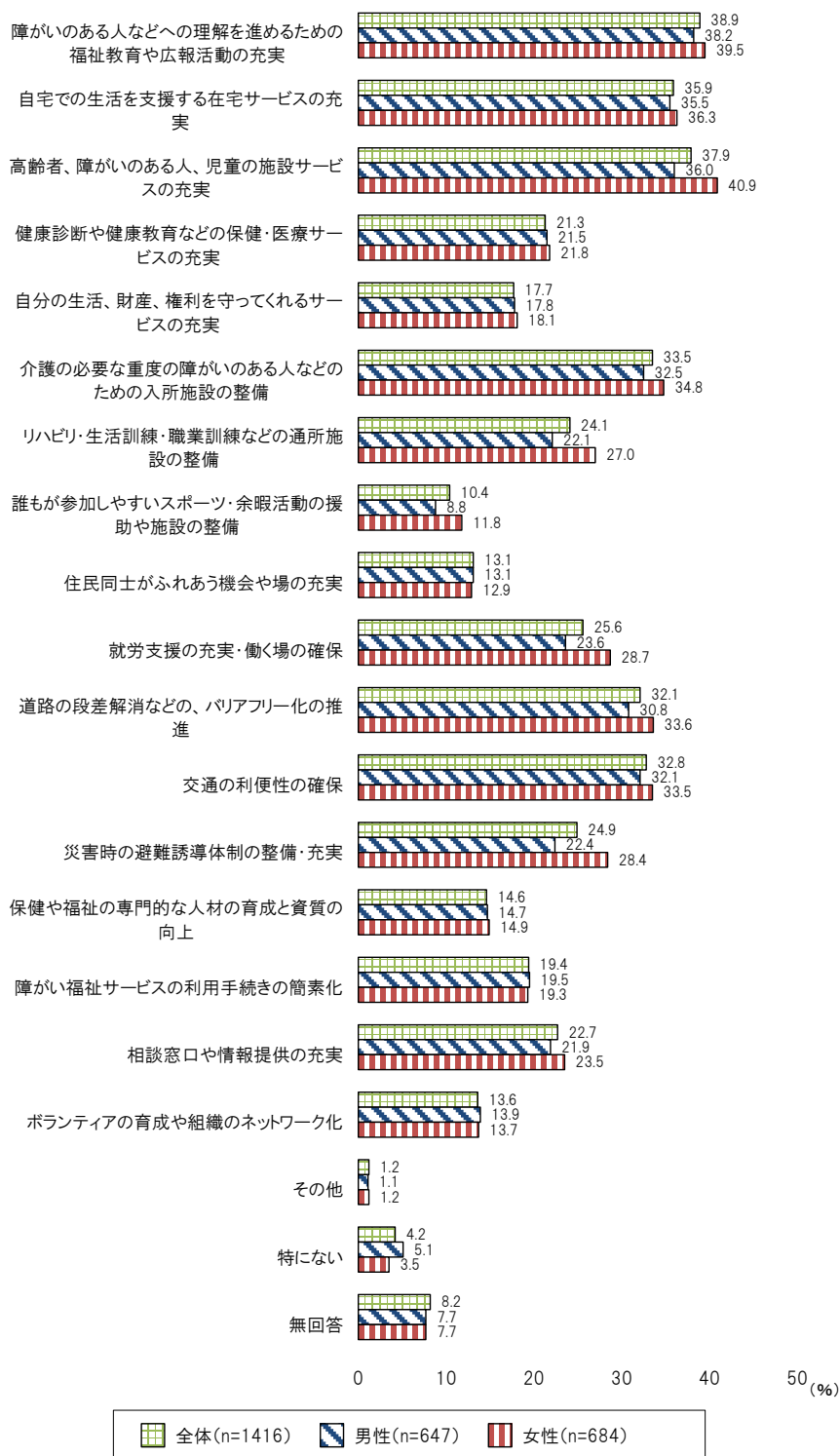
「障がいのある人などへの理解を進めるための福祉教育や広報活動の充実」が 38.9%で最も高く、ついで「高齢者、障がいのある人、児童の施設サービスの充実」が 37.9%、「自宅での生活を支援する在宅サービスの充実」が 35.9%となっている。

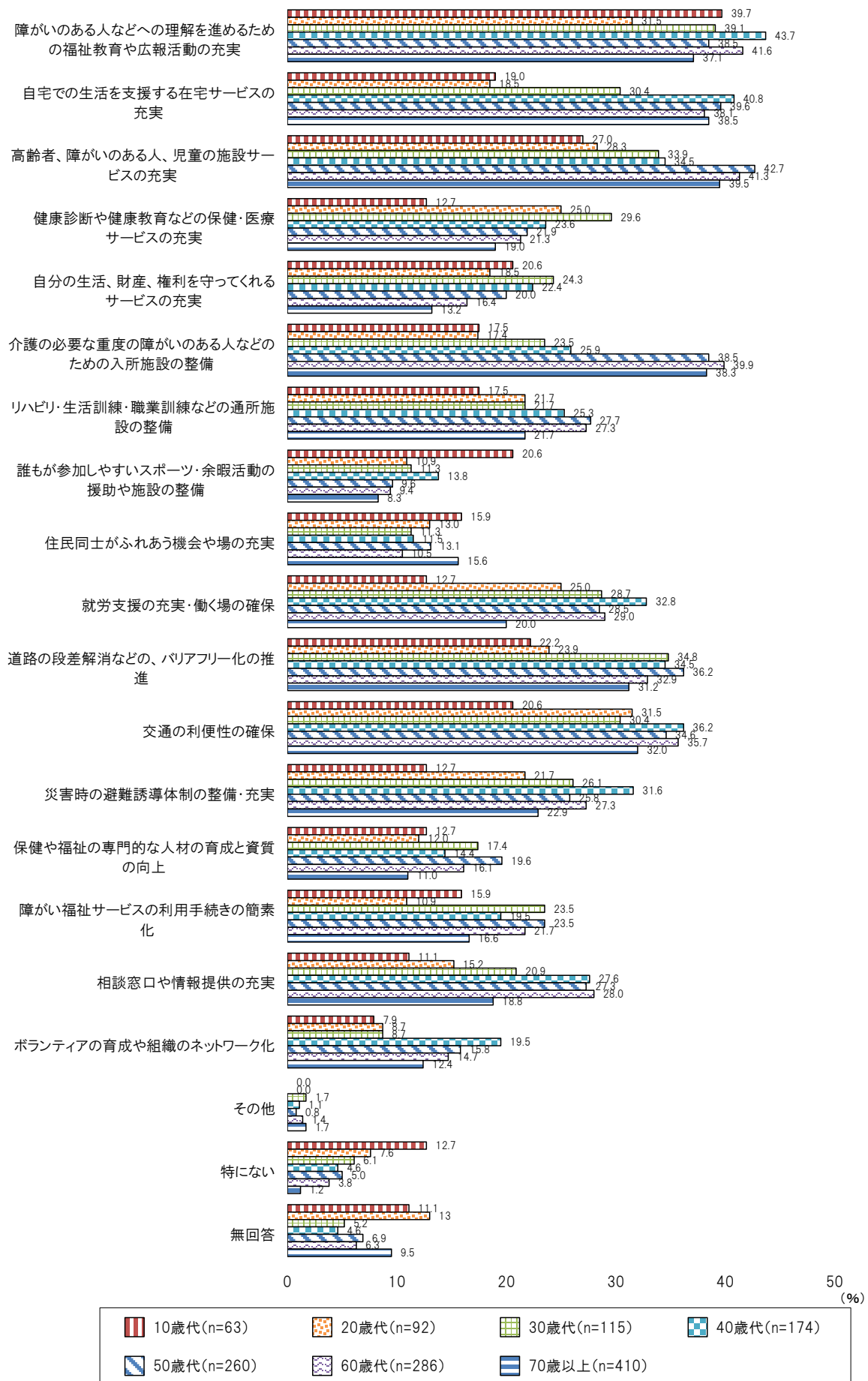
性別にみると、男性は1番目、2番目、3番目に高い項目は全体と同じであった。女性は1番目と2番目の順番が入れ替わっていた。

年代別にみると、1番目の項目は、50 歳代と 70 歳以上以外では「障がいのある人などへの理解を進めるための福祉教育や広報活動の充実」であり、50 歳代と 70 歳以上は「高齢者、障がいのある人、児童の施設サービスの充実」となっている。全体の上位3項目以外で入ってきているのは、10 歳代、30 歳代の「道路の段差解消などの、バリアフリー化の推進」、20 歳代、40 歳代の「交通の利便性の確保」、50 歳代、60 歳代、70 歳以上の「介護の必要な重度の障がいのある人などのための入所施設の整備」となっている。

### <上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		障がいのある人などへの理解を進めるための福祉教育や広報活動の充実	38.9%	高齢者、障がいのある人、児童の施設サービスの充実	37.9%	自宅での生活を支援する在宅サービスの充実	35.9%
性別	男性	障がいのある人などへの理解を進めるための福祉教育や広報活動の充実	38.2%	高齢者、障がいのある人、児童の施設サービスの充実	36.0%	自宅での生活を支援する在宅サービスの充実	35.5%
	女性	高齢者、障がいのある人、児童の施設サービスの充実	40.9%	障がいのある人などへの理解を進めるための福祉教育や広報活動の充実	39.5%	自宅での生活を支援する在宅サービスの充実	36.3%
年代別	10 歳代	障がいのある人などへの理解を進めるための福祉教育や広報活動の充実	39.7%	高齢者、障がいのある人、児童の施設サービスの充実	27.0%	道路の段差解消などの、バリアフリー化の推進	22.2%
	20 歳代	障がいのある人などへの理解を進めるための福祉教育や広報活動の充実	31.5%	交通の利便性の確保	31.5%	高齢者、障がいのある人、児童の施設サービスの充実	28.3%
	30 歳代	障がいのある人などへの理解を進めるための福祉教育や広報活動の充実	39.1%	道路の段差解消などの、バリアフリー化の推進	34.8%	高齢者、障がいのある人、児童の施設サービスの充実	33.9%
	40 歳代	障がいのある人などへの理解を進めるための福祉教育や広報活動の充実	43.7%	自宅での生活を支援する在宅サービスの充実	40.8%	交通の利便性の確保	36.2%
	50 歳代	高齢者、障がいのある人、児童の施設サービスの充実	42.7%	自宅での生活を支援する在宅サービスの充実	39.6%	障がいのある人などへの理解を進めるための福祉教育や広報活動の充実 介護の必要な重度の障がいのある人などのための入所施設の整備	38.5%
	60 歳代	障がいのある人などへの理解を進めるための福祉教育や広報活動の充実	41.6%	高齢者、障がいのある人、児童の施設サービスの充実	41.3%	介護の必要な重度の障がいのある人などのための入所施設の整備	39.9%
	70 歳以上	高齢者、障がいのある人、児童の施設サービスの充実	39.5%	自宅での生活を支援する在宅サービスの充実	38.5%	介護の必要な重度の障がいのある人などのための入所施設の整備	38.3%



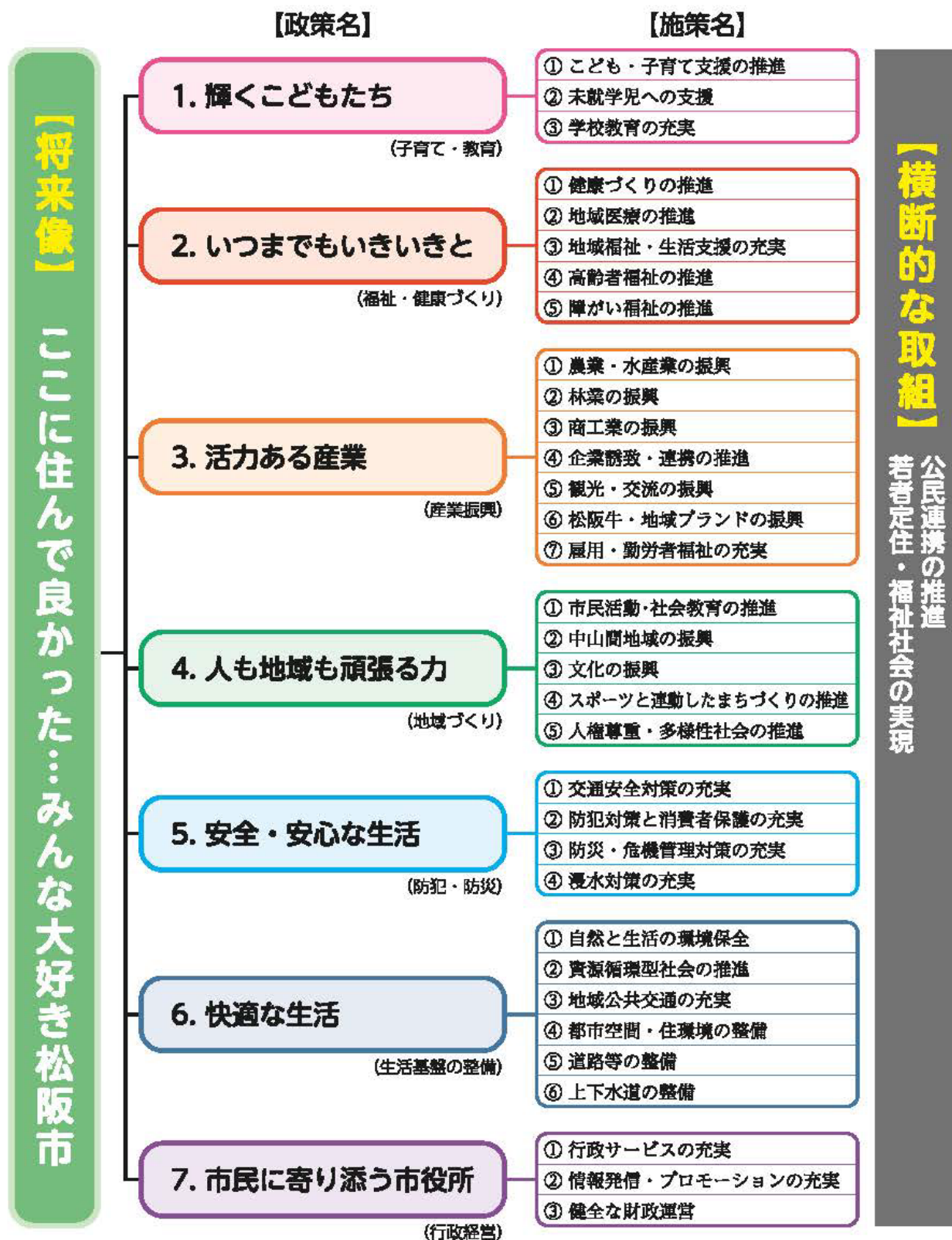




### Ⅲ 自由記述

市政に対するご意見については、318人の方からご意見をいただきました。いただいたご意見の主なものを総合計画の政策分野ごとに分類し、政策分野に属さないご意見については、「市政全般」等に分類しました。

できる限り原文に忠実に記述していますが、不適切な表現は一部修正しています。また、誤字等についても修正させていただいています。ご了承ください。



## 《主な意見》

### 1. 輝く子どもたち

---

- 6歳と19歳大学生の子供います。  
児童手当が安い！少子化の今、未来を担う子どもたちに投資して下さい。
- あったらしいなあと思う事
  - ・老人と子どもの合体幼稚園。ボケ防止にもなるし、老人からの知恵が得られる。
  - ・困った時に預けられる看護師在住保育園
  - ・育児ママの応援サポート。子どもの散歩のお手伝い等、シルバーの方などで
- 幼い子どもを育てながら仕事をするのが大変難しい。
- 子育て教室や支援センターなど、市で運営されていると安心して利用出来ています。いつも助かっています。
- 子育て支援を手厚くしていただきたい。津のように子育て応援ヘルパーの導入、ショートステイの負担金減額、保育園の拡大、児童養護施設増設等早急に子育ての応援をお願いいたします。
- 子どもの医療費の窓口負担を無くしてほしい。
- 市民のためにいつもありがとうございます。  
子育て支援に市政が力を入れて頂けることを期待しています。
- 所得制限ギリギリオーバーする為、母子の支援を受ける事ができず苦しい生活になっている状況を理解して頂き、何か支援できる制度を考えていただきたいです。
- そだちの丘の放課後デイサービスを利用していますが、身長が大きくなってきた子の使えるリハビリ用の自転車がないので、できれば購入頂きたいです。
- 他県に嫁いだ娘がいるのですが、『子育て支援』がすごく充実していて「助かる！！」と言っています。  
県・市によって人口や経済他違うので同じにはならないでしょうが、松阪市もいろいろあるといいなと思いました。  
同市(松阪)に次女・長男家族がいるので…。  
子どもの人数分のお米券、子どもの人数分の給付金、保育料無償 他、このような子育て支援を受けているそうです。
- 夏休みの間、子どもが利用しやすい施設をつくってほしい。  
お弁当を持って、遊んだり学習できたりするところ。土日でも利用できるといい。暑く、外で遊べない。どうしても家にいるとスマホばかりになる。夏休みだからこそいろんなことを学習できる場がほしい。学童まではいなくて、好きな時間に行って帰れるところ。お昼も用意してもらえるとありがたい。利用料はある程度払ってもよいと思う。
- 共働き子育てしやすい街ランキング 2024 に選ばれたようですが、全く子育てしやすいと思えません。子育て支援をもっとして欲しいです。保育園支援ばかりではなく、小学生からももっとお金がかかります。学童保育の利用料の補助など保護者の経済的負担を軽くするサポートをよろしくお願いします。
- 子育てにかかる費用(保育料、給食費など)の、無償化に取り組んでいただき、感謝しております。
- 子育て支援センターを増やしてほしい。どれも遠くて行ったことがない。
- 子供の医療費を負担していただけるのはありがたいが、窓口の負担を無くしてもらいたい。後日戻っ

てくるなら窓口で 1 度支払う意味がないし、返金処理の対応もなくなれば、市の職員の負担が少なくなるのではないかなと思う。事実、他の市は窓口の負担が無いところがある。

- 子供を育てるのにもっと良い環境づくりを頑張ってほしい
- 本当に必要なものは子供達に届いていない。
- 保育士の給料が安い
- 21 時までの延長保育は本当に必要なのかと疑問です。確かに必要とする家庭はあるかもしれませんが、しかし、預けられている子どもにとって、そこで働く保育士さんにとって、その保育士さんの子どもにとって、本当に良いといえるのか考えてしまいます。
- 子育て支援とよくきくが、育休明け後、子を保育園に入れたかったが空きがなく、半年以上も入園するのに待った。保育園の整備に力を入れてほしい。3 歳以上の保育料は無料だが、それ以前の保育料は有料であり、何故差別をするのか。
- 不登校に対する取り組みをもっと幅広く柔軟にしてほしい。
- 各校舎の老朽化が進んでいる
- 外国人に暮らしのルールやマナーの教育を学校でも力を入れる。
- 児童の学習障害を早期発見できる福祉や制度を設けることで市の児童の学力向上にも繋がり、不登校でも自分に合った勉強作りの支援やボランティアがあってもいいとは思った。
- 学校給食が粗末過ぎる。物価高騰に伴い、給食費を値上げするべき。
- 南海トラフ巨大地震での甚大な被害が叫ばれている地域でありながら避難所になる学校の体育館等の空調設備が他の自治体と比べて遅れすぎ。早急に対応を願いたい。

## 2. いつまでもいきいきと

---

- 健康診断のより充実さを求めます。
- 高齢化が進み、いつまでも健康で自分のことは自分でできるように、市が毎日続けて行う健康体操の実施をしてほしい！
- まず、健診クーポンは、職場の健診では受けられない項目について安価で受けることができるのでとてもありがたい。今後は、受診できる項目についてもっと増やしてほしい(人間ドックなど)。また、健診の予約についてですが、予約スタートと同時にネットがなかなか進まなくなり、やっと進んだかと思ったら予約がうまってしまっていることばかりなので、ネットが止まらないようにスムーズに予約ができるようにしてほしい。また、予約日について、土日をもっと増やしてほしい。平日はやはり仕事の人が多いようで、土日がすぐにうまってしまい諦めざるを得ないことが多い。
- 私はひとり親で 2 人の子供を育てています。市の職員の方には様々な手続きのアドバイスや相談、様々な支援をして頂きとても感謝しています。難しいとは思いますが、一意見として書かせて頂きます。インフルエンザワクチンの補助があれば助かるなあと思っています。やはりひとり親で子供は 2 回打つ必要があるので負担が大きく、昨年も打つのを断念しました。感染には十分注意をしていましたが、次々とインフルエンザにかかり、結果長期にわたり仕事を休まなくてはならなくなり、体調も重く肺炎になったり、給与にも影響が出て、様々な面で大きな負担となりました。もちろん打つべきだとは思いますが、子供だけ、ほんの一部でも補助があるとありがたいなあと思います。
- 市民病院の待ち時間、院内たらい回しが酷い

- 救急車利用時に、入院しないときや診察が1か月以上間隔が空いていると7700円が必要になると  
思うと、なかなか大きい病院に行けない。  
タクシー代わりにTELする人だけにしてほしい！お金がない上にそんなお金上乘せされたらがまん  
して救急車も呼べない。何とかしてほしいです！
- ご免下さい。  
(救急車利用時の7,700円徴収について)  
私は“反対”です。先日、我が家の前(生活道路)で高齢者の男の人が倒れていたの、救急車を呼びま  
した。でもふと頭の中に7,700円徴収？と不安になりました。救急車の方に話して払わなくて済み  
ましたが、一部の市民の救急車の不適切使用の為におかしいと思います。困っている人を助けるのに  
躊躇します。
- 救急車利用時の選定療養費を徴収するより、医療機関が閉まっている時、個人で運んでも緊急に診て  
もらえる総合病院(救急外来)を設置してほしい。伊勢市のように。
- 救急車で受診した時に選定療養費を取るのは辞めた方がいいと思う。
- (For those trully in need)  
NOTE: There are some people receiving support from government, but when you  
observed them they are more stable in there lifestyle than those who work  
seriously and paying taxes.  
日本語訳: 政府から支援を受けている人もいますが、彼らを観察すると、真面目に働いて税金を払っ  
ている人よりも生活が安定しています。
- 障がい者や一般の人がいつでも交流し助け合える公共施設  
いつでも楽しめる芸能会場。カラオケ、ダンス等市民から募る。何でもOK。みんなが元気になれる場  
所。
- 年金生活にとって、健康保険税は高すぎる。水道料金も高すぎる。両方引いたら食費、医者代等の生活  
費が全く足りない。
- 福祉に関する見直し
- 1年度の予算を道路整備などに使用せず、もっと福祉関係に力を入れ、世間では物価高の影響などで  
貧困生活している方が大多数なので、市で一定のお金を配り、まず充実させる。
- 子どもたちには補助金があるが、何十年も働いて来たにもかかわらず、年金では生活ができず(生保  
の人の方が多い)困ってる高齢者が居ます。近くの市町村の方がいい時がある。  
マラソンも良いけど、そのお金があればと思います。
- 生活保護とか出し過ぎで税金が高くなっているのでは？
- 松阪市は、昔からの(代々の)生活保護受給者(?)に対しては、甘いと思う！  
職場にブランド物のかばん・服で来る生保の方が多いのに、障がい者の方は、服はボロボロ(修理して  
着てみえる)な方がみえると、正しく税金が使われてるのかと疑問に思う！
- 猛暑で電気代がキツイ 食費が高い定期的に給付金を給付してほしい  
一人暮らし50代の人にもフードドライブで食品を配ってほしい
- 最も弱き人に手を差しのべる！！
- 最近コロナ時の時みたいな給付金等の支援がない。物価高騰、気温上昇やウクライナ戦争による電気  
ガス価格アップで生活が困窮しているので松阪市も積極的に経済的支援してほしいです。ディズニー

パレードやマラソンするよりこちらに予算回してほしいです。

- 生活の足しに給付金がほしい
- 生活保護の受給基準がよそにくらべあまいように感じる
- 猛暑の電気料金と日頃の食費と病院の治療費で苦しい。定期的に給付金を給付して下さい。
- 介護保険料が高い
- 高齢者が安心して生活できるシステムの充実。
  - ・高齢者用住宅の整備
  - ・買物等の支援
  - ・高齢者も若者も一緒に集える場所の提供
- 高齢になり車がないためタクシーで移動する事が多くなりましたがいつもタクシーと云うわけにもい  
がず、高齢者にタクシー割引券などないのでしょうか。お願い致します。
- 老後の援助
- 老人が住みやすい環境作りをしてほしい。
- 障害有無に関係なく、市全体の環境が不十分だと思う。交通についても、利便性が悪く機関の利用料  
も高い。ゼロカーボンの取り組みも車購入にしても高いので少額の補助金ではなく高額な補助金等  
市と市民の協力も必要だと思う。
- 障がい者のハラスメントに関する対応相談窓口がない。  
差別という言葉で消されているように思う。私のようにハラスメントを 10 数年に渡って受けている  
人たちを救ってほしい。
- 障がいのある人もない人も松阪で住みやすくなるよう皆さんで考えて下さい。
- 障がいは一生あるので楽しく毎日を過ごしてほしいと願います。  
このようなアンケートの機会をくださってありがとうございました。  
松阪市、大好きです。  
パレードも行けませんでした。障がいのある人の場所、きちんと作ってもらっていたのがありがたい  
と思いました。
- スーパーなどの駐車スペース、健常者のモラルの悪さ
- 障がいがある人がかかれる病院が少ない。予約もなかなかとれない。発達検査もなかなか受けられ  
ない。不便しかない。それを市役所で聞いても、困った顔される。困ってるのはこっち。それを市役所  
で聞こうとすると、カスハラ看板で威嚇？どうすればいいのかわからなくて困っているだけなの  
で、ホントに辛い。適切な対応をして頂きたいだけ。

### 3. 活力ある産業

---

- 中小企業への補助金は必要
- 駅周辺の商店を充実してほしい。  
松阪は、飲食店をもっと多くして、ホルモン街や飲み屋街を復活させることが大切です。  
あと、ディズニーパレード、マラソンはフルマラソンでなくてもよい。トンネルのプロジェクションマッ  
ピングなどはものすごくムダ！！もっと税金を大切に使ってほしい。こんなことをしている間にもっ  
と駅前にお店を充実させるよう努力してほしい。  
松阪は飲食の街にすること

- 個人店閉店で多くの人が困っています。移住に力を入れるだけでなく、“みちの駅”を地元民が利用できるようスーパー化して日常利用できるよう望みます。岐阜の道の駅を参考にいただければと思います。観光だけでなく、今住んでいる人たちにも心を配っていただけたらと思います。
- 中小企業への支援
- 松阪駅周辺の商店に活気がない。何か用事があれば駅周辺を訪ねるとすむような街づくりはできないものだろうか。
- 大きな企業を誘致し働く場所つくりと税収増加及び個人収入増加
- 2025.5.25 のオリエンタルランドのパレードは良かった。又、やってほしい。
- 松阪アルプス(白米城以西の山波)の整備と観光計画  
潮干狩りの再開(自然への関心と大切さの認識)
- 大きなイベント事は必要ですか？  
ディズニーを楽しまれる方、そうでない方、どちらの人数が多いのですか？  
日常の生活を第一に考えて下さい。宜しくお願い致します。
- 外国人、インバウンドの方がたくさん来てほしい。  
もっと松阪市を県外、国外にアピールしてほしいです。
- 半世紀以上居住している大切なふるさとです。  
松阪市が持つ歴史を大切にしつつ、現代のネット社会にうまく対応して行ってほしいです。残念ながら三重県自体「何があるの？」と他県からも言われている様です。伊勢神宮さえ三重にあることを知らない人がいます。もっとうまく PR してほしいです。
- 松阪駅・城跡を観光地、人が集まる所として表に出し、駅前開発(←三重県でいうと四日市駅が成功例！)、城跡にテーマパークなどを作って集客させ金を落とすようにするといい。
- 難しいとは思いますが、花火大会復活してほしいです…
- 一部海外の人のマナーの悪さ
- 更に魅力がある市を目指してほしい、歴史もいいが何か新しい魅力ある場所があれば人も来る、駅周辺にあれば良い
- 施設整備にいろいろ力を入れてくださって、ありがとうございます。もっと有名な人をたくさん呼んで、松阪の良い所をアピールするイベントをたくさんやってほしいです。
- 自然をそのまま活用した観光誘致、宿泊施設の整備、連携。そこまでの交通整備。帰路前の買い回りの仕組みなど、自然観光を軸に、観光客が自宅を出てから、帰宅するまでの間に松阪市内を回遊し易い仕組みの構築が必要です。資源を明確に把握して、それに附随する産業と協力してくれる事業者や団体を優先するなど、市以外も含めた組織力で推進して行くイメージが必要だと思います。
- 松坂城などに店舗などを出して地域を盛り上げて欲しい
- 松阪牛を食べたいという需要に答えられる飲食店の種類が少なすぎる。古いイメージしかない。  
伊勢等に観光で来た人が、松阪で食事をして帰る需要を取り込めていない。  
肉のグルメ街をつくるべき。
- 食のまちとして PR は、もっとしていいと思う。牛だけだと思っている人は県外には相当数いる。
- 松阪牛は、日本人にとっては大変知名度があるが、外国人にはほとんど知名度がないため(勤務先に外国籍の人が複数在籍しているが、皆松阪牛を知らない)、外国に売り出せば、外国人観光客が増えるのではないかと思います。

- 長く松阪市に在住しており、松阪市が発展され世の中に周知されることを望んでいます。松阪市には松阪牛以外にも松阪木綿やお茶など良い物がたくさんありますがなかなか知られていません。伊勢市や鈴鹿市のように国内、国外から広く知られる町になれば良いなあと考えながらアンケートに答えました。様々な意見があり難しいと思いますが少しずつでも、より良い松阪市になれば嬉しいです。頑張ってください。期待しています。
- 外国人労働者はきちんと精査し、ルールを守れる人のみ受け入れてほしい。
- 障がい者の雇用をもっと多く…清掃以外でも活躍できる場を。  
若者の就労場所の充実

#### 4. 人も地域も頑張る力

---

- 飯南、飯高では人口減少、高齢化でお互い助け合う事が大変になってきます。近くに病院も少ないように思います。  
将来不安がないとは言えない様です。
- 旧松阪市内と飯南・飯高地域では、交通の便や施設のことなど、ひとくくりにはできないと思います。
- 少子化、高齢化、人口減少が今後も続くと予想されている。特に中山間部のいわゆる限界集落は既に集落としての機能が損なわれつつある。こうした地域でも高齢者が安全に安心して暮らせる施策の充実を強く要望します。
- 少子高齢化の今、特に山間地域における問題は山積みしていますが、少しでも長く、現風景を留める施策をとっていただきたいと思います。
- 移住者を増やして人口増加
- 松阪市内は綺麗になってきているので感謝はしている。が、後から合併して松阪市になった部分の改善活動に努めてるのが分かりにくい。
- 図書館、本屋さん等を増やして欲しいです。
- とにかく豊富なジャンルや趣味(サブカルチャーなど)のあるものをもっと充実できたらなと思っています。
- 文化会館の改修が終わったので、ワンコインコンサートのような、気軽なクラシックコンサートを増やしてほしい。その点、亀山文化会館での催しは多いと思うので、参考にしてほしい。
- マラソンなどのスポーツと合わせて、市民全体で参加出来る取り組みをスポーツ分野以外でも推進してほしい。(毎年開催や定例化にこだわらなくてもよい。)
- ・マラソンやパレードに税金を使うより水道料金減額など松阪市民に均等に還元すべき  
・各学校体育館に冷房設備の設置を！
- 松阪マラソンなどのイベントは、経済効果などが認められれば、継続しておこなって良いと思う。
- 健康まちづくりで発信するのであれば、市民センターを利用した体操等を PR、充実する方向にシフトするべきと思います。  
松阪マラソンの市の負担金を無し、民間の自主開催にする。  
マラソンを実施するなら全町を通るルートにして自治会のボランティアも協力する。
- スケボパークよりも市民プールを建て直してほしい。(もう少し子どもが遊べる場所の提供)
- 松阪に陸上大会が出来る陸上競技場を作してほしい。  
マラソン大会以外にも大きなスポーツ大会してほしい。



- 松阪マラソン大会は不必要  
税金のムダ遣いです。今年は中止でお願いします。
- 松阪マラソンで交通規制が長すぎる。道路はイベントなくても良い！ゴールの運動公園でイベントはする事！
- 松阪マラソンに力を入れるよりも松阪だけやっていない花火大会、イルミネーションに力を入れた方が、今、松阪で生きている人すべての人が幸せに生きることができると思います。こういった所から変えていかないと、これから先ずっと「何もない」松阪だと思うので、ただ自分が好きでマラソンを行っているだけでなく、花火、イルミネーションなどでもっと他の人を喜ばせることをしてください。
- 松阪マラソンの開催方法について  
開催日に別居の家族が急病であったが、交通規制内の為、面会できなかった苦い経験があります。命の重さとイベント開催の優先順位に問題があると思います。
- マラソンに金を使う位なら必要な所に金を使って下さい。市民生活に支障をきたすマラソンコースを変更して下さい。マラソンボランティアに中学生を出して出席扱いにするな
- マラソンのイベントの時に地方が犠牲になっていること、通行止めになったりしている
- マラソンもよいのですが、花火大会もしてほしい。
- みえ松阪マラソンについて、市は「マラソン文化」を後世にまで伝え続ける気持ちが本当にあるのでしょうか。マラソンは「金の成る木」ではありません。議会での議論も費用対効果についての事ばかりで、市は儲けることしか考えていないのでしょうか。走る参加するのであれば、「名誉」だけいただければよいと考えます。  
T シャツ、タオル、トンネル内での映像、エイドステーションで配布されている肉類、事前に準備されている応援、PR と称して開催されたパレード、今年度予定されている鈴の森のイルミネーションなど、全て税金で作成されているのならば、全てカットすべきです。そうすれば、各企業から多額の税金を納めていただいているにもかかわらず、プラス多額の協賛金を納めていただく必要はありません。  
欧米のメジャーなマラソン大会は、地元のマラソン愛好家が立ち上げたものが多く、低予算で「名誉」だけを与えてくれるような大会が多く、参加者にとっては意義深いものになって、100 年以上も開催している大会もあります。  
トンネル内での映像を目玉にしておられるようですが、それよりも高齢者の方々が、子どもたちが、手を振ってくれる、がんばれと声援をしてくれる「生の応援」の方がよっぽど人間らしい大会になると思います。  
エイドステーションでは、水、スポーツドリンク、バナナ、まんじゅうがあれば十分です。「名誉」としては、完走メダルや完走証があれば、いただければ十分です。今のままでは、多額のお金が必要な大会を続けるのならば、近い将来おそらく廃止になるでしょう。「松本マラソン」のようにならないようにがんばってください。
- みえ松阪マラソンをはじめ、年間の交通規制が多い、全ての住民に受け入れられていると思わずに、日常生活に支障のないように計画してほしい。
- 近年、スポーツに力(税金)を入れ過ぎである。街中心部でのフルマラソンなんてもってのほか迷惑である。ましてや開催時期が年末の市民にとって一番気忙しい時、迷惑千万即刻止めるべきだ。
- 松阪マラソンに反対です。年末の忙しい時期にまる 1 日道路を規制されるのは市民にとっては迷惑です。その収益金は市民生活に何か反映されているのですか？ただのお祭り騒ぎで済んでいません

か？たった 1 日とはいえ我慢する方の気持ちを考えた事はあるのでしょうか？いつの間にか勝手に決められた松阪マラソンどうにかしてほしいです。

- 松阪マラソンをするのはいいが、年末の稼ぎ時に営業ができなくなる店に対しての対応が冷たいのではないと思う。
- 松阪マラソンをなくしてほしい。一部の人しか楽しめないイベントや行事に税金をつかうくらいなら、商品券でも配ってほしい。みんなが平等になるようなことを考えてほしい。
- 本年度 公園プールが閉鎖され、流水プールのみとなります。今でも混雑が見受けられる状態の為、来年度以降は幼児など小さい子が安全に遊ぶことが出来ない事も予想されます。もちろん純粋に泳ぎに来ている子達も同様にスペースがない事も挙げられます。1カ所に集約するのであれば、立て直し等も検討し大きいプールへの変更をお願いしたいと思います。流水やスライダーなどは特に不要で、25mプールや幼児プールなどの拡大・増数が希望です。

## 5. 安全・安心な生活

---

- 松阪市民一般は～  
ドライバーの意識が低い。高齢者のマナーも悪い。ウインカーを出さない。注意して謝らず、暴言吐く。こういう事へのアンケートを進めるべきと思う。
- 松阪市は他と比べて特に交通マナーが良くない地域と感じる。高齢者の自動車運転対策、小学校、中学校の通学路の安全対策を強く進めて頂きたい。
- 小学生の通学路が危険すぎる 中川小学校
- 車の運転によるマナーが悪く感じる。また高齢者ドライバーの危険運転も見かける。免許返上に対するさらなる対応策や危険な運転、横断歩道で止まらないドライバーへの対策をお願いしたい。
- 交通マナーの向上(事故多い)
- 子どもの通学路、小学校の通学路となる道路が安全に歩けるよう、整備を進めてほしい。
- 歩道の確保してほしい。横断歩道増やしてほしい。
- 松阪市は高齢者ドライバーが大半なので、運転をしていて不安に感じる人が多いです。高齢車マークを付けていないケースが多いので、こちらも気を付けるには限度があります。高齢車マークをアピールして、安全に運転ができる環境をつくってもらいたいです。
- 交通事故が多すぎる。(特に大黒田、五反田)通学路での事故が多いので、早急に対応してほしい。
- 松阪市は交通マナーが悪いと感じる。それと、ヤンキーのバイクの騒音がうるさく迷惑することが多い。警察のパトロールを強化し、ヤンキーバイクによる騒音の罰則を強化するような条例を制定してほしい。
- 街灯が少ない。
- 通学路に防犯カメラの設置を！！
- 年々、治安が悪くなっている気がする。
- 海拔が低く、津波に対処できるかが心配。高齢者の多い地域なので
- 各自治区に資源ゴミ倉庫－防災倉庫の設置。  
各家庭に防災無線の設置。
- 各地域の公園や施設にもっと災害時に対応できる設備を作ってほしい。ベンチがコンロ台になったり、災害時トイレの整備、災害に対しての対策をもっとしてほしい。

中村川の中の木々…たくさん生えすぎており大雨の時に不安。

- 各町内設置の防災スピーカーの音量が小さく家の中ではまったく聞こえていけませんので災害時には困ります。整備して下さい。
- 地震対策を早急に行って欲しい
- 南海トラフ地震で松阪城の石積みは大丈夫なのだろうか。  
市民病院の前の石積みが崩れた場合、道路が通れなくなり、市民病院、市役所が機能不全になるのではと思う。
- ペットに関する事をもっと増してほしい。  
ペットと一緒に入れるような所、避難場を増やす。
- 防災とか言っても、特にどういう事をしていいのかよくわからない。災害があったら、どこに避難するのか、本当に分かっている人がどれだけいるか？形だけで避難訓練も、地域全体で取り組むように声掛けしたり、地域内での災害時の情報の収集とか伝達とかの練習とかしてほしい。
- 防災に関する情報と訓練
- 防災無線が表に出ても聞き取りにくいので改善してほしい。
- 災害時の避難所の数が少ない、または遠い地域がある。さらにペット可の避難所の設備が圧倒的に少ない。
- 指定避難所の巨大地震への備えについて、あまりにも少ない状況を心配しています。予算を確保することも必要ですし、地域住民自身にも、自身で備蓄をするよう協力を仰ぐ PR を強化するべきだと考えています。地域の住民は、市に頼りきっています。目を覚まして貰う必要が有ります。具体的は品目を上げて、また実情を伝えて自身を守るよう啓発に努めて下さい。
- 土砂崩れや津波が来る可能性が高い。
- 愛宕川、神道川の清掃は、松阪市がやっていただけませんか。  
急激な雨量の増加に伴う内水氾濫のことを考えると、市民にまかせるのではなく、市のほうで両川の管理をしていただきたい。(神道川は「河川」ではないですが…)  
去年の「愛宕川、神道川一斉清掃デー」を実施したのは判断ミスではなかったでしょうか？大雨で神道川の水位が急激に増していました。危険を伴う作業を市民が担うのはどうかと思います。
- この地域に住んで 35 年経ちますが、近くの川が度々溢れて道が川の様に成ります。自治会への要望も出しましたが、なかなか進まない現状です。昨今の豪雨被害を目の当たりにし、他人事には思えない日々です。優先順位はあるかと思いますが、河川整備に力を入れてほしいと思っています。
- 坂内川、どど川の土砂を取って下さい。
- 坂内川下流の堆積がひどく、治水管理上早期に対策すべきと考える。
- 水害時の川の整備を早くしてほしいです
- 阪内川の下流地域(港小学校近辺)の川底が浅くなって来ています。  
川底を掘って水が溢れないようにしてほしいです。
- 防災のため坂内川の土砂の撤去に予算をつけて下さい。
- 私の住む下村地区は古い溝やドブの公道が多数あり、ゴミや雑草、つまりによる雨季の浸水が多いです。自治会を通じて市に整備の要望を出しますが、言った時だけゴミを取り除いて根本的な解決はないです。  
県道などと絡むと市では難しいなどの理由もあるようですが、雨の度に浸水するため車を移動した

り、通学路のため子どもたちに注意を促したりと、とても安心して住める都市とは言えないな、と住んで10年経ちますが感じます。

海外の方も多いからか、ゴミが散乱している集積所も沢山あります。

自治会レベルで何とかなっていますが、行政がもっと協力してほしいです。

## 6. 快適な生活

---

- 主に夜とか異臭がする。気分が悪い程の時もある。(嬉野中川地区在住)
- 神道川の汚れが、凄く汚れているので…きれいになりたい。  
街路樹の植え替え、以前はイチヨウ並木で外観も素晴らしかったのに、この6年前に切られて、違う木になりましたが、その木から花粉が落ちて、そばを通ると服や頭に白い粉が落ちて困っています。  
植え替えにはその後のことも気遣ってほしかった。  
イチヨウ並木は切らないで下さい。お願いします。地元のステキなイチヨウがなくなって地域の人は残念に思ってます。素敵なお町並みが、残念です。
- ゼロカーボンシティで太陽光発電の導入とあるが、本当にそうなのか。問題はそこなのか。本来、松阪市がすることは、木を増やし、森を守ることではないのか。公共の乗り物や、通勤バス、など増やし、自家用の車の運転を減らす。電気使用量を減らすよう市民、企業にさらに啓発し、推進してことではないのか。この責任は、大きい。
- 長年、松阪市に住んでおります。  
バイクや車の騒音がひどいです。取締り、出来る範囲で制限してほしいです。
- 何度も書いてますが、太陽光パネルを進めるな！！！！  
温暖化の影響がある！自然を壊すな！！！！  
松阪市は太陽光パネルを進めない町としてPRしてほしい  
太陽光パネル大キライ！！
- メガソーラーいらない
- メガソーラーの建設に対する規制、条例の制定を進めてください。
- メガソーラー絶対反対。土砂崩れ、山崩れ、気温上昇、これ以上メガソーラーを増やさないでください。  
海も山も、ソーラーパネルがギラギラしていて熱気がすごいです。見るたびに日本でなくなってきたような気持ちになり悲しいです。
- 私ども伊勢寺線に行きますが開けていられないぐらいの音がします。  
車もたくさん通勤や通学の人を通る所です。使われてない農業用水路があります。  
なんとか音のない事故のない道にしたいです。
- 太陽光パネルより気温が上昇しているため、元に戻す法案を作ってください。
- 大地震が、起きた時の太陽光パネルの火事や感電がとても不安に思う。石川県の地震も感電の危険で自衛隊動けない時があったのを報道番組でみていて怖いとおもった。あちこちの畑に置かれていて子供が、避難生活中に入って事故が起きないか心配。また、パネルが壊れたあとのヒ素漏れによる土壌汚染も心配。土地が使えなくなるのではないのか？そのリスクを市はどう感じているのか。三重県なら、水俣病がわかりやすいのではとは、思いますが。置くらあある程度の規約やリスクをちゃんと説明して置いてほしい。何も考えずに置いてる感がありすぎて増えるたび不安がよぎる。未来の為に今かなり優れた石炭火力発電技術があるのに国が支援しない。そんな国にも市が県が協力して働きか

けてほしい。電気代が下がれば松阪市民にとっても松阪市で働く企業にとっても、とってもメリットになる。夜は発電しない。蓄電もできないものにコストをかけるのはおかしい。本当のメリットって何か本気で考えて行動してほしいです。

- 食品ロスについて、ロスを発生させると損になることと、ある程度の食品ロスは必要であると考えられる為、発生した分を活用できる手段を考えるのは良いが、問 22 にある条例制定の取組は必要かと言われれば疑問に思います。

- 今、住んでいる所は、交通に不便がある(車がなかったら買いものにも行けない)若い者は良い。病院へも行けない。

100 年時代と言うがこの先、車がなかったら、乗れなくなった場合不安である。

- 運転の出来ない高齢者などのバス、各地へ

- 空バスについて

松阪－小野線の三交バスは中川駅まで通じる様になれば交通移動困難者(高齢者、学生等)に有難い(税金を注ぎ込んでいるにもかかわらず)もっと地域の人が乗れる様に松阪から中川駅への経路を検討してほしい。

- 公共交通機関の充実。バスの本数が少ないのでそれに代わる交通手段を。

- 高齢者の増加に伴い公共交通の充実のお願い。

- 市街地の方では、鈴の音バスが通っていますが、高齢者の多い地区(漕代、櫛田などの東部地区)にはバスが通ってなくて、不便を感じています。本数は少なくとも、車がワゴンバスでも構いません。必要としている方は多いと思います。

- 自分たちの年代ではまだ不自由はないが、周囲は高齢化が進み、日常の買物も自由に行けない方も多いと思う。市内の循環バスの様なものを走らせ、スーパー、病院だけでも自由に行かせてあげたいと感じる。

- バスの本数について、時間帯によっては本数が少なく不便。通勤で利用しているが、平日 19 時以降の本数について、パークタウン学園前行きや多気方面は 40 分に一本になる路線がある。また、篠田山バス停の駅方面の始発の時間が遅いのももう少し早い時間のバスがあるとありがたい。

- 日丘町住民です。住んで居る場所が高所、免許証返納後の外出が大変不便になり、色々な行事等の参加が激減です。

コミュニティタクシー等の一考を宜しくです！！

- 松阪市に住んで 6 年目ですが…交通の便利な所と車でないと不便な所の差がすごくあり、これから先の事を思うと考えてしまう。“運転免許”返納ばかりで、交通が便利ならば返すよね。不便だから返さずに老人の事故が多い。

選挙の時公約は口ばかりで何もしてくれない。いつになったら老人の住みやすい街にしてくれますか？

- 上川第二団地付近にバス通らないのでバス停作ってほしい。松阪郵便局経由松阪駅行き。足がないとどこにも行けません。選挙時にバス積極的に通す等言っていたのに皆 綺麗事言うがほったらかしにされています。

- 鈴の音バスの路線を増やしてほしいです船江イオンや総合運動公園や中部台公園行き

- 松阪駅周辺が荒んでいる、駅舎が古い

- 1. 松阪城公園の工夫(イスなど多く設置するなど)

2. 中部台公園の遊具を新しく追加してほしい(市の公園としてもっと子どもたちが楽しく遊べる遊具)  
(何か工夫がない)
  3. 中部台公園にアスレチックがあるが、解放感がなさすぎ、治安的に不安に思う。
  4. サイクリングコース(中部台公園内)も一部治安に不安があり、一人では遊びに行けない。
- ①そぞろ歩きがしたくなるような町づくり
  - ②阪内川を取り込んだ景観作り
  - ③中小河川の整備と景観作り
  - 8/31 で市民プールがなくなります(←誰でも行ける屋内プールが松阪はないので)。私は B&G 海洋センターのある町で育ちました。B&G のおかげで、海洋、海の旅等色々な経験を中学、高校時代に味わい、自分の子どもたちにもそんな経験をさせてあげたいと思って松阪市で子育てをしてきましたが、その様な催し事がとても少ない事に肩を落しました。もっと多子家庭(子どもは 4 人です)にも、何か心がウキウキできる様な事がある松阪になればと思います。もう下の子も中学になったので遅いのですが。
  - JR 徳和駅トイレ撤去されてとても不便です。松阪駅前にも駐輪場再設置してほしい。不便宜しく願います。
  - 空き家、空き地の管理をしてほしい。
  - オシャレな公共の施設が欲しい
  - 同じく住人の外国人の方々が夜遅くまで騒がしく、迷惑しています。管理会社とか、市の担当部署から注意喚起して下さいようお願いします。
  - 高齢、後継ぎ等の問題で持家、土地の維持、整備について、労力不足、費用がかかる等で困っています。特に道路に面している山については、業者にやってもらっていますが、今後他人に迷惑をかけないように考えると、年金も自身の楽しみのためには使えません。  
国への返還にもハードルが高そうですが、何か良い方法がないか悩んでいます。
  - 子どもが自閉症+知的障害があります。急に走ったり目が離せないです。そんな子たちがのびのび遊べる施設をぜひ作ってほしいです。もちろん目を離したいわけではなく、安心して過ごせる所があればと思います。
  - 公園でボール遊び禁止など、子どもの成長を妨げるようなルールが多すぎます。
  - 鈴の森公園の噴水の水が雨でもよく出ますよね。私たちの税金で賄っていると思います。雨の日ぐらい噴水の水止めてください。お願いします。
  - 総合運動公園の整備も良いけど、地域の子どもたちが放課後遊べる場をもっと作ってあげてほしい。
  - 松阪駅(JR 側、近鉄側共に)の送迎用の家用車の駐車場を作してほしい。  
タクシー用ばかりで優遇しすぎ。タクシーなど 3 台~5 台分あれば充分。いつもヒマそうだし、スペースも空いており、見てて不愉快です。伊勢駅や久居駅を見習ってほしい。
  - 松阪駅中心を活性化してほしい。
  - 夜に外が臭いのを何とかしてください。
  - 狛師公園の遊具が中々改善されず子どもたちの遊び場がありません。できるだけ早急に遊具を使用できる様お願いします。
  - 私の子どもたちは県外へ嫁いでいます。実家へ里帰りした時、子どもたちを遊ばせる場所がありません。遊ばせる施設があればなあと思います。テレビを見ていると、他の県にはそういう所があります。

松阪にもほしいです。

- 駅周辺での無料駐輪場を設置してもらいたい。子供が通学する上で電車を利用するが松阪市内の駅周辺では公共の駐輪場が少なく負担だと感じる。
- 公園をもっと増やしてほしいです。子どもたちが遊べる施設をたくさん増やして欲しいです。遊びに行くときは、いつも他市や愛知県にいつてしまいます。広い公園、家から歩いていける公園を増やす、充実した大きな商業施設、博物館、動物園を松阪市に欲しいです。
- 宝塚古墳の草を刈って欲しいです！せっかくの価値ある公園なのにもったいないと思います。
- 自転車や徒歩では危ない細い道(古い道?)が多すぎるように思う。
- 飯高地区の道路工事の進捗状況が悪い
- 道路の整備がされていないので、車で通行していて悪い道だなと感じる市道が多い！
- 伊勢中川付近の歩行者、自転車を安全に走れる様道路整備して欲しい
- 道の草を刈ってほしい。伸びすぎて曲がるときなど前の車が見えない。
- 道路の補修の遅れ。カーブミラーの不足や用をなしていないカーブミラーがある。一方にしかついていない、押しボタン付きの信号機がある。この信号での信号無視が多い
- 道路を修繕してください
- 道路等について普段から感じていることですが、見通しの悪い危険な交差点にカーブミラーがなく、運転時危険を感じる事が多い。具体的な場所としては、松阪郵便局本局前の道路のひとつ路地に入った道路(一升びんの裏)の道路。一旦停止が続くが、カーブミラーがなく、また見通しが悪いのでとても怖い。そのような、小さい道路における安全面の整備が見落とされていると感じる。
- ○○町のアパート○○の浄化槽が機能せず、用水路に垂れ流しのようで、臭くてたまりません。早く下水につなぐようご指導下さい。
- 下水道の料金が高い
- 上下水道の整備
- 水道料金が高いと思う。
- 年金生活者にとっては日々の暮らしは大変です。水道料金をもっと安くして下さい。下水道料金もまだしてない所もあるらしいですけど、我々は一番初めから払ってきています。もう何十年も経っています。不公平だと思います。工事が全て終わってからにして下さい。もっと考えて下さい。
- 松阪市はなぜ水道料金が高いのですか？

## 7. 市民のための市役所

---

- 個人情報の管理の充実の願い。
- 市の車、自転車駐車を増やしてほしい。そこに監視カメラを付けてほしいです。特に自転車は盗まれます。  
あと市役所の木とかをなくして、そこも駐車場にしてほしいです。駐車場が狭いし、台数止めれないので、何とかして下さい。
- 市役所が古くなってきていると思う。耐震も考えて建て替えを考えてはどうですか。
- 商品券が今年は無いのかな？  
年々、金額が下がるのやめてほしい。  
子どもの分も欲しいです。

- 先月の松阪市議会議員選挙と参議院議員選挙の時に住民票の記載の免許証とマイナンバーカードを提示したけど選挙できなかったので今後改善してほしい
- 他の都市の内容がわからないので、市政の取組や内容で比べることが出来ないと思いました。  
市役所ロビーに気楽に行ってみたい、きれいなロビーになれば。  
市役所トイレが狭すぎでは。  
ロビーが窓口業務だけになりすぎているように思う。
- 昨今の物価高で生活が苦しい。プレミアム商品券の枚数を増やす、金額を増額する、発行頻度を増やす等していただけるとありがたいです。
- 市庁舎の新築
- 市長や議長等の給料を上げるんなら物価高騰のおり市職員や関係職員の給料も上げるべき！
- パートさんやアルバイトさんがたくさんみえますが、必要なのでしょうか。正職員だけでは対応できない位、仕事量があるのでしょうか。
- 市役所が混雑している
- 1ヶ月に1回でもいいので土日に市役所の窓口が、開けていただけると助かります。
- 近年、デジタル化が進んできています。メリットが多いと思いますが、私のようなアナログ人間もおります。今後も、対面での対応も選べるようお願いしたいと思います。
- 高齢者がだんだん多くなっていく今、各種手続のオンライン化に不安を感じる自分です。もっと勉強できる場がほしい。お願いします。  
100歳まで頑張るって生きる。
- 市職員のレベル(能力)が低い。館内の移動が多い為、知識が伴わない人が多い。
- 市役所窓口が開いている時間を短くするなら、火曜日以外にももう1日くらい夜間開いている曜日を作ってほしい。
- 以前「自分は半人前で仕事できない」とアルバイト2人が手伝っていた事があります。でもその人退職金は1人前でした。納得がいかない事でした。職員の採用はしっかりして下さい！
- 地域振興局でも手続きなど速やかな対応をお願いします。
- 問48については、職員自身の性質や特性といった個人の問題も含まれる場合もあるため、いくら市役所側が配慮や対応をしても根本的な解決にはならない。従って、職業カウンセリングや臨床心理士の協力のもと対応の見直しをするのはどうだろうか。
- ノンストップ窓口の充実
- 市役所の営業時間を短くするのはいいが、例えばどこか平日を休みにして、土曜か日曜を営業するようにして欲しい。
- 市政が1年でどう変化したか、分かりやすく良くなった点を広報でもっと分かりやすく教えてほしい。  
市議会議員もどうせ誰でも変わらないと思っている人が多いと思うので、ちゃんと結果も教えてほしい。
- 様々な補助金などが、誰にいくら行っているかを詳しく情報提供してほしい。
- 熱田区のイオンのフードコートの大型ビジョンで地元消防団のPR動画を見たことがあります。商業施設のモニター等でアイウェアまつさかや市政情報を流したらいいと思います。
- 市政だよりの改編など通じ、より身近に感じられるようになりました。さらなる…を期待します！！
- 住んでいるところが松阪の北の方で、職場が津市、そして独身ということもあり、家と津市の往復の



日々なので、松阪市といえば、という情報が、学生時代の情報で止まっています。もう少しテレビやインターネットなどで情報発信をしていただけると助かります。時々、松阪市内でボランティアをさせていただきますが、あまり松阪の話についていけなくて心苦しいです。

- やさしい税金についてわかりやすく広報に別紙ではさんでほしいです。
- 私は卸売市場近くの者ですが、市場に置かれている(マイク)有線が流れると耳を傾けるのですが、市長さんの言葉ははっきりとわかるのですが、よく聞けますが、女の若い方がゆっくりとした話し方ですが、どうもぼやけているみたいでいつも聞きづらいます。この事は他の地区の方からも耳にすることがあります。確認していただきますようにお願いします。
- 手続き関連が一般市民には難解すぎて面倒に思うと周囲から聞く。市政の範囲がどこまでかわからないのも問題。できることできないこと、自分の問題になれば口を開かない無関心な人間関係。何かしら文化的なものは松阪を跨いで津市か伊勢市までスキップされる。そもそもホールもあるのに文化に興味のある人が携わって誘致する気が無いのでは?と周囲からは聞く。若い世代にわかる市政のしくみを広めるのが先だと思う。年寄りも市政が分からないまんま。右から左にならえでよくわかってない。松阪の将来が心配。皆貴方方のように頭良くないのよ。
- 先月行われた市議会議員選挙の立候補者に関する情報公開が乏しく感じました。若い方への投票を促すためにも、web での情報公開を迅速かつ積極的に行うべきだと思います。
- 総じて、このような意見を言える場を作っていただきありがとうございます。市民が普段から気軽に意見や要望が言えるような制度やシステムの構築を願います。また、もしそれがあれば、市民の誰もがそれを知り得るような体制づくりを希望します。
- 公共料金の引き下げ
- 市の税金が高い(二重で加配されているので)から減税にも取り組んでほしい！！
- 市の予算(税金)を偏らず有効的に活用していただきたい。
- 市民税を下げて、人口を増やす。
- 住民税の市民税等もっと下げてほしい。  
税金を下げれる様にいろんな事を見直し、むだをなくしてほしい。
- 道路、年末に無理矢理整備が多く見られますが、税金の無駄遣いだと思う！
- マラソン大会やディズニーパレード等税金の無駄遣いをやめること。一部の利益団体のために血税を使用しないこと。市会議員や市長の報酬を大幅に削減して、松阪市民のために税金を使ってほしい。  
以上
- 市政 20 周年のディズニーパレードはするべきではなかったと思います。血税を一部の娯楽の為に使うべきではない。
- 市民が健康で心豊かに過ごせる為に市民の実情をしっかり把握し、どこにお金を使うか、サービスを提供できるのかを考えていただきたいです。他市ではよく大きな事業で使った税金が想定通りにいかず無駄金になったという話題も聞きます。しっかり精査し、大事な税金を必要な所へ届いて欲しいと思います。
- 住民税が高いと思う。
- 松阪市は近隣の市より住民税が高いように感じる。
- 税金は市民サービスに使って下さい
- 税金を安くしてほしい働いても税金が高くなるばかり

- 適切な予算の配分。
- 無駄な事業、不必要な経費の支出が身の回りで目に見える形で存在している。慣習やしがらみで支出が行われている部分を洗い出すべき。市長による、思いつきのような事業や有名人の起用など本当に費用に見合った効果があるのか、検証できる仕組みが必要ではないのか。防災無線での広報のたびに、市長が自分の名前をフルネームで連呼することが、税金を使った選挙活動になっているのではないのか。
- 無駄を省き、持続可能な市政運営に努めてください
- 無駄を省け

## アンケート

---

- 80 歳もとっている人にアンケートを  
難しい事が多かった 若い人たちに出してほしい
- 81 歳 良く分からない
- アンケート回答を通じ、より一層松阪市に住み続けたいと思いました。これまでよりも松阪市の情報に触れる機会を増やしていきたいと思います。
- アンケートが長い、高校生は忙しい
- アンケートの正確性については疑問が残るところがある(市政に対してこうあってほしい、という打算的な回答と、気持ちに正直な回答が混在するおそれがある、また「知っていますか？」の問いに対して、補足説明を参考にしてよいのかわからない、等)ので、慎重に情報を利用してほしい。
- アンケートへの回答に 30 分以上かかりました。負担が大きい。
- アンケートを参考に市民生活に役立てて下さい。  
アンケートだけで終わらない様に御願います。
- アンケートをもっと簡潔にしてほしい
- 育児に追われて松阪市の現在、将来についてゆっくりと考える時間がなかったのですが、今回の調査を通じてゆっくりと考える良い機会になったと思います。ありがとうございました。
- 忙しい時に書くのは大変だった。
- インフラとか施設とか手続とか知らないのにこんなの二度とよこさないでください
- 回答に疲れた。
- 記入により勉強になりましたが、記入に疲れました！
- このアンケートの文章が長すぎます。  
色々聞きたいのはわかりますが、回答率が下がりそうです。もう少し端的にされた方がよいと思います。
- このボリュームの意識調査を回答させて、謝礼もなしにお礼状で済まそうするのはどうかと考える。  
1 問 30 秒で回答しても 30 分以上以上かかる。アンケート中にもボランティアの文言が何度も出てきたが、市民の善意に頼る市政の姿勢が随所に垣間見える。より良い社会を目指すのであれば行動や働きに見合う報酬は必要。
- このような機会は自分自身にとっても、市政にとっても大事な事だと思います。ありがとうございました。今後も定期的に実施していただければ幸いです。
- これだけのボリューム…すいません、負担です。

どれだけ時間かかるか、市長さん、わかりでしょうか？

頭が疲れてきて、時間とられるストレスで、あまり判断ができません。

申し訳ありません。正直な気持ちです。

どう生かされるんでしょうか…アンケート方法変えた方がいいと思います。

- 今回のアンケート、必要ですか？
- 市政ではありませんが、この調査、項目が多すぎです。もっと簡素にしてください、調査を複数回行う様にしてください。この項目数では回答の送付さえ断念する方も多いと思いますよ。
- 市政に協力したくアンケートに回答する努力をしましたが、項目があまりに多すぎて、複雑で、頭が混乱してきて、最後まで全てに目を通し、回答することが出来ませんでした。
- 質問が多すぎて疲れました
- 障がいが身体だけと思うなよ。  
質問が身体の障がい者ばかりであほらしい。  
概念にとられすぎ。
- すごく時間がかかり(真剣に取り組んだため)アンケートを仕上げるのが大変だった。その分のこのアンケートの成果をきちんと市民にどのように役立っているか、分かりやすいように知らせてほしい。
- 対象者から無作為に選んでいるとはいえ、自分の時間もない、日々の生活で精一杯の人間にさせるボリュームではないと思います…。一応しましたが、途中で断念する人や、端からしない人もいますのでは？と思います。回答期間も短いし。督促のハガキ出すくらいなら(送料面)アンケートを分割したり、片手間でできるようにしてほしい。
- 転居1ヶ月少しのため分からないことが多いです。
- 間が多いと思う。  
内容も難しい。
- とてもむづかしいアンケートでした。
- 年金生活者には、難しいアンケートです。  
アンケートの途中にも綴りましたが、年金生活者、生活に忙しく、自分が生きるのにせいっぱいで、人並みの行動もなく、アンケートに答える事が難しい。  
※批判的なものになってしまいました。申し訳ございません。
- 勉強になりました。
- 学生には答えづらい質問が多かったです。
- 今回のアンケートでは、質問の文章が抽象的で長く、わかりにくい箇所がありました。行政においては文章での説明文がどうしても長くなりがちですが、箇条書き等も用いながら「要点のわかりやすい簡素な文章」をぜひとも導入をお願いします(このアンケートにかかわらず)。このようなアンケートを実施されることはとても素晴らしいと思います。私も松阪市民として一助になれば幸いです。

## 窓口対応

---

- 市役所へ手続きや問い合わせで伺った時の職員の温かみのない口調や対応に、次行く事がイヤになります。
- 現在、市職員の方々は、丁寧に対応していただき、安心して相談できる雰囲気でありがたいです。
- 市の職員の方は全体の奉仕者としてしっかり市民の話を聞いてほしい。

- 市役所職員の対応。(教職員の対応含む)
- 市役所の職員さんで、対人対応がひどい方がおられます！！そういった人は人の目に届かない所で仕事をしていただくか…？
- 市役所の窓口での対応の時、そっけない態度をされる方があります。もう少し何でも聞きやすい雰囲気にして頂きたいです。  
以前、工作中に編み物をされている方を目にした事もあります。今は見かけませんが、がっかりです。
- 振興局の職員も対応が良く、親切でいい。
- 窓口等で意見、要望をクレームとして話を聞こうとしない。話を聞き理不尽なクレームの場合は、市民とのトラブルもやむなしと市長は市民に宣言すべき。

## 市政全般

---

- 10月から時短になるそうですが、利点は何ですか？  
観客動員数の少ないイベントを中止し予算を削減できないですか？逆にクラギホールでの映画イベントではチケットが入手困難でした。これらのアンバランスはどのようなのでしょうか？
- D(ダイバーシティ)E(エクイティー)I(インクルージョン)  
多様性・公正性・包括性が尊重される社会にして下さい。
- 問3(5) 犬が可なら毎日でも利用したい！(中勢グリーンパークや、大仏山公園に行く)  
問5(2) ペット不可、公園のトイレが汚いなど、そのためどうしても津や明和、伊勢の公園に行くことが多い。イオンモールがなくなったため津南や明和、鈴鹿に行くことが増えた。雨の日子連れで屋内で遊びに行きたいが、松阪市の施設(みえこどもの城)など、中に入って有料が多い。駐車場から施設までが遠いため、行くか迷う。→津市の芸濃ワンパークやみえむに行くことが多くなる。→松阪で買い物をしてない。→松阪が潤わない！！  
問48 なぜ、採用の為に面接や試験があるのに、能力がない人を採用するのか？そこが問題ではないのか？  
問50 まず、駅が古い。津、伊勢、宇治山田、四日市などは駅に隣接している所に買い物や、高校生、大学生などがちょっと勉強していこうかな？などと足を運ぶような所がない。
- 一部の人に偏らず、どんな層の人たちにも行きわたる市政をしていただきたいと思います。
- いつもお世話になっております。  
市政とは関係ないかもしれませんが…近所にある昔ながらのポストはA4封筒が入りにくく、この調査票も折り曲げて投函しております。まちなみ、風情はありますが、不便も感じられます。  
小さな仕組み改善がより良い生活を生み出してくれると信じています。  
今後ともよろしくお願いします。
- いつも松阪市をみんなが住みやすいまちづくりをして頂きありがとうございます。
- 今の市政に対してある程度満足しています。よくやっていると思います。
- 陰ながらよくやっていると思う
- 活気がない。
- 近年、何かと理由をつけ、ペイポイント還元を実施されていますが、特定のアプリに対する補助は不適正だと思います。市道の路面表示や交通マナーの向上等、生活環境政策を進め、他市や他県の方が住んでみたいと思う松阪市をつくってほしいと思っています。

- 国を無視して松阪市独自の経済政策などをしてほしい。市民が潤わなければ、市の財政が良くなるわけがない。
- 高齢化社会の中で若い人が松阪市に居住等で来る人が減り、若年層の比率がだんだん減っているように感じます。子育て支援や安心、安全で遊べる場所、夏になると熱中症の患者が増えるので屋内で楽しめる場所(イオンタウン松阪船江みたいな商業施設、イオンモール等)の涼みながら楽しみながら買い物ができる場所を増やして、津、多気郡等に流れ込まない政策が必要だと思います。
- これからもより良い町づくりの為に邁進して行って下さい。
- これからもよりよいまちづくりのためによろしくお願いします。
- 今後少子化(人口減)が進むのは確実で、公共事業や基盤の維持を見据えた施策に期待。思いつきで経費をかけてほしくない。
- 静かなまちが望みです。  
余生を穏やかな心で暮らし続けたいので。
- 市政に対して、年々大変で難しくなっているので、職員の皆さんに負担がかからないように、我々ががんばっていかなくてはいけないと思う。サービスがあるのが当たり前だと思わないようにしたい。
- 市役所が暗い。  
景観を考えたまちづくりをしてほしい。統一感がない。  
渋滞が多い。  
観光ががんばってほしい。そのためにはバリアフリーなども。
- 奨学金が親の年収で大きく左右されるので困る→もっと返済しやすく負担がない様に、県内、県外関係なく対応してほしい。
- 新松阪市になって 20 年、住みやすいいいところだと自慢できるまちだと思っています。
- 住みよい町、松阪市にしていく事を望みます。
- 住みよい街松阪に。
- 全部書けなくてすみません  
松阪市に住んでいて良かったです。
- 団結、何事にも、1本線にまとめて前に進んでいく事は大変な仕事であり、周りの方々の良い案を話し合い、取組んで頂いて、今よりも少々でも良い方向性に向かっていけたらいいのかなあと想っております。時間を掛けて、山あり谷ありの人生、市政、活動に期待しております。
- 治安の良い町に  
人にやさしい町に
- 問 5(2)に関して、十分な検討と再考を願いたい(できれば廃止を)。万が一躊躇して手遅れになったら、と思うと、誰が責任を取るのですか？
- どのような事でも、誰にでもわかりやすく、丁寧、親切な心が大切！  
お互いを思いやれる人が多くなる市になればよい。がんばって下さい。
- なんだかんだ一番住みやすいと思います。  
いいくらいの田舎で
- 働く場の確保による若者定住の促進、農林業と観光業の振興により、税収入を増やす施策を打ち出してほしい。
- 平和な松阪市になるようにして下さい

- 返済不要の奨学金を県内・県外問わず(大学)支給可能にしてほしいです。  
自然災害や犯罪への対策を練ってほしい。
- 他の市と比べると住みやすい市と思う。
- 松阪市は観光地だとは全く思いません。  
観光については伊勢市・鳥羽・志摩市に任せておけばいいと思います。  
市民が健康で長生きできる、自立して生活していける市町作り、市政を行っていくべきかと思います。  
スポーツ面に力を入れるのはいいと思います。
- 松阪市は山があり川があり海があり平野がありとてもすばらしい町です。この町に住める事がとても幸福です。これからもこのすばらしい町をこれ以上徐々に住みよい町にして頂けたらうれしいですね。日々ご苦労様ですね。
- 松阪市は私が住み始めた 25 年前より全ての面で衰退が始まっている。活気が無く、商売の町も閉店が多くなっている。病院と斎場ばかり多くなり、20 年後が非常に心配である。今だけ、金だけ、自分だけになっているのでは！
- 松阪市は私にとって大好きな“我ふるさと”です。今後、子や孫にとってもそうであるよう、市政には大いに期待し、頼りにしています。多くのものが、どちらかと言うと困難な方へ変化している中、ご苦労も大きいかと思いますが、市職の皆さんは十分能力を発揮しより良い“松阪市”のため尽力していただきますようお願いします。一市民として、できる限りの協力をさせていただきます。(知らなかったり、わからなかったりする事が多く、少々反省しています。)
- 松阪市をよくするために取り組みを考えてもらっている市役所の職員の方に感謝しております。今後もどうぞよろしくお願いします。
- 松阪に引っ越して感謝してます。いろんな面で。交通の便、タクシー等すぐ来てくれて助かります。病院も 3 軒あり助かります。  
市政の事は分かりませんが、松阪市がこれからも平穏で良い市でありますように願ってます。
- もう打ち上げ花火はいらない。サスティナブルな事業、本当に継続出来る事だけに行政支援をするべき。なれ合いの世界はもう必要ない。
- もっと住みやすい町づくりに励んでほしい。
- もっと発展させよう！！がんばろう
- もっと真摯に取り組んでほしい。子育てのしにくさ、勤め先の減少、地域住民を置いてけぼりのイベントなど、ピントがズレている政策が多いと感じる
- 良くない所をあげている事を 1 つずつ取り組んでいってほしい。駅前開発も取り組んでほしい。又、税金の使い方も見直してほしい。又、不正受給していないかもしっかり調べて支給を。
- より旧 4 町に陽が当たる(活用する)政策
- 若い人たちが活躍できる松阪市になってほしい。
- 幸福感を持って過ごせる松阪市にして下さい。
- 子どもがいるので、子どものことで頭がいっぱいですが、誰もが住みやすい環境が 1 番いいと思います。
- 市政に携わる皆様が、普段から様々に市を良くしようと取り組んでおられることは感じます。ありがとうございます。選挙の前だけ躍起になり良い顔をする議員さんいるような気がします。本当に松阪市のことを考えているのかと疑問に思う。地域に住む一人一人の顔を真に見ていますか。未来の子ど

もたちは、大切な存在ですが、今生きている松阪市で生活をしている中間層も大事にしてほしい。松阪市にいてのは子どもと高齢者だけではない。私が住む地域は子どものために支援しているが、支援した子たちはほぼほぼ都会へ出ていく。何のために支援したのかと悲しくなる。不満は多々ありますが、市政のおかげで日々生活できていることに感謝しています。今後もよりよい松阪市になるようお願いします。3000 人に配布したこのアンケートが実りあるものであること願います。

- 市民が安心して快適に暮らせる松阪市になるように願っています
- 市役所の方も学校の先生方も、対応が丁寧で助かっています。
- 住みやすい環境にしていく事など大事な事を話し合い決めるのは難しいし大変な事だと思いますがそれでも沢山考えてより良い地域になるようにしてくれていてとてもありがたいと思ってます。大変なことばかりだと思いますがこれからも応援しております。出来ることは少ないと思いますが出来る限り私も行動していきたいと思ってます
- 全力で 何ごとにも 取り組んでいただきたい
- 大きな変化はあまり期待していません。外ばかりに目を向けず、地域の規模にあったところから、少しずつ改善をしていくべきではないでしょうか。国が取り組んでいるから、都市部が取り組んでいるから、では結局後手に回り、更なる遅れと弊害を生むだけだと思います。このようなアンケートを取るならば、もっと足下を見た松阪独自の改革を希望します。ご苦労さま。
- 特になし 市民の生活が良くなる市政をしていただければ助かります
- 福祉と企業誘致、子育て環境の充実が必要だと思っています。
- 予算の問題など難しい場面が多い中で、とてもよくやってくれていると思う。

## その他

---

- 市会議員の数が多い。最低限の人数で運営して、賃金を他の必要とする所へまわすべきである。
- 市議会議員が多すぎる。
- いつもありがとうございます
- インボイスを廃止するよう動いてほしい。私も個人事業主ですが、税金が高すぎて生活が苦しい。外国人にも優しい町であることはいいことだと思うが、まずは日本人の生活を第一に考えてほしい。
- 議員の削減  
議員の定年制 70 歳
- 旧一志郡嬉野町在住の者です。合併前は一志郡であり、松阪市とは違う、どちらかといえば遠い存在であったためか、合併して 20 年にも関わらず、少し、もともと松阪市民であった方々とは違う気がしてしまいます。
- 現代の市民から見た場合、三重県の中でも松阪市は、何かにつけてレベルが低い。と思う。
- 幸福で幸せに満ちた世界  
誰もが親切である場所
- これからもよろしくお願いします。
- 市議会議員は報酬多すぎ。
- 市長が長すぎる！
- 市長と語る会を増やしてほしい。
- 市民の聞き取りが少ない。

- 市民のために頑張ってください。
- 直接市政とは関係ないかと思いますが、他所から転居して来た者としては、市や地域行事に入りにくい気がします。以前住んでいた市では転居した家にも地元神社から新年にお札が届いたり、その都度イベントの誘いのパンフレットが届いたりしました。
- 日本語を大事にしたい 1 人です。あまりにも今の世の中、市町村から民間まで、外来語をさかんに使ってます。このような状態は残念に思う 1 人です。すぐに外来語をテレビでも新聞でも安易に使う傾向があります。日本語大事にしたい 1 人としてこの傾向は止めたいものです。  
外来語に弱い私のひがみもあるかもしれませんが、とにかく外来語は極力少なくしてほしいです。日本人は日本語話してこそ日本人となるのです。どうぞ日本語を使い、外来語なくして下さい。
- 普通に静かに生活したい。
- 松阪市に住んでいますが、あまり松阪市内の施設・病院を利用していません。(松阪市内の車の渋滞などのため)  
あまり市政に対して詳しく知らないのが現状です。
- 松阪市民であるには、さまざまな取組について、自分の知識不足を感じました。今後、市の広報をさらに詳しく目を通したり、参加できそうな行事はなるべく参加し、松阪市に対してより詳しく知識を得ようと思いました。  
松阪市のマラソンは、毎年参加しております。
- 松阪人は、引っ越してきた人をよそ者扱い。  
松阪人は、用心深い。  
松阪人は、心がザワザワしている。
- 乱文、乱筆で失礼します。市役所の人たちも色々勉強して、苦労していると思います。色々な意見、回答をしていると、勉強をさせてもらいました。知らないことで出てきました。ありがとうございました。今年はずごく暑いのでお体に気をつけて下さい。
- 介護施設の職員の給料アップ、介護施設の職員の休暇増量、介護施設の職員の人材確保をお願いします！！
- 外国人移民政策反対。最近怖いくらい移民が増えていて、気づいた時には治安悪化が急激に起こりそう。
- 市会議員は、いったいどんな仕事をしているのかさっぱりわからない。議員定数をもっと減らすべきだし、報酬、退職金等も明示すべきだし、70歳の定年制を設けるべきだ
- 市議会議員選挙がありましたが、市政に関して知識を持った方々が少ないように感じます。東部中校区の小学校が合併することすら知らない議員さんが当選されています。松阪市の全てを知ることは難しいかもしれません。しかし、松阪市が抱えている事情を把握できていない方が市政に参加して意味があるのか疑問です。こんなことが言える立場ではありませんが、質の高い人が集まるような工夫が必要かと思います。
- 松阪市図書館1階の話し声が大きいため、呼びかけか何か対策を行って頂きたいです。お時間ある時で構いませんがよろしくお願いいたします。



## IV 調査票



## 松阪市市民意識調査 ご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政に対し、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、このアンケートは本市のまちづくりの指針となる「松阪市総合計画」の進捗や効果をはかり、市民の皆さまが市の政策や行政サービスに対してどのようなご意見やご要望をお持ちなのかをお聞かせいただくために実施させていただきます。

アンケートの結果は、市政運営のための基礎資料として活用させていただきますので、お忙しいところ恐縮ですが、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査の目的以外には使用いたしませんので、個人のお名前やご意見が特定されることはございません。

令和7年8月

松阪市長 竹上 真人

- 【対 象】 松阪市にお住まいの15歳以上の市民の中から無作為に選んだ3,000人  
 ※必ず封筒のあて名のご本人がご回答ください。  
 ※介護が必要な状態、病院に入院中等でご本人が回答できない場合は、お答えいただかなくてかまいません。なお、その場合でもお礼状が届きますのでご了承ください。

### 【回答方法】

#### ① 郵送

回答を記入した調査票を同封の返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。切手は不要です。

または

#### ② インターネット

パソコンやスマートフォンなどから以下のサイトにアクセスし、回答してください。

【URL】

<https://form.geokor.jp/q/auto/ja/matsusaka/2025/>

ユーザID

パスワード

※ユーザID、パスワードは重複回答を防ぐためのものであり回答者は特定されません



- 【期 限】 令和7年8月22日(金)までにご回答ください。  
 (氏名、住所をご記入いただく必要はありません)

### 【お問合せ】

調査実施主体:松阪市企画振興部経営企画課

〒515-8515 松阪市殿町1340番地1

TEL: 0598-53-4319 FAX: 0598-22-1377



\*本アンケートはUD(ユニバーサル・デザイン)フォントを使用しています。

はじめに、  
**「あなたご自身について」および**  
**「松阪市のまちづくりについて」**  
 おききします。



※ご回答いただくにあたって、答えにくい質問には無理にお答え  
 いただかなくてかまいません。

問1 あなたご自身についておききします。

(1) あなたの性別をご記入ください。

性別

(2)、(4)～(7)は該当するものをそれぞれ1つずつ選び、○をつけてください。

(3)はお住まいの町名をご記入ください。

(2)あなたの年齢は	1. 10歳代    3. 30歳代    5. 50歳代    7. 70歳以上 2. 20歳代    4. 40歳代    6. 60歳代
(3)あなたの居住地は	(                      町 ) *番地の記入は不要です。回答者は特定されません。
(4)松阪市での居住年数は (合併前も含む)	1. 1年未満                      4. 10年以上 20年未満 2. 1年以上5年未満            5. 20年以上 3. 5年以上 10年未満
(5)あなたのご職業は	1. 自営業(農林水産業などに 従事する方も含みます)    4. アルバイト・パート 2. 会社員(公務員・会社役員 ・専門職も含みます)        5. 専業主婦(夫) 3. 学生・専門学校生        6. 無職 7. その他(                      )
(6)あなたの家族構成は	1. 単身(ひとり暮らし)        4. 3世代(祖・子・孫など) 2. 配偶者のみ                  5. その他(                      ) 3. 2世代(親・子など)
(7)あなたは結婚してい ますか(事実婚を含む)	1. 結婚したことがない        3. 現在は配偶者がいない 2. 現在は配偶者がいる

問2 あなたの現在の状況についておききします。

(1) 健康だと思いますか。(○は1つだけ)

- |                    |             |
|--------------------|-------------|
| 1. 健康だと思う          | 4. 健康だと思わない |
| 2. どちらかという健康だと思う   | 5. わからない    |
| 3. どちらかという健康だと思わない |             |

(2) 現在の生活に満足していますか。(〇は1つだけ)

- |                   |            |
|-------------------|------------|
| 1. 満足している         | 4. 満足していない |
| 2. どちらかという満足している  | 5. わからない   |
| 3. どちらかという満足していない |            |

(3) 余暇は充実していますか。(〇は1つだけ)

- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| 1. 充実している         | 4. 充実していない   |
| 2. どちらかという充実している  | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかという充実していない |              |

(4) 生きがいにしているものはありますか。(〇は1つだけ)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. ある        | 4. ない        |
| 2. どちらかというある | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかというない |              |

(5) 地域への愛着はありますか。(〇は1つだけ)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. ある        | 4. ない        |
| 2. どちらかというある | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかというない |              |

(6) あなたは今、幸せだと感じますか。(〇は1つだけ)

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| 1. とても幸せだと感じる       | 4. 幸せでないと感じる |
| 2. どちらかという幸せだと感じる   | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかという幸せでないと感じる |              |

(7) あなたは幸福な生活のために必要なことはどんなことだと感じますか。(〇は3つまで)

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 健康であること          | 12. 地域に憩いの場があること    |
| 2. 食生活が良好であること      | 13. 頼れる人がいること       |
| 3. 住まいがあること         | 14. 地域に愛着があること      |
| 4. 生活に経済的な余裕があること   | 15. 人から頼りにされること     |
| 5. 家族との関係が良好なこと     | 16. 自分が活躍する場があること   |
| 6. 災害に対する備えができていること | 17. 社会に貢献していると感じること |
| 7. 治安が保たれていること      | 18. 働く場所があること       |
| 8. 食の安全が保たれていること    | 19. 仕事にやりがいを感じることに  |
| 9. 生活環境が良好なこと       | 20. 生きがいがあること       |
| 10. 近所づきあいが良好なこと    | 21. 余暇が充実していること     |
| 11. 地域活動・行事に参加できること | 22. その他( )          |

図3 あなたのふだんの暮らしで心がけていることについておききします。

(1) 日ごろから災害に対する備えをしていますか。(Qは1つだけ)

1. している
2. どちらかというとしている
3. どちらかというとしていない
4. していない
5. どちらともいえない

(2) かかりつけ医\*がいますか。(Qは1つだけ)

1. いる
2. いない

\*かかりつけ医…風邪などの病気や体の不調を感じた際に受診したり、自分の健康について相談したりする決まった医師・機関(医局)のことです。

(3) (2)で「1. いる」と答えた方におききします。

かかりつけの医療機関を教えてください。(Qはいくつでも)

1. 地域の病院や診療所
2. 総合病院(済生会松阪総合病院、松阪市民病院、松阪中央総合病院など)
3. その他( )

(4) あなたは、この1年間で運動(散歩を含む)・スポーツ(登山、ハイキング、キャンプなどの野外活動を含む)をどの程度行っていますか。いろいろなスポーツを行っている人は、トータルで(合わせて)お答えください。(Qは1つだけ)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. ほぼ毎日   | 6. 月に1回    |
| 2. 週に4~5回 | 7. 年に6~10回 |
| 3. 週に2~3回 | 8. 年に1~5回  |
| 4. 週に1回   | 9. 特にしていない |
| 5. 月に2~3回 |            |

(5) 最近(この2~3年間で)、松阪市の公共スポーツ施設(散歩やウォーキングなどで総合運動公園、中津台運動公園等の利用や小中学校の夜間開放を含む)を利用していますか。

(Qは1つだけ)

1. よく利用する
2. たまに利用する(年に数回程度)
3. あまり利用しない(これまでに数回利用した程度)
4. 利用したことがない

問4 あなたのお住まいの地域づくりについておききします。

- (1) あなたのお住まいの地域の住民自治協議会(まちづくり協議会)<sup>※</sup>を知っていますか。  
(○は1つだけ)

1. 知っている  
2. 聞いたことはあるがくわしくは知らない  
3. 知らない

<sup>※</sup>住民自治協議会(まちづくり協議会)→住民協議会、自治会連合会、公民館と市が住民自治のあり方を協議した結果できた、地域の住民等が身近な地域の課題を自主的に解決し、地域の特性を生かして自発的に地域づくりを行う組織です。

- (2) あなたはお住まいの地域の住民自治協議会(まちづくり協議会)のまちづくり活動(情報活動・防災訓練・お祭りなど)に参加したことがありますか。(○は1つだけ)

1. 積極的に参加している  
2. とときどき参加している  
3. 参加していない

問5 市全般に関することについておききします。

- (1) あなたが思う松原市の良いところはどんなことですか。(○は3つまで)

- |                        |                                    |
|------------------------|------------------------------------|
| 1. 公園や憩いの施設が整っている      | 14. 防災対策が進んでいる                     |
| 2. 緑が比較的多く自然環境に恵まれている  | 15. 屋舎などの公害が少ない                    |
| 3. 道路が整備されている          | 16. 歴史や伝統がある                       |
| 4. バスや鉄道など、公共交通の便が良い   | 17. 商業や事業を行うのに有利                   |
| 5. 買い物が便利              | 18. 情報・通信が整備されている                  |
| 6. 働く場所がある             | 19. 市の情報公開や情報提供が積極的                |
| 7. 子育てやこどもの教育の環境が整っている | 20. ごみが落ちていない                      |
| 8. 保健・福祉施設が整っている       | 21. 観光資源が豊富                        |
| 9. 文化・スポーツなどの施設が整っている  | 22. 食べ物がおいしい                       |
| 10. 医療施設、救急医療が整っている    | 23. 交通マナーが良い                       |
| 11. 人と人とのつながりがある       | 24. 空気がきれい                         |
| 12. 市政に参加する機会が多い       | 25. 上下水道やごみ処理など、生活に基本となる施設が整備されている |
| 13. 治安が良い              | 26. その他( )                         |

(2) あなたが思う松阪市の良くないところはどんなことですか。(○は3つまで)

- |                         |                                     |
|-------------------------|-------------------------------------|
| 1. 公園や緑地の施設が整っていない      | 14. 防災対策が遅れている                      |
| 2. 緑が少なく自然環境に恵まれていない    | 15. 騒音などの公害が多い                      |
| 3. 道路が整備されていない          | 16. 歴史や伝統がない                        |
| 4. バスや鉄道など、公共交通の便が悪い    | 17. 商業や事業を行うのに不利                    |
| 5. 買い物に不便               | 18. 情報・通信が整備されていない                  |
| 6. 働く場所がない              | 19. 市の情報公開や情報提供が積極的                 |
| 7. 子育てやこどもの教育の環境が整っていない | 20. ごみが落ちている                        |
| 8. 保健・福祉施設が整っていない       | 21. 観光資源が少ない                        |
| 9. 文化・スポーツなどの施設が整っていない  | 22. 食べ物がおいしくない                      |
| 10. 医療施設、救急医療が整っていない    | 23. 交通マナーが悪い                        |
| 11. 人と人とのつながりが薄い        | 24. 空気が汚れている                        |
| 12. 市政に参加する機会が少ない       | 25. 上下水道やごみ処理など、生活に基本となる施設が整備されていない |
| 13. 治安が悪い               | 26. その他( )                          |

(3) あなたは総合的にみて松阪市は住みやすいところだと感じますか。(○は1つだけ)

- |                  |
|------------------|
| 1. 住みやすい         |
| 2. どちらかというと住みやすい |
| 3. どちらかというと住みにくい |
| 4. 住みにくい         |
| 5. どちらともいえない     |



図6 (1)～(39)の項目について、松原市の政策に対し、あなたの気持ちに最も近いものを満足度、重要度でそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

	満足度					重要度				
	満	や	中	や	満	満	や	中	重要	重要
(1)地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2)洪水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(治水対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3)交通事故のないまちづくり(交通安全対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4)犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5)中心市街地の賑わいをつくるまちづくり(市街地・拠点等の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6)安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7)地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8)安全で安心しておいしく飲むことができる水の提供(上水道の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9)生活排水の適切な処理による水質保全(下水道の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10)安全で快適に生活できる住環境づくり(住環境の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11)気軽に利用できる憩いの場としての公園や緑地の整備(公園・緑地の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12)森林や河川・海など豊かな自然を守っていく取組(自然環境の保全)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13)ごみを減らしたり、ごみを再利用する取組(廃棄物(ごみ)対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14)さまざまな災害にすばやく対応できる地域の消防力(消防力の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15)元気に楽しく暮らせるよう年齢層に応じた健康づくり(健康づくりの推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16)どこでも、いつでも安心して病院や診療所にかかる取組(保健・医療の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17)さまざまな福祉課題を地域で支え合うまちづくり(地域福祉の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18)お年寄りの方が地域で安心して暮らせるまちづくり(高齢者福祉の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19)障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20)子どもたちがのびのび育つ環境づくり(児童・家庭福祉の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	満足度					重要度				
	満	やや満	中	やや中	満	満	やや満	中	やや中	満
(21)子どもたちが安心して教育を受けられる環境づくり(学校教育の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22)子どもや若者がすこやかに成長できるまちづくり(青少年の健全育成)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23)生涯にわたる学習環境とその成果を生かせる環境づくり(生涯学習の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24)地域の歴史や芸術文化を生かしたまちづくり(文化活動の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25)気軽にスポーツを行うことができる環境づくり(スポーツの推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26)地域の特徴を生かした農林・水産物の取組(農林・水産物の振興)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(27)森林保全や森林資源の活用促進などの取組(林業の振興)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(28)魅力的な中小企業の支援など地域の産業を育てる取組(商工業の振興)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(29)企業誘致を促進し雇用の確保に努める取組(企業振興の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(30)地域資源を生かした観光政策(観光の振興)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(31)働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(32)人権が尊重され、安心して幸せに暮らせるまちづくり(人権の尊重)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(33)男性と女性が対等の立場で個性と能力を発揮できる社会づくり(男女共同参画の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(34)外国人住民にも暮らしやすいまちづくり(多文化共生の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(35)すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現(バリアフリー社会の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(36)市民と行政との協働を推進するまちづくり(市民参加の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(37)中山間地域の地域資源を活用したまちづくり(中山間地域の振興)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(38)市民生活の利便性を高める情報通信社会の取組(情報・通信の環境整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(39)市の情報公開や情報提供を積極的に行う行政体制(情報公開・情報提供)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問7 あなたは松原市の政策に対して、総合的にみてどのように感じていますか。(〇は1つだけ)

- |         |         |       |
|---------|---------|-------|
| 1. 満足   | 3. ふつう  | 5. 不満 |
| 2. やや満足 | 4. やや不満 |       |

ここからは、  
**「松阪市の個々の課題について」**  
 おききします。



**スポーツのチカラを活用した健康まちづくりについて**

問8 松阪市では、「伝えたい！スポーツのチカラ」プロジェクトや「みえ松阪マラソン」の開催など、スポーツに関する話題を積極的に発信していますが、最近、あなたはスポーツに取り組んだことがありますか。(〇は1つだけ)

1. スポーツに取り組んでいる
2. 現在は取り組んでいないが、取り組もうと思っている
3. 現在は取り組んでいないが、スポーツを見たり、スポーツボランティアに参加しようと思っている
4. 取り組む予定はない
5. その他( )

問9 10年前と比べてスポーツをする市民(20歳以上)の割合が増えています。その要因は何だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. スポーツ大会(フルマラソン、市長杯スポーツ大会など)やイベントの増加による参加機会の充実による
2. 総合運動公園の完成などスポーツ施設環境の充実による
3. 健康志向により体を動かすことが健康につながるとの意識の向上による
4. その他( )
5. わからない

問10 松阪市では、スポーツのチカラ「スポーツと運動したまちづくり」の一環として、市民の皆さんと一体となってスポーツボランティアへの参加によりスポーツを「支える」喜びを感じ、よりスポーツに親しむことで、さらなる健康づくりにつなげていきたいと考えています。今後も、スポーツイベントを通じボランティア参加の機会を増やしていこうと考えていますが、あなたはこのような取組に参加したいと思いますか。(〇は1つだけ)

- |                    |            |
|--------------------|------------|
| 1. 参加したい           | 4. 参加したくない |
| 2. どちらかといえば参加したい   | 5. わからない   |
| 3. どちらかといえば参加したくない |            |

**観光施策について**

問11 あなたが旅行に行くとき、何を重視して行き先を決めますか。(〇は3つまで)

- |            |                |
|------------|----------------|
| 1. 歴史・文化   | 7. 芸術鑑賞        |
| 2. まちなみ    | 8. 宿泊施設        |
| 3. グルメ・食事  | 9. 温泉          |
| 4. 特産品・お土産 | 10. アクセスのしやすさ  |
| 5. 自然      | 11. 周辺観光スポットの数 |
| 6. アクティビティ | 12. その他( )     |

問 12 多くの観光客に松阪市を訪れてもらうには、どうPRすればよいと思いますか。(Qは1つだけ)

1. 歴史・文化のまちとしてPR(松坂城跡などの史跡、御城番屋敷や国宝船形塀櫓などの文化財、産商のまちの古い町並みなど)
2. お肉のまちとしてPR(松阪牛・松坂鶏焼き肉・松阪豚)
3. 食のまちとしてPR(上記2.以外)
4. 特産品をPR(松阪もめん、松阪茶など)
5. 豊かな自然をPR(榊田川、香肌峡など)
6. 郷土の偉人をPR(猪生氏郷、三井高利、本間重長、松浦武四郎など)
7. その他( )

問 13 どのようなところに向けたPRや情報発信をすればよいと思いますか。(Qは2つまで)

- |        |       |           |
|--------|-------|-----------|
| 1. 首都圏 | 4. 県内 | 7. その他( ) |
| 2. 関西圏 | 5. 市内 |           |
| 3. 東海圏 | 6. 国外 |           |

問 14 どのような方法で観光PRや情報発信をすればよいと思いますか。(Qは3つまで)

1. イベント出席(各種まつりや物産展、催し物など)
2. WEB(WEB サイトの充実、WEB 広告の活用、PR 動画作成など)
3. SNS(Instagram 、Facebook 、X(旧 Twitter) 、LINE 、YouTube  など)
4. テレビ広告
5. 新聞・ラジオへの広告掲載
6. 雑誌・旅行情報誌への広告掲載
7. ふるさと納税によるPR
8. その他( )

問 15 もし、あなたが観光客などから松阪市のことをたずねられた場合、何を紹介(自慢)しますか。(Qは1つだけ)

1. 歴史、文化、まちなみ(例:松坂城跡などの史跡、御城番屋敷や国宝船形塀櫓などの文化財、産商のまちの古い町並みなど)
2. グルメ(松阪牛・松坂鶏焼き肉・松阪豚)
3. グルメ(上記2.以外)
4. 特産品、お土産(松阪もめん、松阪茶など)
5. 自然、アクティビティ(榊田川、香肌峡など)
6. 郷土の偉人(猪生氏郷、三井高利、本間重長、松浦武四郎など)
7. その他( )
8. 特になし

問 16 あなたは、松阪市を観光地だと思いますか。(Qは1つだけ)

- |                    |            |
|--------------------|------------|
| 1. 観光地である          | 4. 観光地ではない |
| 2. どちらかといえば観光地である  | 5. どちらでもない |
| 3. どちらかといえば観光地ではない |            |

## 伝統産業に対する支援について

問 17 地域の文化的資源、観光資源として、まちづくりを社会面や経済面で支えてきた、松阪牛伝統肥育や松阪もめん、造り酒屋などの伝統産業は、担い手不足や生活様式等の変化を要因に技術の伝承および経営が厳しい状況にあります。  
地域産業の基盤としてだけでなく、松阪市の魅力をアピールする上で欠かすことのできない伝統産業に対し無償支援、補助することは、必要だと思いませんか。(〇は1つだけ)

- |                      |              |
|----------------------|--------------|
| 1. 支援すべき             | 4. 支援すべきではない |
| 2. どちらかといえば支援すべき     | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかといえば支援すべきではない |              |

## シビックプライドについて

「シビックプライド」とは、地域に誇りと愛着を持ち、その発展や魅力向上に積極的に関わる意識を表します。

問 18 松阪市では、文化や歴史などの郷土教育を通じて、こどもたちの松阪市に対する愛着・誇りを育む教育を進めています。あなたは松阪市というまちに対して「シビックプライド」を持っていると感じますか。(〇は1つだけ)

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| 1. 大変持っている   | .....問 19 へお進みください |
| 2. まあまあ持っている | .....問 19 へお進みください |
| 3. あまり持っていない | .....問 20 へお進みください |
| 4. ほぼ持っていない  | .....問 20 へお進みください |
| 5. わからない     | .....問 20 へお進みください |

問 18 で「1. 大変持っている」「2. まあまあ持っている」と答えた方におきします

問 19 松阪市のどのようなところに愛着・誇り・シビックプライドを感じますか。(〇はいくつでも)

- |                   |                          |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 歴史的な名所         | 9. 高い教育レベルや充実した教育資源      |
| 2. 豊かな自然          | 10. 充実した働く場所             |
| 3. おいしい食事や食文化     | 11. 充実した医療施設             |
| 4. 充実した公共施設       | 12. 充実した商業施設             |
| 5. お祭りや工芸品などの伝統文化 | 13. 人との出会いやつながり          |
| 6. 便利な公共交通        | 14. 地域コミュニティの団結力         |
| 7. きれいな景色         | 15. 地元のスポーツチームや地元出身選手の活躍 |
| 8. 良い治安           | 16. その他( )               |

問 20 松阪市というまちに対して「シビックプライド」を持つ人が増えると、魅力的なまちになると思いませんか。(〇は1つだけ)

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. とても思う   | 4. まったく思わない |
| 2. まあまあ思う  | 5. わからない    |
| 3. あまり思わない |             |

## 食品ロス削減の取組について

問 21 あなたは、現在、まだ食べることができる食品が、生産、製造、流通、販売、消費等の段階で日常的に廃棄されていることを知っていますか。(〇は1つだけ)

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. よく知っている | 4. まったく知らない |
| 2. 知っている   | 5. わからない    |
| 3. あまり知らない |             |

問 22 松阪市が今後、食品ロスの削減をさらに推進するため、市、事業者、市民の責務等を明確にした食品ロスに関する条例制定の取組等を進めることが必要だと思いますか。(〇は1つだけ)

- |                  |          |
|------------------|----------|
| 1. 必要である         | 4. 必要でない |
| 2. どちらかといえば必要である | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば必要でない |          |

## フードドライブの推進について

生活困窮者への支援活動や子ども食堂の運営等を行う団体に対し、物資や支援活動に関する情報を提供することなど、地域の支援活動の強化を目的として令和7年2月5日に、松阪市、松阪市社会福祉協議会、特定非営利活動法人フードバンク愛知の3者で「ひろがる・つながるフードドライブ連携協定」を締結しました。そのような中、こういった取組に対する市民の意識やさらなる施策の推進についておききします。

問 23 あなたは、企業や家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている地域のフードバンク等の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄付する活動、いわゆる「フードドライブ」という取組を知っていますか。(〇は1つだけ)

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1. 知っている     | 3. ほとんど知らない |
| 2. ある程度知っている | 4. 知らない     |

問 24 生活困窮などにより食料支援が必要な人が一定数いる中で、市内では、松阪市社会福祉協議会をはじめ民間の多数の団体でこうしたフードドライブの取組が現在も行われていますが、他の自治体ではフードバンク団体に対し支援を行っているところもあります。一方で、生活保護をはじめ社会保障制度が確立されていることから、民間の善意によってなされる形のほうが望ましいというご意見もあります。

松阪市として生活困窮者や貧困家庭の子ども等のためにフードドライブの取組をさらに支援していくことについて、あなたは賛同しますか。(〇は1つだけ)

- |                  |          |
|------------------|----------|
| 1. 賛同する          | 4. 賛同しない |
| 2. どちらかといえば賛同する  | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば賛同しない |          |

## ゼロカーボンシティの実現に向けて

松阪市は、2023(令和5)年2月15日、2050年までにCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロにする脱炭素社会の実現をめざした「松阪市ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、その実現に向けて、国と同水準の目標を掲げた「松阪市ゼロカーボンビジョン」を策定しました。



問 25 あなたは、地球温暖化の防止や脱炭素社会の実現に関心がありますか。(Qは1つだけ)

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 4. まったく関心がない |
| 2. 関心がある    | 5. わからない     |
| 3. あまり関心がない |              |

問 26 松阪市の「ゼロカーボン」や「カーボンニュートラル」などと呼ばれる脱炭素社会の実現をめざした取組について、知っているものを選んでください。(Qはいくつでも)

- |                     |                                    |
|---------------------|------------------------------------|
| 1. 公共施設の太陽光発電の導入    | 4. ZEH(ゼロエネルギー住宅)、蓄電池、宅配ボックス等への補助金 |
| 2. 公共施設の LED 照明への切替 | 5. 環境イベントの実施                       |
| 3. 公用車の電気自動車化       | 6. 特に知っているものはない                    |

問 27 地球温暖化の防止や脱炭素社会の実現のため、あなたがすでに取り組んでいるものはありますか。(Qはいくつでも)

- |   |   |
|---|---|
| 1. ZEH(ゼロエネルギー住宅)の購入や<br>自宅へ太陽光パネルや蓄電池を設置 | 9. ごみの分別の徹底   |
| 2. 自宅の窓を断熱窓に取り換えるなどの<br>省エネリフォーム          | 10. マイボトルやマイバッグを使う                                      |
| 3. 省エネ家電への買い替え                            | 11. フリーマーケットを利用したり、モノや服を<br>修理するなどして長く使うなどサステナブル<br>な生活 |
| 4. 日常的な節電や節水                              | 12. 環境保全活動などへの参加  |
| 5. 通勤や通学はなるべく自転車や公共<br>交通機関を使う            | 13. その他( )  |
| 6. 宅配ボックスを使う                              | 14. 今は取り組んでいないが、これから始め<br>ようと思っている                      |
| 7. なるべく地元産の食品や製品を選ぶ                       | 15. 今後もし取り組むつもりはない                                      |
| 8. 食べ残さない、食材を使いきるなど<br>食品ロスをなくす           |   |

問 28 今後、さらに脱炭素化施策を促進していくため、松阪市が取り組むべきものとして、あなたの考えに近いものに○をつけてください。(Qは3つまで)

- |   |  |
|---|--|
| 1. ホームページや SNS を活用した脱炭素<br>施策や補助金等の情報発信           | 7. 中小企業の脱炭素化への取組に対する<br>補助制度の充実  |
| 2. 食品ロスの削減や食品残渣の有効活用                              | 8. 公共施設への新たな技術(ペロブスカイト<br>太陽電池 <sup>※1</sup> や V2H <sup>※2</sup> など)の導入による<br>災害用予備電源の確保 |
| 3. 歩行者中心のまちづくりや自転車が利用<br>しやすい都市空間の整備              | 9. J-クレジット制度 <sup>※3</sup> 等のビジネスモデルを<br>活用した新たな財源の確保                                    |
| 4. 公共交通の EV(電気自動車)化や EV<br>充電設備の充実                | 10. その他( )   |
| 5. こどもや地域への脱炭素教育や啓発                               |  |
| 6. 市民の脱炭素化への取組(省エネ・創エネ設備<br>や EV 購入など)に対する補助制度の充実 |  |

<sup>※1</sup>ペロブスカイト太陽電池……結晶構造の材料を用いた太陽電池でフィルム型などがある

<sup>※2</sup>V2H……「Vehicle to Home」の略称。電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド車(PHEV)のバッテリーに貯めている電力を、自宅で使えるようにする機能

<sup>※3</sup>J-クレジット制度……省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用による CO<sub>2</sub> 等の排出削減量や、適切な森林管理による CO<sub>2</sub> の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度

## COPD(慢性閉塞性肺疾患)の認知度について

問 29 あなたは COPD(慢性閉塞性肺疾患<sup>※</sup>)という病気を知っていますか。(Oは1つだけ)

1. どんな病気か知っている
2. 聞いたことがあるが、内容までは知らない
3. 知らない

※COPD(慢性閉塞性肺疾患)…たばこの煙などの有害物質を吸い続けることで肺や気管支に慢性的な炎症を起こして、息切れや咳がひどくなり呼吸困難を招く進行性の病気。以前は、肺気腫や慢性気管支炎と呼ばれていました。

## 広報全般について

問 30 松阪市の情報を主にどのような方法で得ていますか。(Oは3つまで)

- |   |                                 |
|---|---------------------------------|
| 1. テレビ  | 8. 行政チャンネル(アイウェアまつさかなど)         |
| 2. ラジオ  | 9. YouTube                      |
| 3. 新聞   | 10. 自治会などの回覧                    |
| 4. 松阪市ホームページ  | 11. 知人・家族のクチコミ                  |
| 5. 松阪ナビ    | 12. インターネットサイト(ネットニュース、個人ブログなど) |
| 6. 広報まつさか   |                                 |
| 7. SNS(Instagram  , Facebook  ) | 13. その他( )                      |
| X  など)   |                                 |

問 31 松阪市ホームページで記事は探しやすいですか。(Oは1つだけ)

- |              |                      |
|--------------|----------------------|
| 1. 探しやすい     | 4. 探しにくい             |
| 2. まあまあ探しやすい | 5. その他(探しにくかった理由など ) |
| 3. 少し探しにくい   |                      |

問 32 広報まつさかを読んでいますか。(Oは1つだけ)

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| 1. 毎月読んでいます | ..... 問 33 へお進みください |
| 2. 大体読んでいます | ..... 問 33 へお進みください |
| 3. とときとき読む  | ..... 問 33 へお進みください |
| 4. ほとんど読まない | ..... 問 34 へお進みください |
| 5. 読んだことがない | ..... 問 34 へお進みください |
| 6. 知らない     | ..... 問 34 へお進みください |

問 32 で「1. 毎月読んでいます」「2. 大体読んでいます」「3. とときとき読む」と答えた方におききます

問 33 広報まつさかをどのような方法で読んでいますか。(Oはいくつでも)

1. 自宅に届いた冊子を読んでいる
2. 公共施設やスーパーなどで受け取った冊子を読んでいる
3. 松阪市ホームページから閲覧している
4. 松阪ナビの通知からスマートフォンなどで読んでいる
5. カatalogポケットから読んでいる
6. その他( )



問 34 広報まつさかをリニューアルしたほうがよいと思いますか。(Qは1つだけ)

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1. リニューアルしたほうがよい | .....問 35 へお進みください |
| 2. どちらでもよい       | .....問 35 へお進みください |
| 3. リニューアルしなくてよい  | .....問 36 へお進みください |

問 34 で「1. リニューアルしたほうがよい」「2. どちらでもよい」と答えた方におききます

問 35 リニューアル後の広報まつさかに求めるものは何ですか。(Qは3つまで)

- |                     |                          |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 情報量の多さ           | 8. 健康・育児・教育などに関する情報の充実   |
| 2. 文章の分かりやすさ        | 9. 講座や催し、展示会などの情報の充実     |
| 3. 文字の大きさ           | 10. スポーツ、レジャー、観光などの情報の充実 |
| 4. 読みたい記事の探しやすさ     | 11. 防災に関する情報の充実          |
| 5. 読みやすいレイアウト       | 12. 地域の話題やまちの歴史などの情報の充実  |
| 6. 写真やイラストの充実       | 13. その他( )               |
| 7. 市の事業や制度に関する情報の充実 |                          |

問 36 行政チャンネル(123ch)をご覧になったことはありますか。(Qは1つだけ)

- |                    |            |
|--------------------|------------|
| 1. 番組更新のタイミングで見ている | 4. 必要な時のみ  |
| 2. 週1回以上           | 5. 見たことがない |
| 3. 月1回以上           | 6. 知らない    |

問 37 行政チャンネル(123ch)で放送したすべての番組が視聴できる松阪市公式 YouTube をご覧になったことはありますか。(Qは1つだけ)

- |                    |            |
|--------------------|------------|
| 1. 番組更新のタイミングで見ている | 4. 必要な時のみ  |
| 2. 週1回以上           | 5. 見たことがない |
| 3. 月1回以上           | 6. 知らない    |

問 38 行政チャンネル(123ch)で取り扱ってほしい・充実してほしい情報はどのようなものですか。(Qはいくつでも)

- |                      |
|----------------------|
| 1. 市の事業や制度の紹介など      |
| 2. 健康・育児・教育などに関する情報  |
| 3. 講座や催し、展示会などの情報    |
| 4. スポーツ、レジャー、観光などの情報 |
| 5. 防災に関する情報          |
| 6. 地域の話題やまちの歴史などの情報  |
| 7. その他( )            |



松阪市ホームページ  
(行政チャンネル欄)

## 各種手続きのオンライン化について

この取組では、個人や事業者、団体等が行政に行う申請や届出などの手続きを「行政への手続き」と呼びます。

問 39 あなたは、これまでにご自身で「行政への手続き」をしたことがありますか。  
(Qは1つだけ)

- 1. ある ……問 40 へお進みください
- 2. ない ……問 43 へお進みください
- 3. わからない ……問 43 へお進みください

問 39 で「1. ある」と答えた方におききます

問 40 その「行政への手続き」が必要であることどのように知りましたか。(Qはいくつでも)

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 1. インターネットやSNS等で知った | 5. 市役所の職員からの説明を受けて知った |
| 2. 新聞記事やテレビ放送で知った   | 6. 家族や知人から聞いて知った      |
| 3. 市の広報紙で知った        | 7. 利用施設からの説明等で知った     |
| 4. 市から届いた文書で知った     | 8. その他( )             |

問 39 で「1. ある」と答えた方におききます

問 41 松阪市では「行政への手続き」をパソコンやスマートフォン等から行うことができる「オンライン化(オンライン申請)」を進めています。あなたは、これまでに松阪市の「行政への手続き」で、オンライン申請を利用したことがありますか。(Qは1つだけ)

- 1. ある ……問 43 へお進みください
- 2. ない ……問 42 へお進みください
- 3. わからない ……問 43 へお進みください

問 41 で「2. ない」と答えた方におききます

問 42 あなたが、今後オンラインで「行政への手続き」をするためには何が必要だと思いますか。  
(Qはいくつでも)

- |  |                                |
|--|--------------------------------|
| 1. 手続きに対応する機器(パソコンやスマートフォン、タブレットなど)を持つこと         | 6. 手続きの方法や手順などの丁寧な説明があること      |
| 2. 手続きに対応する機器(パソコンやスマートフォン、タブレットなど)の操作方法を知っていること | 7. 手続きに必要な個人情報が安全に守られていること     |
| 3. オンラインでどのような手続きができるかを知っていること                   | 8. 手続きが正しく送信され、市役所で受信されたとわかること |
| 4. オンラインでできる手続きが多くなること                           | 9. 職員による対面での支援があること            |
| 5. 手続きの操作方法が分かりやすく、使いやすいこと                       | 10. その他( )                     |
|  | 11. 特になし                       |

## カスタマーハラスメントに対する市の取組について

カスタマーハラスメント(顧客や利用者が事業者やその従業員に対して行う、過度で不当な要求や暴力的な言動。以下「カスハラ」)は、労働者への心理的・身体的負担、離職率の増加、業務効率の低下など、労働環境や社会全体に深刻な影響を及ぼす可能性があるものです。このようなカスハラに対して、市が今後どのような取組を行う必要があるか、市民意識を把握した上で検討を進めることが必要となります。

問 43 あなたは、カスハラについて知っていますか。(Qは1つだけ)

- |                      |         |
|----------------------|---------|
| 1. 知っている             | 3. 知らない |
| 2. 聞いたことはあるが詳しくは知らない |         |

問 44 あなたは、カスハラを受けた経験がありますか。(Qは1つだけ)

- |       |                  |
|-------|------------------|
| 1. ある | ………問 45 へお進みください |
| 2. ない | ………問 46 へお進みください |

問 44 で「1. ある」と答えた方におききます

問 45 あなたは、どのような状況でカスハラを受けましたか。具体的な例を教えてください。(Qはいくつでも)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 飲食店での接客時      | 4. 病院やクリニックでの業務中 |
| 2. 小売店での接客時      | 5. その他(具体例)      |
| 3. 電話やオンラインでの対応時 |                  |

問 46 あなたは、企業や組織がカスハラに効果的に対応できていると思いますか。(Qは1つだけ)

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 十分対応できている   | 4. まったく対応できていない |
| 2. ある程度対応できている | 5. わからない        |
| 3. あまり対応できていない |                 |

問 47 全国的にカスハラ条例を施行する自治体が増えてきている一方で、カスハラについては、ちょっとしたものの言い方がカスハラと指摘されるなど、「通常の要求と線引きがわかりにくく、コミュニケーションに際するような風潮を招きかねない」といった意見があるとともに、カスハラを認定することもあり難しい点が指摘されています。

あなたは、松阪市においてもカスハラ防止に特化した条例が必要だと思いますか。(Qは1つだけ)

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. 必要だと思う         | 4. まったく必要だと思わない |
| 2. どちらかといえば必要だと思う | 5. どちらともいえない    |
| 3. あまり必要だと思わない    |                 |

### 能力不足を理由にした職員の免職処分について

地方公務員法に基づき、勤務実績がよくない、適性を欠いている、心身の故障により職務遂行に支障があるなどを理由に課されるのが分限処分(免職、休職、降任、降給)であり、市役所で働く職員に対して適用される制度です。

分限処分は、組織の効率的な運営を図るための制度の一端ですが、その適用にあたっては、職員の権利や組織の透明性を考慮し、慎重な判断と公平な手続きが求められます。

問 48 令和6年に佐賀県が、「能力不足」を理由に職員を「解雇」に相当する分限免職処分にしていったことがニュースとなりました。半年間に及ぶ研修後も改善がみられず、最下位の職位に降任しても見合った仕事ができないと判断し、免職処分となりました。

あなたは、公務員が「能力不足」を理由に免職となることについてどう思いますか。(Qは1つだけ)

- |              |          |
|--------------|----------|
| 1. 賛成        | 4. 反対    |
| 2. どちらかという賛成 | 5. わからない |
| 3. どちらかという反対 |          |

問 49 あなたは、能力不足とみなされた職員に対するサポートや改善策として何が必要だと思いますか。(Qはいくつでも)

- |   |             |
|---|-------------|
| 1. さらなる研修や再教育                                 | 3. 業務内容の調整  |
| 2. メンター制度の導入(経験豊富な職員がメンターとなり、個別指導やアドバイスを提供する) | 4. 他の部署への異動 |
|   | 5. その他( )   |

## 松阪駅西地区に整備する施設について

松阪駅西地区施設整備計画については、市民ワークショップを経て、平成 31 年 3 月に作成された「松阪駅西地区複合施設基本構想」を基に、公民連携により事業を進めるため民間事業者募集の準備を行っています。当時の市民ワークショップでは、「求める機能」としてホテル、商業施設、ホール、行政機能などさまざまな機能を持つ複合施設として位置づけられており、公共機能部分については、市が賃料を支払ってテナント入居することを想定していました。しかしながら昨年度、民間事業者募集の準備として民間企業へアンケート調査およびヒアリングを実施したところ、施設の企業から、事業に関心はあるが、行政機能等の公共機能を含めた施設整備としては施設資材が高騰している現状において、事業の採算性等から難しい面も多く、できれば民間施設のみで施設整備を行いたいという回答もありました。このような状況下において、駅西地区のにぎわいのまちづくりについておささします。

問 50 松阪駅西地区に整備する施設において、「一つの複合施設」に市がテナント入居するという形にこだわらず、一体的な土地利用の中で、公共機能部分については、市が別途整備することも検討しています。

あなたは、このような松阪駅西地区の整備についてどのように思いますか。(Qは1つだけ)

- |                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| 1. にぎわいの創出を目的として事業を進めるべき | 2. 今のままの駅西地区でよい |
|                          | 3. どちらともいえない    |

## 市施設における使用料について

市の設置する文化ホールや公民館、グラウンド、体育館等の施設使用料については、令和4年4月1日に料金改定を行いました。

令和3年2月に策定した「松阪市施設使用料等の見直し方針」では、受益者負担の公平性を確保するために、経済状況、社会動向、提供するサービス内容等を勘案したうえで、原則5年毎に定期的な見直しを行うこととしています。

近年、施設の老朽化等にもとない維持管理経費が増加してきており、加えて、社会情勢等も変化するなかで、施設を利用する方が、その対価として施設の運営に係る費用の一部を負担する「受益者負担」の観点等も加味し、一定の方向性を示していく必要があると考えています。

問 51 あなたは、市施設の使用料について、どのように感じていますか。(Qは1つだけ)

- |               |                       |
|---------------|-----------------------|
| 1. 高い         | 4. どちらかといえば安い         |
| 2. どちらかといえば高い | 5. 安い                 |
| 3. ふつう(適当)    | 6. わからない、または使用したことがない |

問 52 市施設の使用料は、建設費を除いた、人件費や電気代等から計算した金額を利用者に負担していただいています。現在、物価高騰が続いている状況の中で、見直しを行うと施設の使用料は高くなると考えられますが、あなたは見直しについてどう思いますか。(〇は1つだけ)

- |   |  |
|---|--|
| 1. 適切な施設の維持のため物価高騰にともなうコスト増加を使用料に反映し高くすべきだと思う         | 3. 物価高騰により家計の負担が増えている現状を考慮し、施設の使用料を安くすべきだと思う |
| 2. 物価高騰などにともなうコスト増加については、市民全体の負担(税金)として使用料を据え置くべきだと思う | 4. 見直しについて特に意見はない、またはわからない                   |
|   | 5. その他( )                                    |

### 公民館の使用料と利用、公民館講座の受講料について

公民館は誰もがスポーツや趣味・文化を楽しむ場を提供し、生涯学習を推進する施設です。そのため、自主的に活動するサークルに対して部屋の使用料を無料にしており、また公民館が主催する講座についても受講料(材料費を除く)を無料にしています。多数の方に利用してもらうことで社会教育の向上につながり、また、活動の場所を提供することで市民のつながりができ、地域活性化に貢献しています。令和6年度には、延26,249人の方が講座を受講し、821団体がサークル活動で利用していますが、利用者が固定化している傾向も見受けられます。また、施設の老朽化等にもともない維持管理費(修繕、警備、清掃、消防設備点検、光熱水費、建物賃上料、事務機器リース料等)など公民館を管理・運営するための費用は、令和5年度の決算額で約1億4,700万円となっています。この費用はすべて税金でまわっていますが、昨今の物価高騰の影響もあり年々負担額が大きくなっています。このような状況において、市民が税金を平等に負担するという考え方のもと、公民館を利用する方に一定程度の負担を求めることを検討しています。

問 53 市民が公民館を使用して自主的なサークル活動を実施する場合に、一定程度の使用料の負担を求めることについて、あなたは賛同しますか。(〇は1つだけ)

- |                  |          |
|------------------|----------|
| 1. 賛同する          | 4. 賛同しない |
| 2. どちらかといえば賛同する  | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば賛同しない |          |

問 54 公民館講座を受講する場合に受講料を負担することに、あなたは賛同しますか。(〇は1つだけ)

- |                  |          |
|------------------|----------|
| 1. 賛同する          | 4. 賛同しない |
| 2. どちらかといえば賛同する  | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば賛同しない |          |

### 人権尊重・男女の地位の平等について

問 55 松阪市は人権が尊重されている社会になっていると感じますか。(〇は1つだけ)

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 感じる         | 3. どちらかといえば感じない |
| 2. どちらかといえば感じる | 4. 感じない         |

問 56 家庭生活において男女の地位が平等になっていると思いますか。(〇は1つだけ)

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 男性のほうが高圧されている         | 4. どちらかといえば女性のほうが高圧されている |
| 2. どちらかといえば男性のほうが高圧されている | 5. 女性のほうが高圧されている         |
| 3. 平等である                 | 6. どちらともいえない             |



ここからは、  
**「障がい福祉に関するアンケート調査」**  
 になります。



日頃より、松阪市の福祉行政にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。

現在、本市では令和9年度を初年度とする新たな「松阪市障がい者計画・障がい(児)福祉計画」の策定に向けた作業を進めています。この調査は、皆さまの福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てるために実施するものです。

この調査は、無記名でご回答いただくため、回答者が特定されたり個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。また、回答いただいた内容は、統計的処理の上、計画策定および施策推進のための基礎資料としてのみ使用されます。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

【20 ページから 24 ページに関するお問い合わせ先】

松阪市 健康福祉部 障がい福祉課 TEL : 0598-53-4059

FAX : 0598-26-9113

**障がいのある人などに対する理解について**

問 57 あなたの身近に障がいのある人はいますか。(〇は1つだけ)

- |               |        |
|---------------|--------|
| 1. 自分自身がそうである | 3. いない |
| 2. 身近な人がそうである |        |

問 58 障がいのある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らすことをめざす「共生社会」という考え方について、あなたはどのように思いますか。(〇は1つだけ)

- |                  |          |
|------------------|----------|
| 1. 共感する          | 4. 共感しない |
| 2. どちらかといえば共感する  | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば共感しない |          |

問 59 障がいのある人などに対し、人々の理解が進んでいると思いますか。(〇は1つだけ)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. かなり進んでいる  | 3. あまり進んでいない  |
| 2. ある程度進んでいる | 4. まったく進んでいない |

問 60 日頃の生活の中で、障がいのある人などに対する差別や偏見などを感じることはありますか。(〇は1つだけ)

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1. よく感じる    | ……問 61 へお進みください |
| 2. ときどき感じる  | ……問 61 へお進みください |
| 3. あまり感じない  | ……問 62 へお進みください |
| 4. まったく感じない | ……問 62 へお進みください |

問 60 で「1. よく感じる」「2. ときどき感じる」と答えた方におききます

問 61 障がいのある人などへの差別や偏見を感じるのは、どのような時ですか。(Qはいくつでも)

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 1. 教育の場面        | 7. 入店拒否など店の対応や店員の態度 |
| 2. 仕事や収入の面      | 8. 交通機関などが配慮されていない時 |
| 3. 近所づきあい       | 9. 病名などが人に知られた時     |
| 4. 地域の行事や集まり    | 10. 差別不審などと誤解される時   |
| 5. まちかどなどでの人の視線 | 11. その他( )          |
| 6. 市役所職員の対応     |                     |

問 62 あなたは、「ヘルプマーク」を知っていますか。(Qは1つだけ)

- |                |         |
|----------------|---------|
| 1. 内容まで知っている   | 3. 知らない |
| 2. 名前を聞いたことがある |         |

問 63 障がいのある人への差別をなくすことを目的として、平成28年4月に「障害者差別解消法」が施行され、令和3年6月には法改正が行われました(令和6年4月施行)。あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。(Qは1つだけ)

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 法律の内容を、改正内容も含めて知っている      |
| 2. 内容は知っているが、法律が改正されたことは知らない |
| 3. 内容は知らないが、法律があることは知っている    |
| 4. 知らない                      |

問 64 障がいのある人などに対する理解を深めるためには何が必要だと思いますか。(Qはいくつでも)

- |   |
|---|
| 1. こどもの時から、障がいや障がいのある人などのことについて学習し、交流する機会を充実する  |
| 2. 障がいのある人などが自由に外出できるようなまちづくりを進める               |
| 3. 障がいのある人などの就業の場を広げる                           |
| 4. 障がいのある人などの生活の実情や抱えている問題などについて市民が理解しやすいよう知らせる |
| 5. 障がいのある人などが利用する施設などを地域住民にも開放して交流できるようにする      |
| 6. その他( )                                       |
| 7. 特にない・わからない                                   |

## 障がいのある人などの地域生活について

問 65 障がいのある人などが抱えている問題について、関心がありますか。(Qは1つだけ)

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1. 非常に関心がある  | ……… 問 66 へお進みください |
| 2. ある程度関心がある | ……… 問 66 へお進みください |
| 3. あまり関心がない  | ……… 問 67 へお進みください |
| 4. まったく関心がない | ……… 問 67 へお進みください |

問 65 で「1. 非常に興味がある」「2. ある程度興味がある」と答えた方におききます

問 66 関心を持つようになった理由は何ですか。(Qはいくつでも)

1. 自分の家族や知り合いに障がいのある人などがあるから
2. ボランティア活動をしているから
3. ボランティア活動をしたい、ボランティア活動に興味があるから
4. 福祉関係の職業に従事しているから
5. テレビや新聞・雑誌などで障がいのある人などに関するのを見たり、聞いたりしているから
6. 県や市の広報などで、障がいのある人などに関するのを目にするから
7. 自分もいつ障がいを持つことになるかわからないから
8. その他( )
9. 特に理由はない

### 障がいのある人などにやさしいまちづくりについて

問 67 日常生活の中で、バリアフリーが進んでいないと感じることはありますか。(Qは1つだけ)

1. よく感じる ……問 68 へお進みください
2. とときき感じる ……問 68 へお進みください
3. 特に感じない ……問 69 へお進みください

問 67 で「1. よく感じる」「2. とときき感じる」と答えた方におききます

問 68 どんなところで感じますか。(Qはいくつでも)

1. 電車やバスなどの公共交通機関(駅やバス停を含む)
2. 駐車場(車いす利用者用の駐車スペースがないなど)
3. 道路や歩道(歩道が狭い、障害物がある、誘導ブロックがないなど)
4. 公共施設(建物に段差や階段が多い、エレベーターがない、誘導ブロックがないなど)
5. 商業施設(建物に段差や階段が多い、エレベーターがない、誘導ブロックがないなど)
6. 障がいのある人などが利用しやすいトイレが少ない
7. 必要な場所に案内板や案内表示が少ない
8. 障がいのある人などが情報を発信する手段が少ない
9. その他( )

問 69 障がいのある人などが、地域の行事や活動により参加しやすくするためには、どのようなことが必要だと感じますか。(Qはいくつでも)

1. 障がいのある人なども使いやすい施設を整備する
2. 障がいのある人なども利用しやすい交通機関や道路を整備する
3. 障がいのある人などに対する人々の理解を深めるよう、広報や福祉教育を充実する
4. 障がいのある人などを支援するボランティアを育成する
5. 障がいのある人自身が積極的に地域との関わりを持つようにする
6. その他( )
7. 特にない/わからない



## 災害対策について

問 70 障がいのある人などのために、災害対策として、市はどのようなことに力を入れる必要があると願いますか。(Qはいくつでも)

1. 障がいがある人などの避難訓練を行う
2. 災害時の心構えや地域に関する知識を広める
3. 災害時に避難を支援してくれる協力者の体制づくり
4. 障がいのある人などに配慮した災害情報などの伝達体制の充実
5. 福祉避難所(一般の避難所での生活が難しい方を対象として受け入れる避難所)の設置
6. 避難先での医療体制の確保
7. 障がいのある人などが日常生活を円滑に行うための用具の確保(歩行支援用具、人工肛門の方の排泄に必要な用具など)
8. その他( )
9. 特にない・わからない

## ボランティア活動などについて

問 71 障がいのある人などを対象としたボランティア活動の経験はありますか。(Qは1つだけ)

1. 現在している
2. 以前したことがある
3. したことはない

問 72 あなたは、障がいのある人などに対して、どのような支援ができますか。(Qはいくつでも)

1. 声かけや様子を見ること
2. 話し相手
3. 外出の時の付き添いや送迎
4. 書類などの代読や代筆、点訳、手話などのコミュニケーションの手助け
5. 家事や買い物の手伝い
6. 身体介護の手助け
7. 市役所の用事などの代行
8. 交流や社会参加の場を設けること
9. その他( )
10. 特にない・わからない

## 市の取組について

問 73 障がいのある人もない人も、ともに住みやすいまちをつくるための施策について、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はい×です)

1. 障がいのある人などへの理解を進めるための福祉教育や広報活動の充実
2. 自宅での生活を支援する在宅サービスの充実
3. 高齢者、障がいのある人、児童の施設サービスの充実
4. 健康診断や健康教育などの保健・医療サービスの充実
5. 自分の生活、財産、権利を守ってくれるサービスの充実
6. 介護の必要な重度の障がいのある人などのための入所施設の整備
7. リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備
8. 誰もが参加しやすいスポーツ・余暇活動の援助や施設の整備
9. 住民同士がふれあう機会や場の充実
10. 就労支援の充実・働く場の確保
11. 道路の段差解消などの、バリアフリー化の推進
12. 交通の利便性の確保
13. 災害時の避難誘導体制の整備・充実
14. 保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上
15. 障がい福祉サービスの利用手続きの簡素化
16. 相談窓口や情報提供の充実
17. ボランティアの育成や組織のネットワーク化
18. その他( )
19. 特になし

## 最後に

市政に対するご意見などがございましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました




無送でご回答いただく方は、  
封筒の返信用封筒(切手不要)に入れて、  
8月22日(金)までに、郵便ポストに投函してください。

ご協力ありがとうございました。

松阪市 市民意識調査  
結果報告書

令和7年 12 月

松阪市企画振興部経営企画課

〒515-8515 松阪市殿町 1340 番地 1

TEL 0598-53-4319

FAX 0598-22-1377

E-mail [kei.div@city.matsusaka.mie.jp](mailto:kei.div@city.matsusaka.mie.jp)